

広島空港の利用実態等に関する調査・分析業務

報告書

令和 5 年 3 月

株式会社日本空港コンサルタンツ

広島空港の利用実態等に関する調査・分析業務

報告書

目次

1	既存統計資料の活用による移動経路の把握.....	1
1.1	使用した統計の概要	1
1.2	国内旅客	2
1.2.1	広島空港利用者の分布	3
1.2.2	背後圏発着旅客の経路	6
1.3	国際旅客	9
1.3.1	広島空港利用者の分布	9
1.3.2	利用経路・潜在需要	10
2	調査の実施	13
2.1	広島県居住者アンケート	13
2.1.1	調査概要	13
2.1.2	調査内容	15
2.1.3	調査結果	16
2.1.4	調査結果	52
2.2	就航先居住者アンケート	53
2.2.1	調査概要	53
2.2.2	調査内容	55
2.2.3	調査結果 国内線	57
2.2.4	調査結果 国際線	95
2.2.5	就航先居住者アンケートのまとめ	144
2.3	広島空港利用者アンケート	146
2.3.1	調査概要	146
2.3.2	調査内容	147
2.3.3	調査結果 国内線	149
2.3.4	調査結果 国際線（台北便）	178
2.3.5	広島空港アンケート調査のまとめ	195
3	分析	197
3.1	需要シミュレーション	197
3.1.1	アンケート結果	197
3.1.2	認知度が向上した場合の旅客数の推計	207

3.2	路線ごとの特徴分析	209
3.2.1	国内線	209
3.2.2	国際線	211
3.3	路線ごとの特徴の詳細	213
3.3.1	新千歳	213
3.3.2	仙台	214
3.3.3	東京（羽田）	215
3.3.4	沖縄	216
3.3.5	台北	217
3.3.6	香港	219
3.3.7	ソウル	221
3.3.8	シンガポール	223
3.3.9	バンコク	225
3.3.10	上海	227
3.3.11	大連・北京	228

1 既存統計資料の活用による移動経路の把握

1.1 使用した統計の概要

既存統計資料として、以下の 3 つの資料に基づいて地域間の移動についての利用経路や需要特性を把握した。国内旅客では「航空旅客動態調査」、「旅客地域流動調査」を用い、国際旅客では「国際航空旅客動態調査」を用いて整理した。

使用した各統計資料の概要は以下のとおりである。

表 1.1.1 使用した統計の概要

No	統計名	概要
1	航空旅客動態調査	➤ 国内線航空旅客の流動特性を把握することを目的として、調査日（秋期平日・休日各 1 日）に国内線定期便及び定時運航する不定期便を利用するすべての旅客を対象に実施。 ➤ 航空会社の協力を得て、原則として航空機内でアンケート調査を配布・回収。 ➤ 航空旅客の出発地・目的地、現住所地、旅行目的、空港のアクセス・イグレス等を調査。 ➤ 調査日が 2 日間であるため、調査日の偏りが生じている可能性があるものの、国内の全便を対象とした調査であり、広島空港と競合する航空経路の把握が可能。
2	旅客地域流動調査	➤ 鉄道、自動車、海運及び航空の各輸送機関別に、調査年次における都道府県間の輸送人数を集計。 ➤ 航空と競合関係にある「JR 定期外」の都道府県間輸送人数の集計表を活用し、広島県との潜在需要を把握。 ➤ JR 定期外の旅客数は、JR 各社からのデータに基づいて作成されている。
3	国際航空旅客動態調査	➤ 国際航空旅客の総合的な動態を捉えることを目的として、調査期間（8 月及び 11 月頃に 1 回 2 日～1 週間程度）に国際線定期便が就航する国内の全空港から出国する日本人、外国人及び成田国際空港・関西国際空港・中部国際空港・東京国際空港を経由する通過・乗換旅客を対象にサンプル調査を実施。 ➤ 出国後の搭乗待合室内にてインタビュー方式で調査を実施。 ➤ サンプル調査であるものの、年間拡大処理が実施されており、年間値が公表されている。 ➤ 出国空港、渡航先、国内訪問地、現住所、旅行目的、空港アクセス手段等を調査。

1.2 国内旅客

2019 年度の航空旅客動態調査、旅客地域流動調査（JR 定期外）を用いて、広島空港利用者の分布、背後圏発着旅客の経路について集計を行った。

広島県内は以下の通り 8 つのゾーンに分類し、広島県の周辺県は、県単位で集計を行った。

広島	広島市
	安芸郡
宮島	大竹市
	廿日市市
呉	呉市
	江田島市
芸北	安芸高田市
	山県郡
東広島	竹原市
	東広島市
	豊田郡
尾三	三原市
	尾道市
	世羅町
福山	福山市
	府中市
	神石郡
備北	三次市
	庄原市



図 1.2.1 広島県内のゾーニング

1.2.1 広島空港利用者の分布

(1) 地元客と入込客の比率

- 新千歳、沖縄路線は地元客（広島側居住者）の割合が73～87%であるが、仙台路線、東京路線、成田路線は31～44%となっており入込客（就航先居住者）が多い。
- 路線ごとに地元客の割合に特徴がある。

表 1.2.1 国内線 路線別居住地の割合

	全路線	新千歳	仙台	東京	成田	沖縄
地元客	46%	73%	31%	40%	44%	87%
入込客	54%	27%	69%	60%	56%	13%

(2) 出発地・目的地

- 札幌、仙台、東京路線は広島県内を出発地・目的地とする人が90%以上を占める。
- 東京路線は、広島の割合が低く、東広島や尾三、福山の割合が比較的が多い。
- 沖縄路線は広島県内が86%を占めており、他の路線と比較すると、広島県内で幅広く分布している。また、島根県、岡山県を出発地・目的地にしている旅客も他路線と比べると多い。

表 1.2.2 国内線 路線別出発地・目的地

		全路線	新千歳	仙台	東京	沖縄
広島県	広島	46%	51%	59%	45%	32%
	宮島	2%	3%	1%	1%	1%
	呉	5%	6%	2%	6%	4%
	芸北	1%	1%	1%	1%	2%
	東広島	8%	5%	8%	9%	5%
	尾三	7%	7%	4%	7%	12%
	福山	6%	11%	3%	5%	11%
	備北	1%	0%		1%	2%
	不明	20%	11%	14%	22%	16%
	合計	95%	93%	91%	96%	86%
鳥取県		0%	0%		0%	
島根県		3%	3%	3%	2%	10%
岡山県		1%	1%	1%	0%	4%
山口県		1%	1%	3%	1%	
徳島県		0%			0%	
香川県		0%	1%		0%	
愛媛県		1%	1%	1%	1%	
高知県		0%			0%	
広島県以外	合計	5%	7%	9%	4%	14%

(3) 地元客の現住所

- 広島県内への分布は、出発地・目的地と類似しており、沖縄路線は広島県外からの利用が比較的多い。
- 広島ゾーンに集中している傾向は出発地・目的地の分布と類似する。出発地・目的地と比べると、広島県不明の割合が減少し、その分、東広島、尾三、福山など広島県東部を現住所とする旅客が増加した。

表 1.2.3 国内線 路線別地元客の現住所

		全路線	新千歳	仙台	東京	沖縄
広島県	広島	46%	47%	62%	46%	33%
	宮島	3%	4%	4%	2%	1%
	呉	7%	6%	4%	7%	5%
	芸北	1%	1%	2%	1%	3%
	東広島	12%	5%	8%	15%	5%
	尾三	9%	8%	3%	9%	13%
	福山	9%	16%	4%	6%	14%
	備北	2%	0%		3%	3%
	不明	5%	3%	2%	6%	4%
	合計	93%	89%	90%	96%	81%
鳥取県		0%			0%	1%
島根県		4%	6%		2%	12%
岡山県		1%	3%	1%	0%	6%
山口県		1%	2%	6%	1%	
徳島県		0%			0%	
香川県		0%	1%		0%	
愛媛県		1%	1%	3%	1%	
高知県						
広島県以外	合計	7%	11%	10%	4%	19%

(4) 入込客の訪問地

- 地元客に比べて、広島県外の割合が若干多い。
- 沖縄路線は広島県の訪問が40～50％であり、その他は島根県や岡山県も訪問している。

表 1.2.4 国内線 路線別入込客 到着客の最初の訪問地

		全路線	新千歳	仙台	東京	沖縄
広島県	広島	47%	64%	57%	46%	9%
	宮島	1%	1%	1%	1%	
	呉	5%	4%		5%	1%
	芸北	0%	1%		0%	
	東広島	5%	3%	4%	6%	3%
	尾三	5%	1%	5%	5%	3%
	福山	4%	1%	2%	4%	6%
	備北	0%			0%	
	不明	26%	11%	19%	28%	28%
	合計	92%	86%	88%	95%	51%
鳥取県		0%	1%		0%	
島根県		4%	4%	5%	2%	40%
岡山県		1%		3%	0%	8%
山口県		2%	6%	4%	1%	
徳島県		0%			0%	
香川県		0%	2%			
愛媛県		1%	1%		1%	
高知県		0%			0%	
広島県以外	合計	8%	14%	12%	5%	49%

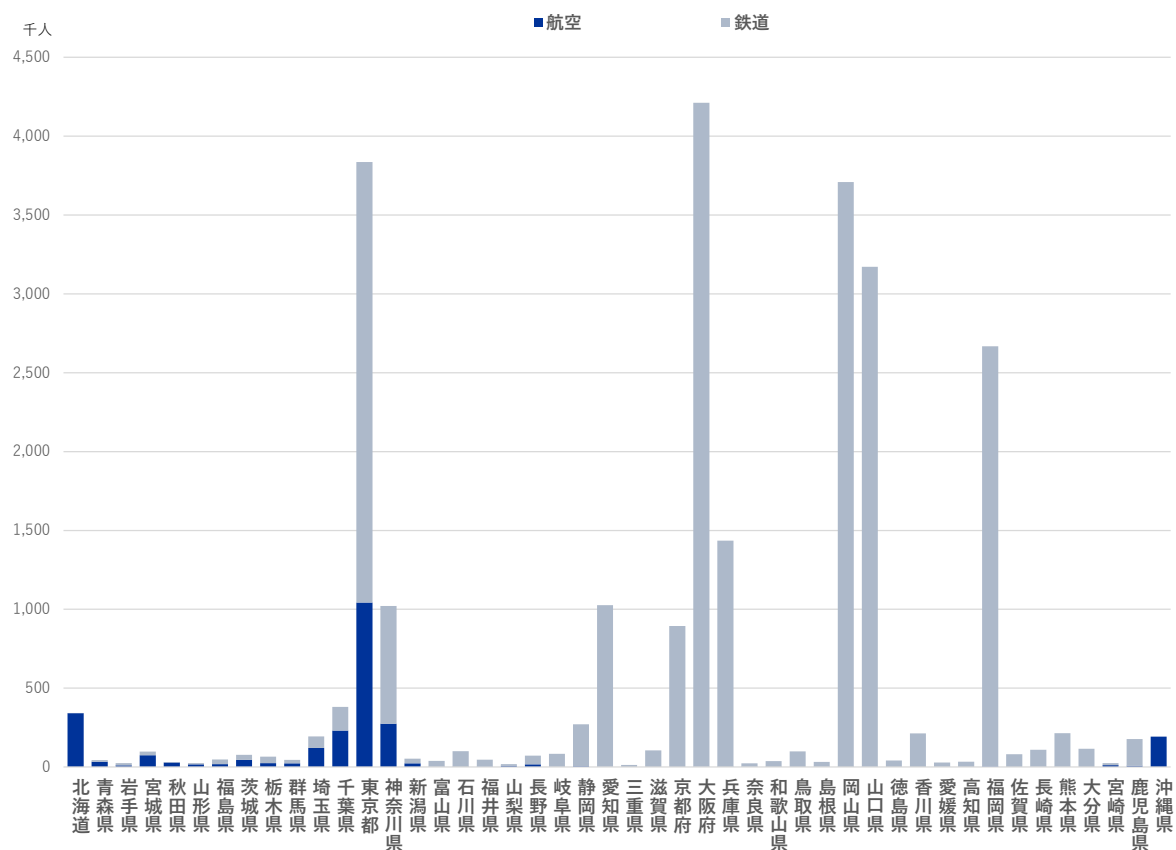
表 1.2.5 国内線 路線別入込客 出発客の最後の訪問地

		全路線	新千歳	仙台	東京	沖縄
広島県	広島	43%	38%	53%	43%	11%
	宮島	1%	2%	0%	1%	
	呉	4%	9%	1%	4%	
	芸北	0%			0%	
	東広島	5%	2%	10%	6%	
	尾三	4%	4%	2%	4%	5%
	福山	3%	2%	4%	3%	2%
	備北	1%	1%		1%	
	不明	29%	19%	17%	31%	21%
	合計	90%	76%	86%	93%	39%
鳥取県		0%			0%	
島根県		5%	11%	5%	4%	39%
岡山県		2%	8%	1%	0%	22%
山口県		1%	1%	5%	1%	
徳島県						
香川県		0%	1%		0%	
愛媛県		1%	3%	3%	1%	
高知県						
広島県以外	合計	10%	24%	14%	7%	61%

1.2.2 背後圏発着旅客の経路

(1) 広島県との県間旅客

- 大阪府、東京都、岡山県、山口県、福岡県の順に県間旅客が多い。



資料：航空旅客動態調査、旅客地域流動調査

図 1.2.2 広島県との県間旅客数

(2) 就航先への利用経路

札幌（道央）

- 広島空港直行便を利用する人が 84%を占める。
- 広島空港から羽田空港の経由する人が 14%を占める。

	人	%
広島空港＝新千歳空港	118,412	84%
広島空港＝羽田空港＝新千歳空港	19,553	14%
広島空港＝成田空港＝新千歳空港	1,198	1%
福岡空港＝新千歳空港	991	1%
岩国空港＝羽田空港＝新千歳空港	498	0%
鉄道	600	0%
全体	141,253	100%

仙台（宮城県）

- 広島空港直行便を利用する人が 70%を占める。
- 鉄道を利用する人が 25%を占める。

	人	%
広島空港＝仙台空港	63,153	70%
伊丹空港＝仙台空港	2,076	2%
神戸空港＝仙台空港	1,710	2%
岩国空港＝羽田空港～新幹線	488	1%
鉄道	22,600	25%
全体	90,027	100%

東京（東京都）

- 広島空港から羽田便を利用する人が 26%、成田便を利用する人が 3%を占める。
- 鉄道を利用する人が 69%を占める。

	人	%
広島空港＝羽田空港	1,458,555	26%
広島空港＝成田空港	142,599	3%
岩国空港＝羽田空港	106,131	2%
岡山空港＝羽田空港	12,511	0%
鉄道	2,793,000	69%
全体	4,512,796	100%

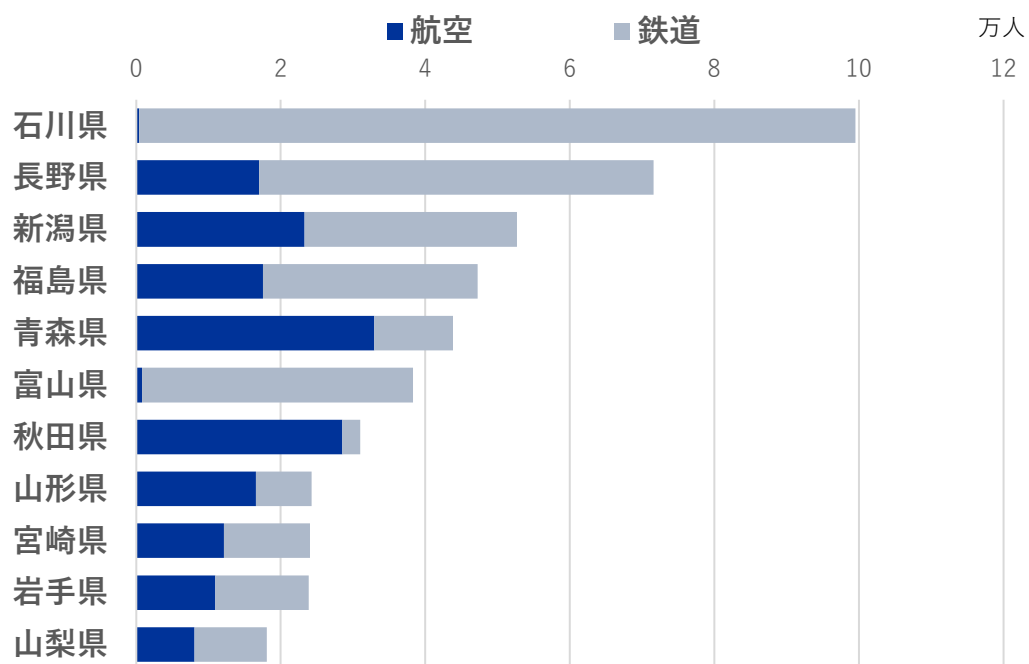
沖縄（沖縄県）

- 広島空港直行便を利用する人が 58%を占める。
- 岩国空港の利用が 18%、福岡空港の利用が 17%、岡山空港の利用が 6%を占める。

	人	%
広島空港＝那覇空港	95,592	58%
岩国空港＝那覇空港	30,195	18%
福岡空港＝那覇空港	28,706	17%
岡山空港＝那覇空港	10,634	6%
鉄道		
全体	165,127	100%

(3) 未就航先への経路

- 広島空港の未就航の方面のうち、鉄道の所要時間が5時間以上の県との旅客数を整理した。
- 抽出された県は東北、北陸方面となる。九州地方については、宮崎県のみが対象となる。
- 広島県との旅客数は、石川県、長野県、新潟県の順で多く、年間5万人以上が移動している。
- 長野県、新潟県、青森県、秋田県との移動については、現状でも航空の利用客がみられる。



1.3 国際旅客

2019年度の国際航空旅客動態調査を用いて、広島空港利用者の分布、背後圏（中四国）発着旅客の経路について集計を行った。バンコク路線は当時就航していなかったため、未就航先とする。

広島県内のゾーニングは、国内旅客の集計時と同様とする。

1.3.1 広島空港利用者の分布

(1) 日本人と外国人の比率

- 香港、大連・北京を除くすべての路線において、日本人の割合が大きい。特に香港路線は外国人が90%を超えており、他の路線と比べて割合の差が大きい。

表 1.3.1 国際線 路線別日本人・外国人の比率

	全路線	台北	ソウル	シンガポール	香港	大連・北京	上海
日本人	52%	69%	62%	60%	7%	48%	57%
外国人	48%	31%	38%	40%	93%	52%	43%

(2) 日本人旅客の現住所

- すべての路線で広島県居住者が80%以上を占める。広島県以外では岡山県、島根県の利用がみられる。
- 台北路線、シンガポール路線は、他の路線に比べて周辺県の居住者の広がりが大きい。

表 1.3.2 国際線 路線別日本人旅客の現住所

		全路線	台北	ソウル	シンガポール	香港	大連・北京	上海
広島県	広島	43%	42%	57%	38%	88%	18%	37%
	宮島	5%	5%	6%	5%	12%		5%
	呉	6%	2%	14%	2%		4%	8%
	芸北	1%						3%
	東広島	7%	13%	1%	4%		6%	5%
	尾三	7%	3%	10%	1%		8%	18%
	福山	16%	12%	4%	27%		46%	18%
	備北	1%	3%		2%			
	合計	86%	81%	91%	80%	100%	81%	95%
鳥取県		0%	1%					
島根県		3%	7%	2%	1%			
岡山県		6%	10%	5%	11%			
山口県		1%	1%	1%	2%			1%
徳島県		0%		1%	1%			
香川県		0%			1%			
愛媛県		3%			3%		19%	3%
高知県		0%			1%			
広島県以外	合計	14%	19%	9%	20%		19%	5%

(3) 外国人旅客の最後訪問地

- すべての路線において、約 100%の外国人が最後に広島県を訪れている。
- 広島県以外では、岡山県、島根県（米子市）を訪れている。

表 1.3.3 国際線 外国人旅客の最後訪問地

	全路線	台北	ソウル	シンガポール	香港	大連・北京	上海
広島	99%	97%	100%	100%	99%	100%	100%
岡山	0%	0%	0%	0%	1%	0%	0%
米子	1%	3%	0%	0%	0%	0%	0%
その他	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

1.3.2 利用経路・潜在需要

(1) 利用経路

① 広島県民

- 広島空港の就航方面における広島県民の広島空港の利用率は 56%である。福岡空港が 29%で 2 番目に多い。
- 広島空港の割合は路線によって差がある。ソウル路線、北京・大連路線は福岡空港の利用が 44%で高い。香港路線は羽田空港の利用が 38%で高い。

表 1.3.4 国際線 路線別広島県民の出国空港

	全路線	台北	ソウル	シンガポール	香港	北京・大連	上海
広島空港	55%	64%	44%	54%	28%	49%	69%
福岡空港	29%	16%	44%	32%	19%	43%	22%
羽田空港	5%			13%	38%	9%	4%
岡山空港	4%	6%	8%		5%		
関西空港	3%	6%			9%		3%
成田空港	2%	7%					
高松空港	1%	0%	2%				1%
北九州空港	0%	1%	1%				
米子空港	0%		1%				
長崎空港	0%						1%
佐賀空港	0%						1%

② 最後訪問地が広島の外国人

- 広島空港の就航方面における広島を最後訪問地とする外国人の広島空港の利用率は 78%である。関西空港が 9%で 2 番目に多い。

表 1.3.5 国際線 路線別最後に広島を訪問した外国人の出国空港

	全路線	台北	ソウル	シンガポール	香港	北京・大連	上海
広島空港	78%	62%	76%	61%	89%	77%	99%
関西空港	9%	19%	21%			23%	
岡山空港	6%	19%			6%		1%
成田空港	4%			39%			
福岡空港	1%				5%		
北九州空港	0%		3%				
米子空港	0%				0%		

(2) 潜在需要

① 広島県民の渡航先

- 台北、ソウル、上海、バンコク、釜山の順に多く、広島空港直行便の就航先へ渡航する人が多い。

表 1.3.6 広島県民の海外渡航先

	人	%
台北	37,437	16%
仁川	32,611	14%
上海	21,931	9%
バンコク	21,689	9%
釜山	15,181	6%
シンガポール	15,012	6%
大連	10,575	4%
マニラ	10,229	4%
シドニー	9,081	4%
香港	7,753	3%
フランクフルト	7,473	3%
ドンムアン	7,116	3%
ホーチミン	5,904	2%
クアラルンプール	4,327	2%
ウィーン	3,736	2%
無錫	3,520	1%
ハノイ	3,442	1%
セブ	2,984	1%
ミュンヘン	2,967	1%
ヘルシンキ	2,577	1%
成都	1,959	1%
金浦	1,714	1%
青島	1,535	1%
グアム	1,486	1%
チェンナイ	1,366	1%
高雄	1,046	0%
北京	998	0%
福州	902	0%
煙台	741	0%
杭州	532	0%
済州	519	0%
深圳	512	0%
南京	278	0%
広州	223	0%
デリイ	98	0%
合計	239,454	100%

② 外国人の国籍

- オーストラリアが最も多く、次いでイギリス、中国、台湾、フランスの順に多い。
- 広島県民の渡航先は東アジアが多い一方で、広島県を訪れた外国人の国籍はオセアニア州、欧州が多い。

表 1.3.7 広島県訪問外国人の国籍

	人	%
オーストラリア	108,483	16%
イギリス	65,738	9%
中国	63,457	9%
台湾	53,719	8%
フランス	47,523	7%
イタリア	46,616	7%
ドイツ	40,526	6%
韓国	32,460	5%
スペイン	29,230	4%
香港	25,607	4%
ニュージーランド	17,204	2%
インド	15,348	2%
フィリピン	14,456	2%
タイ	13,875	2%
イスラエル	13,214	2%
シンガポール	13,089	2%
マレーシア	12,301	2%
オランダ	10,811	2%
ノルウェー	9,757	1%
オーストリア	7,687	1%
スウェーデン	7,667	1%
ポーランド	5,837	1%
インドネシア	5,143	1%
スイス	4,965	1%
ポルトガル	4,833	1%
ベトナム	4,743	1%
ベルギー	4,659	1%
南アフリカ	3,049	0%
アイルランド	2,374	0%
ミャンマー	2,149	0%
フィンランド	2,142	0%
ロシア	1,757	0%
デンマーク	1,634	0%
ギリシャ	1,429	0%
スロバキア	1,235	0%
ルクセンブルク	1,194	0%
トルコ	871	0%
チェコ	295	0%
バングラデシュ	74	0%
合計	697,151	100%

2 調査の実施

2.1 広島県居住者アンケート

2.1.1 調査概要

広島県居住者を対象とし、国内外への移動における交通手段や空港の選択状況等を把握する。

表 2.1.1 広島県居住者アンケート 調査概要

調査対象	インターネットリサーチ会社にモニター登録している広島県居住者
調査方法	インターネット調査
調査サンプル数	598 件、うち海外渡航経験を有するサンプル 300 件
回収結果	➤ 広島 293 票 ➤ 宮島 30 票 ➤ 呉 46 票 ➤ 芸北 8 票 ➤ 東広島 52 票 ➤ 尾三 44 票 ➤ 福山 109 票 ➤ 備北 16 票

回収した票の内訳は、以下の通りである。

表 2.1.2 広島県居住者アンケート 回収票の内訳

	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	合計
回答数	94	108	145	128	123	598
広島	48	56	73	63	53	293
宮島	4	4	8	7	7	30
呉	7	7	10	10	12	46
芸北			2	2	4	8
東広島	11	9	12	10	10	52
尾三	6	8	10	10	10	44
福山	17	21	26	22	23	109
備北	1	3	4	4	4	16

	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	合計
	100%	100%	100%	100%	100%	100%
広島	51%	52%	50%	49%	43%	49%
宮島	4%	4%	6%	5%	6%	5%
呉	7%	6%	7%	8%	10%	8%
芸北			1%	2%	3%	1%
東広島	12%	8%	8%	8%	8%	9%
尾三	6%	7%	7%	8%	8%	7%
福山	18%	19%	18%	17%	19%	18%
備北	1%	3%	3%	3%	3%	3%

	男性	女性	合計
回答数	299	299	598
広島	145	148	293
宮島	15	15	30
呉	24	22	46
芸北	4	4	8
東広島	26	26	52
尾三	22	22	44
福山	55	54	109
備北	8	8	16

	男性	女性	合計
	100%	100%	100%
広島	48%	49%	49%
宮島	5%	5%	5%
呉	8%	7%	8%
芸北	1%	1%	1%
東広島	9%	9%	9%
尾三	7%	7%	7%
福山	18%	18%	18%
備北	3%	3%	3%

2.1.2 調査内容

表 2.1.3 広島県居住者アンケート 調査内容

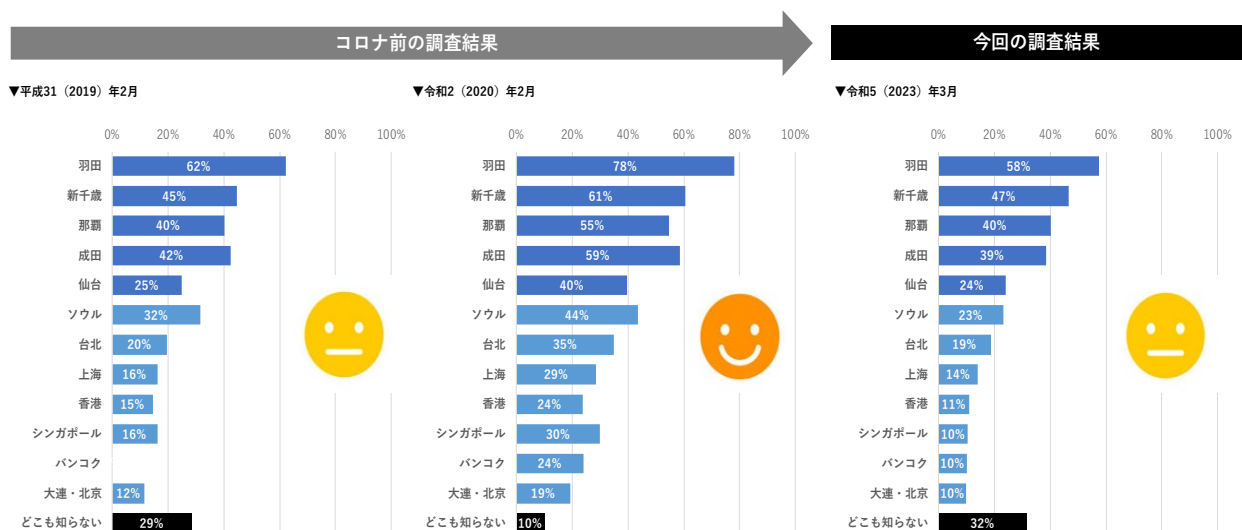
(1) 広島空港への直行便の認知状況
(2) 就航先への訪問経験
・ 旅行目的
・ 訪問回数と利用経路
・ 広島空港の直行便を利用しなかった理由
(3) 広島空港へのアクセス手段
(4) 新規路線候補地への訪問経験
・ 利用経路
・ 広島空港から直行便が運航した際の利用意向
(5) 海外旅行について
・ 羽田空港、成田空港での乗り継ぎ利用の有無（海外渡航経験者）
・ 旅行目的（海外渡航経験者）
・ 訪問回数と利用経路（海外渡航経験者）
・ 広島空港の直行便を利用しなかった理由（海外渡航経験者）
・ 今後の海外旅行の意向
(6) 広島県居住者の旅行スタイルについて
・ 旅行に行くきっかけ（国内旅行/海外旅行）
・ 旅行の計画時期（国内旅行/海外旅行）
・ 旅行形態で多いもの（国内旅行/海外旅行）
・ 航空券の入手方法（国内旅行/海外旅行）
(7) 過去に出した広告の宣伝効果

2.1.3 調査結果

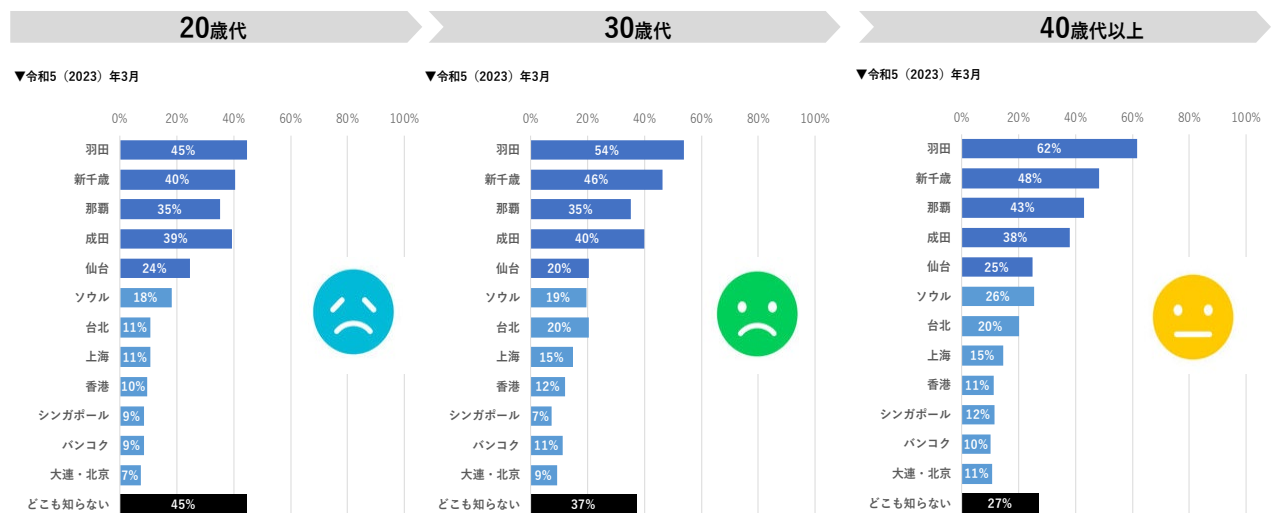
(1) 広島空港への直行便の認知状況

広島空港に就航している次の地域・国のうち、ご存じの路線を選択してください。（M A）

- コロナ前に比べて全体的に低下している。「どこも知らない」の回答は前回の10%から32%に増加。
- 国内線で最も認知されている路線は羽田路線の約58%であり、最も認知度が低い路線は仙台の約24%である。
- 国際線で最も認知されている路線はソウル路線の約23%であるが、それ以外の路線は全て20%を下回っている。
- 広島県居住者の約32%は広島空港の定期路線について全く知らない。
- 年代別にみると、20歳代、30歳代の認知度が低い。コロナ禍で旅行や航空を利用する機会が限定されていたことも影響していると考えられる。



▼今回調査結果（年代別認知度）



(2) 就航先への訪問経験

・旅行目的

下記の地域へ「行ったことがある」とお答えいただいた方にお聞きします。過去5年間に下記の地域へどのような目的で行きましたか。最も多い目的を一つ選んでください。（S A）

- すべての地域において、観光・レジャー目的が最も多く、約60～83%を占める。
- 新潟県、東京都は比較的に仕事目的が多く、約20%を占める。

		北海道		宮城県		新潟県		石川県	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体		64	100.0	21	100.0	14	100.0	35	100.0
1	仕事	8	12.5	4	19.0	3	21.4	3	8.6
2	観光・レジャー	50	78.1	13	61.9	11	78.6	29	82.9
3	私用・帰省・冠婚葬祭	4	6.3	4	19.0			1	2.9
4	その他	2	3.1					2	5.7
		東京都		宮崎県		沖縄県			
		回答数	%	回答数	%	回答数	%		
全体		175	100.0	27	100.0	62	100.0		
1	仕事	35	20.0			9	14.5		
2	観光・レジャー	112	64.0	22	81.5	49	79.0		
3	私用・帰省・冠婚葬祭	23	13.1	3	11.1	1	1.6		
4	その他	5	2.9	2	7.4	3	4.8		

・訪問回数と利用経路

下記の地域へ「行ったことがある」とお答えいただいた方にお聞きします。過去5年間に下記の各地域へ何回行ったことがありますか。（S A）

- 東京都以外のすべての地域において、1回のみの訪問が最も多い。
- 東京都は2～5回訪問した人が約51%であり、6回以上訪問した人が約17%を占める。

		北海道		宮城県		新潟県		石川県	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体		64	100.0	21	100.0	14	100.0	35	100.0
1	1回	37	57.8	15	71.4	13	92.9	31	88.6
2	2～5回	25	39.1	5	23.8	1	7.1	4	11.4
3	6～10回	2	3.1	1	4.8				
4	11回以上								
		東京都		宮崎県		沖縄県			
		回答数	%	回答数	%	回答数	%		
全体		175	100.0	27	100.0	62	100.0		
1	1回	56	32.0	22	81.5	44	71.0		
2	2～5回	90	51.4	5	18.5	17	27.4		
3	6～10回	13	7.4						
4	11回以上	16	9.1			1	1.6		

下記の地域へ「行ったことがある」とお答えいただいた方にお聞きます。その際に利用した目的地までの交通手段や利用空港はどれですか。最もよく利用するものを選択してください。
(S A)

- 北海道、沖縄県へは、広島空港からの直行便を利用した人が約 76～78%を占める。
- 宮城県、東京都へは、新幹線との競合関係にある。宮城県との移動では新幹線を 28.6%利用している。東京都については 56%である。

北海道

		回答数	%
全体		64	100.0
1	広島空港＝新千歳空港	50	78.1
2	広島空港＝羽田空港＝新千歳空港	3	4.7
3	岩国空港＝羽田空港＝新千歳空港	1	1.6
4	福岡空港＝新千歳空港	2	3.1
5	伊丹空港＝新千歳空港		
6	神戸空港＝新千歳空港		
7	鉄道		
8	その他	8	12.5

宮城県

		回答数	%
全体		21	100.0
1	広島空港＝仙台空港	11	52.4
2	広島空港＝羽田空港＋新幹線	1	4.8
3	伊丹空港＝仙台空港		
4	関西空港＝仙台空港		
5	神戸空港＝仙台空港		
6	福岡空港＝仙台空港		
7	新幹線	6	28.6
8	その他	3	14.3

東京都

		回答数	%
全体		175	100.0
1	広島空港＝羽田空港	55	31.4
2	広島空港＝成田空港	8	4.6
3	岩国空港＝羽田空港	2	1.1
4	岡山空港＝羽田空港	1	0.6
5	新幹線	98	56.0
6	高速バス	6	3.4
7	乗用車	1	0.6
8	その他	4	2.3

沖縄県

		回答数	%
全体		62	100.0
1	広島空港＝那覇空港	47	75.8
2	岩国空港＝那覇空港	5	8.1
3	福岡空港＝那覇空港	5	8.1
4	岡山空港＝那覇空港	3	4.8
5	神戸空港＝那覇空港		
6	その他	2	3.2

・ 広島空港の直行便を利用しなかった理由

「広島空港からの直行便」を選択しなかった理由は何ですか？以下の選択肢から当てはまると思う順に3つまでお選びください。（S A）

- 北海道、宮城県、沖縄県へは、直行便のダイヤや便数が少ないことが理由として多く挙げられる。
- 東京都へは、新幹線の方が便利であり、乗り慣れているという意見が全体で約 20%前後を占める。
- すべての就航先において、出発地から広島空港が遠いという意見が比較的多い。

北海道

		1 番 目		2 番 目		3 番 目		合 計	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体		14	100.0	14	100.0	14	100.0	42	100.0
1	広島空港直行便のダイヤが良くないから	3	21.4	2	14.3	1	7.1	6	14.3
2	広島空港直行便の便数が少ないから	2	14.3	1	7.1			3	7.1
3	料金が安いから	2	14.3			1	7.1	3	7.1
4	満席で予約が取れなかったから			1	7.1			1	2.4
5	直行便のことを知らなかったから								
6	他の航空路線に乗り慣れているから			1	7.1	1	7.1	2	4.8
7	利用したい航空会社が就航していないから			1	7.1			1	2.4
8	出発地から広島空港が遠いから	2	14.3			2	14.3	4	9.5
9	広島空港へのアクセスのことをよく知らないから								
10	広島空港までのアクセスの料金が安いから								
11	広島空港までの交通手段の定時性に不安があるため								
12	目的地が新千歳空港から遠いから			1	7.1			1	2.4
13	（会社やツアーなどで）行程を決められていたため					1	7.1	1	2.4
14	広島空港発着商品が見当たらなかったため					1	7.1	1	2.4
15	他の都市も訪問したいから	3	21.4	1	7.1			4	9.5
16	その他	2	14.3	1	7.1			3	7.1
17	特になし			5	35.7	7	50.0	12	28.6

宮城県

		1番目		2番目		3番目		合計	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体		10	100.0	10	100.0	10	100.0	30	100.0
1	広島空港直行便のダイヤが良くないから	2	20.0					2	6.7
2	広島空港直行便の便数が少ないから	1	10.0	3	30.0			4	13.3
3	料金が安いから	1	10.0					1	3.3
4	満席で予約が取れなかったから								
5	直行便のことを知らなかったから								
6	航空会社（I B E X）のことをよく知らないから								
7	他の航空路線に乗り慣れているから								
8	利用したい航空会社が就航していないから								
9	出発地から広島空港が遠いから	1	10.0	1	10.0	3	30.0	5	16.7
10	広島空港へのアクセスのことをよく知らないから								
11	広島空港までのアクセスの料金が安いから								
12	広島空港までの交通手段の定時性に不安があるため								
13	飛行機と他の乗り物の乗り換えが面倒だから			1	10.0			1	3.3
14	（会社やツアーなどで）行程を決められていたため	2	20.0					2	6.7
15	広島空港発着商品が見当たらなかったため								
16	他の都市も訪問したいから	1	10.0	2	20.0			3	10.0
17	航空機は予約の変更手続きが面倒だから					1	10.0	1	3.3
18	航空機の乗り方がよく分からないから					1	10.0	1	3.3
19	その他	2	20.0			1	10.0	3	10.0
20	特にない			3	30.0	4	40.0	7	23.3

東京都

		1番目		2番目		3番目		合計	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体		112	100.0	112	100.0	112	100.0	336	100.0
1	新幹線の方が便数が多く便利だから	51	45.5	17	15.2	8	7.1	76	22.6
2	新幹線に乗り慣れているから	17	15.2	33	29.5	10	8.9	60	17.9
3	新幹線内で仕事をしたいから			1	0.9	5	4.5	6	1.8
4	航空機は予約の変更手続きが面倒だから	1	0.9	6	5.4	8	7.1	15	4.5
5	航空機の乗り方がよく分からないから			7	6.3	3	2.7	10	3.0
6	広島空港直行便のダイヤが良くないから	3	2.7	4	3.6	5	4.5	12	3.6
7	広島空港直行便の便数が少ないから	1	0.9	2	1.8	3	2.7	6	1.8
8	料金が安いから	11	9.8	4	3.6	11	9.8	26	7.7
9	満席で予約が取れなかったから								
10	直行便のことを知らなかったから	1	0.9			1	0.9	2	0.6
11	他の航空路線に乗り慣れているから					1	0.9	1	0.3
12	利用したい航空会社が就航していないから								
13	出発地から広島空港が遠いから	17	15.2	12	10.7	13	11.6	42	12.5
14	広島空港へのアクセスのことをよく知らないから					3	2.7	3	0.9
15	広島空港までのアクセスの料金が安いから			1	0.9	5	4.5	6	1.8
16	広島空港までの交通手段の定時性に不安があるため	1	0.9	5	4.5	7	6.3	13	3.9
17	目的地が羽田空港（成田空港）から遠いから	2	1.8	3	2.7	5	4.5	10	3.0
18	飛行機と他の乗り物の乗り換えが面倒だから	1	0.9	3	2.7	1	0.9	5	1.5
19	（会社やツアーなどで）行程を決められていたため			2	1.8			2	0.6
20	広島空港発着商品が見当たらなかったため								
21	他の都市も訪問したいから	2	1.8	1	0.9	2	1.8	5	1.5
22	その他	4	3.6	1	0.9	3	2.7	8	2.4
23	特にない			10	8.9	18	16.1	28	8.3

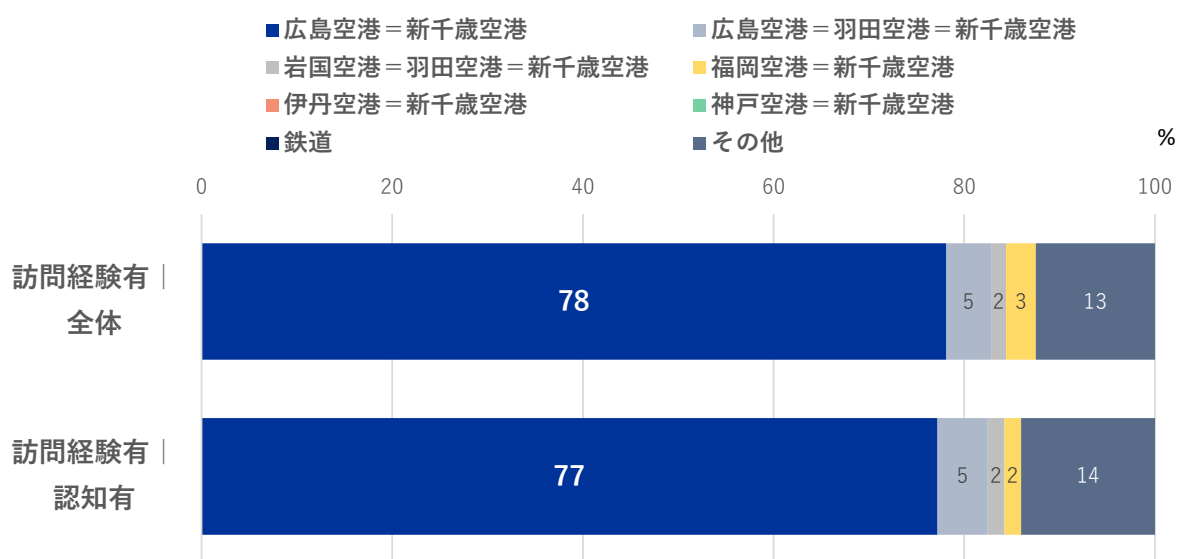
沖縄県

		1 番 目		2 番 目		3 番 目		合 計	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体		15	100.0	15	100.0	15	100.0	45	100.0
1	広島空港直行便のダイヤが良くないから	4	26.7	1	6.7			5	11.1
2	広島空港直行便の便数が少ないから			1	6.7	1	6.7	2	4.4
3	料金が安いから	1	6.7	2	13.3			3	6.7
4	満席で予約が取れなかったから					1	6.7	1	2.2
5	直行便のことを知らなかったから	1	6.7					1	2.2
6	他の航空路線に乗り慣れているから								
7	利用したい航空会社が就航していないから								
8	出発地から広島空港が遠いから	2	13.3	2	13.3			4	8.9
9	広島空港へのアクセスのことをよく知らないから					2	13.3	2	4.4
10	広島空港までのアクセスの料金が安いから								
11	広島空港までの交通手段の定時性に不安があるため	1	6.7	2	13.3			3	6.7
12	(会社やツアーなどで) 行程を決められていたため	2	13.3			1	6.7	3	6.7
13	広島空港発着商品が見当たらなかったため								
14	他の都市も訪問したいから	2	13.3			1	6.7	3	6.7
15	その他	2	13.3			1	6.7	3	6.7
16	特になし			7	46.7	8	53.3	15	33.3

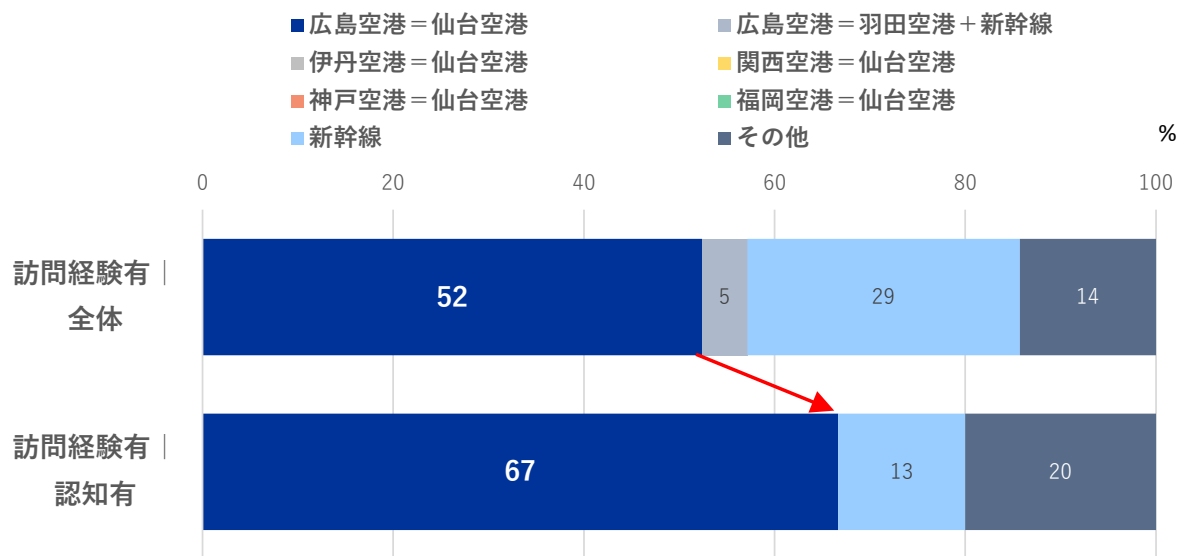
■直行便の認知の差による就航先訪問経験者の利用経路の比較

- 北海道へは、直行便の認知による利用実態に大きな差がみられず、知っているかどうかにかかわらず約 78%前後の人が直行便を利用している。
- 宮城県、東京都、沖縄県へは、直行便を知っている人に限定すると、利用率が増加している。
- 特に宮城県においては、新幹線を利用している人が広島空港からの直行便に転換していると考えられる。

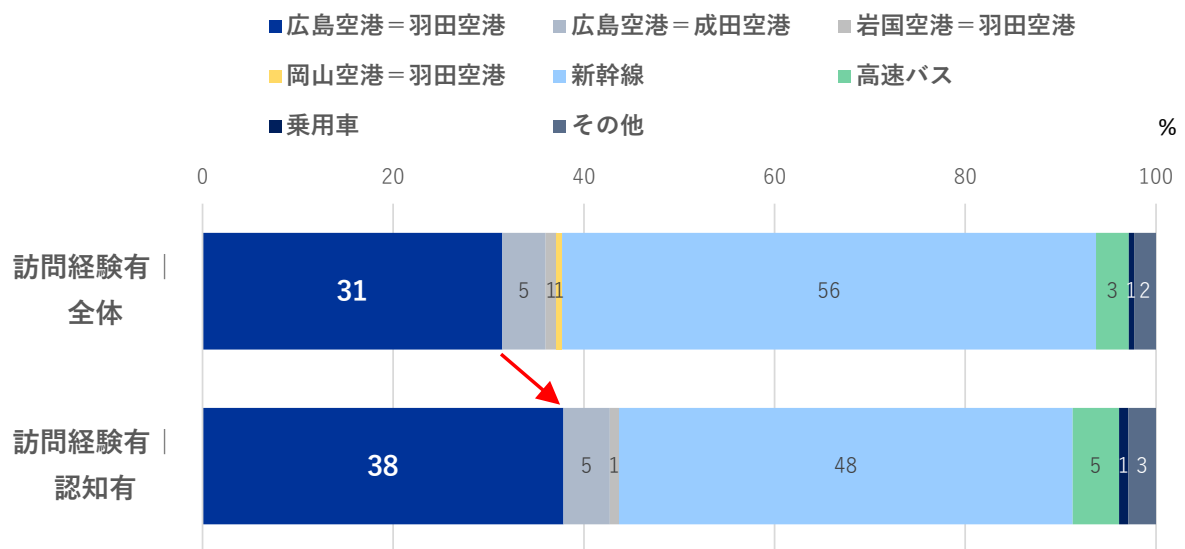
北海道



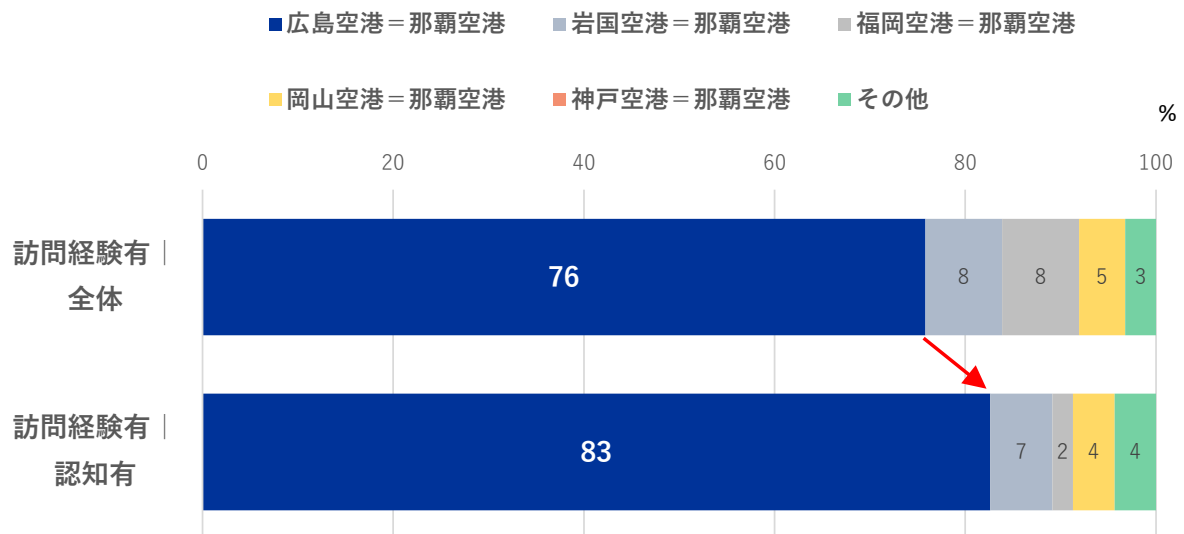
宮城県



東京都



沖縄県



【東京都訪問経験者への質問】

「広島空港＝羽田空港」を選択した方にお聞きします。広島空港を利用して東京都へ行った際、最もよく利用した航空会社を選択してください。（S A）

➤ 全日空（ANA）をよく利用する人が約 66%を占める。

		回答数	%
全体		55	100.0
1	全日空（ANA）	36	65.5
2	日本航空（JAL）	12	21.8
3	わからない・覚えていない	7	12.7

「東京都」に行かれた方で、「広島空港＝羽田空港」を選択した方にお聞きします。「成田路線」を選択しなかった理由は何ですか？以下の選択肢から当てはまると思う順に3つまでお選びください。（S A）

➤ 目的地が成田空港から遠かった人が約27%を占める。

		1番目		2番目		3番目		合計	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体		55	100.0	55	100.0	55	100.0	165	100.0
1	成田路線を知らなかったから	6	10.9	3	5.5			9	5.5
2	目的地が成田空港から遠いから	36	65.5	6	10.9	2	3.6	44	26.7
3	会社などで乗る便が決まっていたから	3	5.5	4	7.3	2	3.6	9	5.5
4	ダイヤが良くないから	5	9.1	8	14.5	8	14.5	21	12.7
5	悪天候等の理由で運航状況に不安があるから	1	1.8	2	3.6			3	1.8
6	LCCには乗らないと決めているから	3	5.5	4	7.3	2	3.6	9	5.5
7	その他	1	1.8					1	0.6
8	特になし			28	50.9	41	74.5	69	41.8

「東京都」に行かれた方にお聞きします。「航空機」を選択した理由は何ですか？以下の選択肢から当てはまると思う順に3つまでお選びください。（S A）

➤ 航空機を選択した理由として、拘束時間が短いという意見が最も多く、約24%を占める。

		1番目		2番目		3番目		合計	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体		66	100.0	66	100.0	66	100.0	198	100.0
1	拘束時間が短いから	38	57.6	7	10.6	3	4.5	48	24.2
2	マイルを貯めたいから	3	4.5	5	7.6	1	1.5	9	4.5
3	目的地が羽田空港（成田空港）から近いから	11	16.7	10	15.2	7	10.6	28	14.1
4	予約時期によっては安いから	10	15.2	10	15.2	9	13.6	29	14.6
5	会社で飛行機利用が推奨されているから	2	3.0	4	6.1	3	4.5	9	4.5
6	飛行機が好きだから	1	1.5	5	7.6	8	12.1	14	7.1
7	空港が好きだから	1	1.5	2	3.0	4	6.1	7	3.5
8	その他								
9	特になし			23	34.8	31	47.0	54	27.3

(3) 広島空港へのアクセス手段

利用経路で「広島空港」を選択した方にお聞きします。広島空港に行くまでに利用した交通機関のうち、最後に（空港直近）に利用した交通機関で主要なものを1つお答えください。（S A）

- 乗用車利用が約 60%を占める。
- 空港リムジンバスの利用は約 26%を占める。

		回答数	%
全体		118	100.0
1	乗用車（駐車場の利用あり）	60	50.8
2	乗用車（駐車場の利用なし）	11	9.3
3	観光バス・貸切バス	6	5.1
4	空港リムジンバス	31	26.3
5	J R + 路線バス（白市乗り換え）	7	5.9
6	レンタカー	2	1.7
7	タクシー・ハイヤー	1	0.8
8	カーシェアリング		
9	その他		

全員にお聞きします。これから旅行に行く時に広島空港を利用するとします。広島空港に行くまでに利用する交通機関のうち、最後に（空港直近）に利用する交通機関で主要なものを1つお答えください。（S A）

- 今後の交通機関の利用意向については、過去の利用実態と大きな差はみられない。

		回答数	%
全体		598	100.0
1	乗用車（駐車場の利用あり）	318	53.2
2	乗用車（駐車場の利用なし）	17	2.8
3	観光バス・貸切バス	26	4.3
4	空港リムジンバス	162	27.1
5	J R + 路線バス（白市乗り換え）	46	7.7
6	レンタカー	4	0.7
7	タクシー・ハイヤー	12	2.0
8	カーシェアリング	6	1.0
9	その他	7	1.2

(4) 新規路線候補地への訪問経験

・利用経路

下記の地域へ「行ったことがある」とお答えいただいた方にお聞きします。その際に利用した目的地までの交通手段や利用空港はどれですか。最もよく利用するものを選択してください。
(S A)

- 新潟県へは、鉄道が約 36%、航空機が約 43%を占める。
- 石川県、宮崎県へは、鉄道が約 44～60%、乗用車が 20～37%を占めており、航空機の割合が低い。

新潟県

		回答数	%
全体		14	100.0
1	鉄道	5	35.7
2	広島空港＝羽田空港＋新幹線	3	21.4
3	伊丹空港＝新潟空港	3	21.4
4	神戸空港＝新潟空港		
5	福岡空港＝新潟空港		
6	乗用車	1	7.1
7	その他	2	14.3

石川県

		回答数	%
全体		35	100.0
1	鉄道	21	60.0
2	福岡空港＝小松空港		
3	広島空港＝羽田空港＝小松空港	1	2.9
4	高速バス	4	11.4
5	乗用車	7	20.0
6	その他	2	5.7

宮崎県

		回答数	%
全体		27	100.0
1	鉄道	12	44.4
2	福岡空港＝宮崎空港	2	7.4
3	伊丹空港＝宮崎空港		
4	関西空港＝宮崎空港		
5	乗用車	10	37.0
6	その他	3	11.1

・広島空港から直行便が運航した際の利用意向

下記の地域へ「行ったことがある」とお答えいただいた方にお聞きします。広島空港から直行便（1往復／日）が運航したら利用したいですか。（S A）

- ▶ 新潟県、宮崎県への直行便を利用したい人は約 63～64%を占める。
- ▶ 石川県への直行便を利用したい人は約 34%に留まっている。

新潟県

		回答数	%
全体		14	100.0
1	広島空港を利用したい	9	64.3
2	広島空港を利用したくない	5	35.7

石川県

		回答数	%
全体		35	100.0
1	広島空港を利用したい	12	34.3
2	広島空港を利用したくない	23	65.7

宮崎県

		回答数	%
全体		27	100.0
1	広島空港を利用したい	17	63.0
2	広島空港を利用したくない	10	37.0

(5) 最近 5 年間の海外旅行

【海外渡航経験者への質問】

・羽田空港、成田空港での乗り継ぎ利用の有無

過去 5 年間に広島空港から羽田線または成田線を利用し、乗り継いで海外へ行ったことはありますか。（MA）

➤ 羽田空港、成田空港で乗り継いだことがある人は、全体の約 12～17%を占める。

		回答数	%
全体		300	100.0
1	羽田で乗り継いだことがある	50	16.7
2	成田で乗り継いだことがある	35	11.7
3	羽田・成田で乗り継ぎ利用をしたことはない	231	77.0

・旅行目的

下記の地域へ「行ったことがある」とお答えいただいた方にお聞きします。過去 5 年間に下記の地域へどのような目的で行きましたか。最も多い目的を一つ選んでください。（SA）

➤ 大連、上海、成都是仕事目的が多いが、それ以外の地域は観光・レジャー目的が多い。

		大連		北京		上海		台北		香港	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体		2	100.0	2	100.0	4	100.0	16	100.0	4	100.0
1	仕事	2	100.0			2	50.0	1	6.3	1	25.0
2	観光・レジャー			2	100.0	1	25.0	14	87.5	2	50.0
3	私用・帰省・冠婚葬祭					1	25.0	1	6.3		
4	その他									1	25.0
		バンコク		ソウル		シンガポール		ハノイ		ホーチミンシティ	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体		9	100.0	15	100.0	11	100.0	5	100.0	2	100.0
1	仕事	2	22.2	1	6.7	2	18.2	2	40.0	1	50.0
2	観光・レジャー	7	77.8	13	86.7	9	81.8	3	60.0	1	50.0
3	私用・帰省・冠婚葬祭										
4	その他			1	6.7						
		ハワイ		成都		高雄		釜山			
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%		
全体		22	100.0	1	100.0	1	100.0	7	100.0		
1	仕事			1	100.0			1	14.3		
2	観光・レジャー	22	100.0			1	100.0	6	85.7		
3	私用・帰省・冠婚葬祭										
4	その他										

・ 訪問回数と利用経路

下記の地域へ「行ったことがある」とお答えいただいた方にお聞きます。過去5年間に下記の各地域へ何回行ったことがありますか。最も多い目的を一つ選んでください。(SA)

➤ ホーチミンシティ、成都以外のすべての地域において、1回のみの訪問が最も多い。

		大連		北京		上海		台北		香港	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体		2	100.0	2	100.0	4	100.0	16	100.0	4	100.0
1	1回	2	100.0	1	50.0	3	75.0	12	75.0	4	100.0
2	2～5回			1	50.0	1	25.0	3	18.8		
3	6～10回										
4	11回以上							1	6.3		
		バンコク		ソウル		シンガポール		ハノイ		ホーチミンシティ	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体		9	100.0	15	100.0	11	100.0	5	100.0	2	100.0
1	1回	7	77.8	9	60.0	11	100.0	2	40.0		
2	2～5回	1	11.1	6	40.0			2	40.0	2	100.0
3	6～10回	1	11.1					1	20.0		
4	11回以上										
		ハワイ		成都		高雄		釜山			
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体		22	100.0	1	100.0	1	100.0	7	100.0		
1	1回	17	77.3			1	100.0	5	71.4		
2	2～5回	5	22.7	1	100.0			2	28.6		
3	6～10回										
4	11回以上										

「大連・北京、上海、台北、香港、バンコク、ソウル、シンガポール」に行かれた方にお聞きします。その際に利用した空港で最もよく利用したのはどれですか。（S A）

- バンコクを除くすべての地域において、広島空港を利用した人が最も多い。
- バンコクへは広島空港と福岡空港がそれぞれ約 33%を占める。

		大連		北京		上海		台北	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体		2	100.0	2	100.0	4	100.0	16	100.0
1	広島空港	2	100.0	1	50.0	3	75.0	8	50.0
2	成田空港								
3	羽田空港			1	50.0			3	18.8
4	福岡空港							5	31.3
5	関西空港					1	25.0		
6	岡山空港								
7	高松空港								
8	その他								
		香港		バンコク		ソウル		シンガポール	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体		4	100.0	9	100.0	15	100.0	11	100.0
1	広島空港	2	50.0	3	33.3	8	53.3	4	36.4
2	成田空港	1	25.0	1	11.1			2	18.2
3	羽田空港							1	9.1
4	福岡空港			3	33.3	4	26.7	1	9.1
5	関西空港	1	25.0	2	22.2	2	13.3	2	18.2
6	岡山空港								
7	高松空港								
8	その他					1	6.7	1	9.1

・広島空港の直行便を利用しなかった理由

「大連・北京、上海、台北、香港、バンコク、ソウル、シンガポール」に行かれた方で、「広島空港以外」の交通手段、空港を選択した方にお聞きします。その交通手段や空港を選択した理由としてあてはまるものはどれですか。（S A）

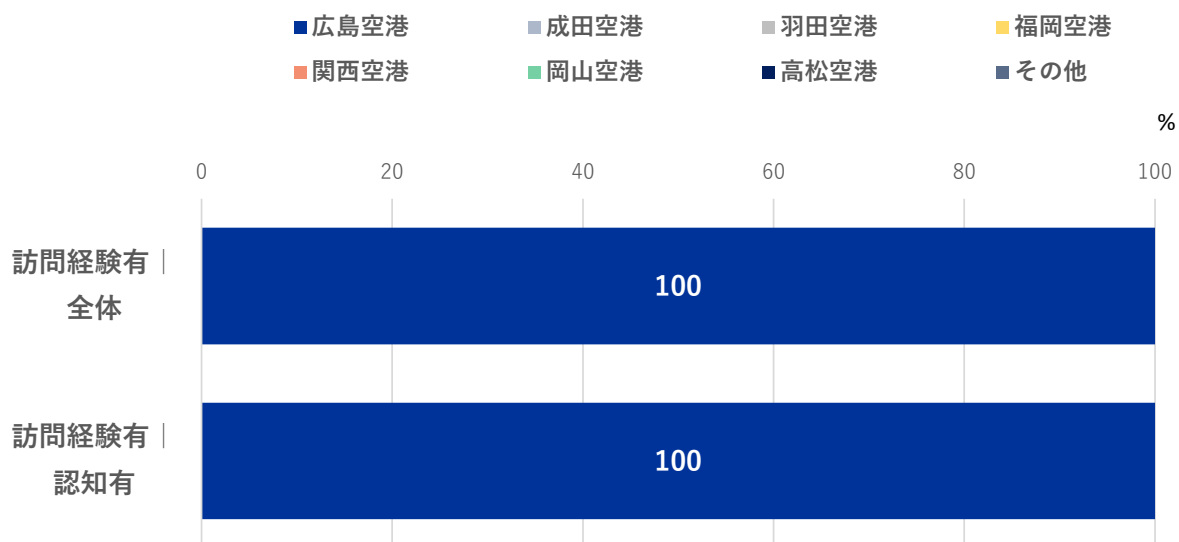
- 他空港を選んだ理由として、出発地から近いことや、広島空港の運航日とタイミングが合わなかったことが多く挙げられる。

		大連		北京		上海		台北	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体				1	100.0	1	100.0	8	100.0
1	出発地から近かったため			1	100.0	1	100.0	2	25.0
2	利用したい日に広島空港では運航がなかったため					1	100.0	2	25.0
3	時間がちょうどよかったため							2	25.0
4	値段が安かったため							3	37.5
5	広島空港までの交通手段の定時性に不安があるため								
6	乗りたい便が満席だったため								
7	（会社やツアーなどで）行程を決められていたため								
8	広島空港発着商品が見当たらなかったため								
9	利用したい航空会社が就航していないため								
10	その他								
		香港		バンコク		ソウル		シンガポール	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体		2	100.0	6	100.0	7	100.0	7	100.0
1	出発地から近かったため			1	16.7	2	28.6	2	28.6
2	利用したい日に広島空港では運航がなかったため	1	50.0	2	33.3	1	14.3	1	14.3
3	時間がちょうどよかったため	1	50.0	1	16.7			2	28.6
4	値段が安かったため			1	16.7	3	42.9		
5	広島空港までの交通手段の定時性に不安があるため							1	14.3
6	乗りたい便が満席だったため								
7	（会社やツアーなどで）行程を決められていたため							1	14.3
8	広島空港発着商品が見当たらなかったため					1	14.3		
9	利用したい航空会社が就航していないため								
10	その他			1	16.7				

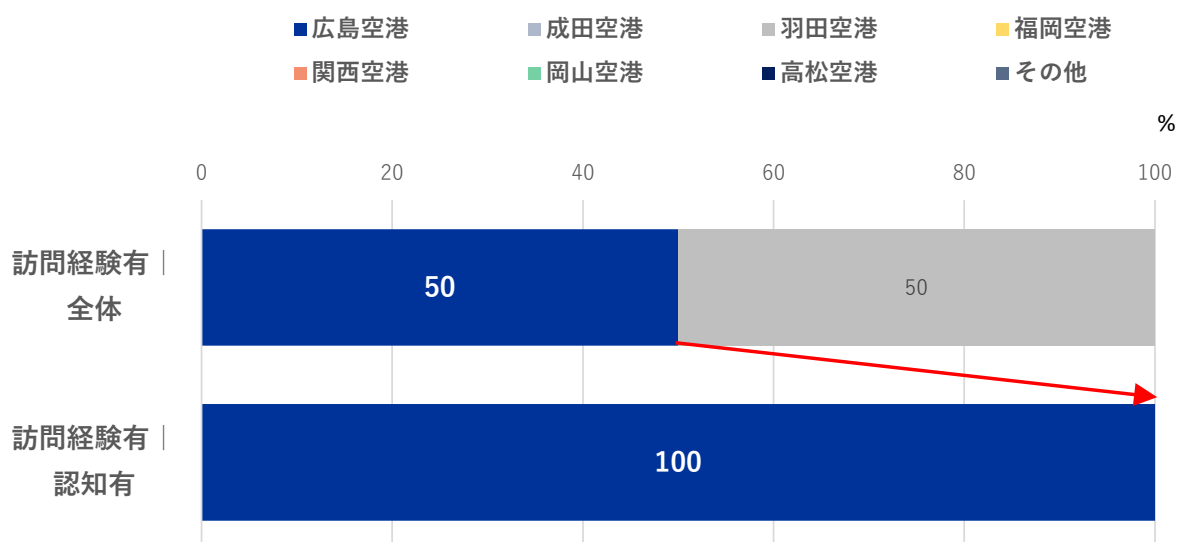
■直行便の認知の差による就航先訪問経験者の利用経路の比較

- 大連、北京、上海、香港、バンコクは訪問経験者の母数が少なかったため、少し極端な結果が出ている。
- 台北、ソウル、シンガポールへは、直行便を知っている人に限定すると、利用率が4～17%増加している。

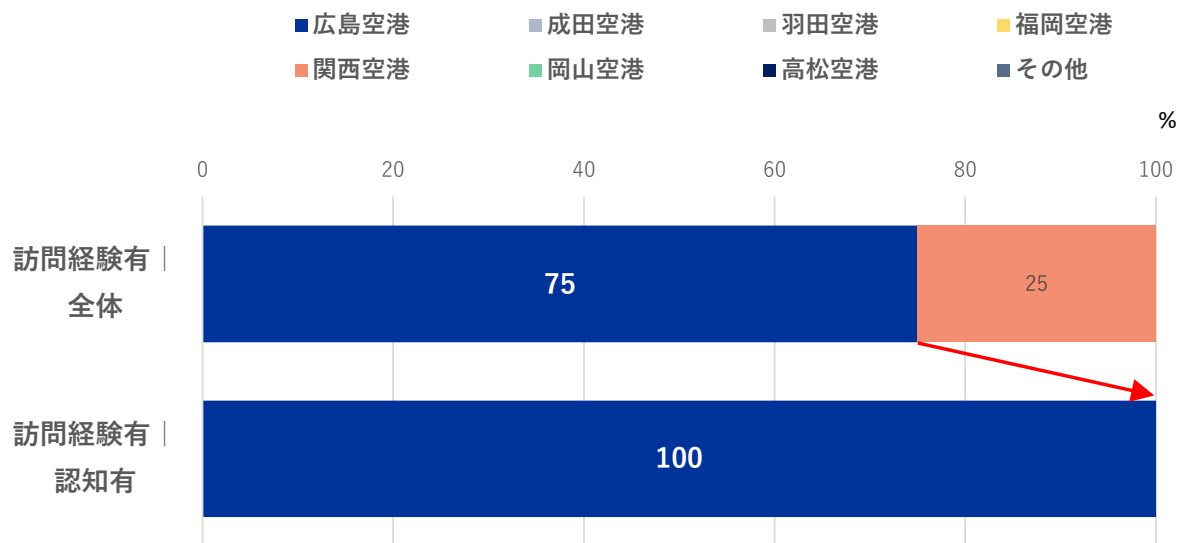
大連



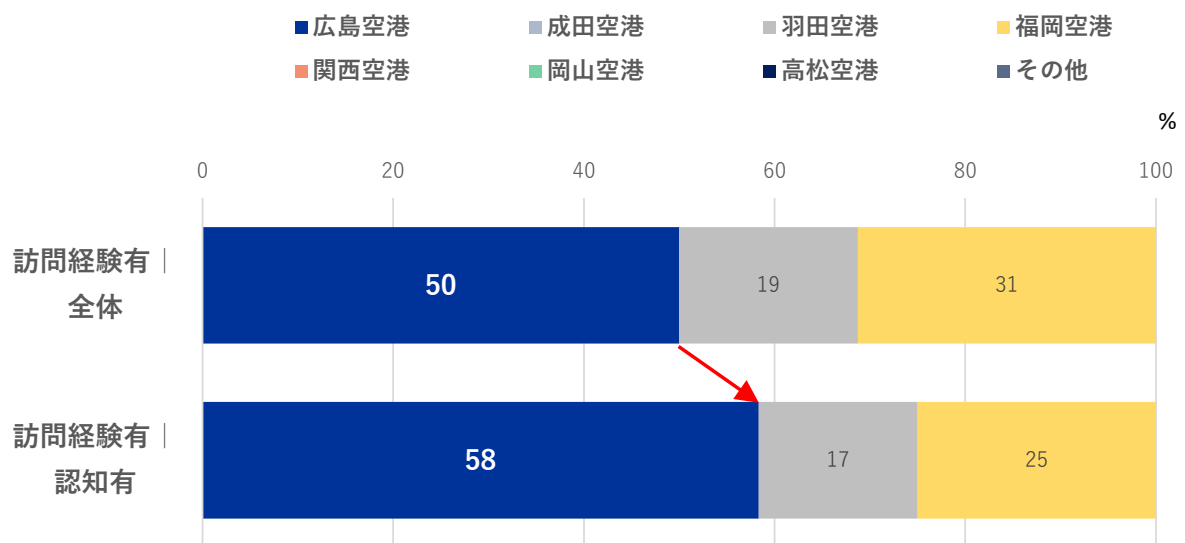
北京



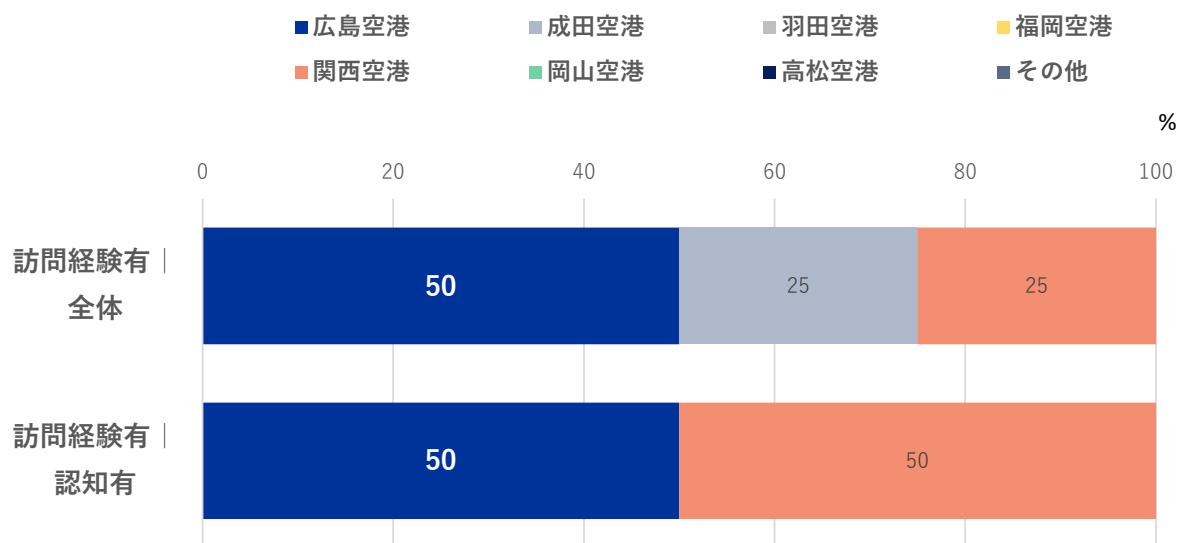
上海



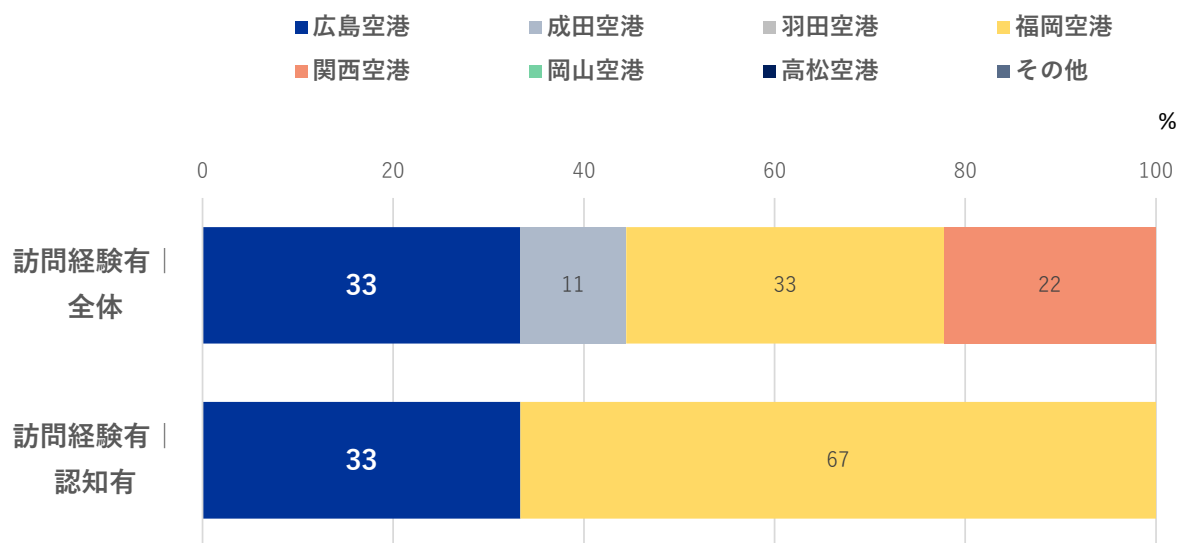
台北



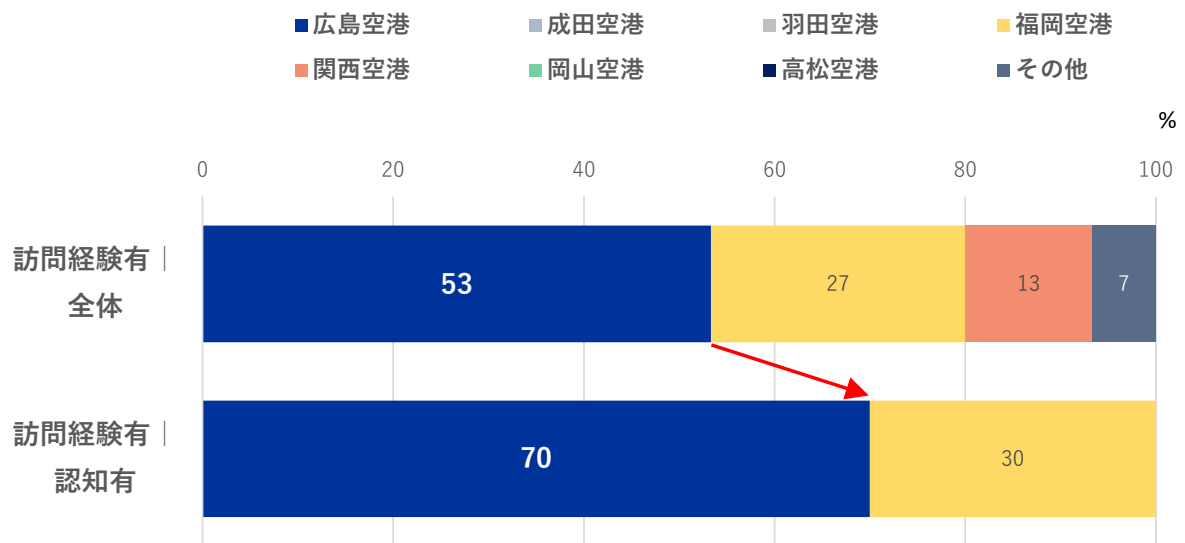
香港



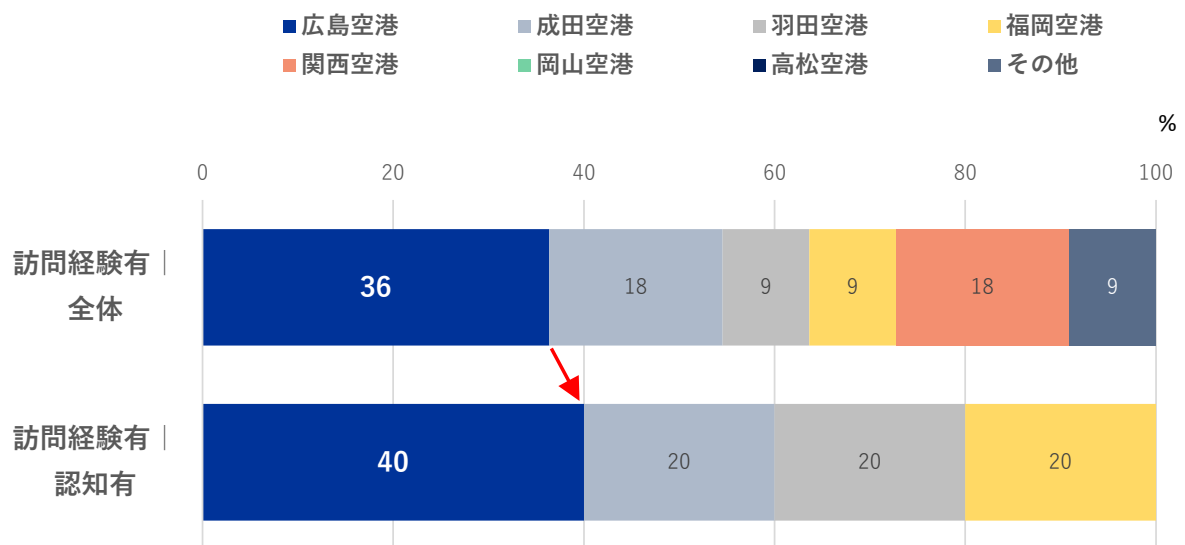
バンコク



ソウル



シンガポール



【全員への質問】

・今後の海外旅行の意向

全員にお聞きします。今後、各空港において、国際線の再開や新規路線が開設した場合、どの空港を利用したいと思いますか。（MA）

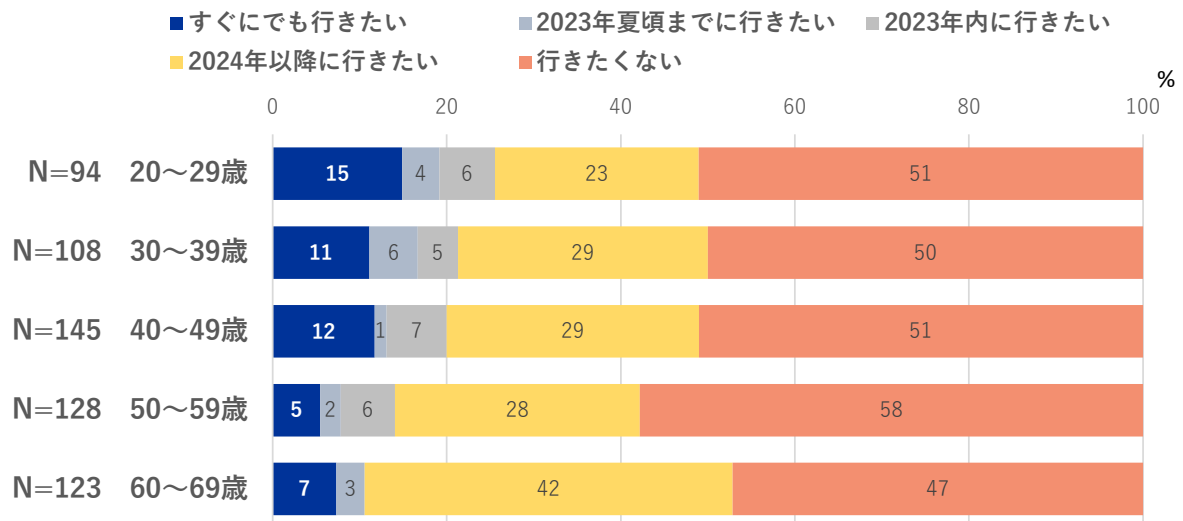
➤ すべての地域において、約 82%以上の人が広島空港の利用意向がある。

		大連		北京		上海		台北		香港	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体		598	100.0	598	100.0	598	100.0	598	100.0	598	100.0
1	広島空港	506	84.6	500	83.6	501	83.8	502	83.9	501	83.8
2	成田空港	17	2.8	26	4.3	25	4.2	21	3.5	22	3.7
3	羽田空港	29	4.8	28	4.7	32	5.4	30	5.0	27	4.5
4	福岡空港	35	5.9	33	5.5	35	5.9	40	6.7	41	6.9
5	関西空港	23	3.8	22	3.7	24	4.0	19	3.2	24	4.0
6	岡山空港	27	4.5	27	4.5	29	4.8	27	4.5	26	4.3
7	高松空港	4	0.7	8	1.3	3	0.5	4	0.7	5	0.8
8	その他	19	3.2	18	3.0	18	3.0	15	2.5	18	3.0
		バンコク		ソウル		シンガポール		ハノイ		ホーチミンシティ	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体		598	100.0	598	100.0	598	100.0	598	100.0	598	100.0
1	広島空港	495	82.8	505	84.4	505	84.4	491	82.1	490	81.9
2	成田空港	22	3.7	22	3.7	21	3.5	30	5.0	29	4.8
3	羽田空港	30	5.0	27	4.5	32	5.4	35	5.9	34	5.7
4	福岡空港	38	6.4	48	8.0	40	6.7	40	6.7	38	6.4
5	関西空港	26	4.3	22	3.7	27	4.5	29	4.8	29	4.8
6	岡山空港	29	4.8	28	4.7	28	4.7	28	4.7	28	4.7
7	高松空港	4	0.7	9	1.5	6	1.0	4	0.7	7	1.2
8	その他	17	2.8	18	3.0	16	2.7	17	2.8	17	2.8
		ハワイ		成都		高雄		釜山			
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%		
全体		598	100.0	598	100.0	598	100.0	598	100.0		
1	広島空港	499	83.4	490	81.9	496	82.9	496	82.9		
2	成田空港	44	7.4	25	4.2	20	3.3	23	3.8		
3	羽田空港	51	8.5	34	5.7	31	5.2	29	4.8		
4	福岡空港	43	7.2	35	5.9	43	7.2	42	7.0		
5	関西空港	38	6.4	25	4.2	25	4.2	24	4.0		
6	岡山空港	29	4.8	24	4.0	27	4.5	27	4.5		
7	高松空港	7	1.2	4	0.7	7	1.2	6	1.0		
8	その他	15	2.5	18	3.0	15	2.5	19	3.2		

全員にお聞きします。5月8日以降、新型コロナウイルス感染症が第5類に引き下げられるとします。今後、海外旅行に行きたいと思いますか？（S A）

- 全体で海外旅行に行きたくない人が約52%を占め、2024年以降に行きたい人が約31%を占める。
- 海外旅行に行きたくない人の割合は全ての年齢を通して概ね50%前後であるが、一方で、すぐにでも海外旅行に行きたい人は若年層ほど多い傾向にある。

		回答数	%
全体		598	100.0
1	すぐにでも行きたい	59	9.9
2	2023年夏頃までに行きたい	19	3.2
3	2023年内に行きたい	29	4.8
4	2024年以降に行きたい	183	30.6
5	行きたくない	308	51.5



(6) 広島県居住者の旅行スタイルについて

・旅行に行くきっかけ

全員にお聞きします。旅行する前に旅先として「きっかけとなるもの」を全てお選びください。
(MA)

- 国内旅行、海外旅行ともに「友人や家族との会話」が最も多く、約 63～66%を占める。
- インターネット媒体よりも、パンフレットやテレビ番組、ガイドブックなど、従来から存在する媒体をきっかけにしている人が多い。
- 従来から存在する媒体をきっかけにする人の割合は、年代ごとに変化はみられないが、インターネット媒体は、40 代以上の人よりも 20・30 代の方が参考にしている人の割合が高い。

		国内旅行		海外旅行	
		回答数	%	回答数	%
全体		598	100.0	300	100.0
1	友人や家族との会話	392	65.6	189	63.0
2	旅行会社のパンフレット・チラシ	186	31.1	100	33.3
3	テレビ番組	197	32.9	105	35.0
4	ガイドブック・旅行雑誌	131	21.9	73	24.3
5	I n s t a g r a m	41	6.9	18	6.0
6	F a c e b o o k	6	1.0	4	1.3
7	Y o u T u b e	41	6.9	18	6.0
8	T w i t t e r	20	3.3	8	2.7
9	その他	12	2.0	8	2.7

国内旅行

		20・30代		40代以上	
		回答数	%	回答数	%
全体		202	100.0	396	100.0
1	友人や家族との会話	139	68.8	253	63.9
2	旅行会社のパンフレット・チラシ	53	26.2	133	33.6
3	テレビ番組	62	30.7	135	34.1
4	ガイドブック・旅行雑誌	43	21.3	88	22.2
5	I n s t a g r a m	30	14.9	11	2.8
6	F a c e b o o k	1	0.5	5	1.3
7	Y o u T u b e	23	11.4	18	4.5
8	T w i t t e r	11	5.4	9	2.3
9	その他	5	2.5	7	1.8

海外旅行

		20・30代		40代以上	
		回答数	%	回答数	%
全体		61	100.0	239	100.0
1	友人や家族との会話	39	63.9	150	62.8
2	旅行会社のパンフレット・チラシ	16	26.2	84	35.1
3	テレビ番組	20	32.8	85	35.6
4	ガイドブック・旅行雑誌	19	31.1	54	22.6
5	I n s t a g r a m	9	14.8	9	3.8
6	F a c e b o o k	1	1.6	3	1.3
7	Y o u T u b e	8	13.1	10	4.2
8	T w i t t e r	5	8.2	3	1.3
9	その他	2	3.3	6	2.5

全員にお聞きします。国内旅行、海外旅行をする前に参考となる旅行会社名、テレビ番組名、SNSアカウント名をお答えください。

<特に多かった回答>

国内旅行：JTB（118）、楽天トラベル（53）、じゃらん（43）、日本旅行（23）、HIS（21）、阪急交通社（15）、旅サラダ（14）、るるぶ（12）、近畿日本ツーリスト（11）、JCB（10）、ヒルナンデス！（6）

海外旅行：JTB（77）、HIS（27）、楽天トラベル（9）、阪急交通社（8）、世界ふしぎ発見！

（6）、JCB（6）、エクスペディア（3）、世界の果てまでイッテQ！（3）、地球の歩き方（3）、旅サラダ（3）

・旅行の計画時期

全員にお聞きします。国内旅行を計画するとき、いつ頃から検討しますか？最も当てはまるものをお答えください。（S A）

- 半年以上前が最も多く、約 24%を占める。次に 3 カ月前が多く、約 22%を占める。
- すべての選択肢が約 10～24%であり、全体的にばらつきがみられる。

		回答数	%
全体		598	100.0
1	1 カ月以内	62	10.4
2	1 カ月前	79	13.2
3	2 カ月前	105	17.6
4	3 カ月前	133	22.2
5	半年前	76	12.7
6	半年以上前	143	23.9

海外渡航経験者にお聞きします。海外旅行を計画するとき、いつ頃から検討しますか？最も当てはまるものをお答えください。（S A）

- 半年前が最も多く、39%を占める。次に 3 カ月前、1 年以上前が多く、約 16%を占める。
- 海外旅行においては、人によりタイミングの差が大きい。

		回答数	%
全体		300	100.0
1	3 カ月以内	28	9.3
2	3 カ月前	49	16.3
3	4 カ月前	11	3.7
4	5 カ月前	8	2.7
5	半年前	117	39.0
6	1 年前	40	13.3
7	1 年以上前	47	15.7

・旅行形態で多いもの

全員にお聞きします。国内旅行、海外旅行に行くときの旅行形態で多いものを1つお選びください。(SA)

- 国内旅行は個人旅行が多く、約78%を占める。
- 海外旅行はパッケージツアーが多く、約63%を占める。

		国内旅行		海外旅行	
		回答数	%	回答数	%
全体		598	100.0	300	100.0
1	個人旅行（航空券・ホテル等を直接購入）	465	77.8	97	32.3
2	パッケージツアーを購入	107	17.9	190	63.3
3	会社・地域等の団体旅行	19	3.2	10	3.3
4	その他	7	1.2	3	1.0

パッケージツアーでの旅行が多い方にお聞きします。パッケージツアーには航空券以外に何が含まれていることが多いですか？(SA)

- 国内旅行、海外旅行ともにホテルが約93%以上を占める。

		国内旅行		海外旅行	
		回答数	%	回答数	%
全体		107	100.0	190	100.0
1	ホテル	99	92.5	184	96.8
2	レンタカー	7	6.5	3	1.6
3	体験・レジャー	1	0.9	3	1.6
4	その他				

・航空券の入手方法

全員にお聞きします。飛行機を利用して旅行する場合、航空券はどこで入手されることが多いですか？もっとも当てはまるものを1つお選びください。(SA)

- 国内旅行、海外旅行ともに、航空会社のホームページ、旅行会社のホームページ、旅行会社の店舗がそれぞれ20~30%前後を占めており、おおよそ同じ割合である。
- 旅行会社の店舗は、国内旅行では比較的少ないが、海外旅行では比較的に多い。

		国内旅行		海外旅行	
		回答数	%	回答数	%
全体		598	100.0	300	100.0
1	航空会社のホームページ	155	25.9	62	20.7
2	旅行会社のホームページ	128	21.4	64	21.3
3	旅行会社の店舗	108	18.1	100	33.3
4	わからない	200	33.4	70	23.3
5	その他	7	1.2	4	1.3

国内旅行、海外旅行について、旅行会社で航空券を購入することが多い方にお聞きします。旅行会社名をお答えください。

<特に多かった回答>

国内旅行：JTB（82）、日本旅行（20）、楽天トラベル（13）、近畿日本ツーリスト（11）、じゃらん（10）、JCB（9）、HIS（8）、阪急交通社（8）

海外旅行：JTB（77）、HIS（14）、阪急交通社（7）、JCB（5）、楽天トラベル（3）、近畿日本ツーリスト（3）、日本旅行（3）

(7) 過去に出した広告の宣伝効果

全員にお聞きします。以下の広告の中で見たことのあるものはありますか。(SA)

➤ すべての広告において、見たことが無い人が83%以上を占める。

T Vでのキャンペーン告知CM



		回答数	%
全体		598	100.0
1	見たことがある	33	5.5
2	見たような気がする	68	11.4
3	見たことがない	497	83.1

番組「5up!」での紹介(2022/11/24(木) 17:19~17:38, 12/1(木) 17:11~17:31放送)



		回答数	%
全体		598	100.0
1	見たことがある	32	5.4
2	見たような気がする	49	8.2
3	見たことがない	517	86.5

番組「5up! サタデー」での紹介（2022/12/3（土） 9:30～9:39放送）



		回答数	%
全体		598	100.0
1	見たことがある	30	5.0
2	見たような気がする	51	8.5
3	見たことがない	517	86.5

番組「届け！ひろしま応援歌」での紹介（2022/12/11（日） 10:39～10:43放送）



		回答数	%
全体		598	100.0
1	見たことがある	18	3.0
2	見たような気がする	35	5.9
3	見たことがない	545	91.1

八幡美咲アナウンサーのY o u t u b eチャンネルでの投稿



		回答数	%
全体		598	100.0
1	見たことがある	17	2.8
2	見たような気がする	30	5.0
3	見たことがない	551	92.1

八幡美咲アナウンサーのI n s t a g r a mでの投稿



		回答数	%
全体		598	100.0
1	見たことがある	19	3.2
2	見たような気がする	26	4.3
3	見たことがない	553	92.5

ひろしまリードでの記事



		回答数	%
全体		598	100.0
1	見たことがある	14	2.3
2	見たような気がする	21	3.5
3	見たことがない	563	94.1

広島ホームテレビ公式T w i t t e rでの告知



		回答数	%
全体		598	100.0
1	見たことがある	12	2.0
2	見たような気がする	33	5.5
3	見たことがない	553	92.5

Google, Instagram, Youtubeでの広告



		回答数	%
全体		598	100.0
1	見たことがある	26	4.3
2	見たような気がする	49	8.2
3	見たことがない	523	87.5

以下の広告を見て、その広告内容を利用したかお答えください。(SA)

- 実際に利用（購入）した人は、約 8～22%を占める。
- 利用（購入）したいと思ったが実現していない人が約 36～56%であり、すべての広告において最も多い。

TVでのキャンペーン告知CM

		回答数	%
全体		101	100.0
1	実際に利用（購入）した	8	7.9
2	利用（購入）したいと思ったが実現していない	49	48.5
3	特に利用（購入）したいと思わなかった	44	43.6

番組「5up!」での紹介（2022/11/24（木） 17:19～17:38, 12/1（木） 17:11～17:31放送）

		回答数	%
全体		81	100.0
1	実際に利用（購入）した	9	11.1
2	利用（購入）したいと思ったが実現していない	29	35.8
3	特に利用（購入）したいと思わなかった	43	53.1

番組「5up! サタデー」での紹介（2022/12/3（土） 9:30～9:39放送）

		回答数	%
全体		81	100.0
1	実際に利用（購入）した	8	9.9
2	利用（購入）したいと思ったが実現していない	37	45.7
3	特に利用（購入）したいと思わなかった	36	44.4

番組「届け！ひろしま応援歌」での紹介（2022/12/11（日） 10:39～10:43放送）

		回答数	%
全体		53	100.0
1	実際に利用（購入）した	8	15.1
2	利用（購入）したいと思ったが実現していない	25	47.2
3	特に利用（購入）したいと思わなかった	20	37.7

八幡美咲アナウンサーのYouTubeチャンネルでの投稿

		回答数	%
全体		47	100.0
1	実際に利用（購入）した	6	12.8
2	利用（購入）したいと思ったが実現していない	21	44.7
3	特に利用（購入）したいと思わなかった	20	42.6

八幡美咲アナウンサーのInstagramでの投稿

		回答数	%
全体		45	100.0
1	実際に利用（購入）した	9	20.0
2	利用（購入）したいと思ったが実現していない	20	44.4
3	特に利用（購入）したいと思わなかった	16	35.6

ひろしまリードでの記事

		回答数	%
全体		35	100.0
1	実際に利用（購入）した	5	14.3
2	利用（購入）したいと思ったが実現していない	18	51.4
3	特に利用（購入）したいと思わなかった	12	34.3

広島ホームテレビ公式T w i t t e rでの告知

		回答数	%
全体		45	100.0
1	実際に利用（購入）した	10	22.2
2	利用（購入）したいと思ったが実現していない	21	46.7
3	特に利用（購入）したいと思わなかった	14	31.1

G o o g l e , I n s t a g r a m , Y o u t u b eでの広告

		回答数	%
全体		75	100.0
1	実際に利用（購入）した	9	12.0
2	利用（購入）したいと思ったが実現していない	42	56.0
3	特に利用（購入）したいと思わなかった	24	32.0

■広告の効果

- 広告を「見たことがある」または「見たような気がする」と答えた人の割合は、TV、Web 広告が多く、全体の13%前後を占める。
- 広告を「見たことがある」と答えた人を年代別でみると、Web サイト、Twitter では20代が最も多く、それ以外の媒体では30代が最も多い。
- すべての広告において、実際に利用（購入）した人は10～20%前後を占める。特に、Instagram とTwitter は他の媒体と比べて割合が高い。
- 実際に利用（購入）した人を年代別でみると、Web 広告を除くすべての媒体で20代が最も多い。

各媒体の視聴率

		TV		YouTube		Instagram	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体		2392	100.0	598	100.0	598	100.0
1	見たことがある	113	4.7	17	2.8	19	3.2
2	見たような気がする	203	8.5	30	5.0	26	4.3
3	見たことがない	2076	86.8	551	92.1	553	92.5
		Webサイト		Twitter		Web広告	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体		598	100.0	598	100.0	598	100.0
1	見たことがある	14	2.3	12	2.0	26	4.3
2	見たような気がする	21	3.5	33	5.5	49	8.2
3	見たことがない	563	94.1	553	92.5	523	87.5

視聴者の年代構成

		TV		YouTube		Instagram	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体		113	100.0	17	100.0	19	100.0
1	20～29歳	29	 25.7	4	 23.5	4	 21.1
2	30～39歳	35	 31.0	6	 35.3	5	 26.3
3	40～49歳	26	 23.0	3	 17.6	5	 26.3
4	50～59歳	11	 9.7	3	 17.6	4	 21.1
5	60～69歳	12	 10.6	1	 5.9	1	 5.3
		Webサイト		Twitter		Web広告	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体		14	100.0	12	100.0	26	100.0
1	20～29歳	5	 35.7	6	 50.0	7	 26.9
2	30～39歳	1	 7.1	1	 8.3	8	 30.8
3	40～49歳	2	 14.3	2	 16.7	4	 15.4
4	50～59歳	4	 28.6	2	 16.7	6	 23.1
5	60～69歳	2	 14.3	1	 8.3	1	 3.8

各媒体の購入率

		TV		YouTube		Instagram	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体		316	100.0	47	100.0	45	100.0
1	実際に利用（購入）した	33	 10.4	6	 12.8	9	 20.0
2	利用（購入）したいと思ったが実現していない	140	 44.3	21	 44.7	20	 44.4
3	特に利用（購入）したいと思わなかった	143	 45.3	20	 42.6	16	 35.6
		Webサイト		Twitter		Web広告	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体		35	100.0	45	100.0	75	100.0
1	実際に利用（購入）した	5	 14.3	10	 22.2	9	 12.0
2	利用（購入）したいと思ったが実現していない	18	 51.4	21	 46.7	42	 56.0
3	特に利用（購入）したいと思わなかった	12	 34.3	14	 31.1	24	 32.0

購入者の年代構成

		TV		YouTube		Instagram	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体		33	100.0	6	100.0	9	100.0
1	20～29歳	19	 57.6	2	 33.3	3	 33.3
2	30～39歳	5	 15.2	1	 16.7	3	 33.3
3	40～49歳	8	 24.2	2	 33.3	2	 22.2
4	50～59歳	1	 3.0	1	 16.7	1	 11.1
5	60～69歳						
		Webサイト		Twitter		Web広告	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体		5	100.0	10	100.0	9	100.0
1	20～29歳	3	 60.0	4	 40.0	3	 33.3
2	30～39歳			3	 30.0	5	 55.6
3	40～49歳	2	 40.0	3	 30.0		
4	50～59歳					1	 11.1
5	60～69歳						

2.1.4 調査結果

(1) 国内

■認知度が向上すれば、直行便の利用率が高まる可能性がある

- 宮城県、東京都、沖縄県へは、直行便を知っている人に限定すると、1.1～1.3 倍ほど利用率が増加している。
- 特に宮城県においては、新幹線を利用している人が広島空港からの直行便に転換していると考えられる。一方で東京都においては、依然として新幹線の利用が多く、約半数を占めている。
- 北海道へは、直行便の認知による利用実態に大きな差がみられず、知っているかどうかにかかわらず約 78%前後の人が直行便を利用している。

■新規路線候補地への訪問経験

- 新潟県、石川県、宮城県へは、現時点では鉄道で移動している人が多く、特に石川県、宮城県は航空機の利用が少ない。
- 広島空港から直行便（1 往復/日）が運航した場合、直行便を利用したい人は新潟県、宮城県で 60%を超える。

(2) 国際

■広島空港の利用が多いものの、他空港を利用している人もいる。

- バンコクを除くすべての地域において、広島空港を利用した人が最も多い。
- 他空港を選んだ理由として、出発地から近いことや、広島空港の運航日とタイミングが合わなかったことが多く挙げられる。
- 今後、国際線の再開や新規路線が開設した場合、約 82%以上の人が広島空港の利用意向がある。

(3) 旅行意向

■旅行への意欲があっても、実現できていない人が多い。

- 今後、すぐにでも海外旅行に行きたい人は全体の約 10%を占め、若年層ほど割合が大きい傾向にある。
- 国内旅行は個人旅行（航空券・ホテル等を直接購入）が多く、海外旅行はパッケージツアーの購入が多い。
- 旅行に行くきっかけとして「友人や家族との会話」が多く挙げられる。
- テレビ番組やインターネット媒体での広告を「見たことがある」または「見たような気がする」と答えた人は 6～13%前後を占める。広告を見た人のうち、実際に利用（購入）した人は 10～20%前後を占めており、約 36%～56%は旅行に行きたいと思っても実現できていない現状にある。

2.2 就航先居住者アンケート

2.2.1 調査概要

広島空港の就航先の居住者を対象とし、広島県内への移動における交通手段や空港の選択状況等を把握する。

表 2.2.1 就航先居住者アンケート 調査概要

調査対象	インターネットリサーチ会社にモニター登録している就航先居住者 ➤ 札幌（道央居住者） ➤ 仙台（宮城県居住者） ➤ 東京（東京都） ➤ 沖縄（沖縄本島居住者） ➤ ソウル（ソウル特別区居住者） ➤ 台北（台北市居住者） ➤ 香港（香港居住者） ➤ バンコク（バンコク居住者） ➤ シンガポール（シンガポール居住者）	
調査方法	インターネット調査	
調査サンプル数	就航先ごとに 400 件ずつを目標	
回収結果	➤ 札幌（道央居住者） ➤ 仙台（宮城県居住者） ➤ 東京（東京都） ➤ 沖縄（沖縄本島居住者） ➤ ソウル（ソウル特別区居住者） ➤ 台北（台北市居住者） ➤ 香港（香港居住者） ➤ バンコク（バンコク居住者） ➤ シンガポール（シンガポール居住者）	401 票 401 票 400 票 401 票 400 票 400 票 400 票 400 票 400 票

回収した票の内訳は、以下の通りである。

表 2.2.2 国内就航先居住者アンケート 回収票の内訳

	道央		宮城		東京		沖縄	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
	401	100	401	100	400	100	401	100
20-29歳	57	14.2	63	15.7	75	18.8	65	16.2
30-39歳	69	17.2	75	18.7	84	21	80	20
40-49歳	93	23.2	93	23.2	97	24.3	92	22.9
50-59歳	88	21.9	82	20.4	84	21	81	20.2
60-69歳	94	23.4	88	21.9	60	15	83	20.7

	道央		宮城		東京		沖縄	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
	401	100	401	100	400	100	401	100
男性	205	51.1	199	49.6	218	54.5	219	54.6
女性	196	48.9	198	49.4	182	45.5	181	45.1
その他	0	0	4	1	0	0	1	0.2

表 2.2.3 海外就航先居住者アンケート 回収票の内訳

	ソウル		台北		香港		バンコク		シンガポール	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
	400	100	400	100	400	100	400	100	400	100
20-29歳	149	37.3	99	24.8	127	31.8	105	26.3	91	22.8
30-39歳	114	28.5	118	29.5	91	22.8	147	36.8	119	29.8
40-49歳	70	17.5	104	26	95	23.8	83	20.8	120	30
50-59歳	44	11	53	13.3	61	15.3	44	11	49	12.3
60-69歳	23	5.8	26	6.5	26	6.5	21	5.3	21	5.3

	ソウル		台北		香港		バンコク		シンガポール	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
	400	100	400	100	400	100	400	100	400	100
男性	235	58.8	234	58.5	216	54	200	50	209	52.3
女性	164	41	166	41.5	183	45.8	200	50	191	47.8
その他	1	0.3	0	0	1	0.3	0	0	0	0

2.2.2 調査内容

表 2.2.4 就航先居住者アンケート 調査内容（国内線）

(1) 広島空港への直行便の認知状況
(2) 広島県への訪問経験
・ 旅行目的
・ 広島県訪問時の利用経路
・ 広島空港の直行便を利用しなかった理由
・ 広島県訪問時の旅行の手配方法
・ 広島県訪問時の周辺県の訪問状況
・ 広島県訪問時に良かった点
(3) 今後の広島県への旅行意向
・ 旅行したいと思わない理由
・ 広島県で行ってみたい場所・体験したいもの
(4) 旅行に行きたくなるきっかけ
(5) 広島市内を旅行する場合の利用経路の意向
・ 広島空港への直行便を利用しない理由
(6) 広島空港への直行便に LCC が就航した場合の利用意向（札幌、仙台、沖縄のみ）

表 2.2.5 就航先居住者アンケート 調査内容（国際線）

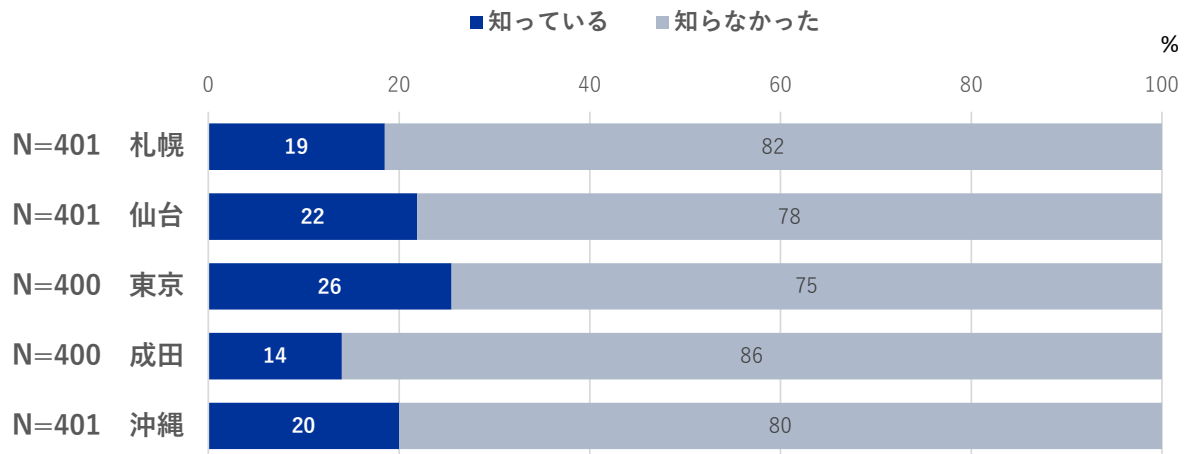
- | |
|--|
| <p>(1) 日本の都道府県ごとの訪問状況</p> <p>(2) 広島空港への直行便の認知状況</p> <p>(3) 広島県への訪問経験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 旅行目的 ・ 広島県訪問時の利用経路 ・ 広島空港の直行便を利用しなかった理由 ・ 広島県訪問時の旅行の手配方法 ・ 広島県訪問時の周辺県の訪問状況 ・ 広島県訪問時に良かった点 <p>(4) 今後の広島県への旅行意向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 旅行したいと思わない理由 ・ 広島県以外で行ってみたい場所・体験したいもの ・ 広島県で行ってみたい場所・体験したいもの <p>(5) 旅行に行きたくなるきっかけ</p> <p>(6) 広島市内を旅行する場合の利用経路の意向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広島空港への直行便を利用しない理由 <p>(7) 広島空港への直行便に LCC が就航した場合の利用意向（台北、シンガポールのみ）</p> |
|--|

2.2.3 調査結果 | 国内線

(1) 広島空港への直行便の認知状況

広島空港へ直行便が開通されていることを知っていますか？（S A）

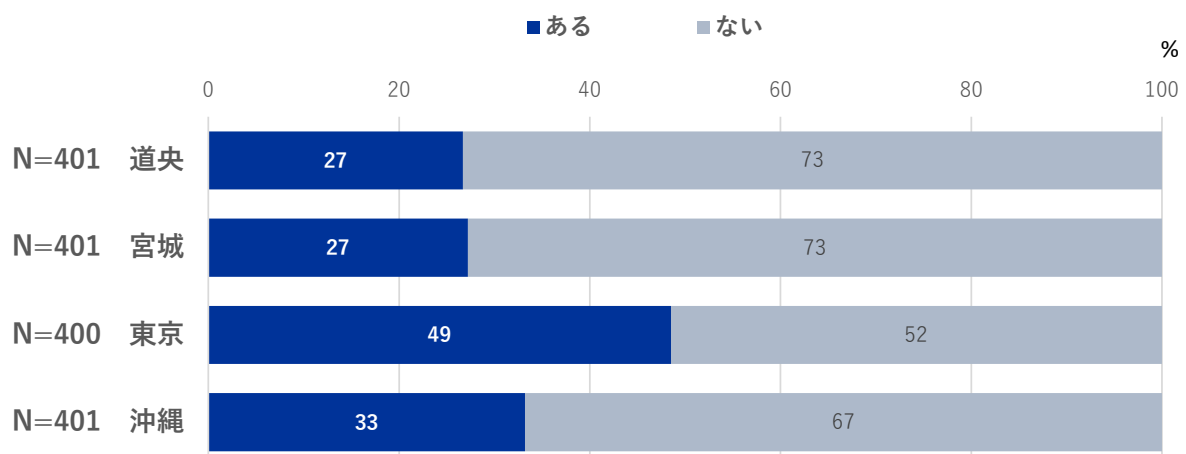
- 就航先居住者の広島空港への直行便の認知度は 20%前後である。
- 東京都居住者の東京便の認知度が 26%で最も高いが、成田便の認知度は 14%で最も低い。



(2) 広島県への訪問経験

これまで広島県を訪れたことはありますか？（S A）

- 東京都居住者の広島県の訪問経験は 49%で比較的高い。
- 道央居住者、宮城県居住者、沖縄県居住者は 30%前後となっている。

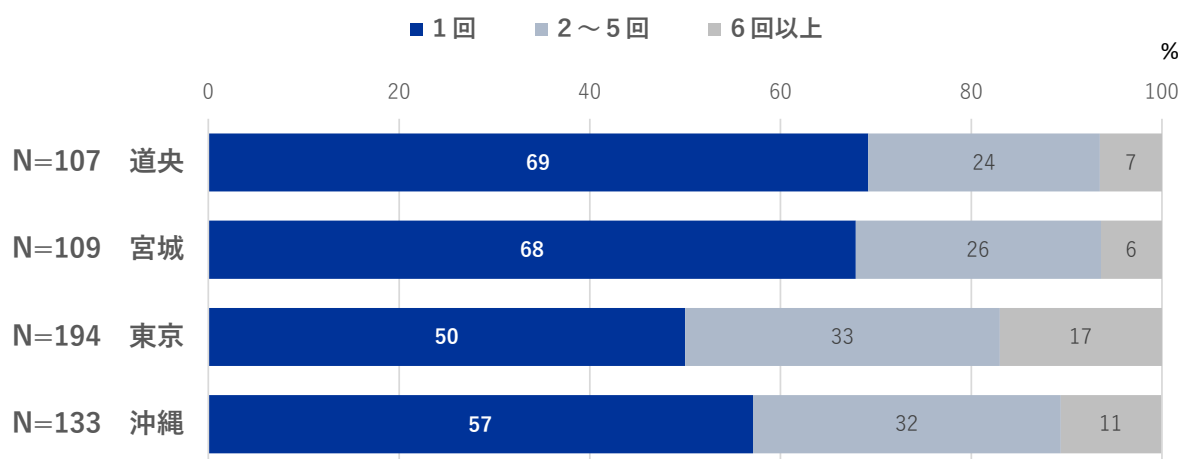


【訪問経験者への質問】

・広島県訪問回数、目的

これまで広島県を訪れた回数をお教えてください。（S A）

- 東京都居住者の訪問回数は2回以上が50%を占める。道央、宮城県居住者は2回以上が約30%となっている。
- 沖縄県居住者は2回以上が43%であるが、後段の広島県訪問時の利用経路のうち41%が「その他」の経路となっており、具体的には以前住んでいた場所からの経路であった。沖縄県居住者には他県から移転者も含まれている点に留意が必要である。



直近の旅行についてお聞きします。広島県を訪れた目的をお教えてください。（M A）

- 広島県訪問経験者の旅行目的は、いずれの居住者も観光目的が多く、70～80%を占める。
- 仕事での訪問経験は約20～30%、帰省等での訪問経験は10%前後である。

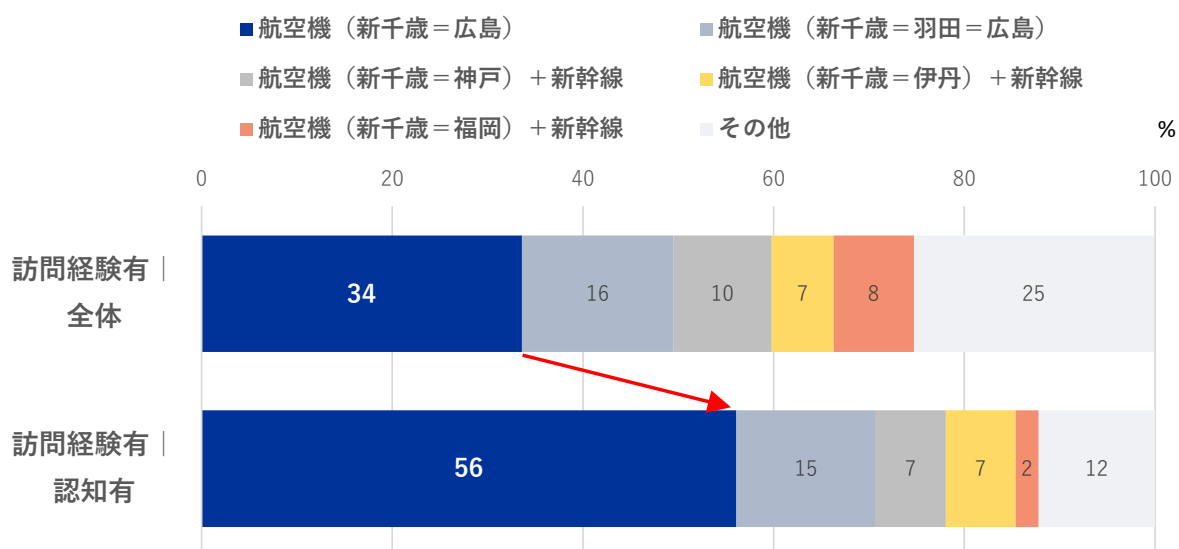
		道央		宮城		東京		沖縄	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体		107	100.0	109	100.0	194	100.0	133	100.0
1	観光	89	83.2	77	70.6	145	74.7	95	71.4
2	仕事	18	16.8	34	31.2	52	26.8	24	18.0
3	帰省・友人・親族訪問	6	5.6	7	6.4	22	11.3	18	13.5
4	その他	7	6.5	6	5.5	7	3.6	8	6.0

・広島県訪問時の利用経路

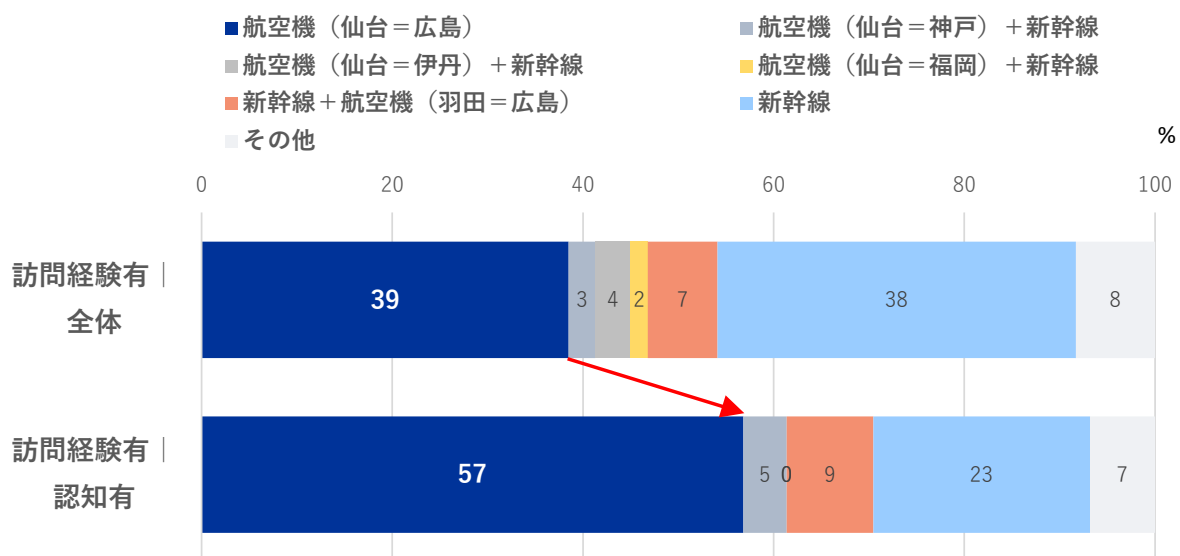
どの経路を利用して広島県内を訪れましたか？（S A）

- 広島空港直行便の利用者は、いずれの居住者も 30%前後～40%を占める。
- 東京都居住者は、新幹線利用が 50%以上を占め、航空機の利用が比較的低い。
- 沖縄県居住者のその他については、広島県訪問当時に沖縄県に住んでいなかった等、他県からの移転者の回答が多くみられる。
- 広島空港直行便を認知している場合、広島路線の利用者は道央居住者、宮城県居住者の直行便利用率は 56%、57%、東京都居住者は 66%、沖縄県居住者は 45%となり、認知度が高まると直行便の利用の増加が期待できる。
- 一方で、認知していても利便性等を考慮して一定程度は他経路を利用している。

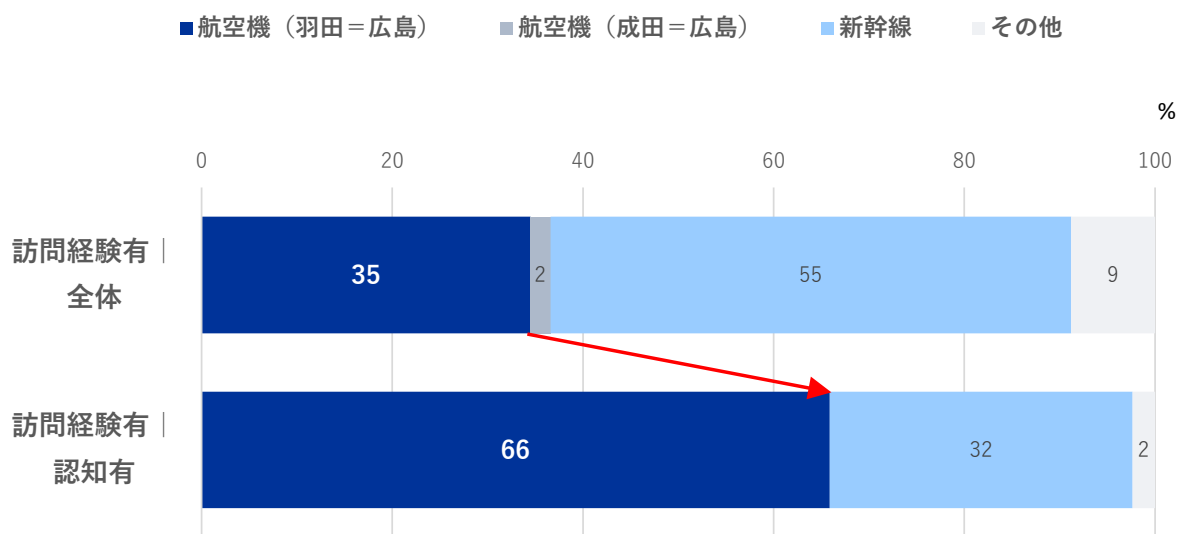
道央



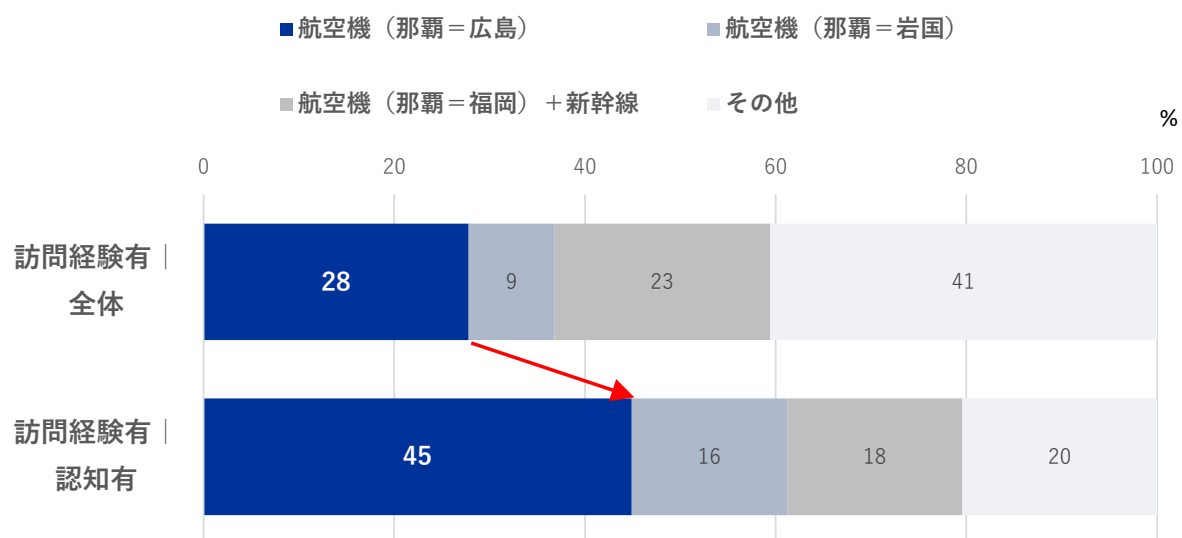
宮城



東京



沖縄



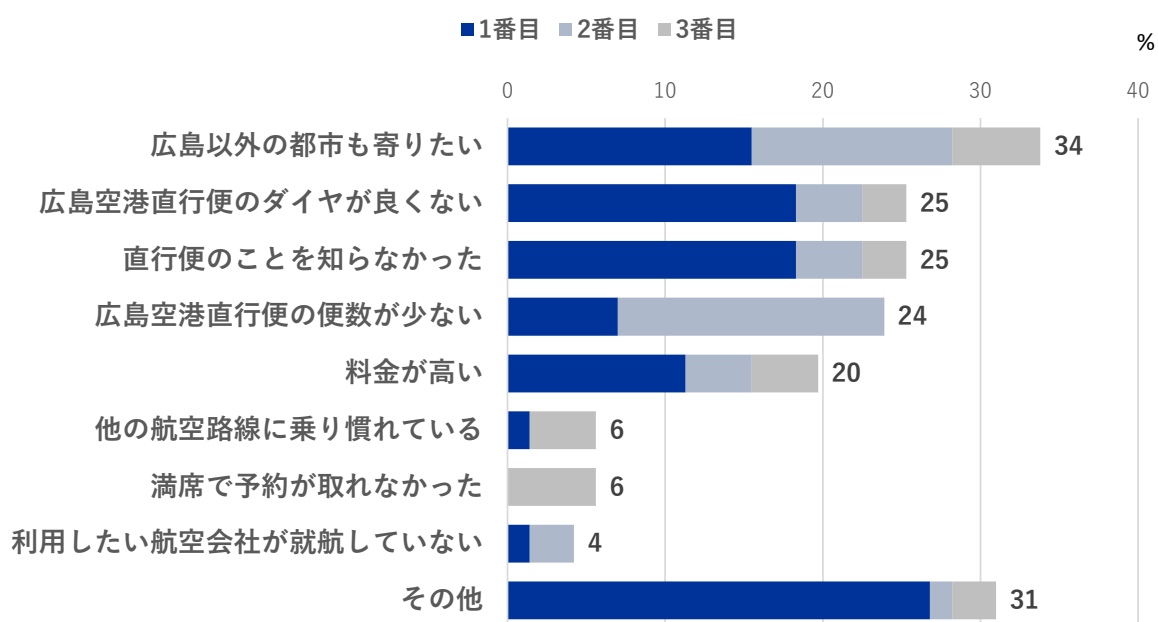
・広島空港の直行便を利用しなかった理由

広島空港への直行便を利用しなかった理由は何ですか？

以下の選択肢から当てはまると思う順に3つまでお選びください。

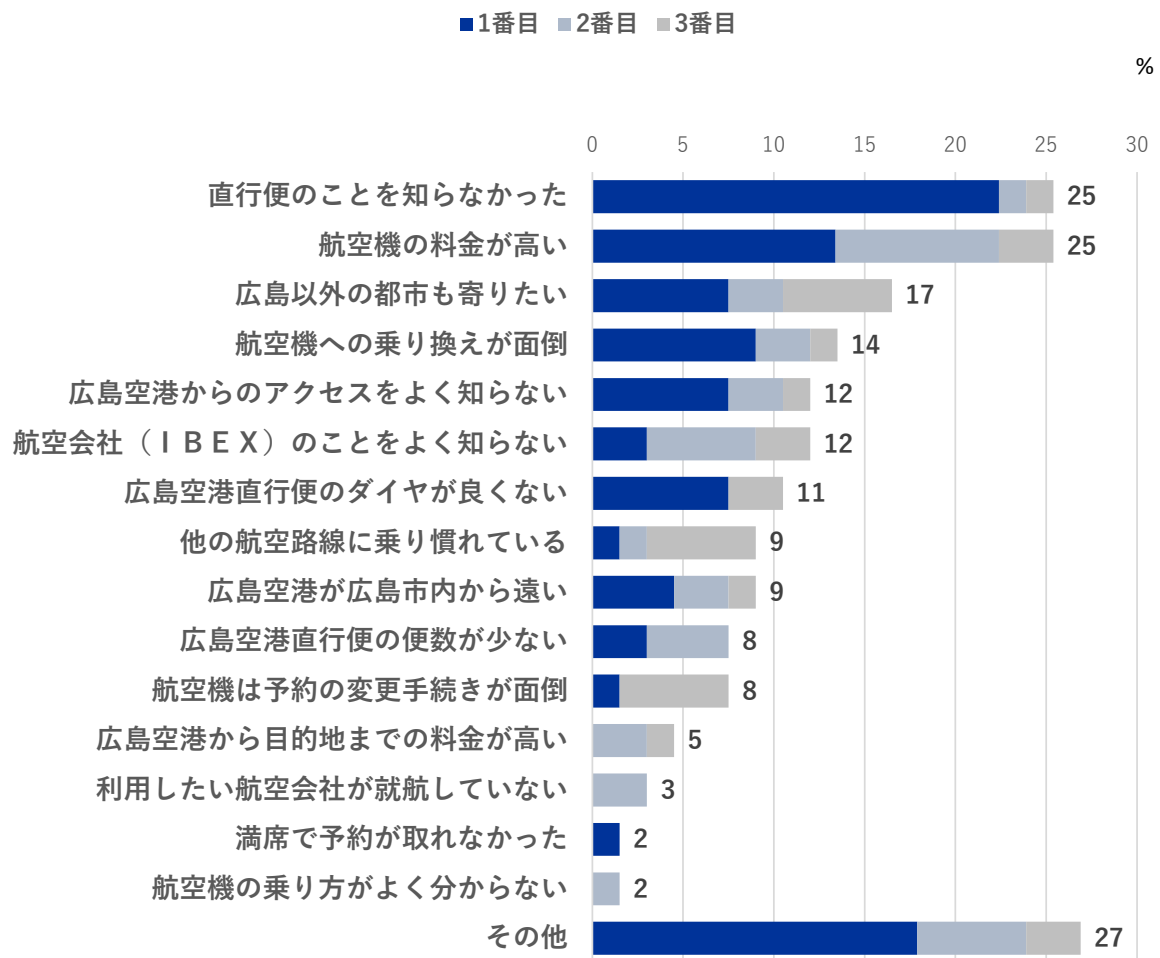
- 道央居住者、宮城県居住者、沖縄県居住者は、「広島以外の都市も寄りたい」という周遊旅行への意欲や、「直行便のことを知らなかった」という認知度の課題が多くみられる。
- 道央居住者、沖縄県居住者においては、直行便のダイヤが良くないという意見も多い。
- 東京都居住者は、新幹線利用者の回答が多い。

N=71 道央



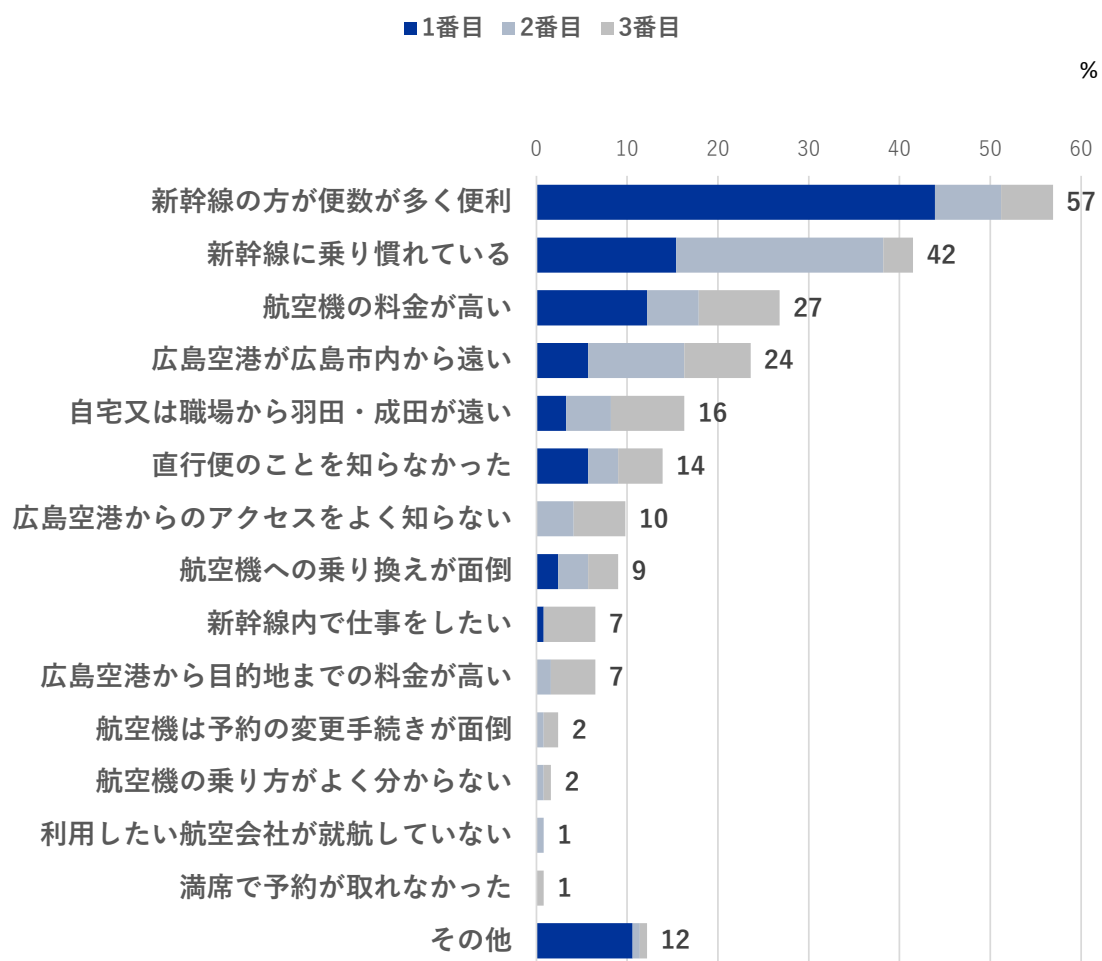
※その他…修学旅行生の回答（学校に決められていた）が多い。

N=67 宮城



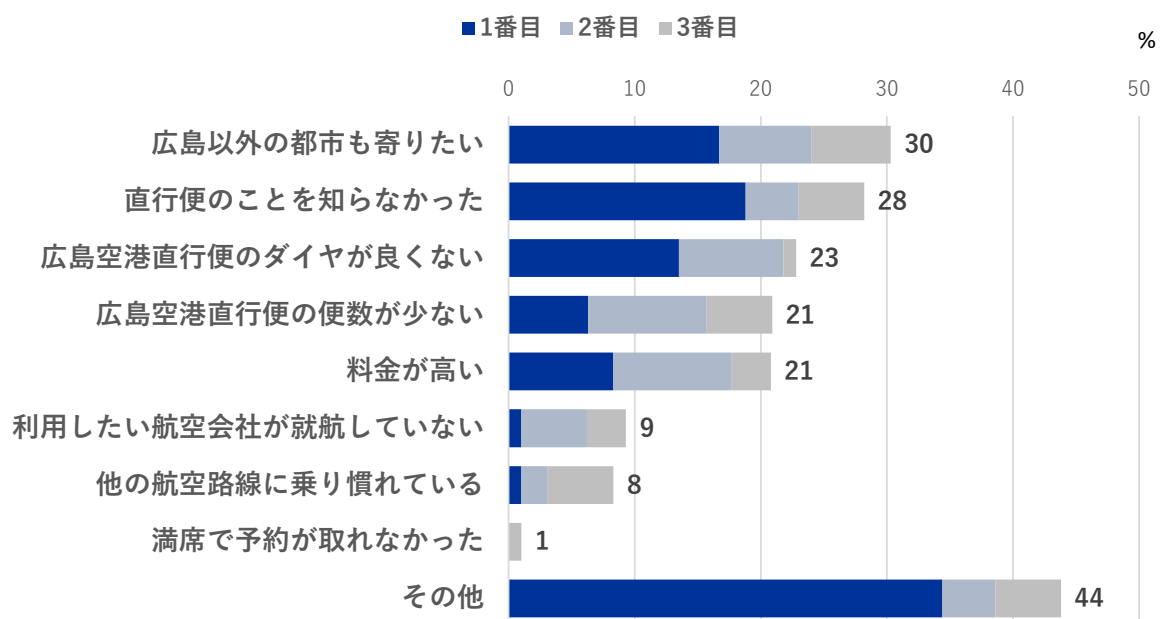
※その他…広島県訪問当時は直行便がなかった、仕事・団体旅行上の理由等の回答が多い。

N=123 東京



※その他…修学旅行生の回答の他、自家用車の利用の回答がみられる。

N=96 沖縄



※その他…広島県訪問時に沖縄県に住んでいなかった等、他県からの移転者の回答が多い。

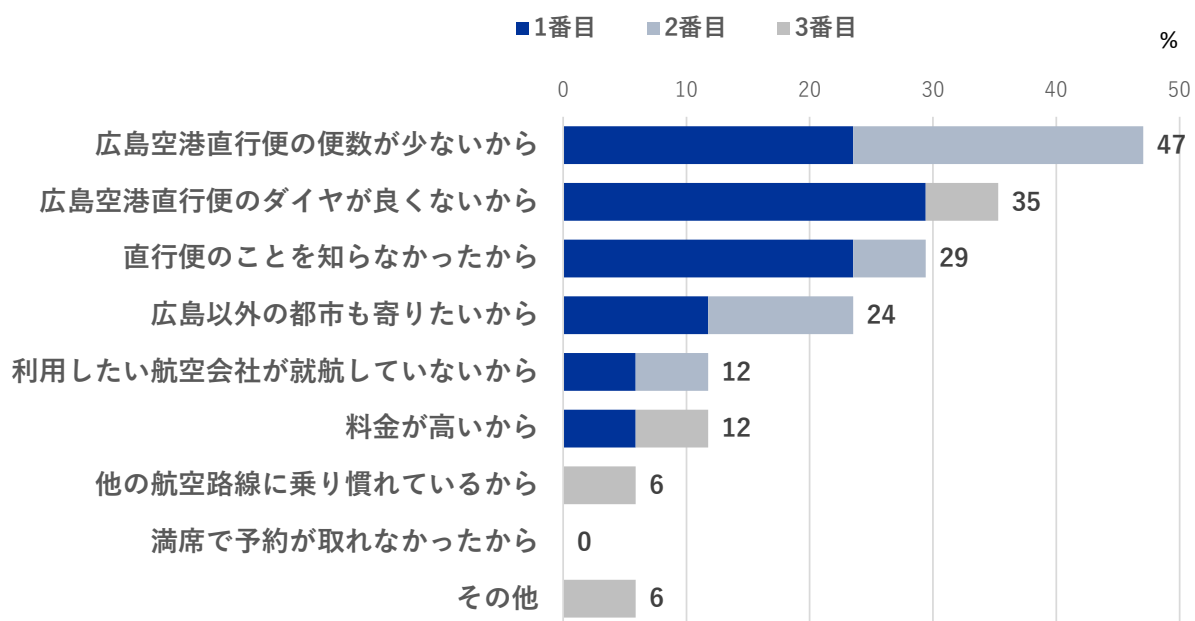
・新千歳空港へ行くのに羽田空港を経由した理由

広島空港への直行便を利用しなかった理由は何ですか？

以下の選択肢から当てはまると思う順に3つまでお選びください。

- 広島空港直行便の便数が少ないと感じる人が約半数を占める。
- 直行便を選ばなかった理由として、ダイヤの都合の悪さが1番目に多く挙げられる。
- 直行便のことを知らなかった人が29%を占めており、認知度の低さも利用率向上への課題である。

N=17 道央



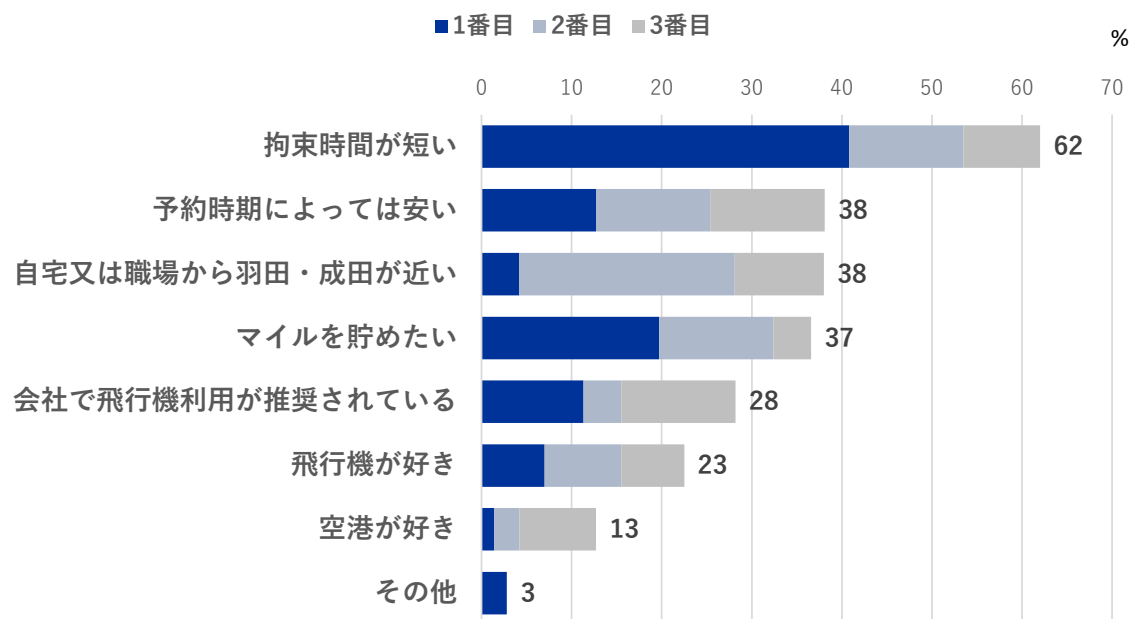
・ 航空機を利用した理由（東京のみ）

航空機を利用した理由は何ですか？

以下の選択肢から当てはまると思う順に3つまでお選びください。

- 拘束時間が短いことを航空機利用のメリットとしている回答が全体の62%を占める。
- 1番目の理由としては、マイルを貯めることを目的としている人も多い。

N=71 東京

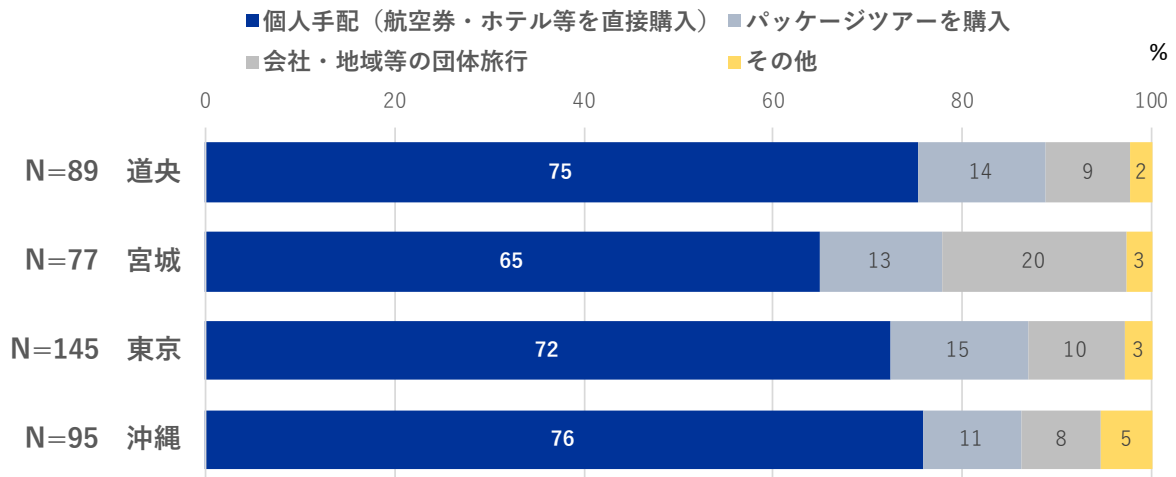


【訪問経験者（観光目的）への質問】

・広島県訪問時の旅行の手配方法

広島県への旅行の手配方法は次のどれに該当しますか？（S A）

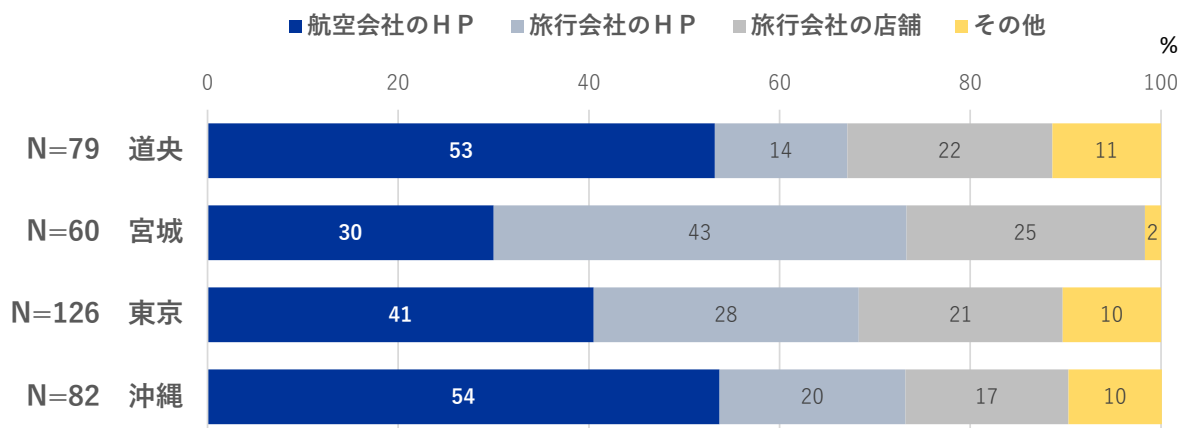
- 広島県への観光客の手配方法は、いずれの居住者も個人手配が多く、70%前後を占める。
- パッケージツアーの購入は約 10～15%、会社・地域等の団体旅行は 10%前後～20%である。



・航空券の入手先（個人で手配した人のみ）

その際の航空券や旅行商品はどこで入手されましたか？（S A）

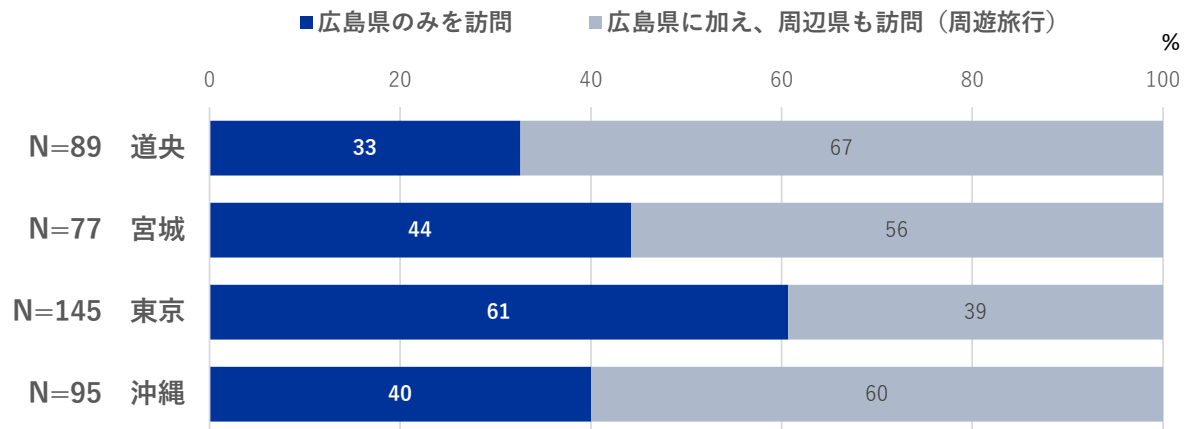
- 道央居住者、沖縄県居住者は、約 50%近くが航空会社の HP から航空券を入手する。
- 宮城県居住者、東京都居住者は、航空会社よりも旅行会社から航空券を入手する人が多い。



・広島県訪問時の周辺県の訪問状況

訪問先の状況をお教えてください。(S A)

- 道央居住者、宮城県居住者、沖縄県居住者は、60～70%前後が広島県に加え、周辺県も訪問する周遊旅行をしている。
- 東京都居住者は、約 60%が広島県のみを訪問している。



広島県以外で訪問した県をお教えてください。(MA)

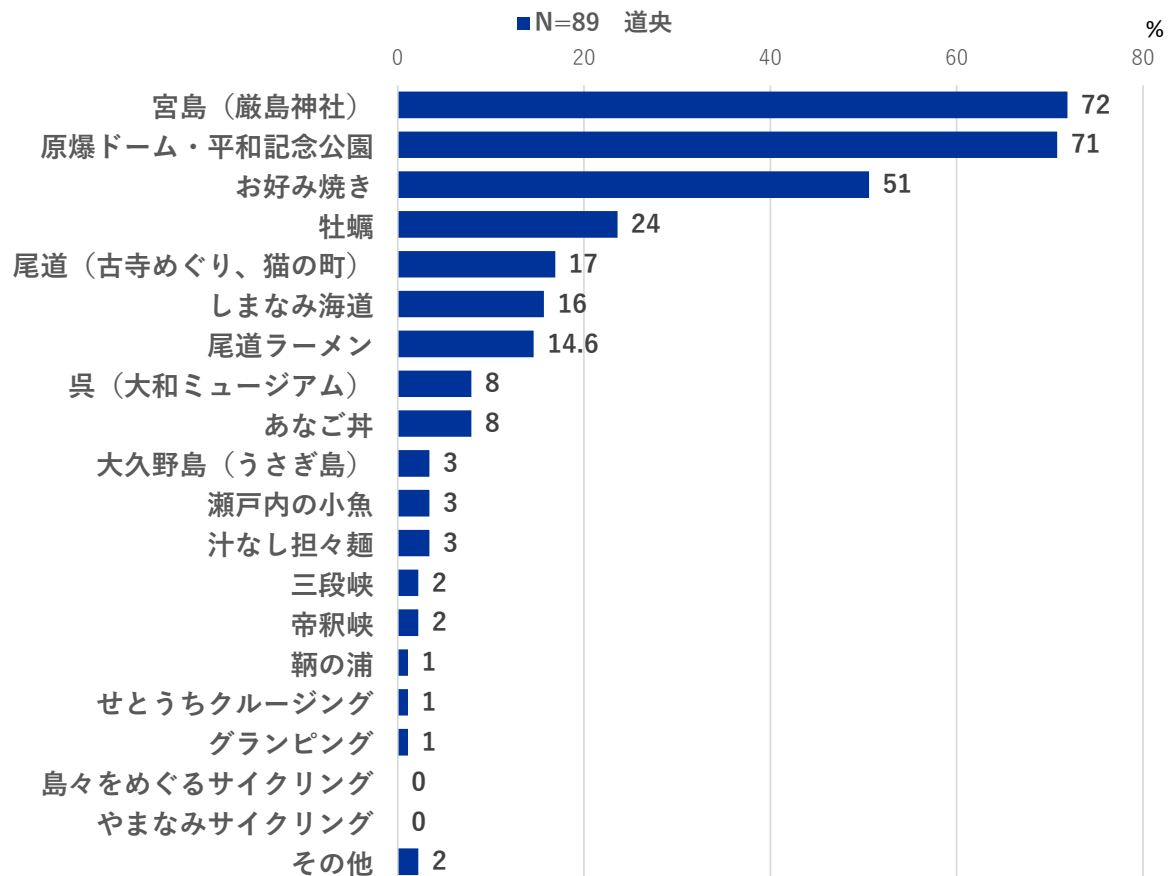
- 周遊旅行客は、いずれの居住者も40%以上が岡山県を訪問している。
- 道央居住者、東京都居住者、沖縄県居住者は、40%前後が山口県も訪問している。
- いずれの居住者も、愛媛県を訪問した人は10～20%であり、選択肢の中では最も低い。

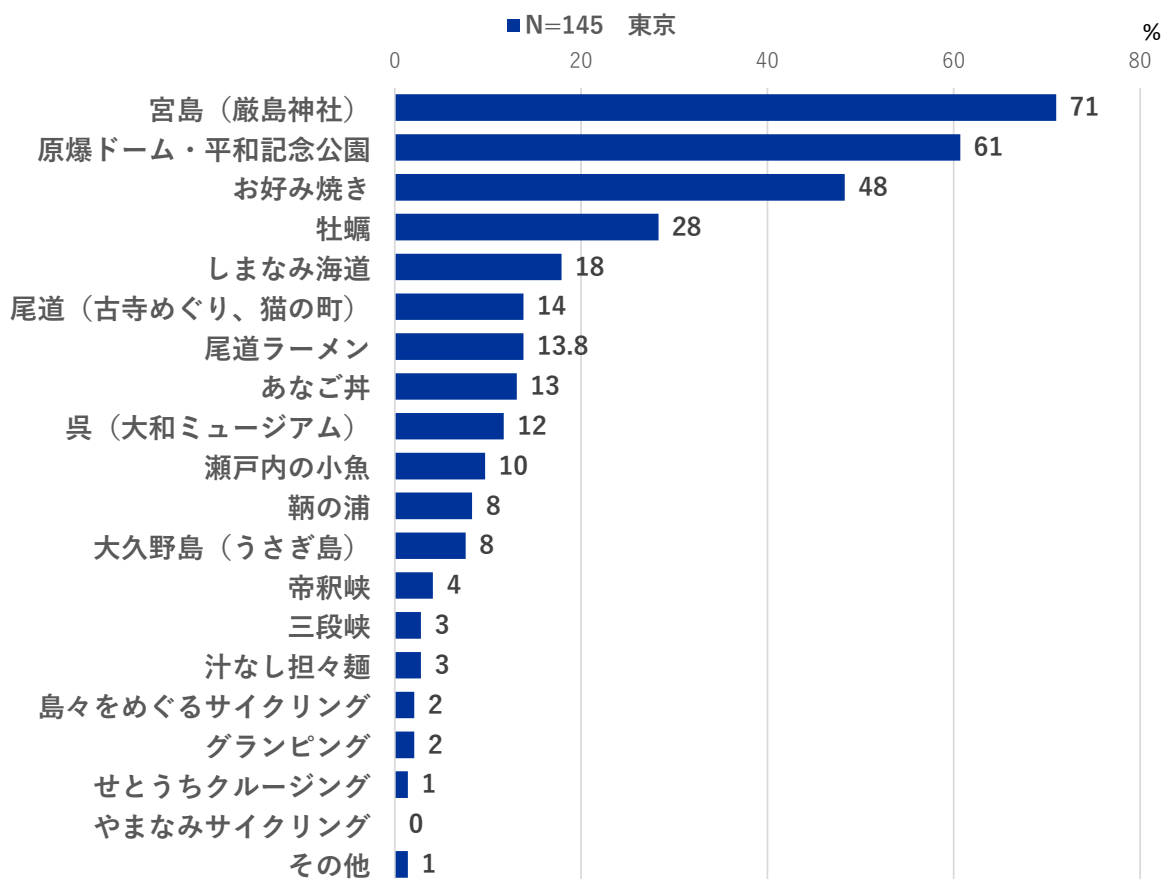
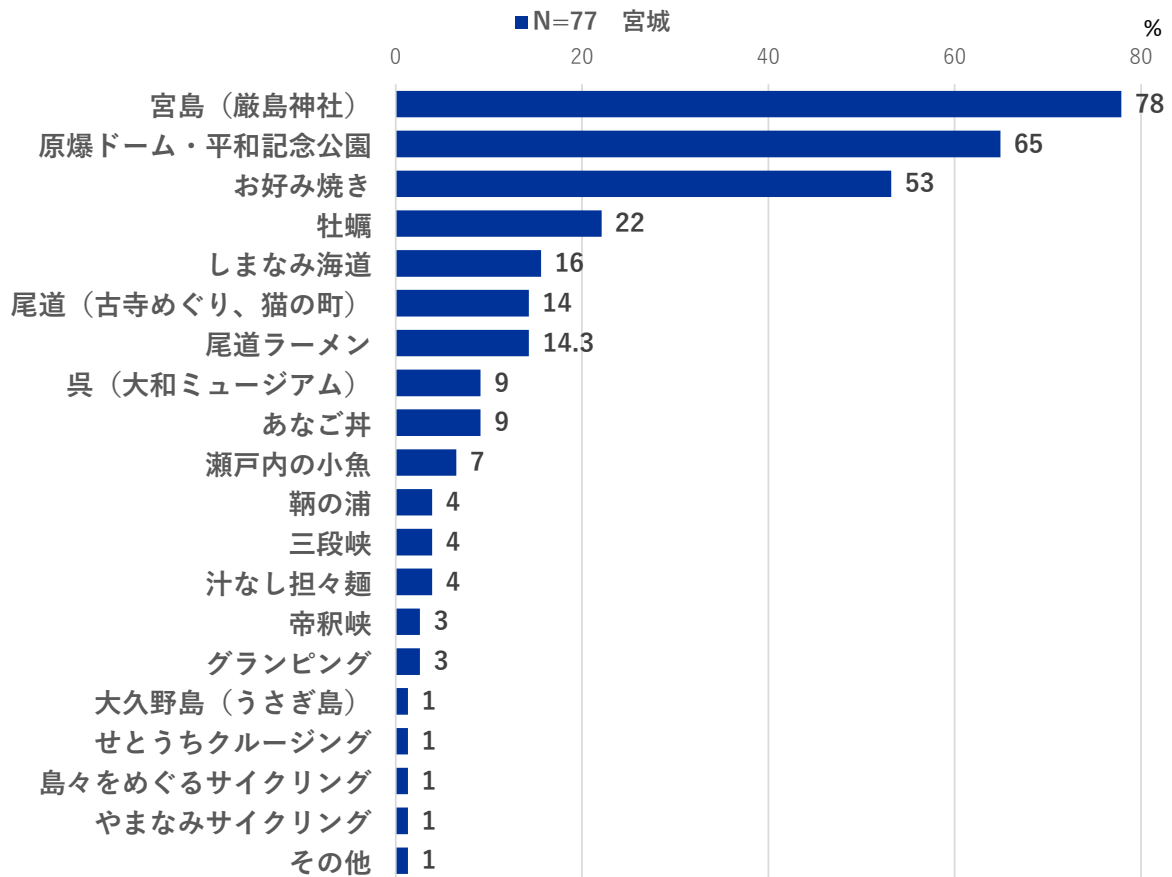
		道央		宮城		東京		沖縄	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体		60	100.0	43	100.0	57	100.0	57	100.0
1	島根県	10	16.7	14	32.6	14	24.6	16	28.1
2	鳥取県	12	20.0	13	30.2	11	19.3	13	22.8
3	岡山県	38	63.3	16	37.2	23	40.4	25	43.9
4	山口県	27	45.0	12	27.9	22	38.6	26	45.6
5	愛媛県	9	15.0	6	14.0	8	14.0	11	19.3
6	福岡県	14	23.3	10	23.3	9	15.8	24	42.1
7	その他	12	20.0	9	20.9	6	10.5	8	14.0

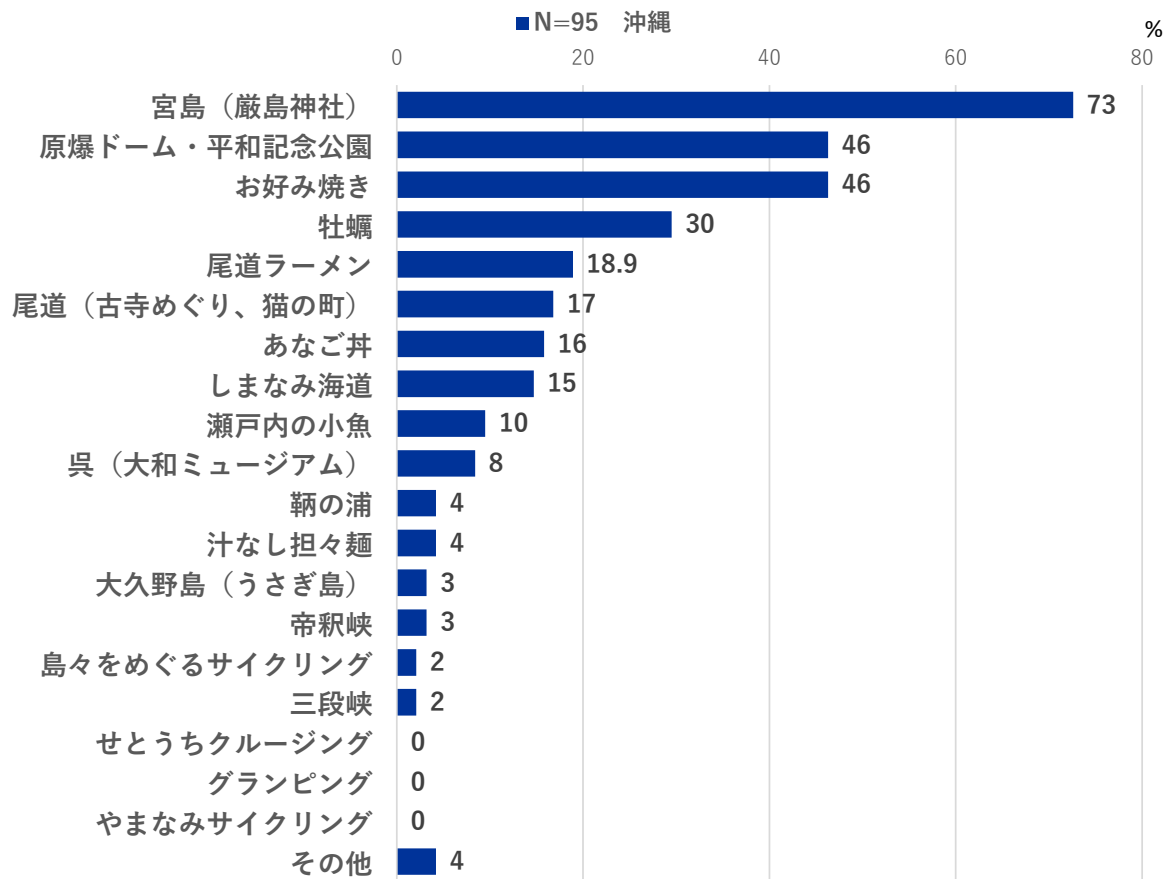
・広島県訪問時に良かった点

広島県に旅行されて、良かったものを選択してください。(MA)

- 広島県への観光客は、いずれの居住者も 70%以上が宮島を高く評価している。
- いずれの居住者も、宮島の次に原爆ドーム・平和記念公園を評価している。
- いずれの居住者も 50%前後がお好み焼きを選択しており、グルメでは最も評価が高い。



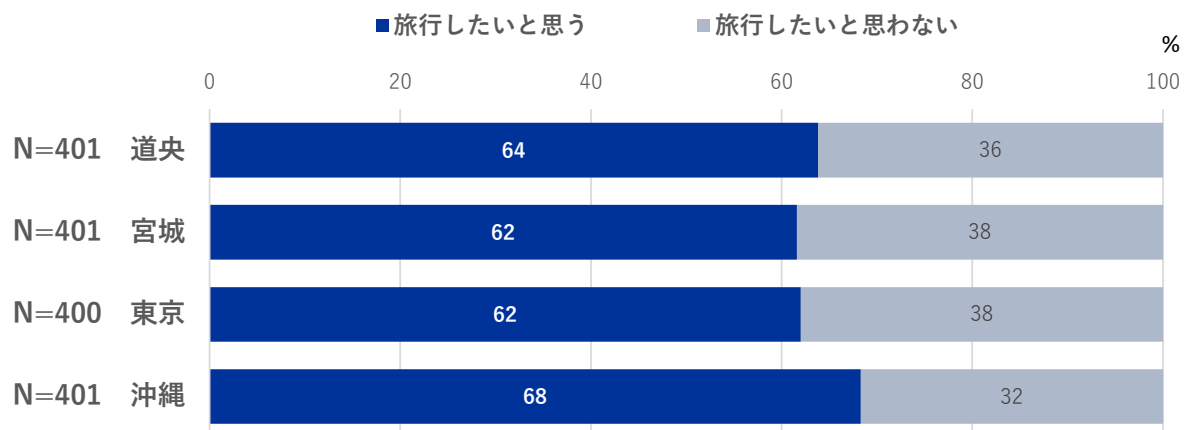




(3) 今後の広島県への旅行意向

今後広島県を旅行したいと思いますか？（S A）

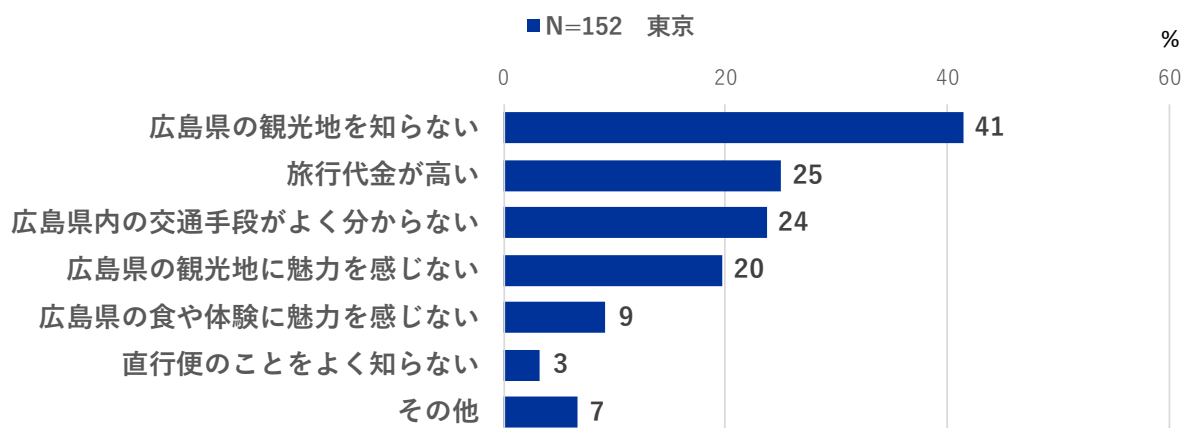
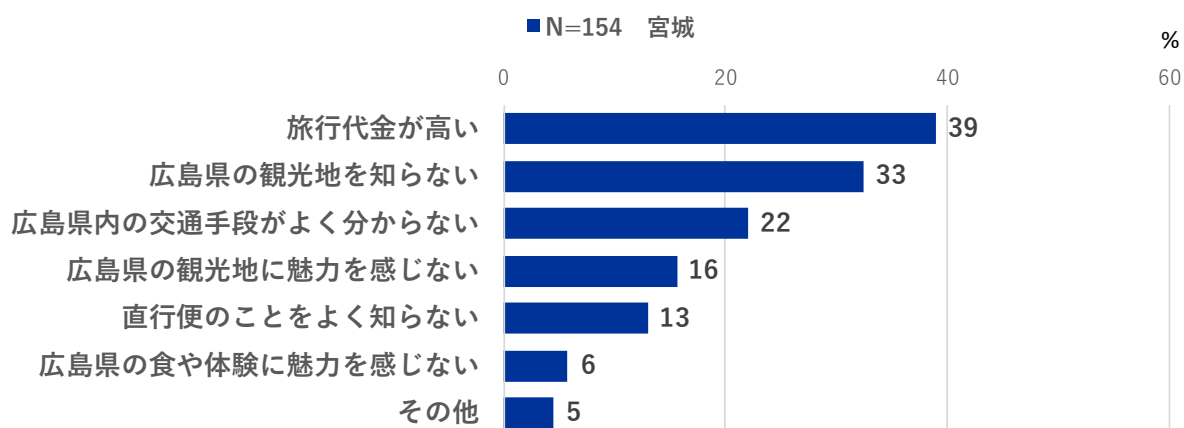
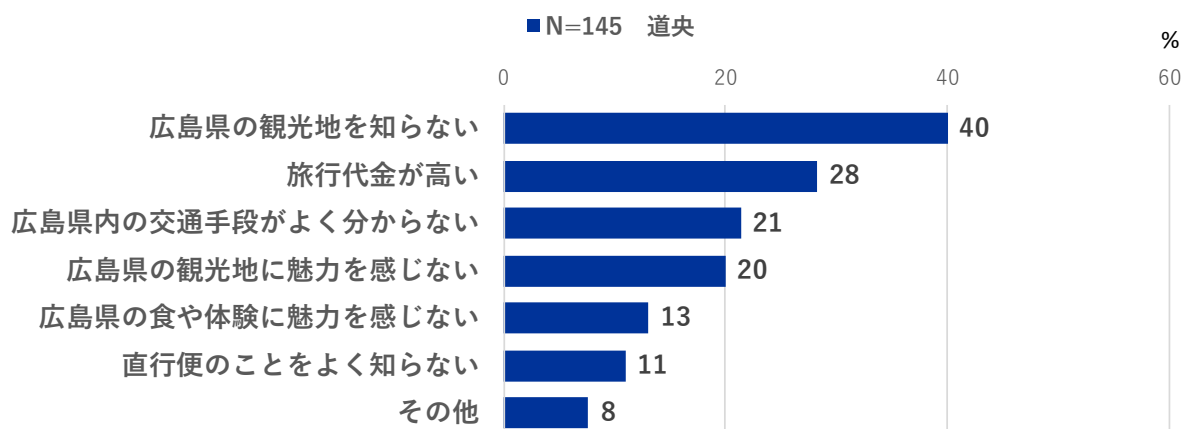
➤ いずれの居住者も約 60～70%が広島県への旅行意欲がある。

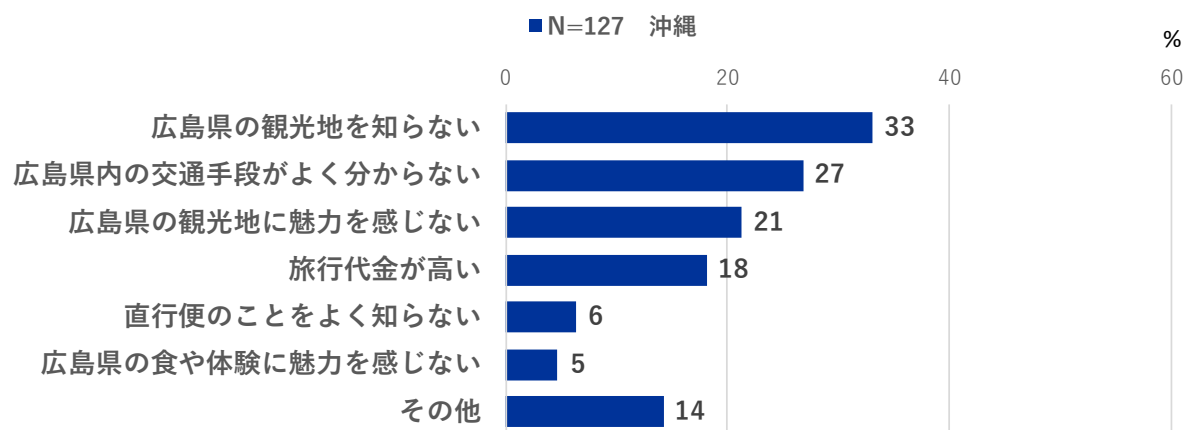


・旅行したいと思わない理由

旅行したいと思わない理由をお教えてください。(M A)

- 広島県へ旅行したいと思わない人は、いずれの居住者も約 30～40%が「広島県の観光地を知らない」と回答している。
- 道央居住者、宮城県居住者、東京都居住者は、約 25～40%が、旅行代金が高いと感じている。
- いずれの居住者も、その他の回答には「旅行に興味がない」「旅行自体が嫌いである」「コロナが心配」といった回答が多い。

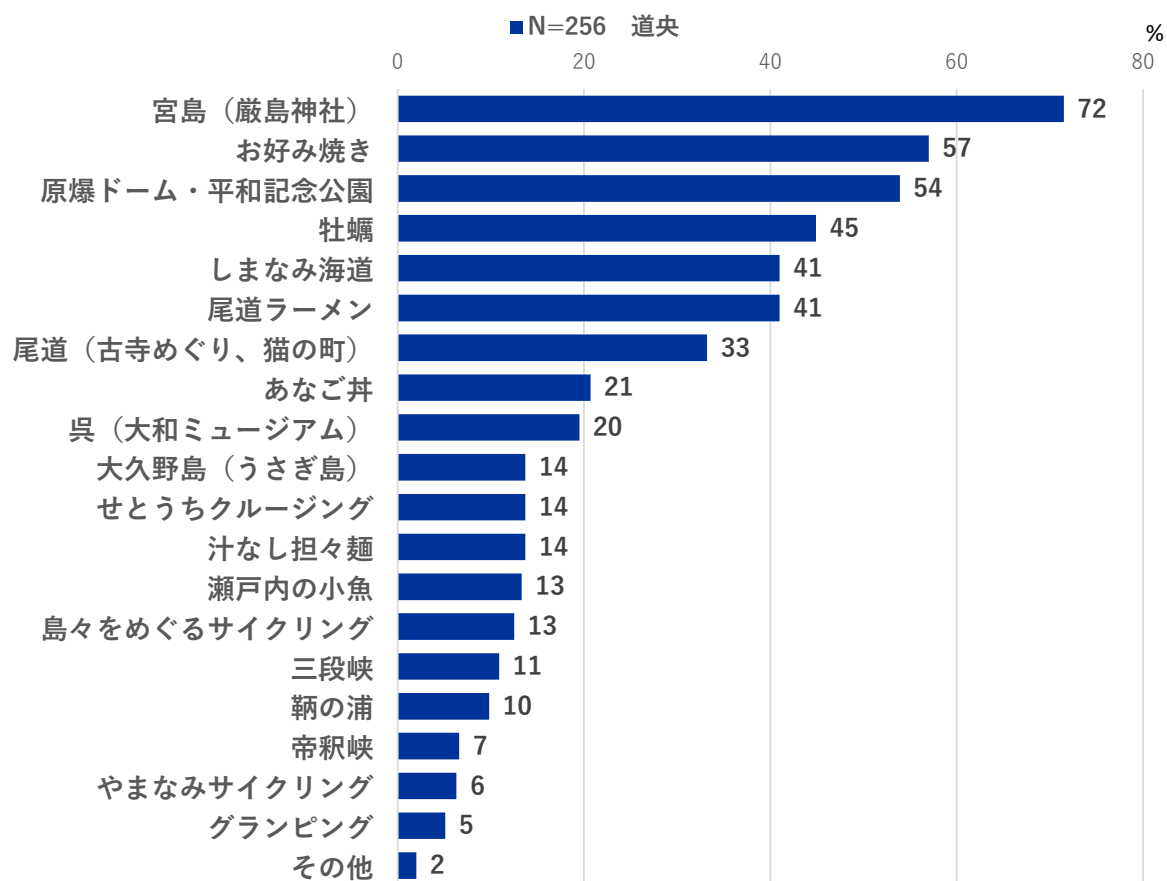


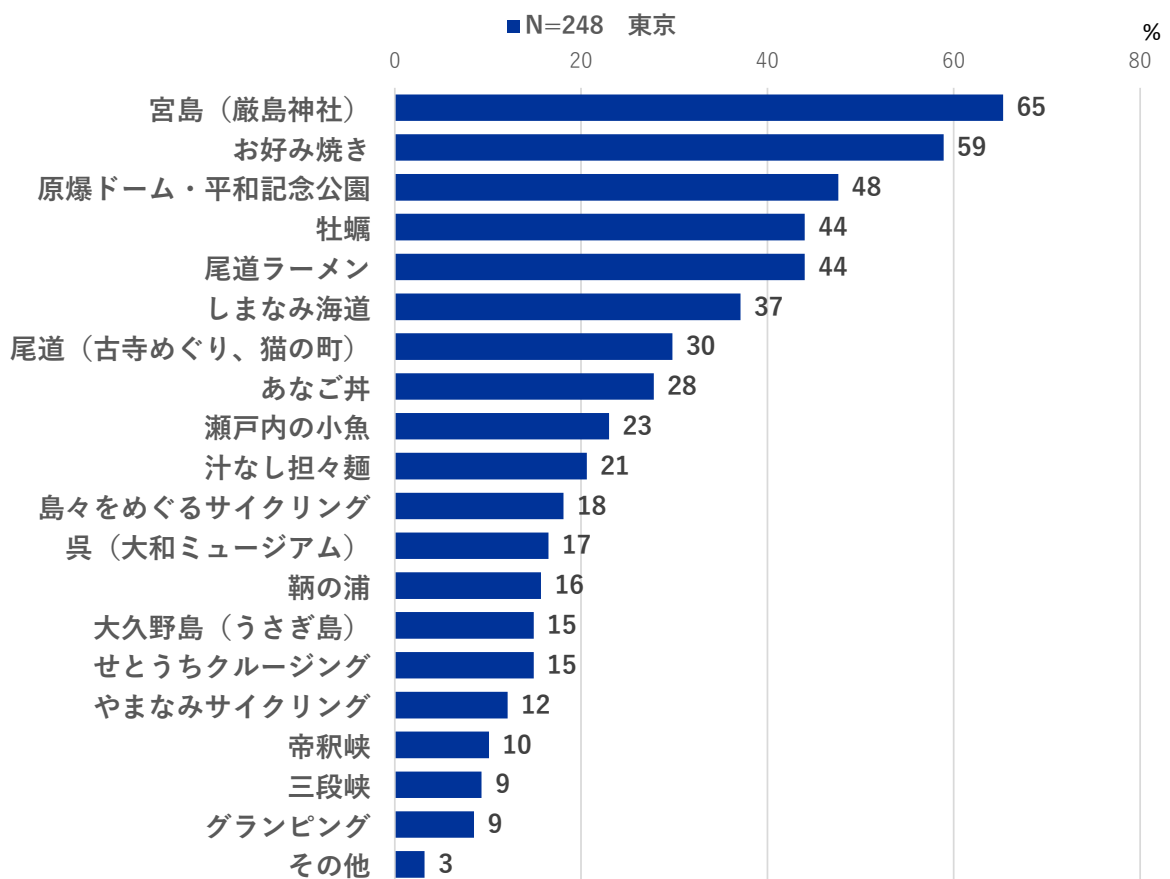
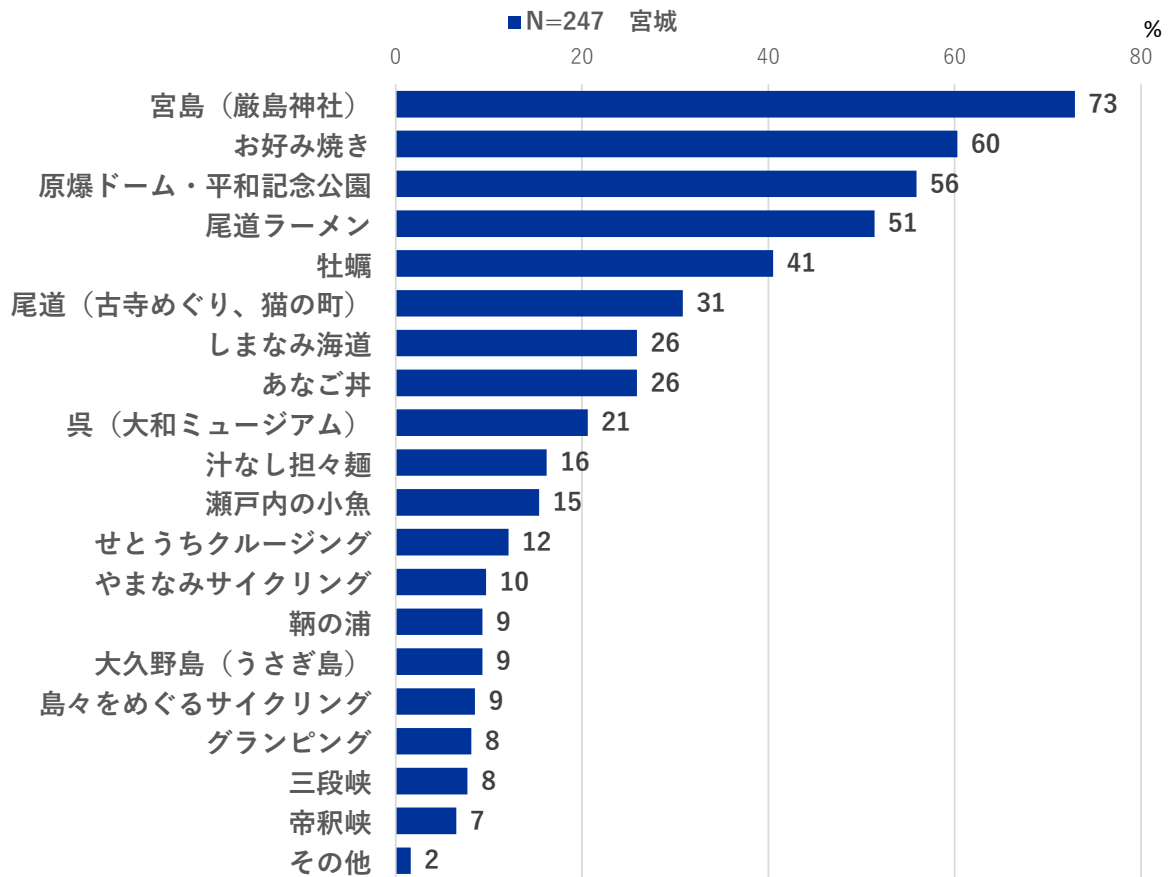


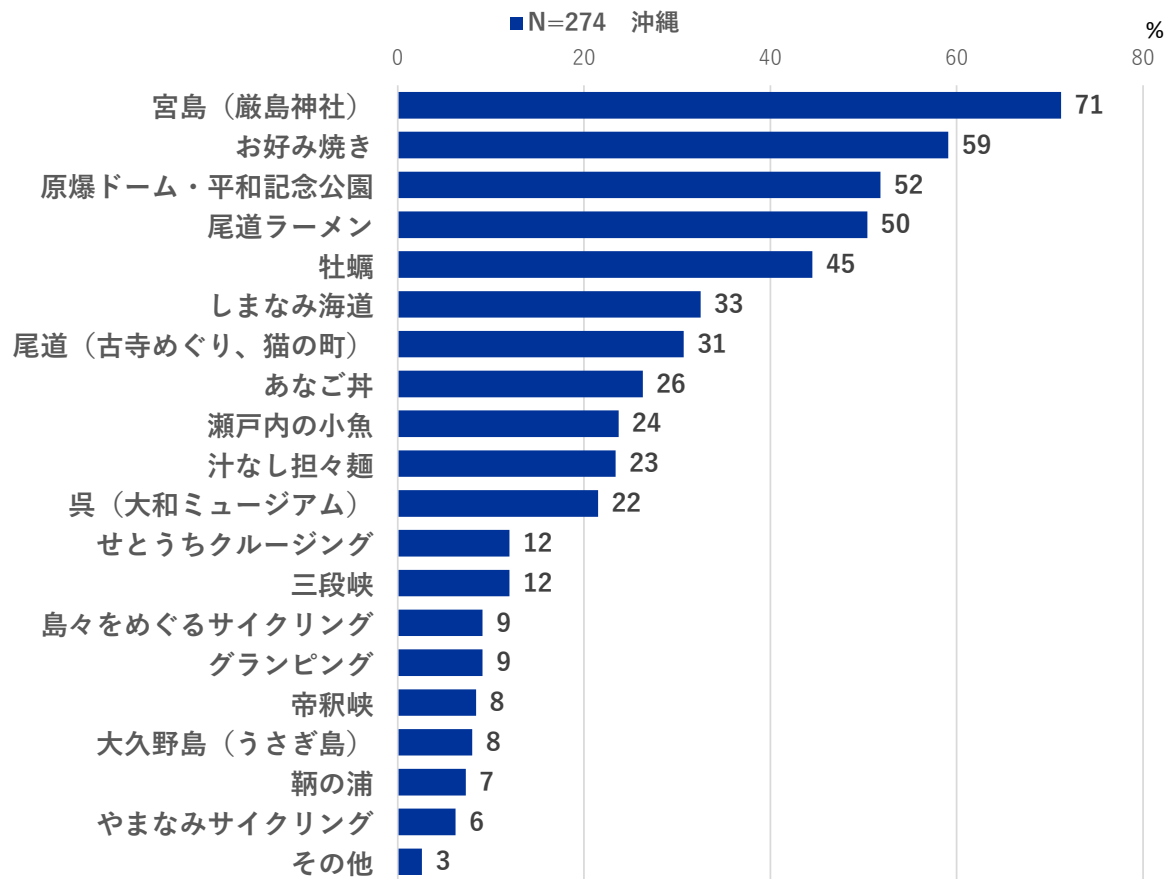
・広島県で行ってみたい場所・体験したいもの（広島県訪問の意向がある人）

広島県で行ってみたい場所・体験したいものを選択してください。（MA）

- 広島県へ旅行したい人は、いずれの居住者も 70%前後が宮島への旅行意欲がある。
- いずれの居住者も、宮島の次にお好み焼き、原爆ドーム・平和記念公園への意欲が高い。



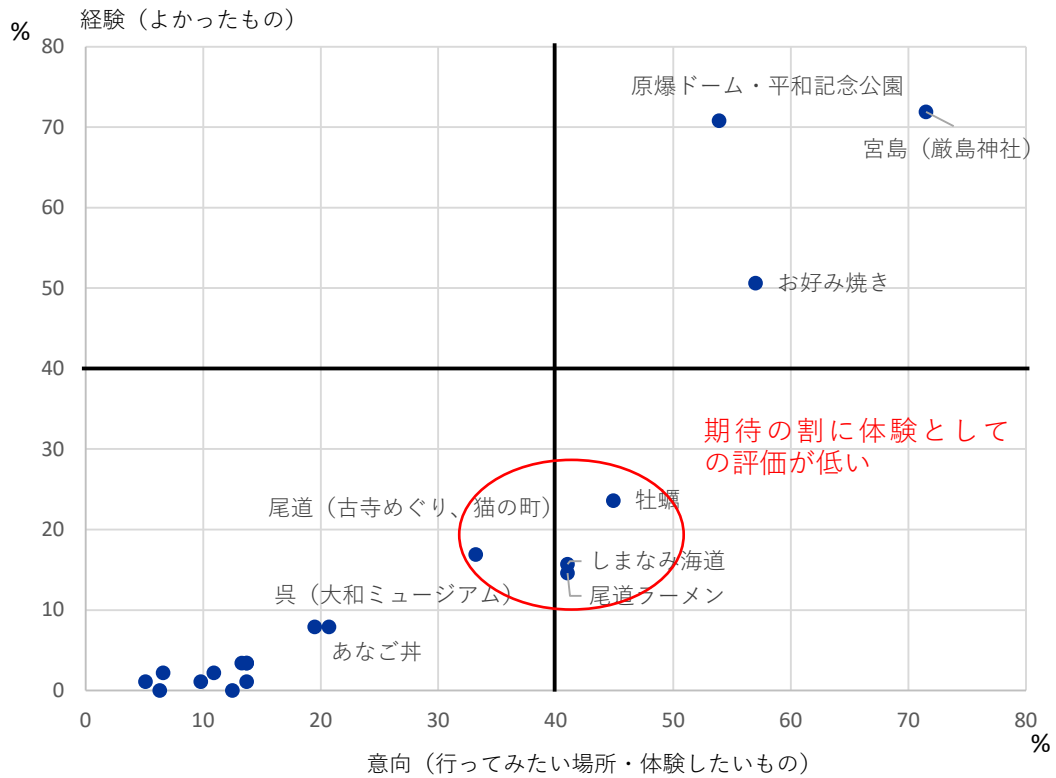




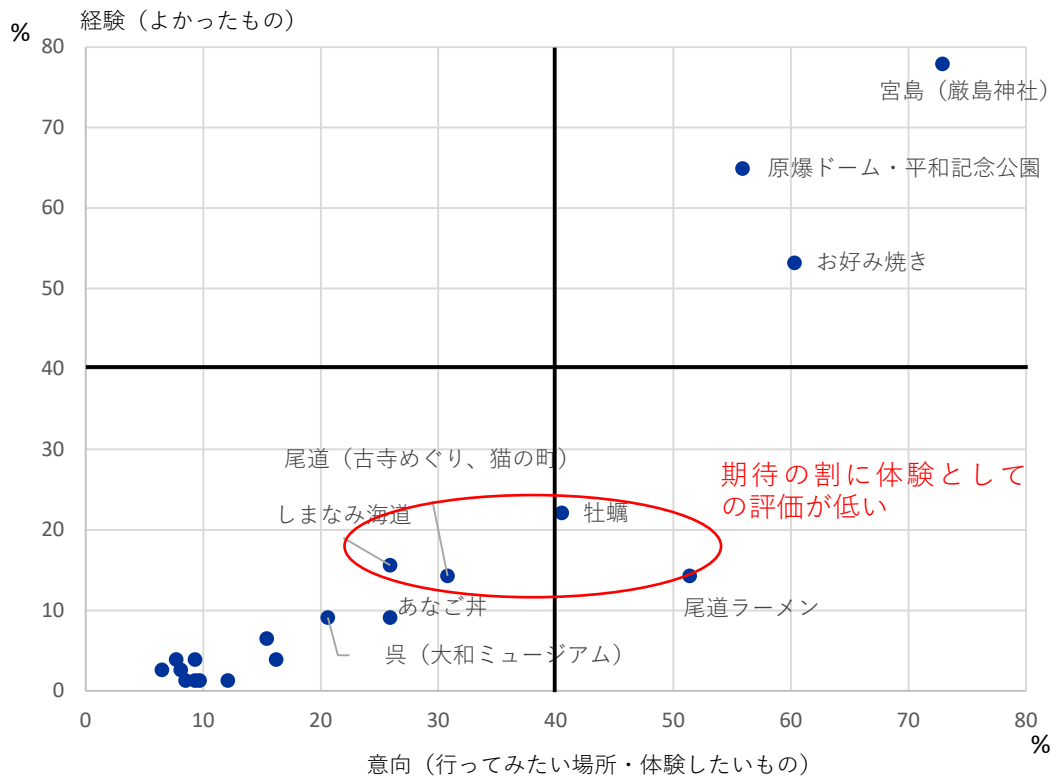
<実際によかったもの（経験）と、行ってみたい場所・体験したいもの（意向）の比較>

- いずれの居住者も、「宮島」は広島県への訪問経験者の体験としてよかったものとしての回答率が高く、且つ、今後の意向としての行ってみたい場所・体験したいものとしての回答率も高い。
- 道央居住者、宮城県居住者、東京都居住者は、「原爆ドーム・平和記念公園」は、今後の意向としての行ってみたい場所としての回答率に比べ、訪問経験者の体験としてよかったものとしての回答率が高く、期待以上の満足が得られる観光地として位置づけられる。
- いずれの居住者も、「牡蠣」、「尾道ラーメン」、「しまなみ海道」は、今後の意向としての行ってみたい場所・体験したいものとしての回答率に比べ、訪問経験者の体験としてよかったものとしての回答率が低い。この背景として、広島への旅行の行程の中に組み込まれず、訪問あるいは体験できなかった可能性も考えられる。

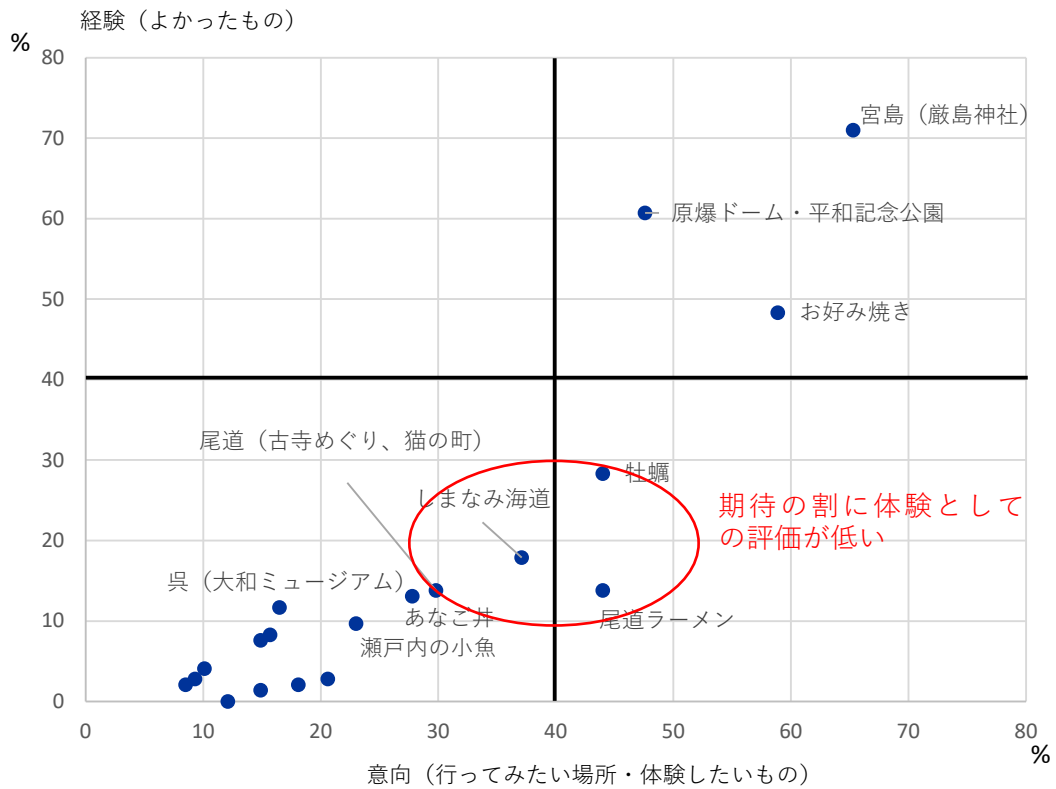
道央



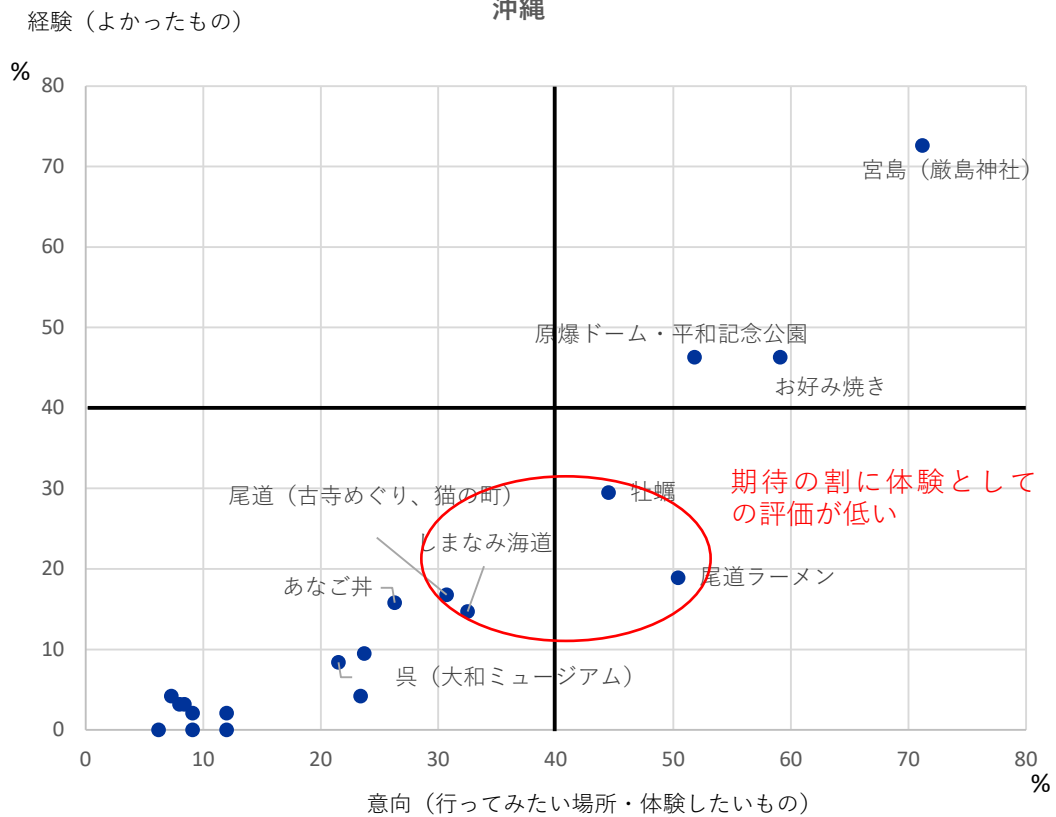
宮城



東京



沖縄



(4) 旅行に行きたくなるきっかけ

あなたが旅行に行きたくなるきっかけについて教えてください。(MA)

- 道央居住者、宮城県居住者、沖縄県居住者は、テレビ番組が旅行のきっかけとして最も多く、50%以上を占める。
- 東京都居住者は、友人や家族との会話が旅行のきっかけとして最も多い。
- いずれの居住者も、旅行会社のパンフレット・チラシ、ガイドブック、旅行雑誌が 20～30%を占める。
- 年代別にみると、20・30 代の方が 40 代以上よりもインターネット媒体を参考にしている割合が高い。

		道央		宮城		東京		沖縄	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体		401	100.0	401	100.0	400	100.0	401	100.0
1	友人や家族との会話	184	45.9	184	45.9	184	46.0	203	50.6
2	旅行会社のパンフレット・チラシ	94	23.4	105	26.2	82	20.5	106	26.4
3	テレビ番組	203	50.6	203	50.6	174	43.5	207	51.6
4	ガイドブック・旅行雑誌	85	21.2	91	22.7	89	22.3	87	21.7
5	Instagram	47	11.7	38	9.5	53	13.3	48	12.0
6	Facebook	10	2.5	9	2.2	18	4.5	14	3.5
7	YouTube	53	13.2	49	12.2	64	16.0	59	14.7
8	ツイッター	33	8.2	38	9.5	44	11.0	21	5.2
9	TikTok	4	1.0	7	1.7	3	0.8	4	1.0
10	その他	14	3.5	17	4.2	15	3.8	24	6.0

道央

		20・30代		40代以上	
		回答数	%	回答数	%
全体		126	100.0	275	100.0
1	友人や家族との会話	56	44.4	128	46.5
2	旅行会社のパンフレット・チラシ	30	23.8	64	23.3
3	テレビ番組	56	44.4	147	53.5
4	ガイドブック・旅行雑誌	23	18.3	62	22.5
5	Instagram	31	24.6	16	5.8
6	Facebook	3	2.4	7	2.5
7	YouTube	21	16.7	32	11.6
8	ツイッター	23	18.3	10	3.6
9	TikTok	1	0.8	3	1.1
10	その他	6	4.8	8	2.9

宮城

		20・30代		40代以上	
		回答数	%	回答数	%
全体		138	100.0	263	100.0
1	友人や家族との会話	59	42.8	125	47.5
2	旅行会社のパンフレット・チラシ	38	27.5	67	25.5
3	テレビ番組	57	41.3	146	55.5
4	ガイドブック・旅行雑誌	32	23.2	59	22.4
5	Instagram	28	20.3	10	3.8
6	Facebook	4	2.9	5	1.9
7	YouTube	24	17.4	25	9.5
8	ツイッター	25	18.1	13	4.9
9	TikTok	6	4.3	1	0.4
10	その他	5	3.6	12	4.6

東京

		20・30代		40代以上	
		回答数	%	回答数	%
全体		159	100.0	241	100.0
1	友人や家族との会話	64	40.3	120	49.8
2	旅行会社のパンフレット・チラシ	32	20.1	50	20.7
3	テレビ番組	50	31.4	124	51.5
4	ガイドブック・旅行雑誌	33	20.8	56	23.2
5	Instagram	31	19.5	22	9.1
6	Facebook	12	7.5	6	2.5
7	YouTube	39	24.5	25	10.4
8	ツイッター	28	17.6	16	6.6
9	TikTok	1	0.6	2	0.8
10	その他	0	0.0	15	6.2

沖縄

		20・30代		40代以上	
		回答数	%	回答数	%
全体		145	100.0	256	100.0
1	友人や家族との会話	72	49.7	131	51.2
2	旅行会社のパンフレット・チラシ	40	27.6	66	25.8
3	テレビ番組	62	42.8	145	56.6
4	ガイドブック・旅行雑誌	27	18.6	60	23.4
5	Instagram	36	24.8	12	4.7
6	Facebook	8	5.5	6	2.3
7	YouTube	27	18.6	32	12.5
8	ツイッター	11	7.6	10	3.9
9	TikTok	2	1.4	2	0.8
10	その他	8	5.5	16	6.3

(5) 広島市内を旅行する場合の利用経路の意向（訪問経験なし）

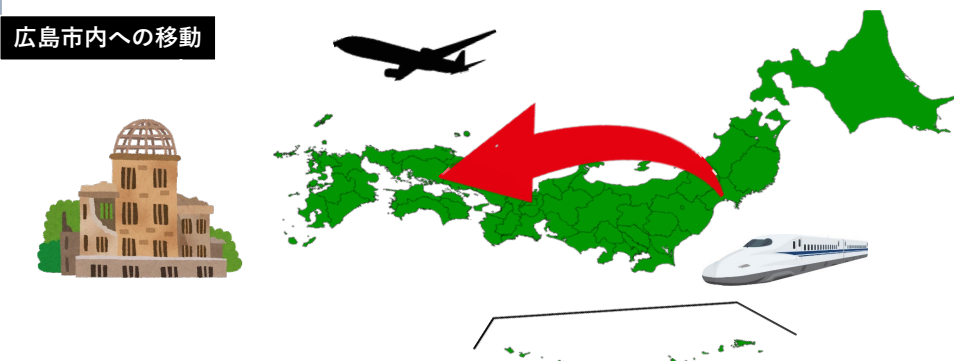
広島市内（観光地例：原爆ドーム・平和記念公園）へ旅行するとします。
どの経路を利用して広島市内を訪れると思いますか？（S A）

※調査にあたっては就航先ごとに、広島市内への経路ごとの条件を提示



▼広島市内への移動条件

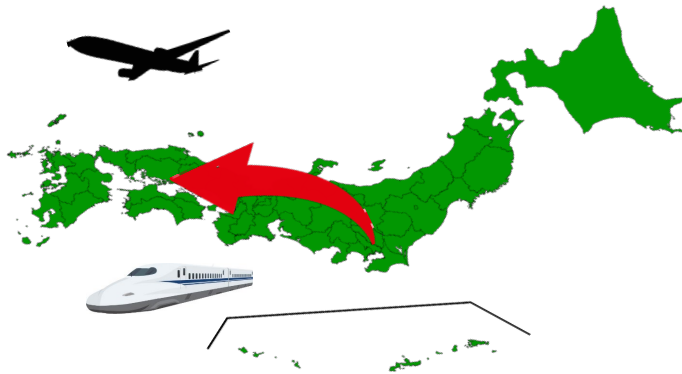
	所要時間	費用	便数
札幌市～航空機（新千歳空港＝広島空港）～広島	4時間 25分	44,100円	2往復/日 JAL,ANA
札幌市～航空機（新千歳空港＝羽田空港＝広島空港）～広島	5時間 55分	57,700円	13往復/日 JAL,ANA
札幌市～航空機（新千歳空港＝神戸空港）＋新幹線～広島	5時間 15分	41,900円	6往復/日 ANA,エアドゥ,スカイマーク
札幌市～航空機（新千歳空港＝伊丹空港）＋新幹線～広島	5時間 25分	54,400円	13往復/日 JAL,ANA
札幌市～航空機（新千歳空港＝福岡空港）＋新幹線～広島	5時間 25分	41,100円	6往復/日 JAL,ANA,スカイマーク,ビーチ,エアドゥ



▼広島市内への移動条件

	所要時間	費用	便数
仙台市～航空機（仙台空港＝広島空港）～広島	4時間 10分	24,200円	2往復/日 IBEX
仙台市～航空機（仙台空港＝神戸空港）＋新幹線～広島	4時間 50分	25,400円	2往復/日 スカイマーク
仙台市～航空機（仙台空港＝伊丹空港）＋新幹線～広島	4時間 55分	43,200円	16往復/日 JAL,ANA,IBEX
仙台市～航空機（仙台空港＝福岡空港）＋新幹線～広島	5時間 5分	43,600円	7往復/日 JAL,IBEX
仙台市～新幹線＋航空機（羽田空港＝広島空港）～広島	5時間 35分	34,600円	16往復/日 JAL,ANA
仙台市～新幹線～広島	6時間 10分	28,300円	-

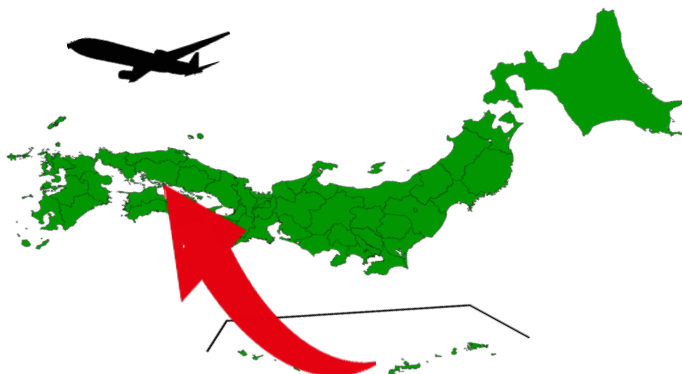
広島市内への移動



▼広島市内への移動条件

	所要時間	費用	便数
新宿～航空機（羽田空港＝広島空港）～広島	4時間 0分	23,100円	16往復/日 JAL,ANA
新宿～航空機（成田空港＝広島空港）～広島	4時間 35分	10,800円	3往復/日 春秋航空
新宿～新幹線～広島	4時間 20分	19,700円	-

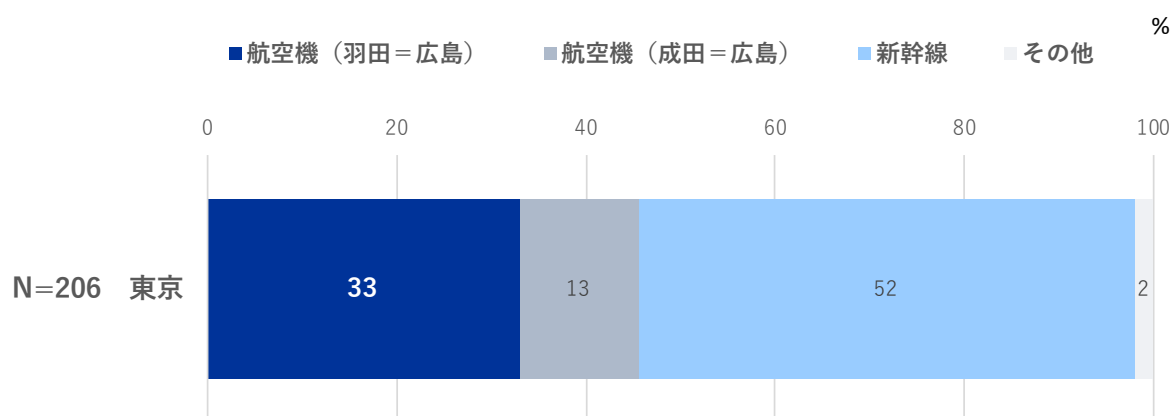
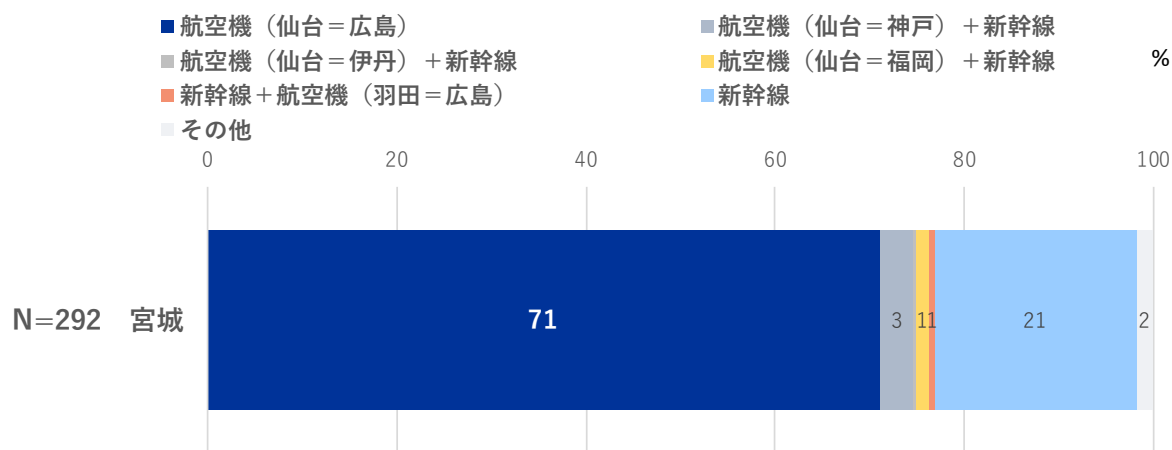
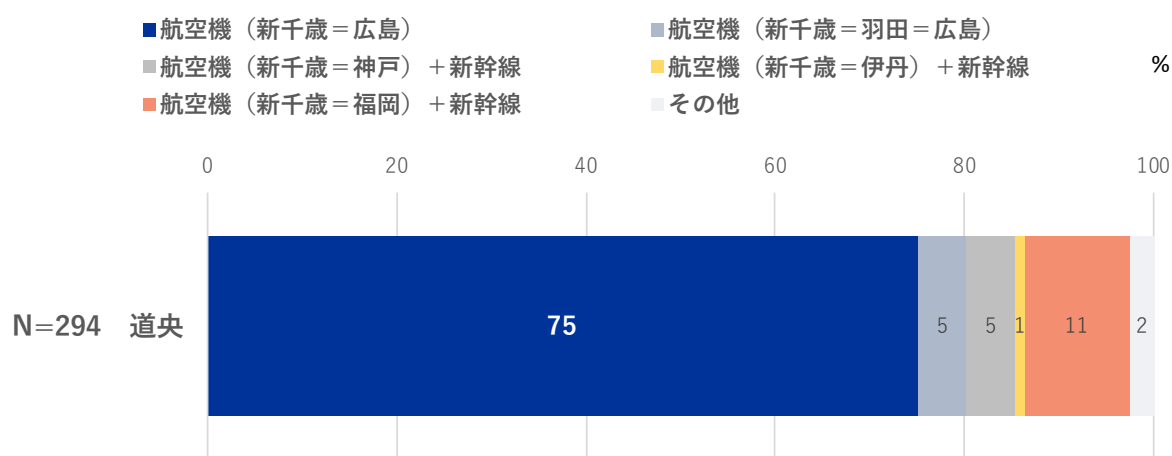
広島市内への移動

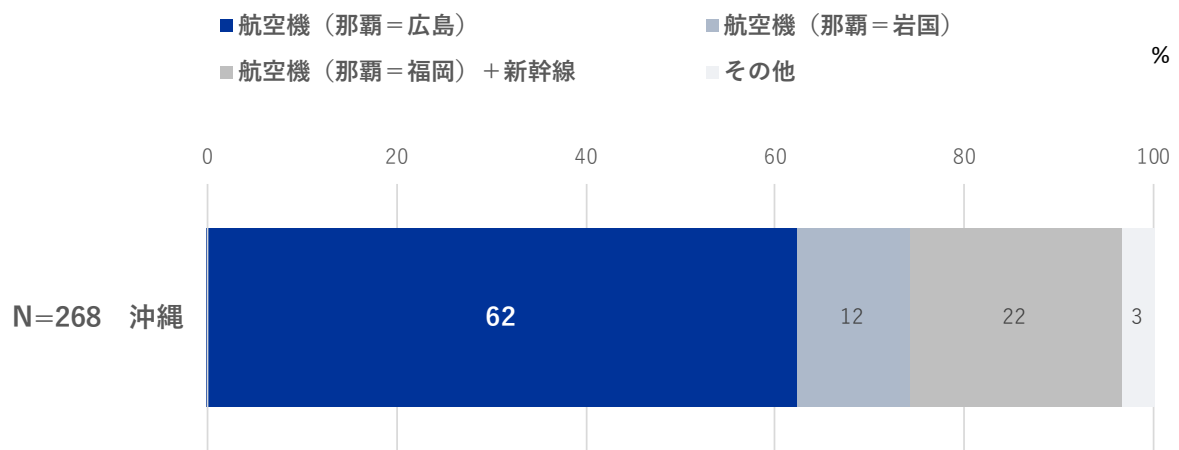


▼広島市内への移動条件

	所要時間	費用	便数
那覇市～航空機（那覇空港＝広島空港）～広島	2時間 55分	35,200円	1往復/日 ANA
那覇市～航空機（那覇空港＝福岡空港）＋新幹線～広島	3時間 10分	32,000円	22往復/日 JAL,ANA,ピーチ,スカイマーク,ソラシド

- 広島県への訪問経験がない人の利用経路の意向に着目すると、道央居住者、宮城県居住者の70%以上、沖縄県居住者の約60%が広島空港直行便の利用の意向がある。
- 東京都居住者は、新幹線利用が50%以上を占め、航空機の利用が比較的低い。

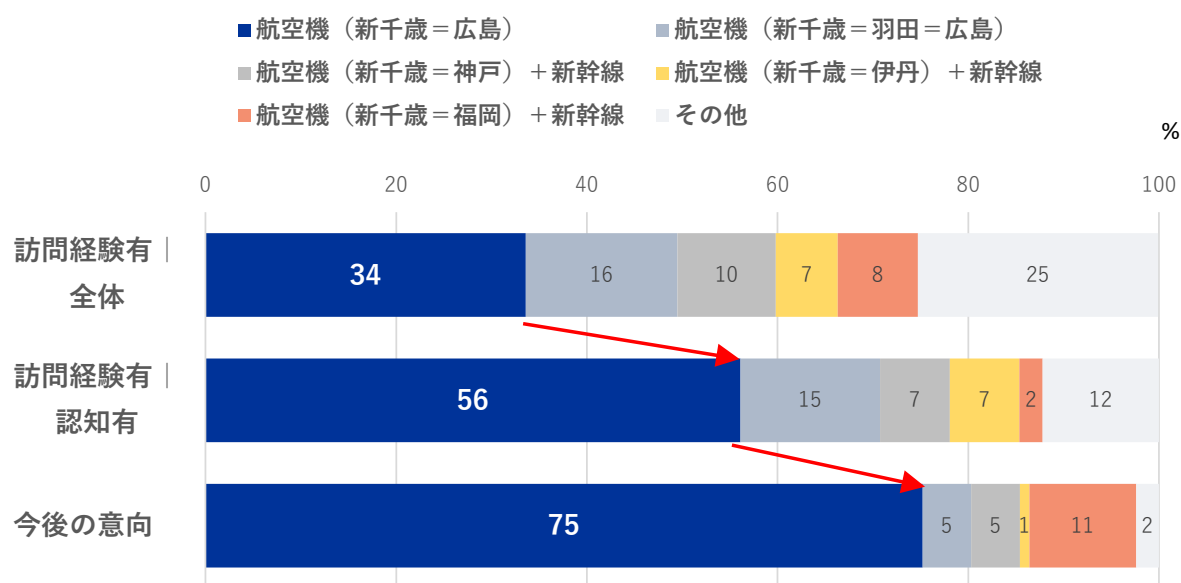




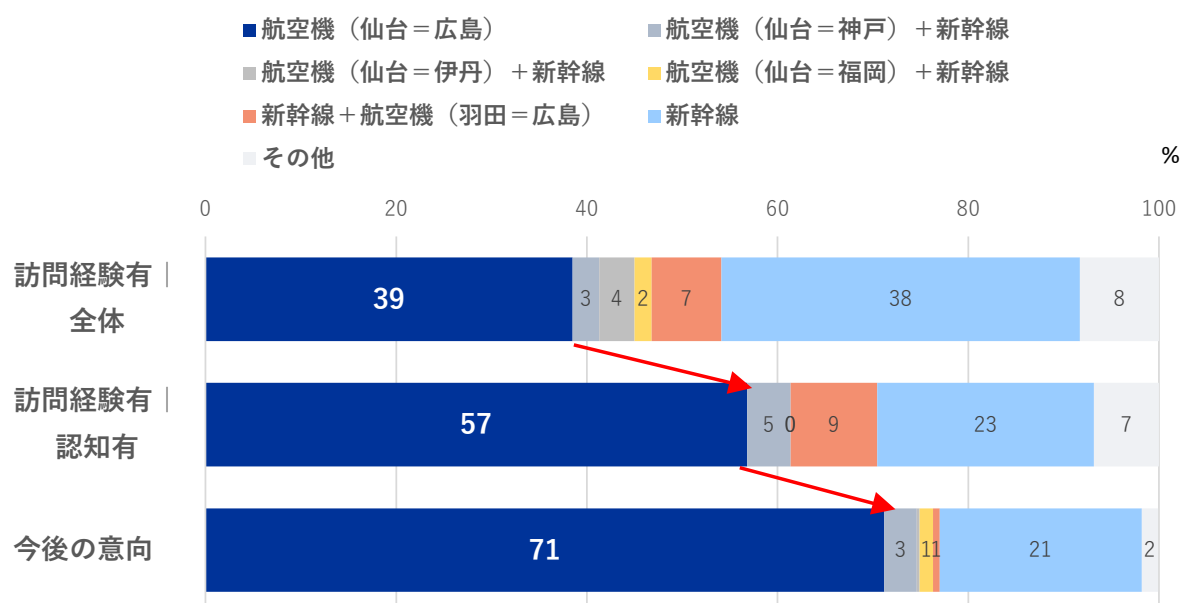
■広島県訪問経験者の利用経路の実態と、訪問経験がない人の利用経路の意向の比較

- 道央居住者、宮城県居住者、沖縄県居住者は、訪問経験者全体では直行便の利用が概ね 30～40%であるが、直行便を知っている人に限定すると概ね 50～60%の利用となり、更に今後の意向としては 60～70%が直行便を利用したいと回答している。今後の意向は、提示した条件に応じた回答であるため、条件次第で利用する期待値として捉えられる。
- 東京都居住者は、航空路線を知っている訪問経験者の利用率と、今後の意向に乖離がみられた。東京＝広島間は飛行機と新幹線が競争関係にあるため、提示する航空運賃の価格が経路の意向に与えたと考えられる。

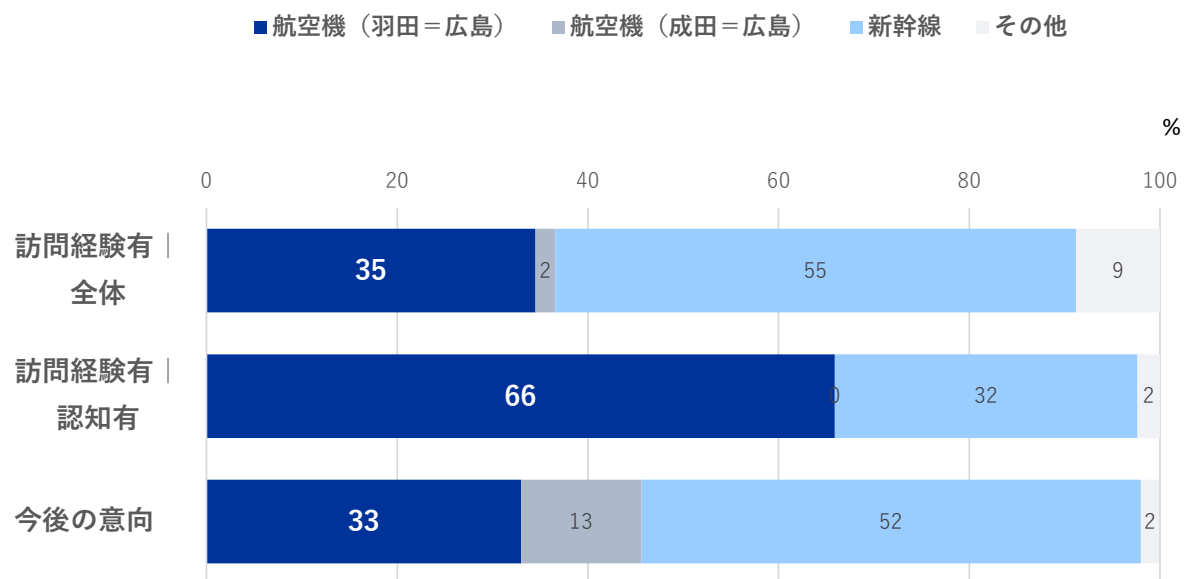
道央



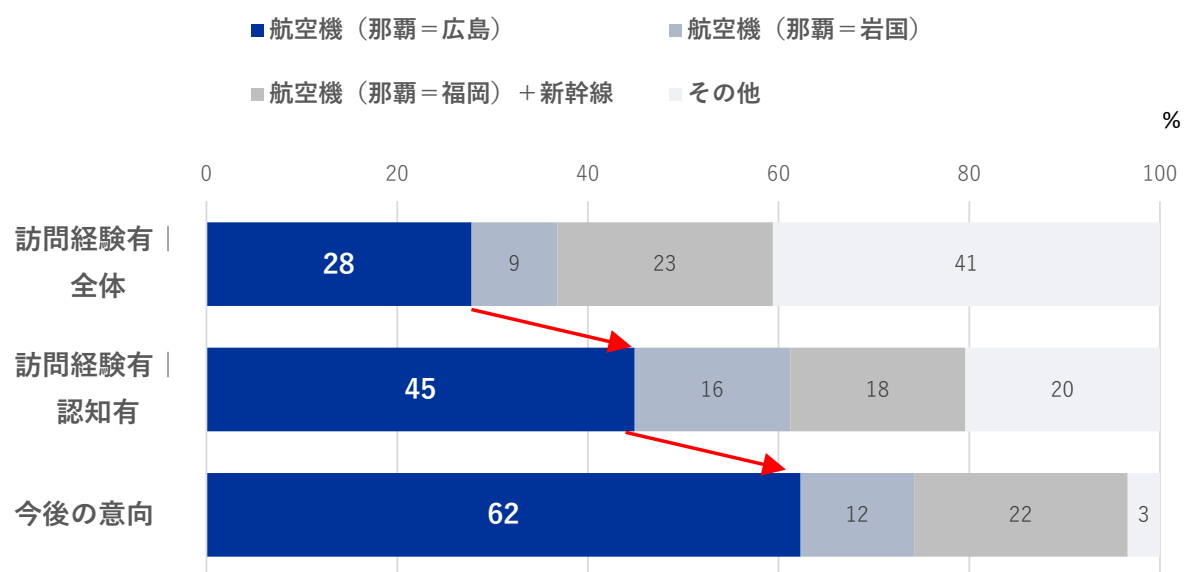
宮城



東京



沖縄



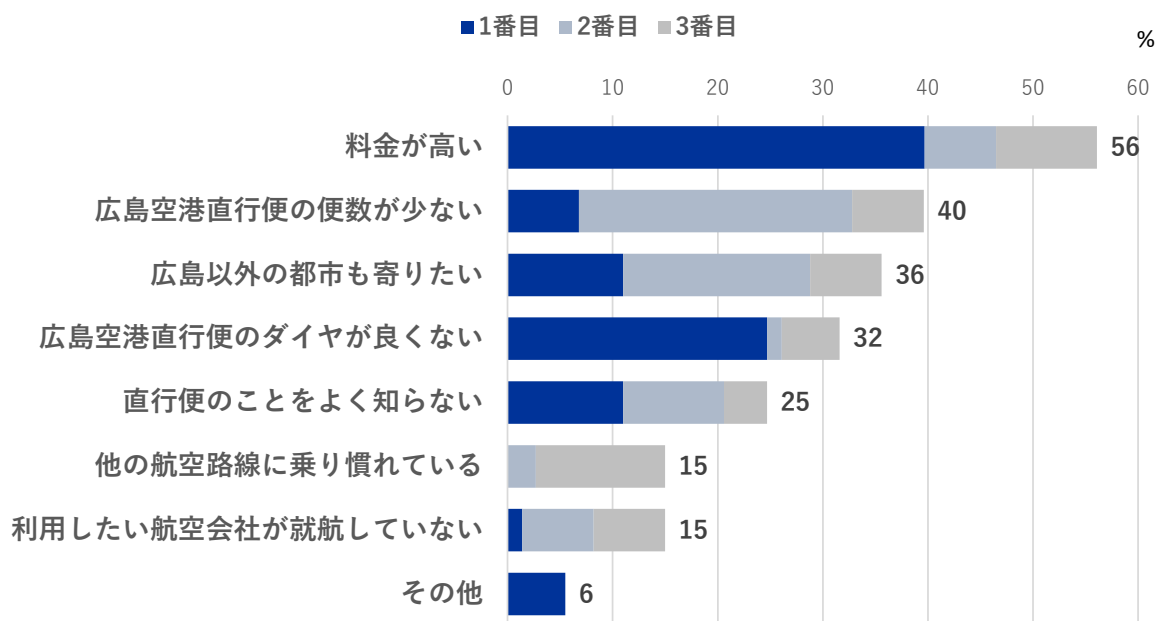
・広島空港への直行便を利用しない理由

広島空港への直行便を利用しない理由は何ですか？

以下の選択肢から当てはまると思う順に3つまでお選びください。(S A)

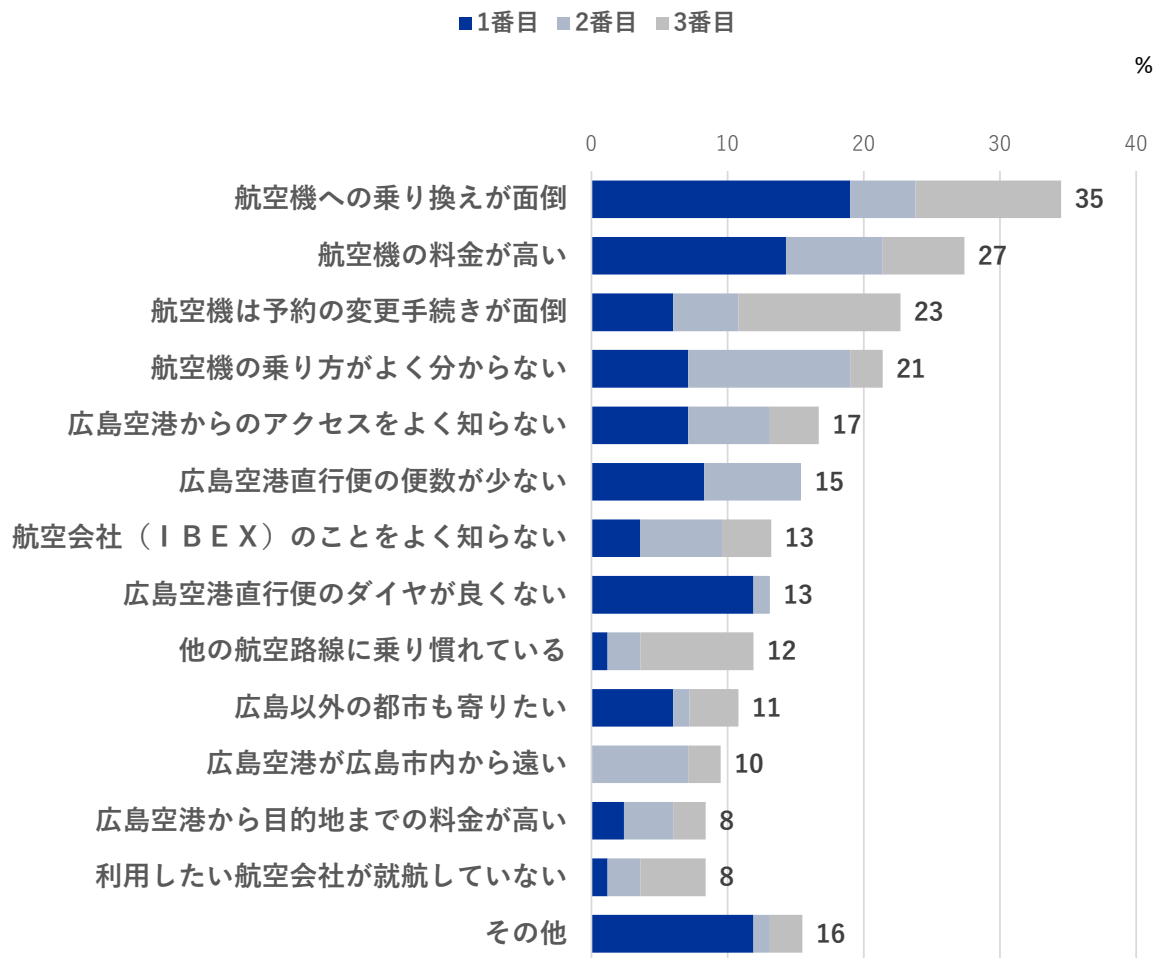
- 道央居住者、沖縄県居住者は、「航空機の料金が安い」「直行便の便数が少ない」「広島以外の都市も寄りたい」ことが直行便を利用しない主な理由として挙げている。
- 宮城県居住者は、航空機の料金が安いことに加えて、航空機利用が面倒であるという意見が多い。
- 東京都居住者は、新幹線の利用意向が60%を占める。

N=73 道央



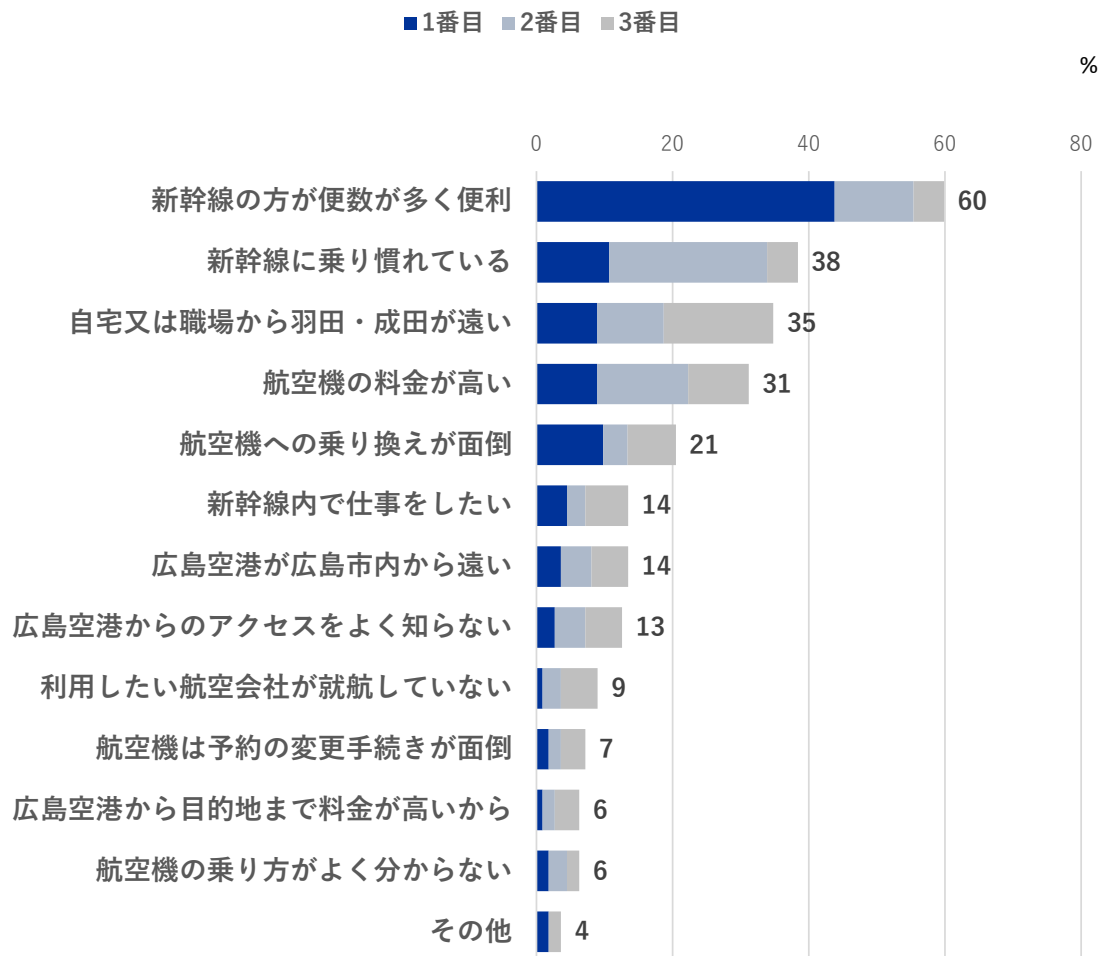
※その他…旅行に興味がない等の回答が多い。

N=84 宮城

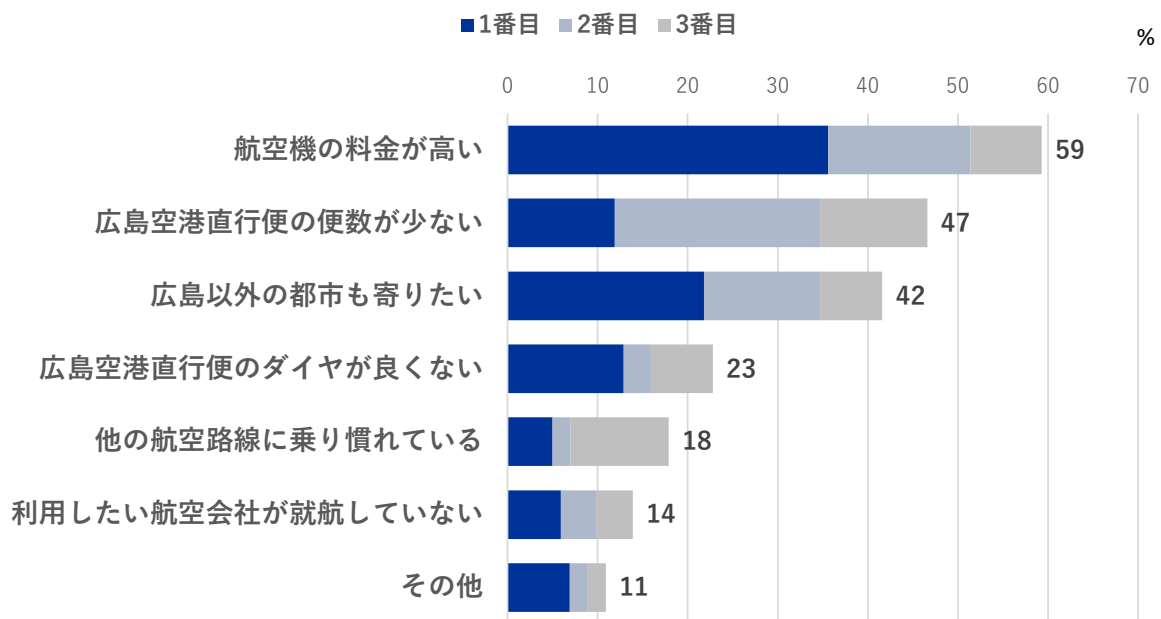


※その他…飛行機が怖い、嫌いといった航空機への苦手意識がある回答が多い。

N=112 東京



N=101 沖縄

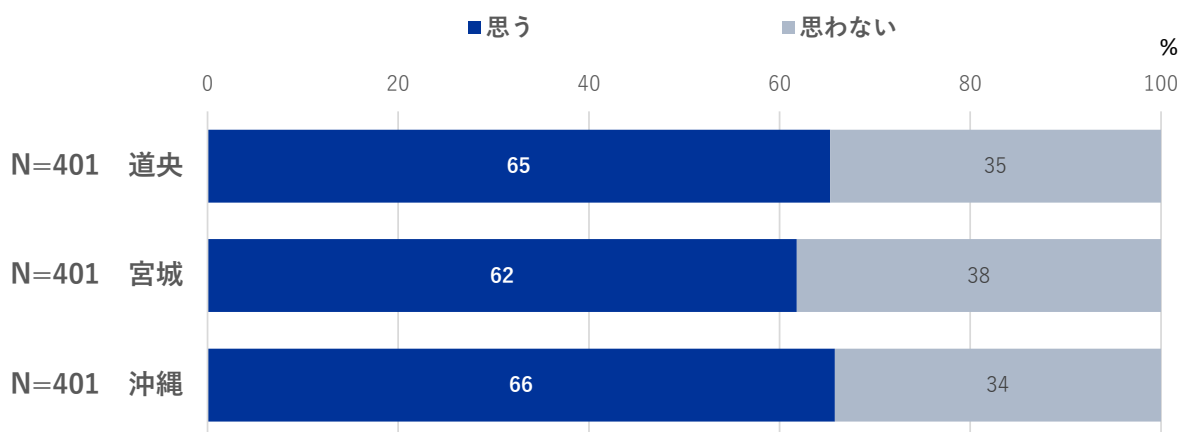


※その他…旅行に興味がない、新幹線に乗りたい等の回答が多い。

(6) 広島空港への直行便に LCC が就航した場合の利用意向（札幌、仙台、沖縄のみ）

広島空港への直行便で LCC が就航したら旅行したいと思いますか？（SA）

- 広島空港に LCC が就航した場合、いずれの居住者も、60～70%が広島空港への直行便の利用意向がある。



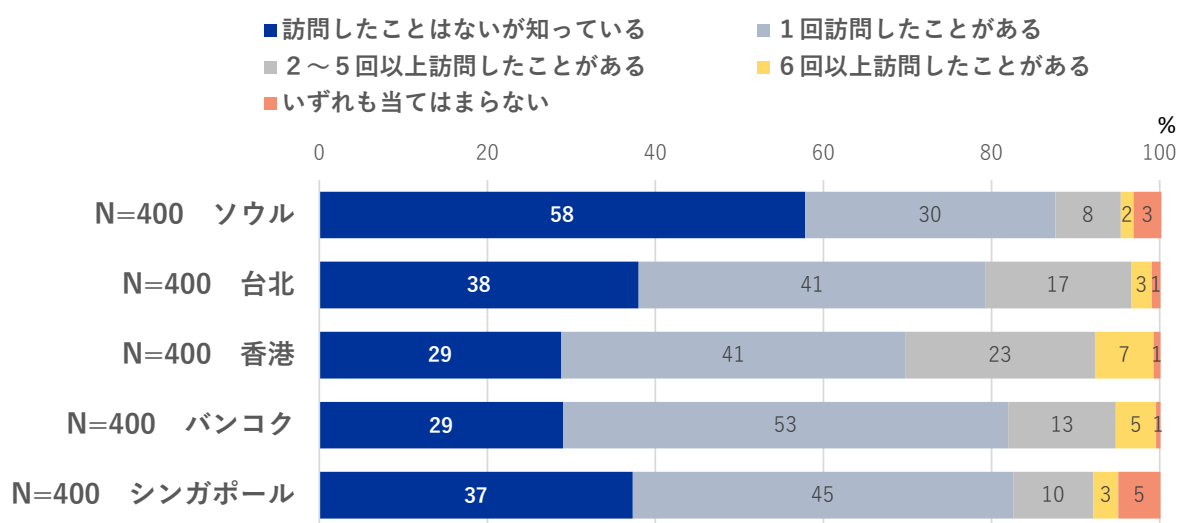
2.2.4 調査結果 | 国際線

(1) 日本の都道府県ごとの訪問状況

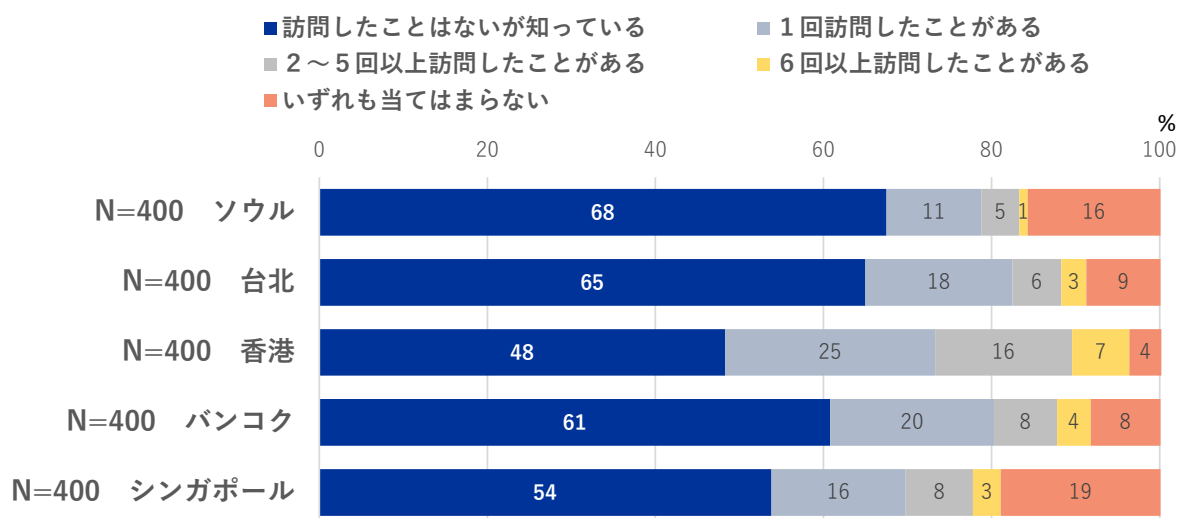
以下の日本の都市について知っていますか？また、訪問したことがある場合は何回訪問したことがありますか？（SA）

- いずれの居住者も、東京都、京都府、大阪府への訪問経験が比較的多い。
- 広島県訪問経験者は、どの地域においても半数以下である。一方で、訪問経験はないが広島県について知っている人は50～70%を占めており、広く認知されている。
- 周辺県と比較すると、いずれの居住者も広島県が最も認知されている。また、訪問経験も広島県が最も多い。

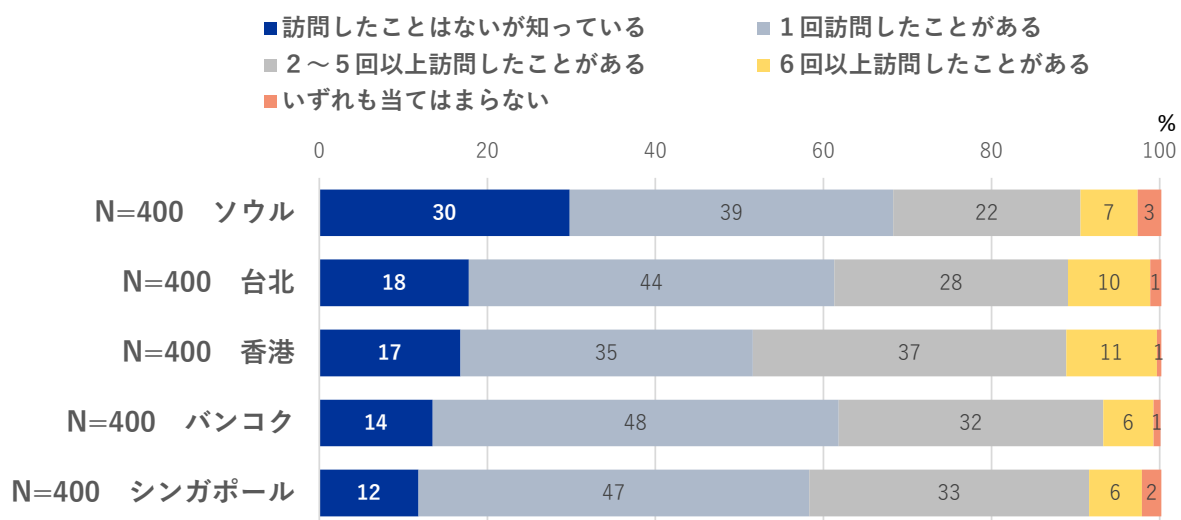
北海道



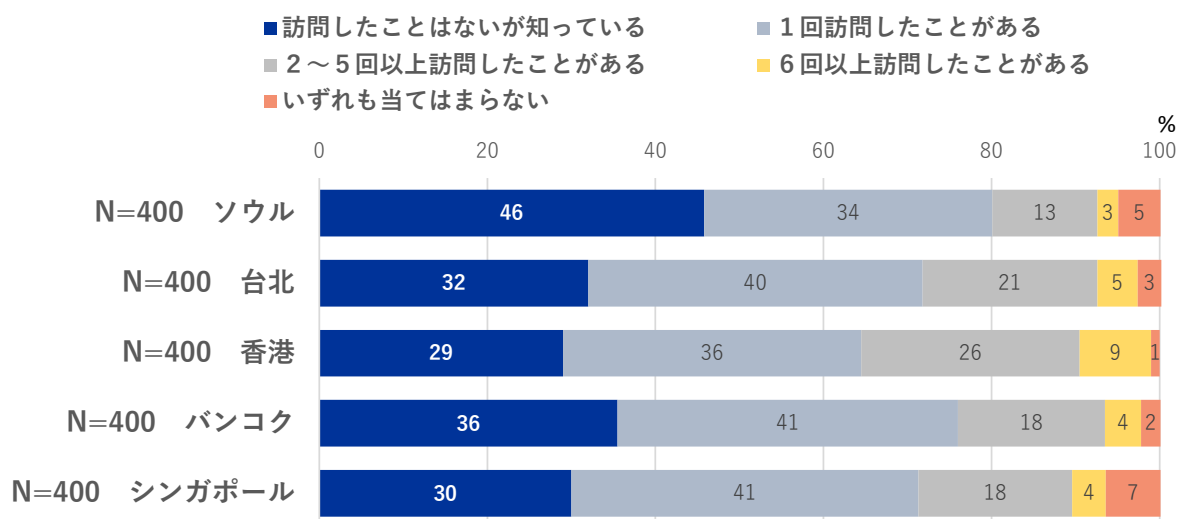
宮城県



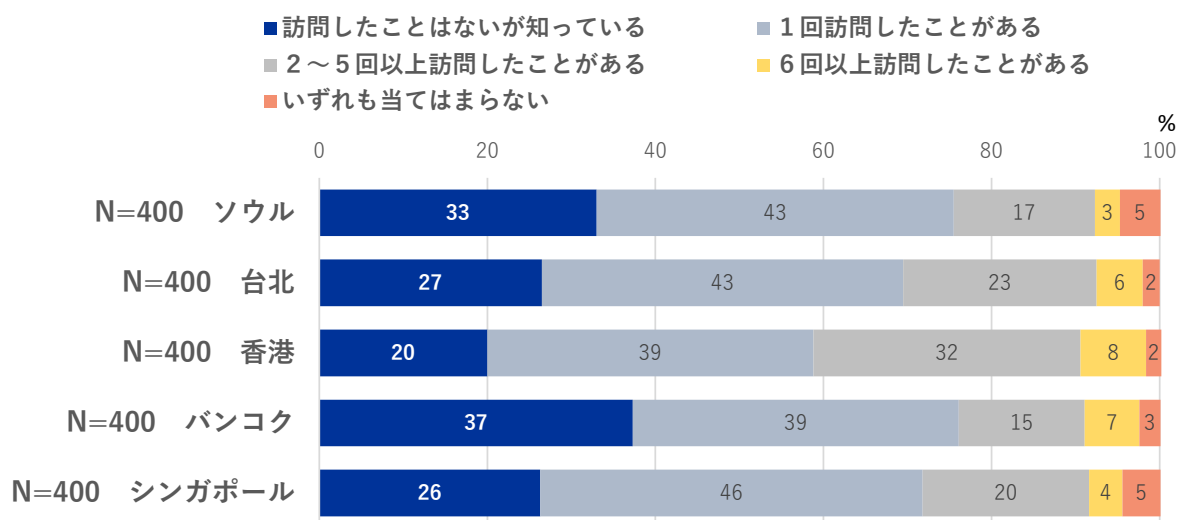
東京都



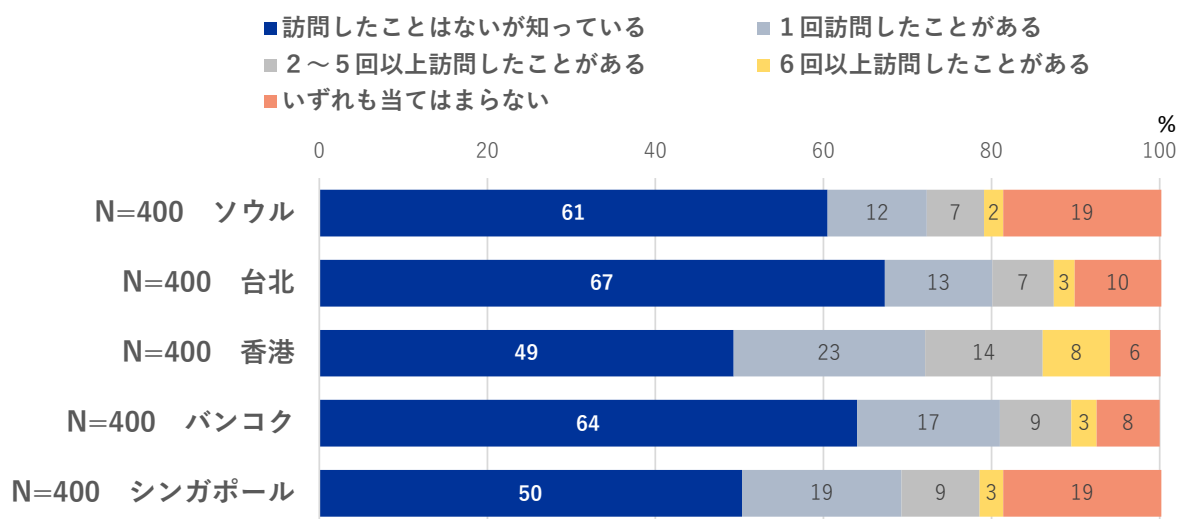
京都府



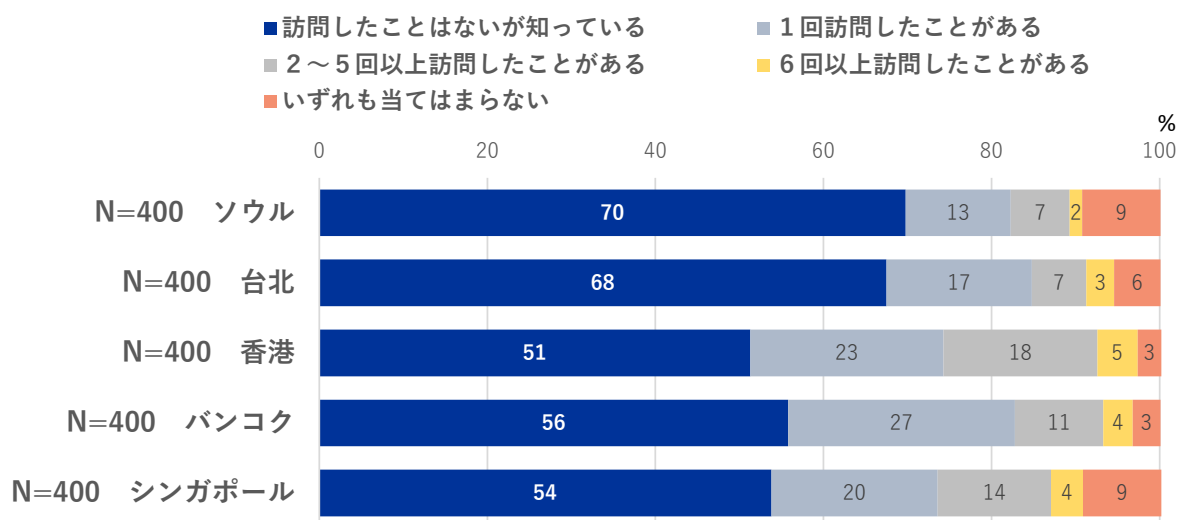
大阪府



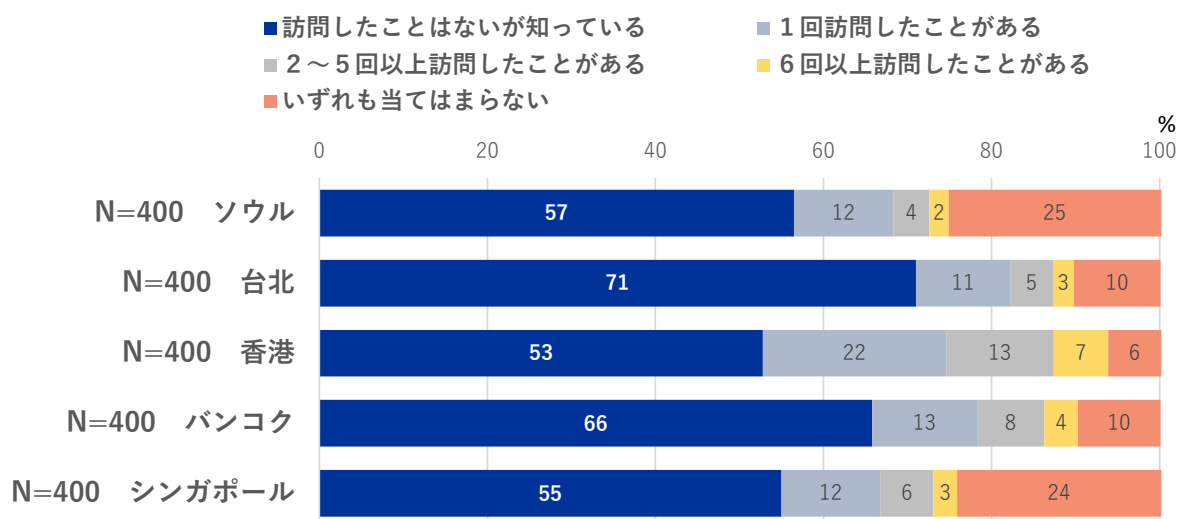
岡山県



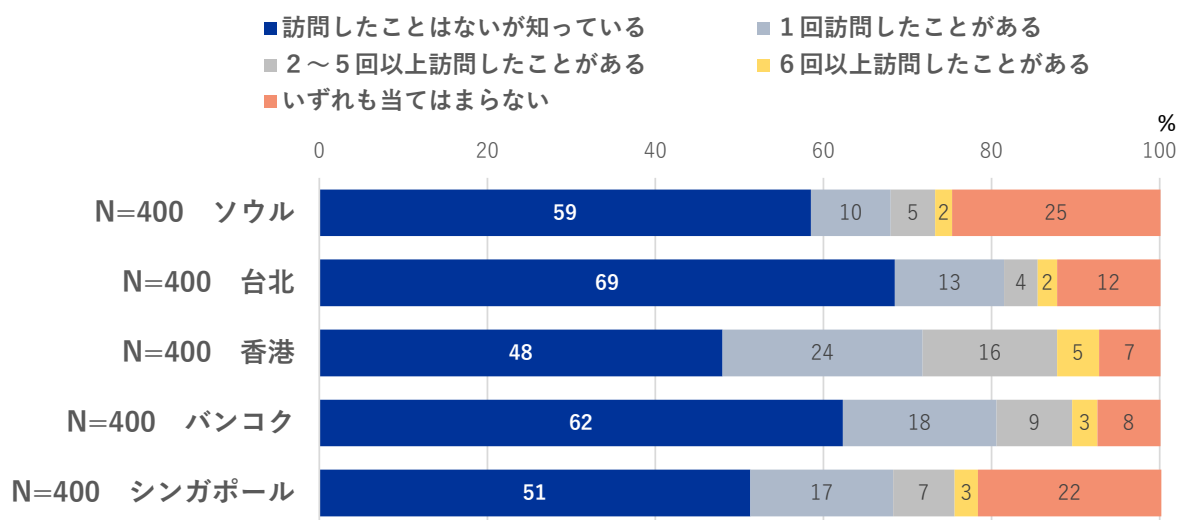
広島県



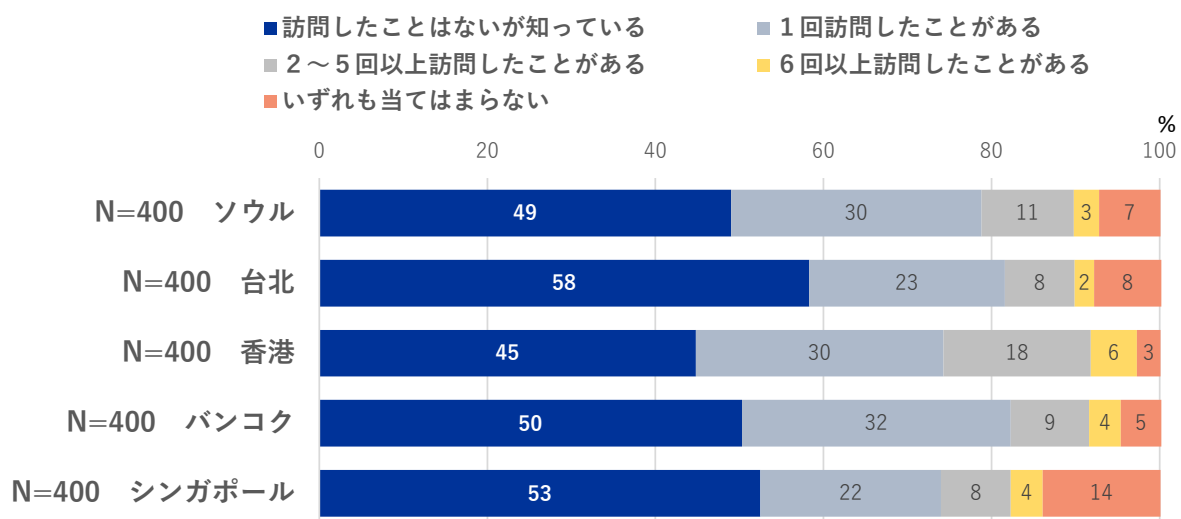
愛媛県



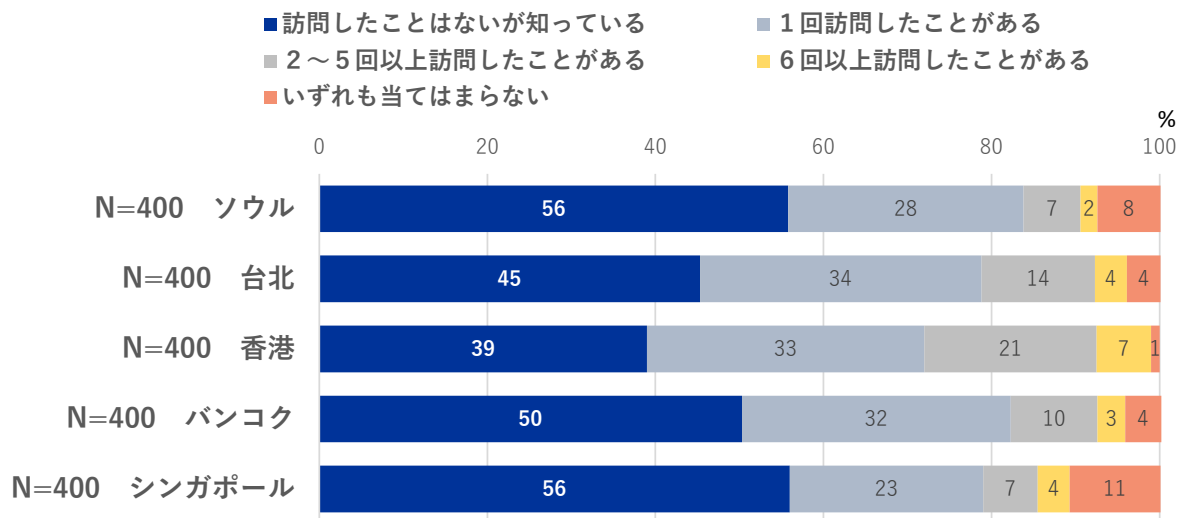
香川県



福岡県



沖縄県



広島県と周辺県の認知度

		ソウル		台北		香港		バンコク		シンガポール	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
広島県	知っている	400	100	400	100	400	100	400	100	400	100
	知らない	363	90.8	378	94.5	389	97.3	387	96.8	363	90.8
岡山県	知っている	37	9.3	22	5.5	11	2.8	13	3.3	37	9.3
	知らない	325	81.3	359	89.8	376	94.0	370	92.5	325	81.3
香川県	知っている	75	18.8	41	10.3	24	6.0	30	7.5	75	18.8
	知らない	301	75.3	351	87.8	371	92.8	370	92.5	313	78.3
愛媛県	知っている	99	24.8	49	12.3	29	7.3	30	7.5	87	21.8
	知らない	299	74.8	359	89.8	375	93.8	361	90.3	303	75.8

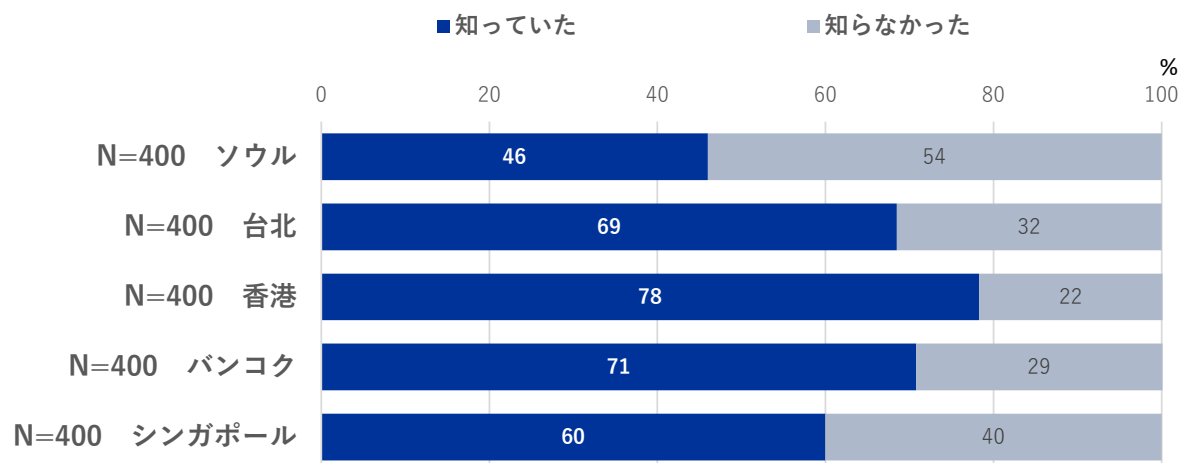
広島県と周辺県の訪問経験

		ソウル		台北		香港		バンコク		シンガポール	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
広島県	1回	400	100	400	100	400	100	400	100	400	100
	2～5回	50	12.5	69	17.3	92	23.0	108	27.0	79	19.8
	6回以上	28	7.0	26	6.5	73	18.3	42	10.5	54	13.5
	訪問したことはない	6	1.5	13	3.3	19	4.8	14	3.5	15	3.8
岡山県	1回	316	79.0	292	73.0	216	54.0	236	59.0	252	63.0
	2～5回	47	11.8	51	12.8	91	22.8	68	17.0	76	19.0
	6回以上	27	6.8	29	7.3	56	14.0	34	8.5	37	9.3
	訪問したことはない	9	2.3	10	2.5	32	8.0	12	3.0	11	2.8
香川県	1回	317	79.3	310	77.5	221	55.3	286	71.5	276	69.0
	2～5回	47	11.8	51	12.8	91	22.8	68	17.0	76	19.0
	6回以上	27	6.8	29	7.3	56	14.0	34	8.5	37	9.3
	訪問したことはない	9	2.3	10	2.5	32	8.0	12	3.0	11	2.8
愛媛県	1回	38	9.5	52	13.0	95	23.8	73	18.3	68	17.0
	2～5回	21	5.3	16	4.0	64	16.0	36	9.0	29	7.3
	6回以上	8	2.0	9	2.3	20	5.0	12	3.0	11	2.8
	訪問したことはない	333	83.3	323	80.8	221	55.3	279	69.8	292	73.0

(2) 広島空港への直行便の認知状況

コロナ前に広島空港へ直行便が開設されていたことを知っていますか？（SA）

- 最も認知度が高い地域は香港であり、78%を占める。
- ソウルは他の地点と比較すると認知度が低く、46%に留まっている。



(3) 広島県への訪問経験

【訪問経験者への質問】

・広島県への旅行目的

広島県を訪れた目的をお教えてください。(MA)

- いずれの居住者も、観光目的が94%以上を占める。
- 仕事での訪問経験は約18～46%である。

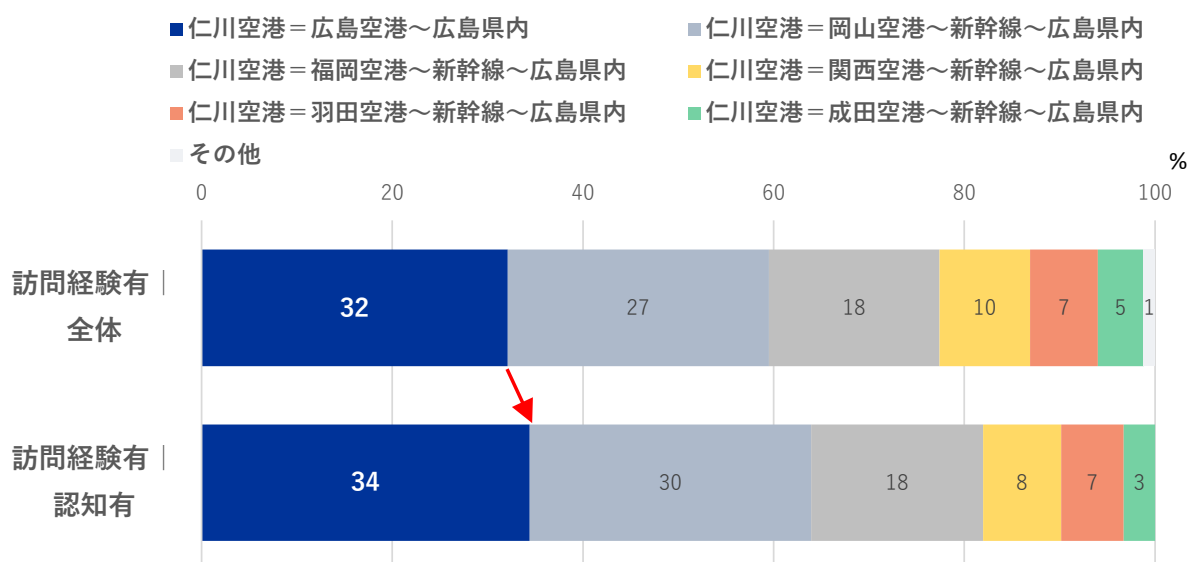
		ソウル		台北		香港		バンコク		シンガポール	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体		84	100.0	108	100.0	184	100.0	164	100.0	148	100.0
1	観光	79	94.0	105	97.2	174	94.6	163	99.4	142	95.9
2	仕事	23	27.4	19	17.6	84	45.7	42	25.6	55	37.2
3	その他					3	1.6			1	0.7

・広島県訪問時の利用経路

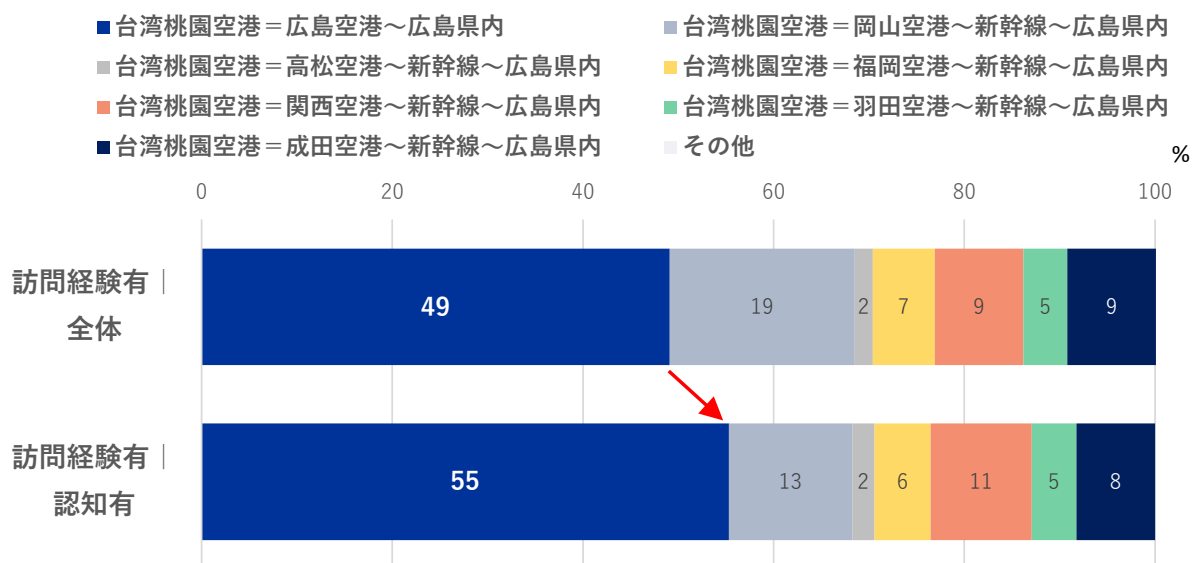
どの経路を利用して広島県内を訪れましたか？(SA)

- 広島空港直行便の利用者は、いずれの居住者も30%～50%前後を占める。
- いずれの居住者も、広島空港直行便の利用者が最も多く、次に岡山空港の利用者が多い。
- 広島空港直行便を認知している場合、広島路線の利用者は香港を除く就航先において2～6%増加しており、認知度が高まると直行便の利用がわずかに増加する。

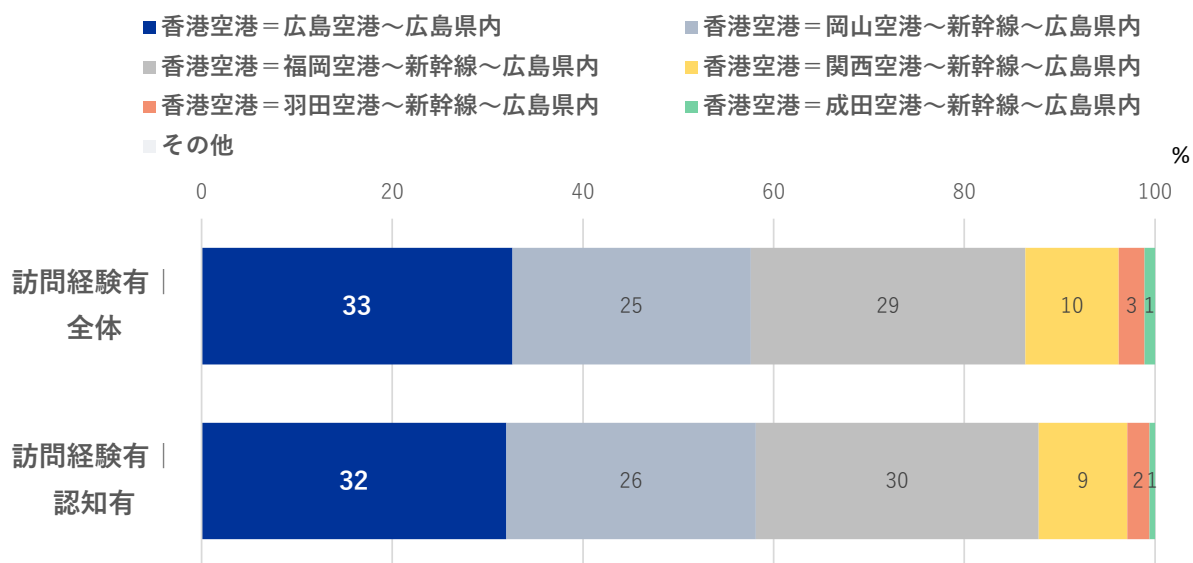
ソウル



台北

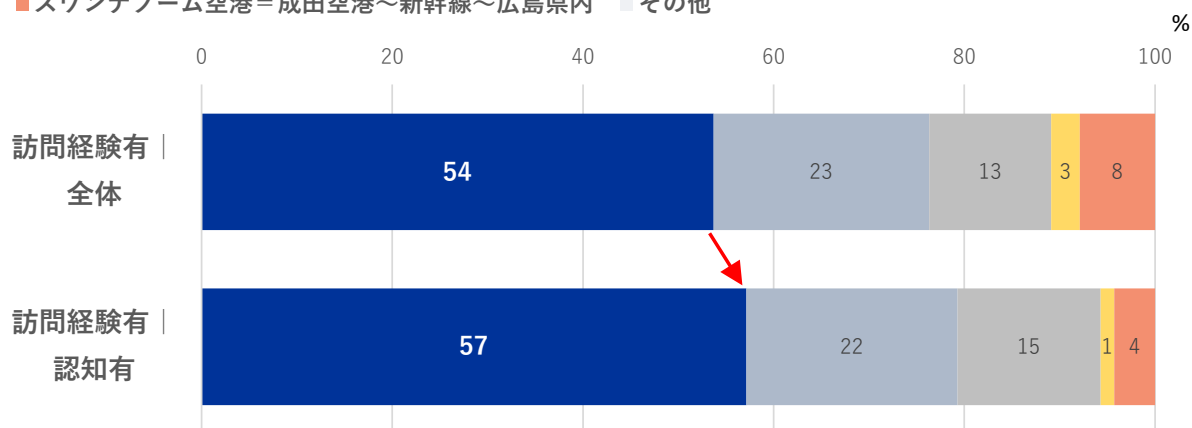


香港



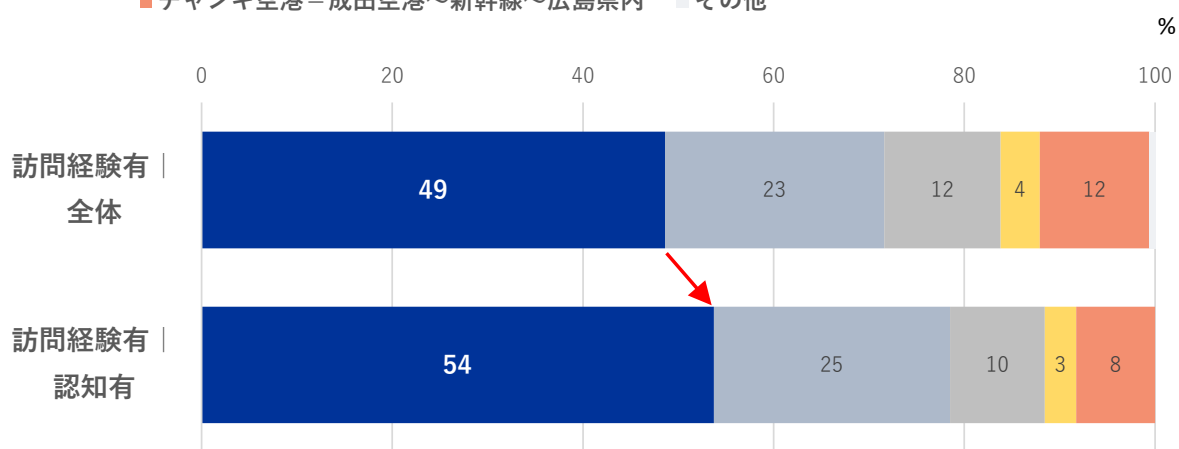
バンコク

- スワンナプーム空港＝広島空港～広島県内
- スワンナプーム空港＝福岡空港～新幹線～広島県内
- スワンナプーム空港＝関西空港～新幹線～広島県内
- スワンナプーム空港＝羽田空港～新幹線～広島県内
- スワンナプーム空港＝成田空港～新幹線～広島県内
- その他



シンガポール

- チャンギ空港＝広島空港～広島県内
- チャンギ空港＝福岡空港～新幹線～広島県内
- チャンギ空港＝関西空港～新幹線～広島県内
- チャンギ空港＝羽田空港～新幹線～広島県内
- チャンギ空港＝成田空港～新幹線～広島県内
- その他



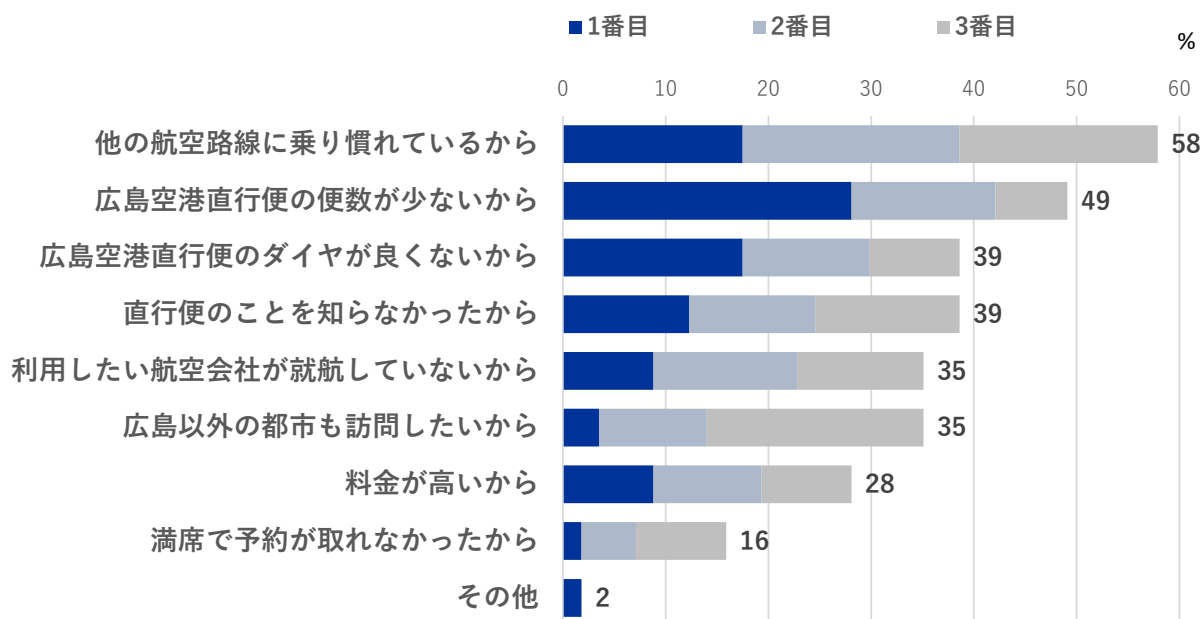
・広島空港の直行便を利用しなかった理由

広島空港への直行便を利用しなかった理由は何ですか？

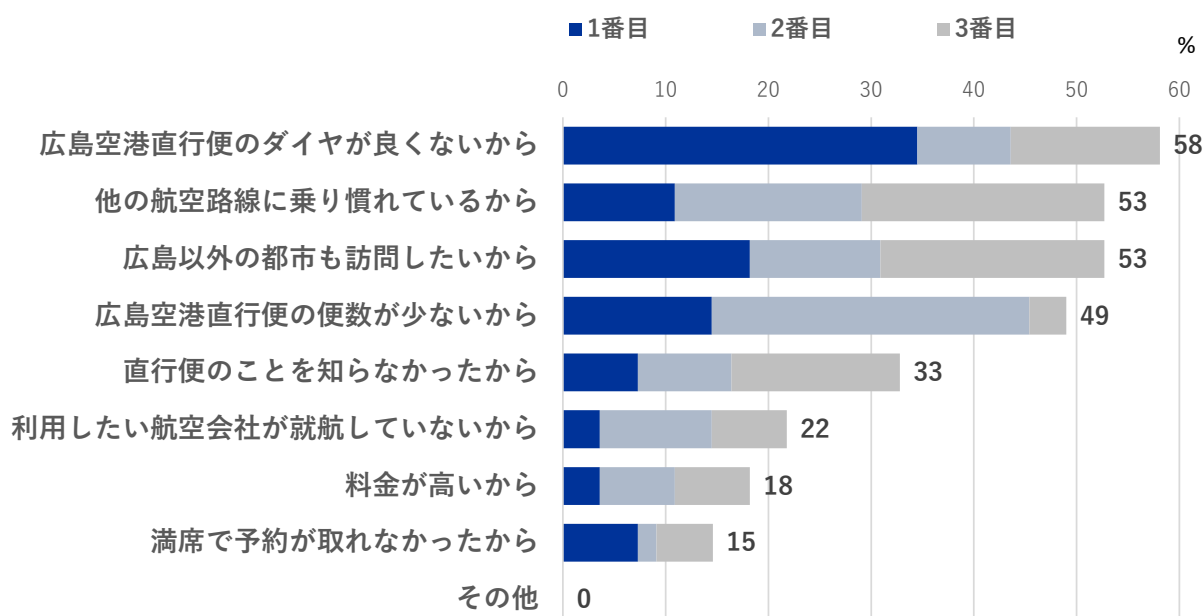
以下の選択肢から当てはまると思う順に3つまでお選びください。（SA）

- いずれの居住者も、他の航空路線に乗り慣れていることや、広島空港直行便の便数が少ないことを挙げている人が多い。
- シンガポール居住者はダイヤを1番目の理由に挙げる傾向が強い。香港居住者は便数を理由に挙げる傾向が強いが、台北居住者はその傾向が他地点よりも弱い。

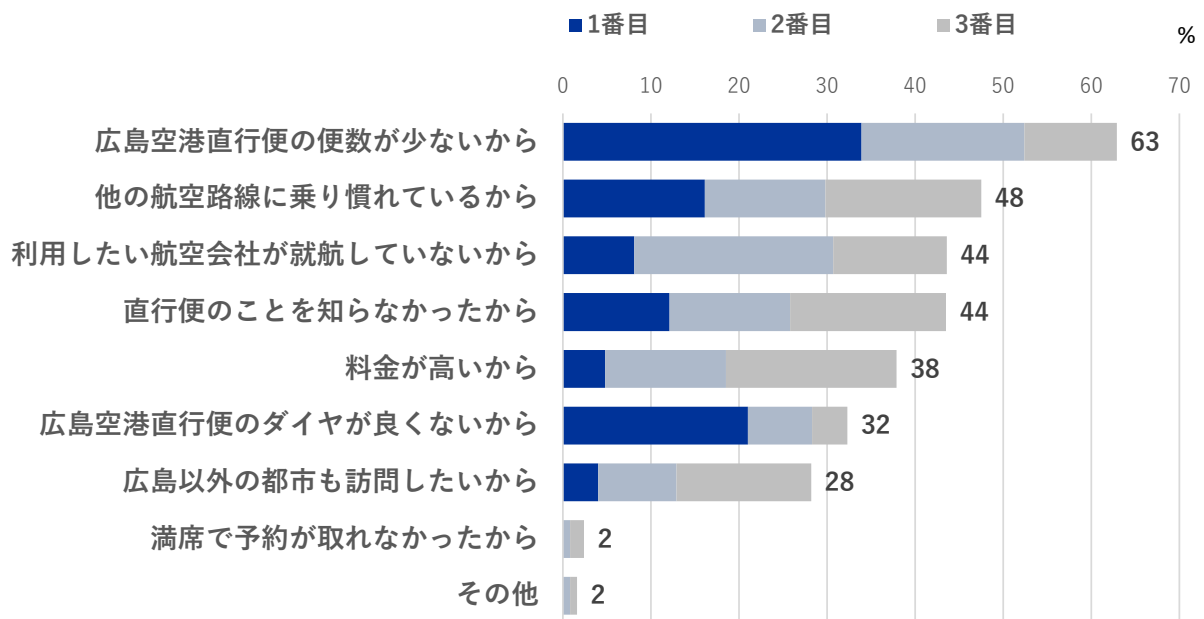
N=57 ソウル



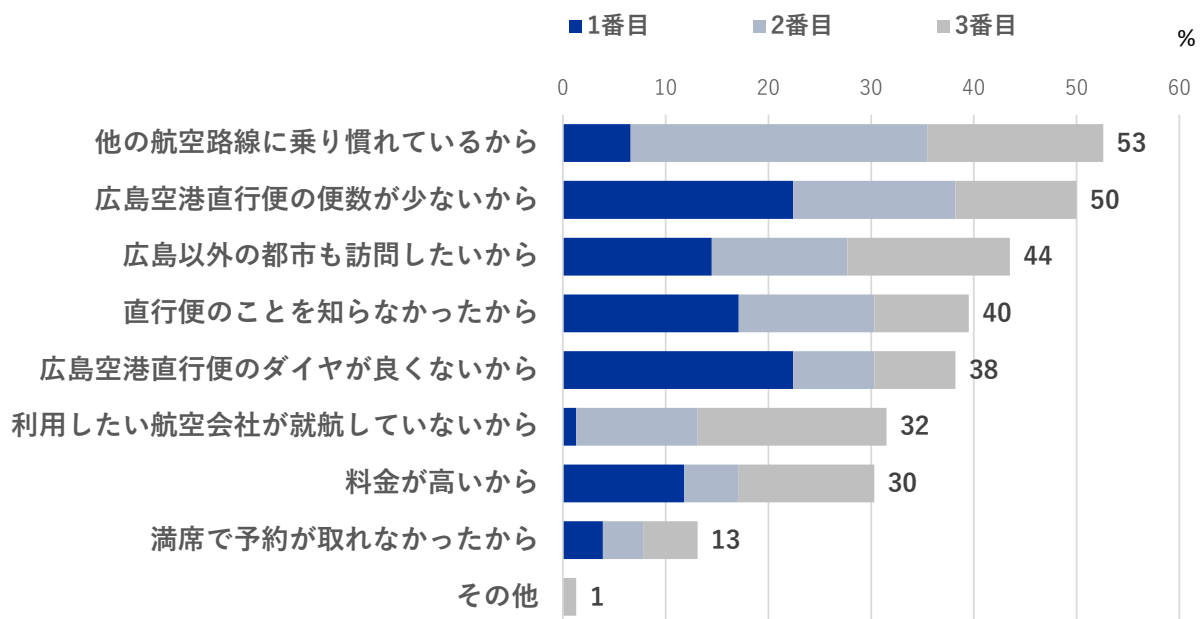
N=55 台北



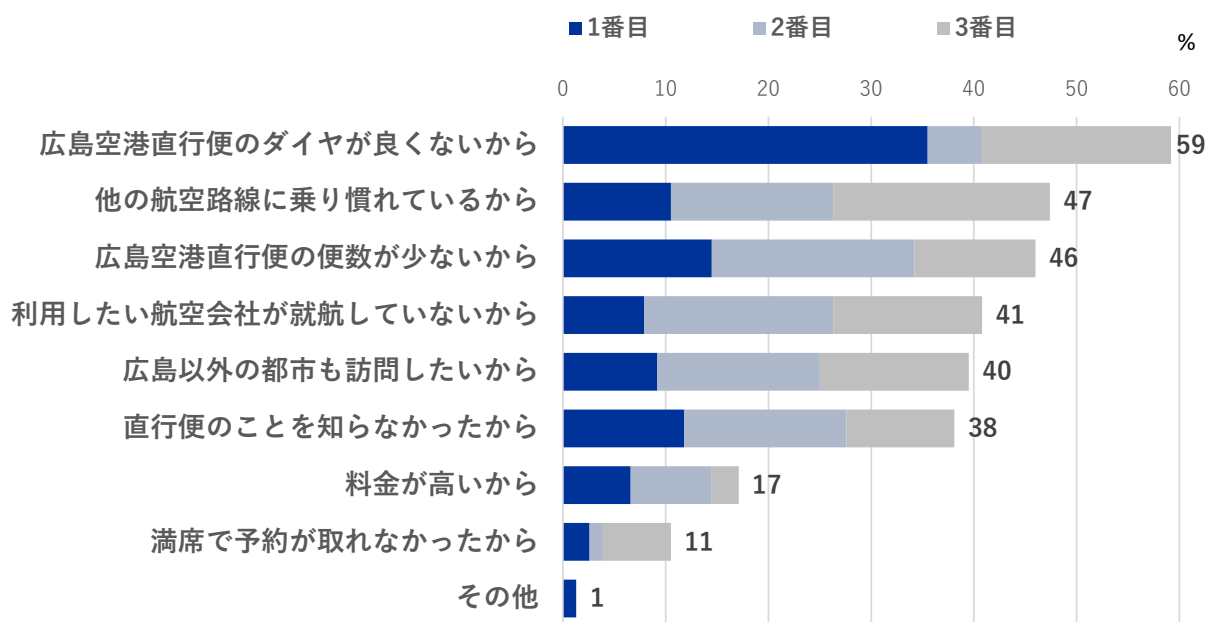
N=124 香港



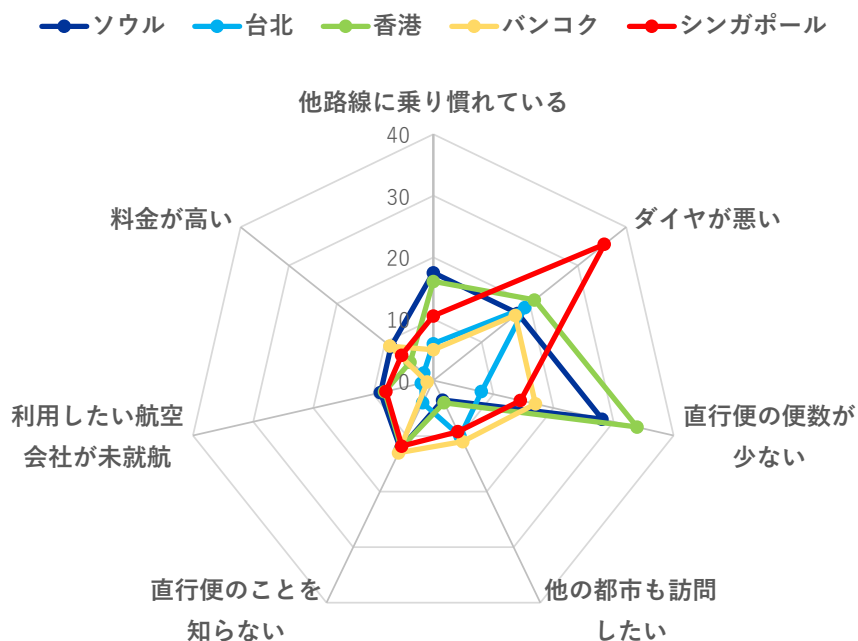
N=76 バンコク



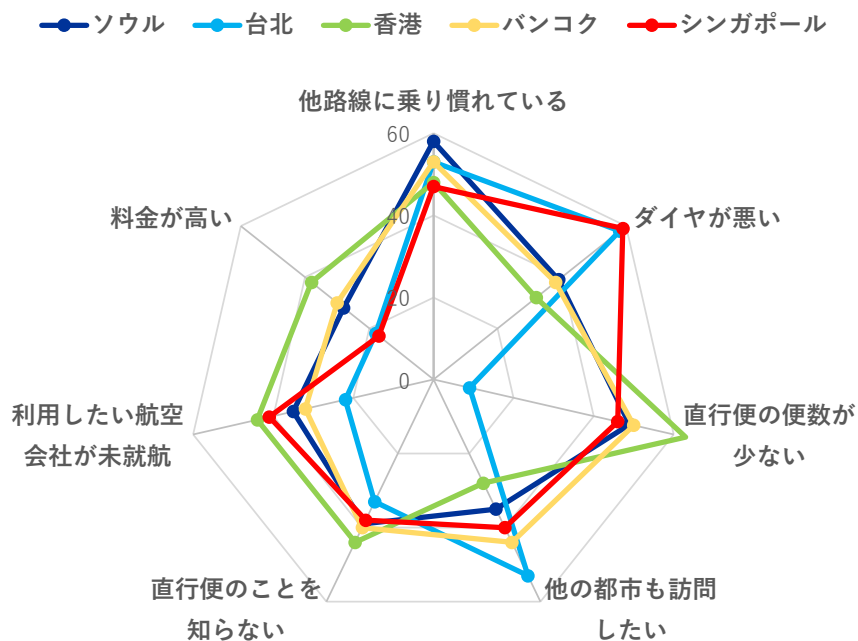
N=76 シンガポール



各都市の1番目の回答率



各都市の3番目までの回答率の合計

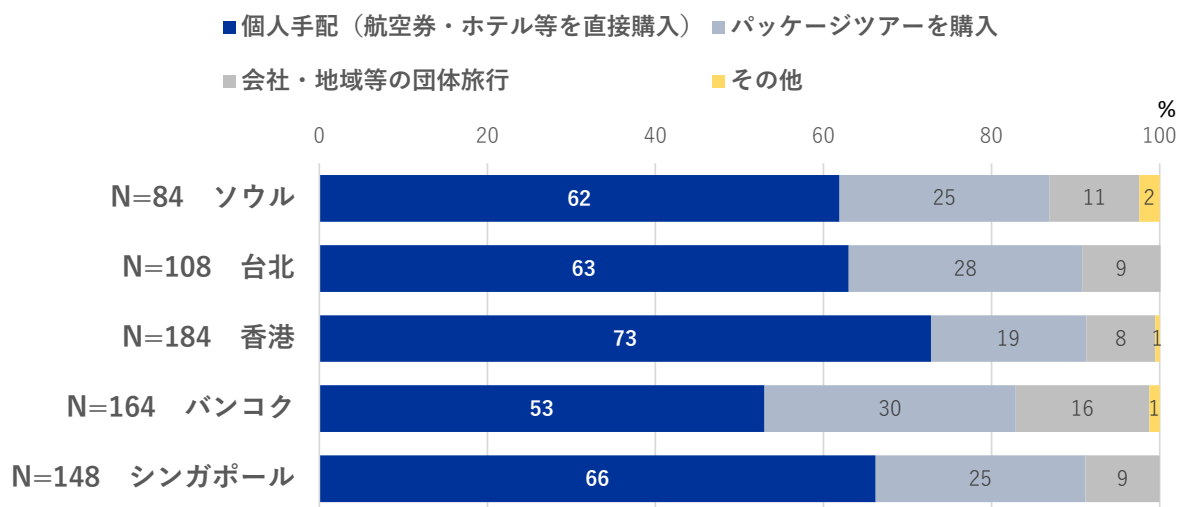


・広島県訪問時の旅行の手配方法

広島県への旅行の手配方法は次のどれに該当しますか？

複数回旅行したことがある人は、最も多いものを1つお選びください。(SA)

- いずれの居住者も、個人手配が50～73%を占める。
- パッケージツアーの購入は約20～30%、会社・地域等の団体旅行は10%前後～16%である。

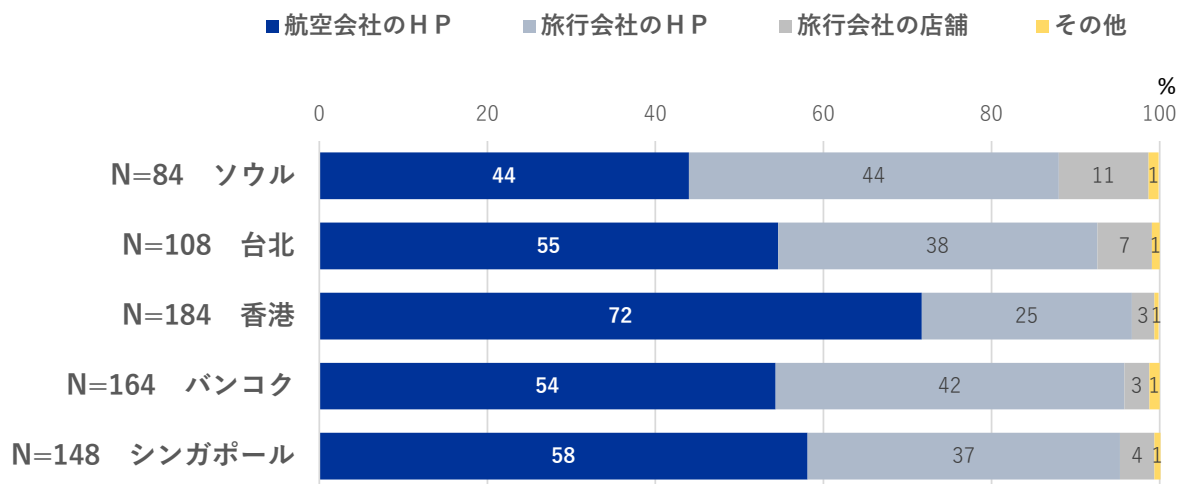


・航空券の入手先（個人で手配した人のみ）

その際の航空券はどこで入手されましたか？

複数回旅行したことがある人は、最も多いものを1つお選びください。（SA）

- 台北、バンコク、シンガポール居住者は、約 55～72%が航空会社の HP から航空券を入手する。
- ソウル居住者は、航空会社の HP、旅行会社の HP の割合が等しく、どちらも 44%を占める。

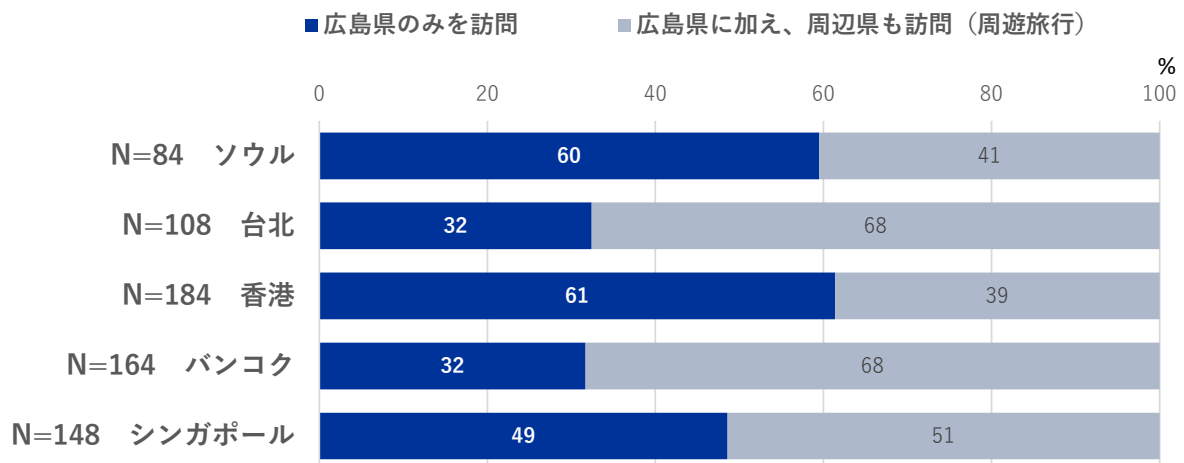


・広島県訪問時の周辺県の訪問状況

訪問先の状況をお教えてください。

複数回旅行したことがある人は、最も多いものをお選びください。（SA）

- ソウル、香港居住者は、約 60%近くが広島県のみを訪問している。
- 台北、バンコク居住者は、約 70%近くが広島県に加え、周辺県も訪問している。



滞在日数をお教えてください。

複数回旅行したことがある人は、最も多いパターンをお答えください。（NU）

- 台北、香港、バンコク、シンガポール居住者は、日本に 1 週間前後滞在する人が多い。ソウル居住者は、2 週間近く滞在する人が多い。
- 広島県の滞在日数は、いずれの居住者も 4 日間前後である。

全体/泊	ソウル	台北	香港	バンコク	シンガポール
回答数	34	73	71	112	76
平均値	8.88	5.4	5.92	5.23	8.5
最小値	1	1	0	2	1
最大値	82	13	14	19	100

全体/日	ソウル	台北	香港	バンコク	シンガポール
回答数	34	73	71	112	76
平均値	15	6.07	6.39	5.67	8.64
最小値	2	2	2	1	1
最大値	272	14	15	20	100

うち広島県/泊	ソウル	台北	香港	バンコク	シンガポール
回答数	84	108	184	164	148
平均値	3.37	3.06	4.02	3.44	4.7
最小値	0	0	0	1	0
最大値	29	17	12	15	100

うち広島県/日	ソウル	台北	香港	バンコク	シンガポール
回答数	84	108	184	164	148
平均値	4.31	2.33	3.54	2.86	4.49
最小値	1	1	1	1	1
最大値	30	16	15	13	100

広島県以外で訪問した都道府県をお教えてください。(MA)

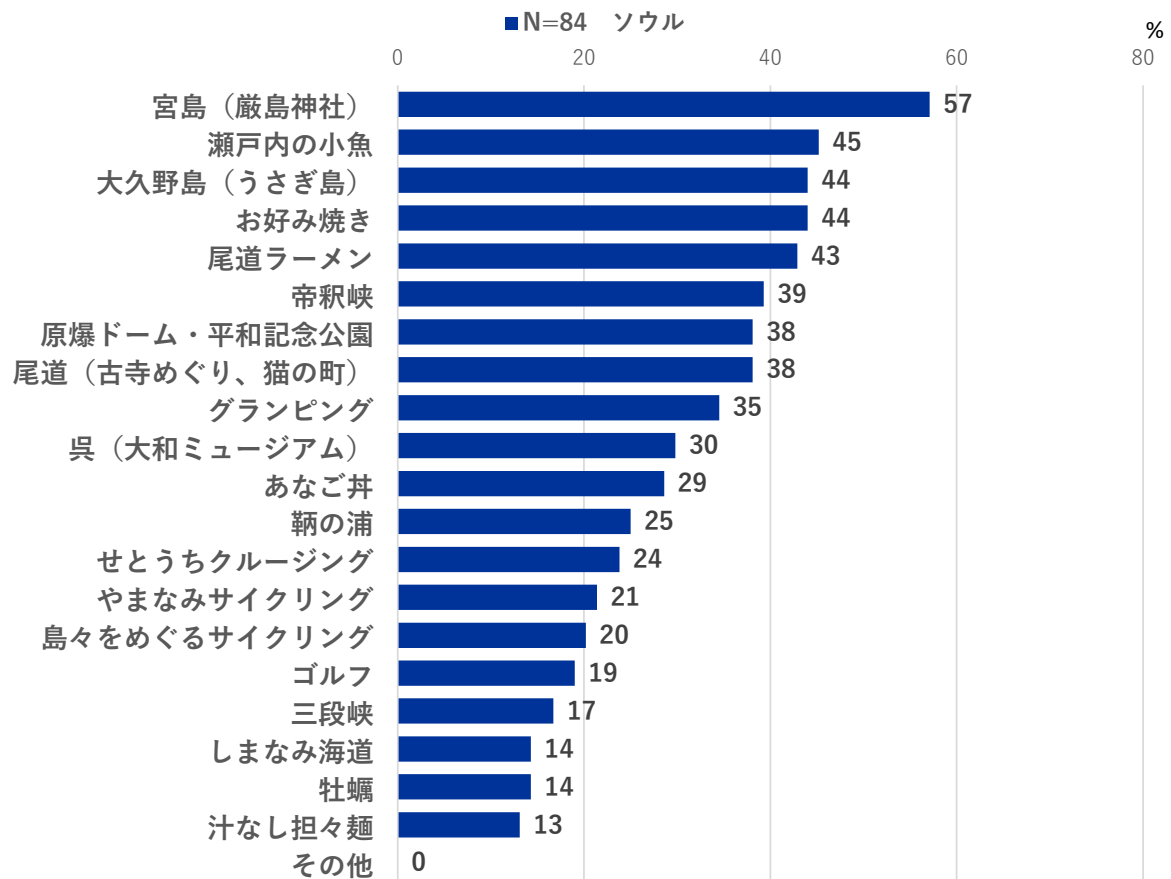
- いずれの居住者も、50%以上が東京都、大阪府も訪問している。
- ソウル、台北、香港、バンコク居住者は、50%以上が北海道も訪問している。

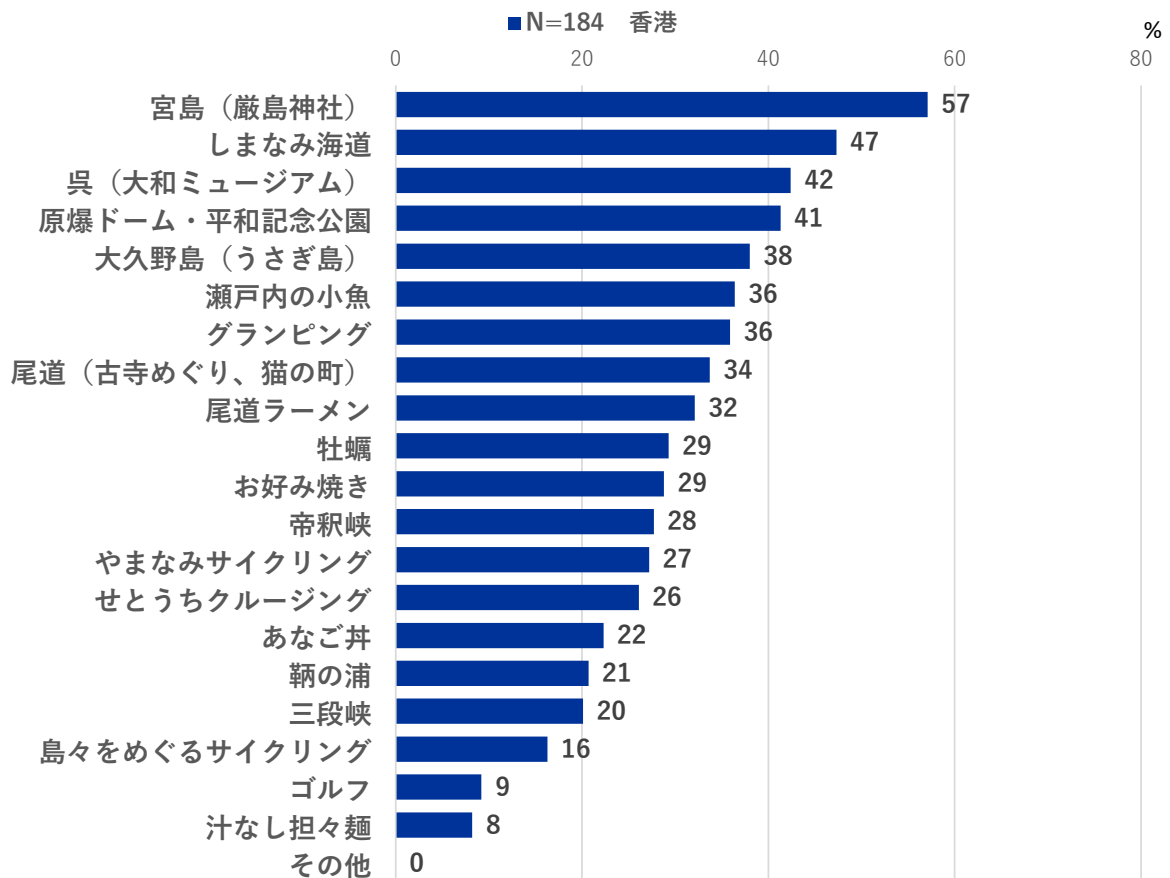
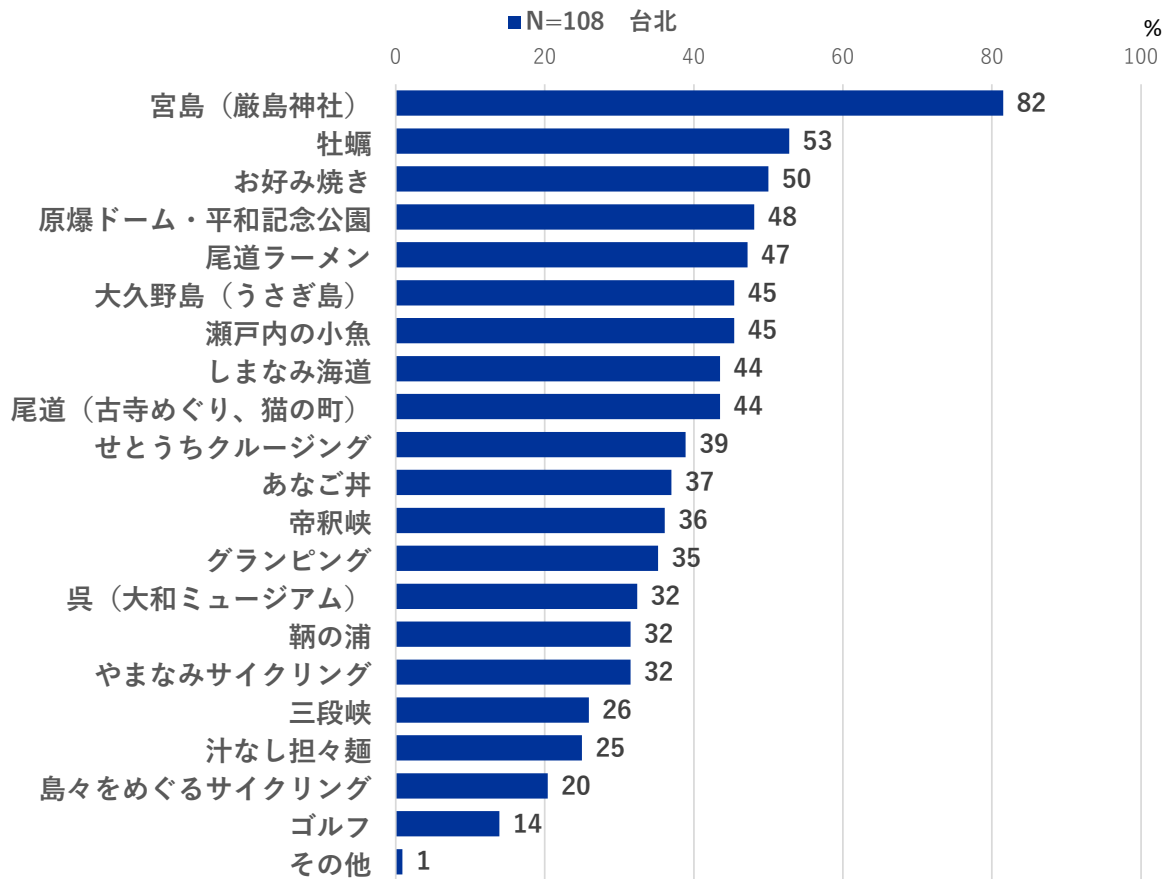
		ソウル		台北		香港		バンコク		シンガポール	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体		34	100.0	73	100.0	71	100.0	112	100.0	76	100.0
1	北海道	17	50.0	51	69.9	41	57.7	76	67.9	18	23.7
2	宮城県	6	17.6	23	31.5	24	33.8	17	15.2	6	7.9
3	東京都	23	67.6	58	79.5	50	70.4	86	76.8	60	78.9
4	京都府	11	32.4	57	78.1	33	46.5	64	57.1	28	36.8
5	大阪府	18	52.9	55	75.3	36	50.7	63	56.3	44	57.9
6	島根県	5	14.7	14	19.2	15	21.1	15	13.4	5	6.6
7	鳥取県	3	8.8	21	28.8	11	15.5	12	10.7	10	13.2
8	岡山県	7	20.6	24	32.9	24	33.8	24	21.4	21	27.6
9	山口県	4	11.8	13	17.8	23	32.4	23	20.5	8	10.5
10	香川県	6	17.6	22	30.1	16	22.5	20	17.9	11	14.5
11	愛媛県	3	8.8	13	17.8	8	11.3	14	12.5	4	5.3
12	福岡県	10	29.4	34	46.6	22	31.0	34	30.4	9	11.8
13	その他									1	1.3

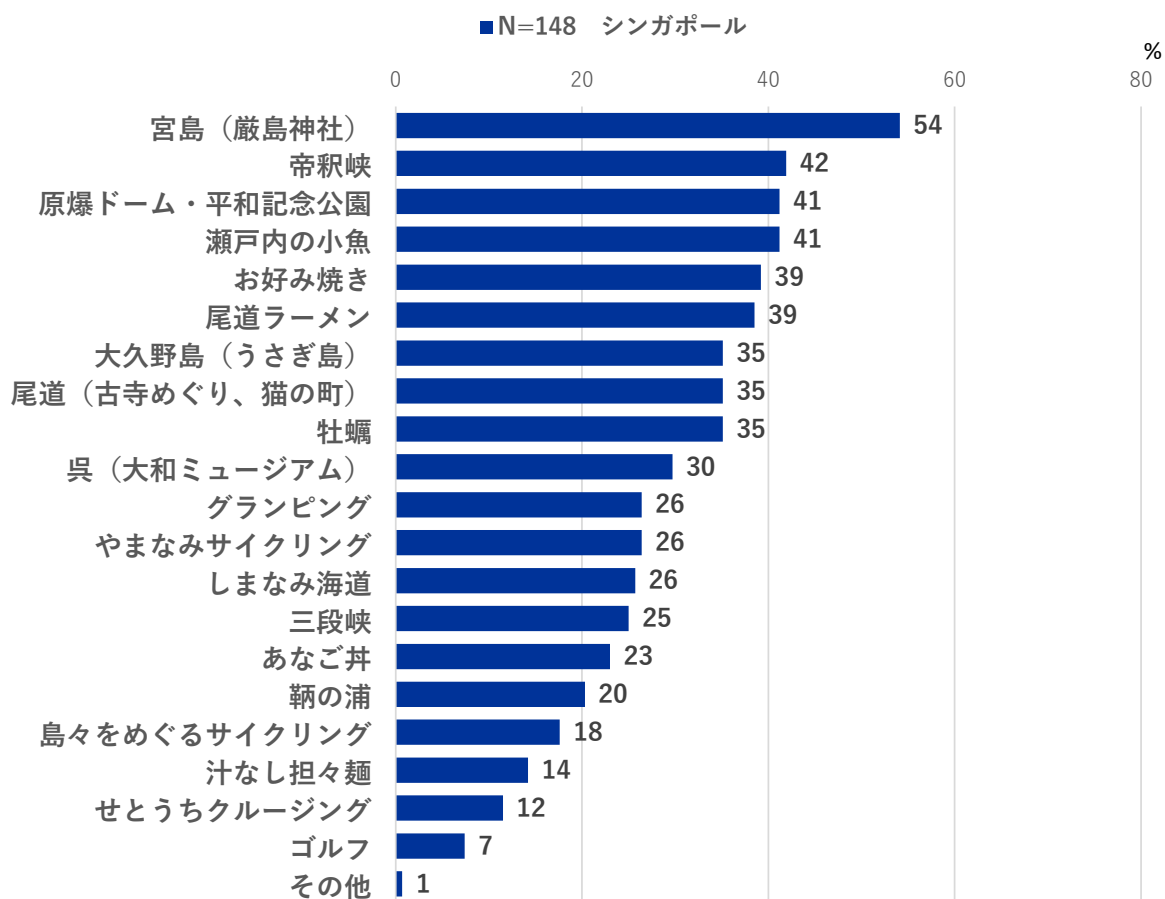
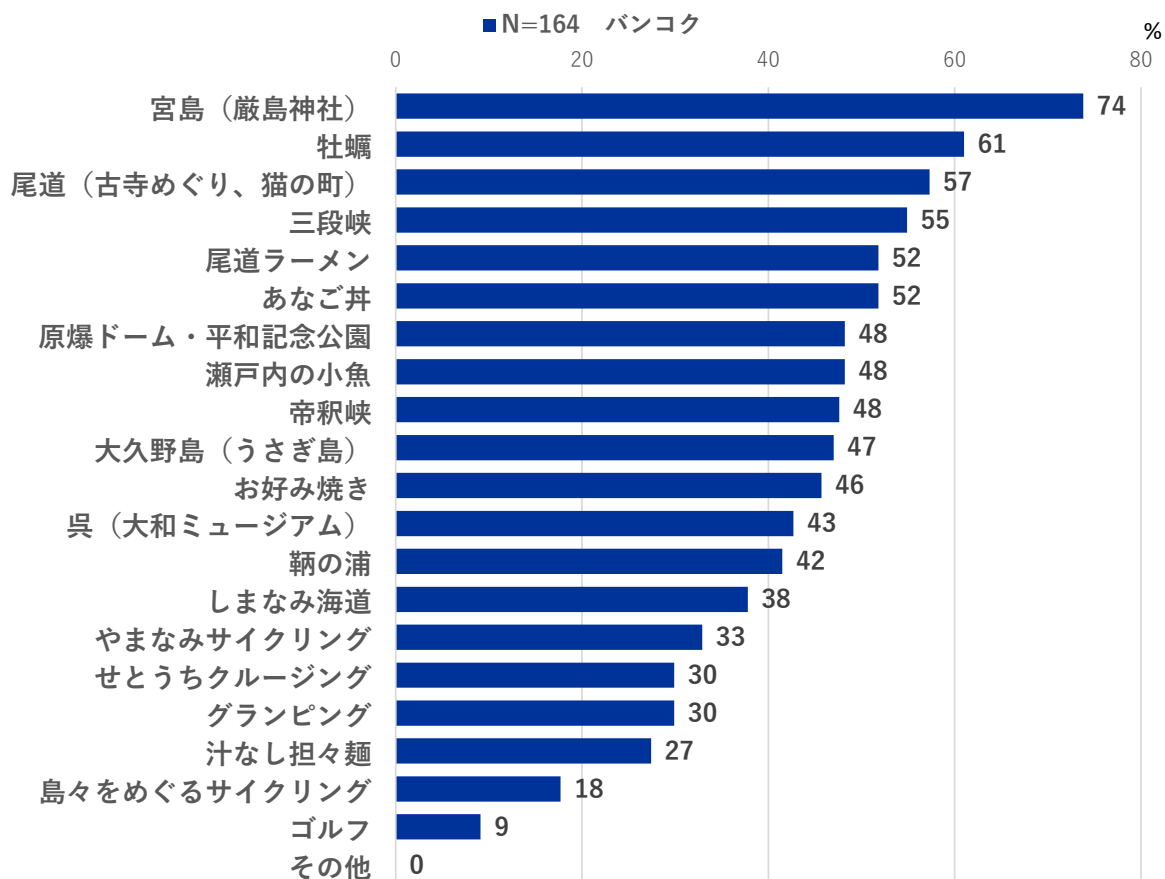
・広島県訪問時に良かった点

広島県に旅行されて、良かったものを選択してください。(MA)

- いずれの居住者も、50～80%が宮島を高く評価している。
- 宮島以外の観光地・グルメについては、居住地ごとに評価が異なる。



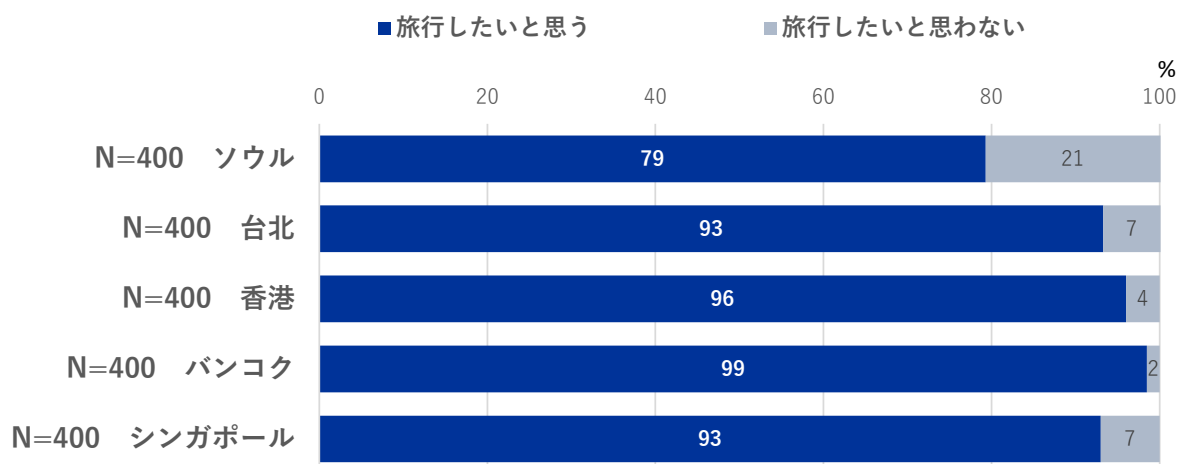




(4) 今後の広島県への旅行意向

今後広島県を旅行したいと思いますか？（SA）

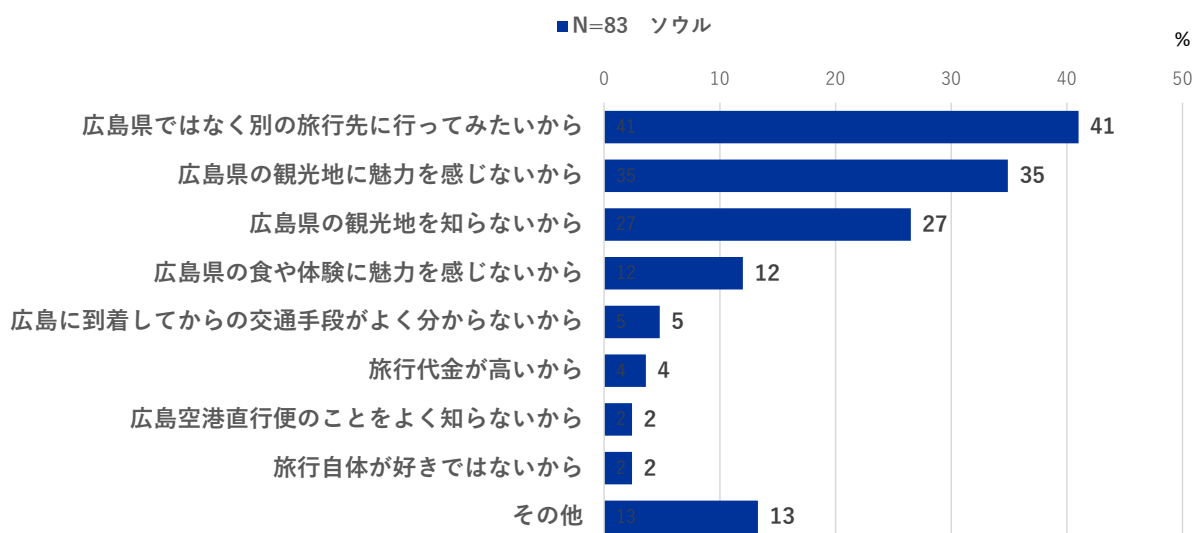
➤ 台北、香港、バンコク、シンガポール居住者の 90%以上が広島県への旅行意欲がある。

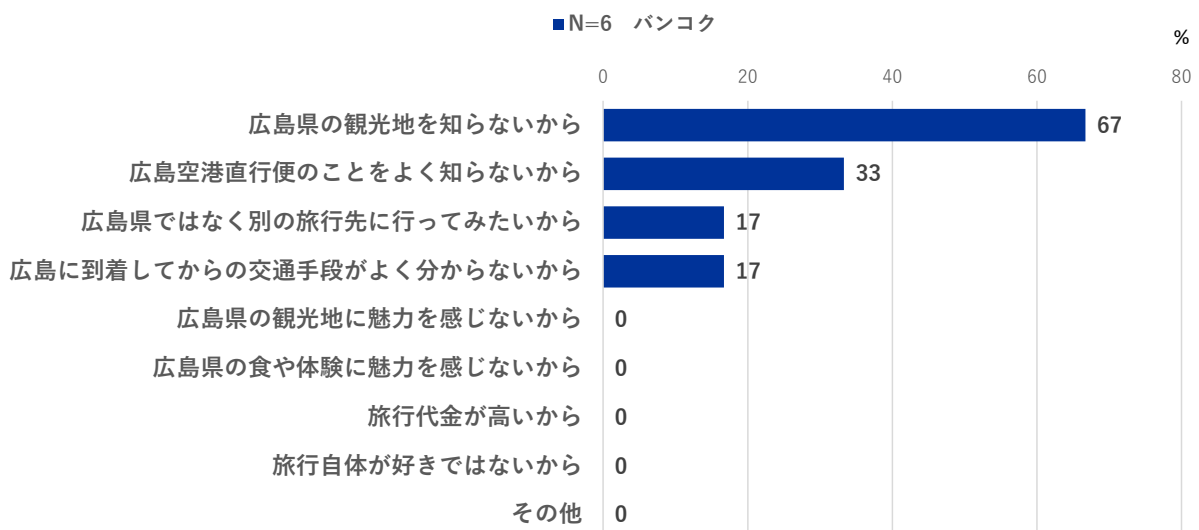
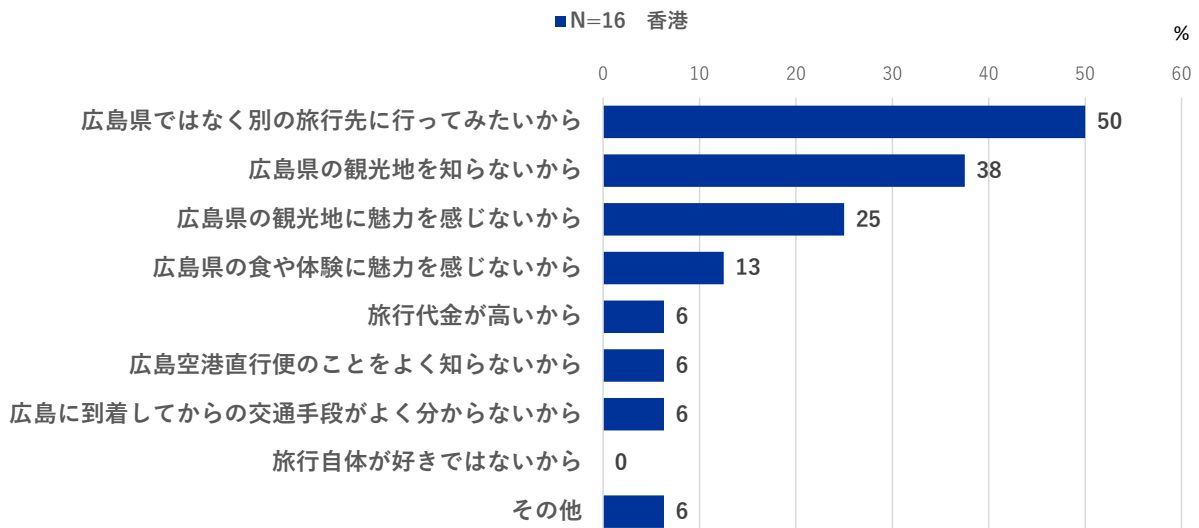
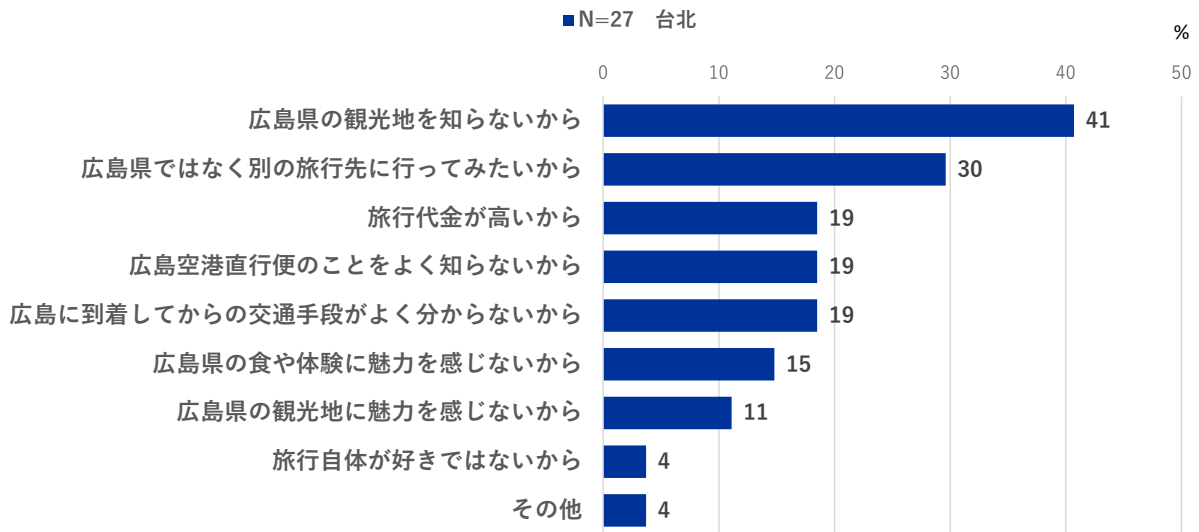


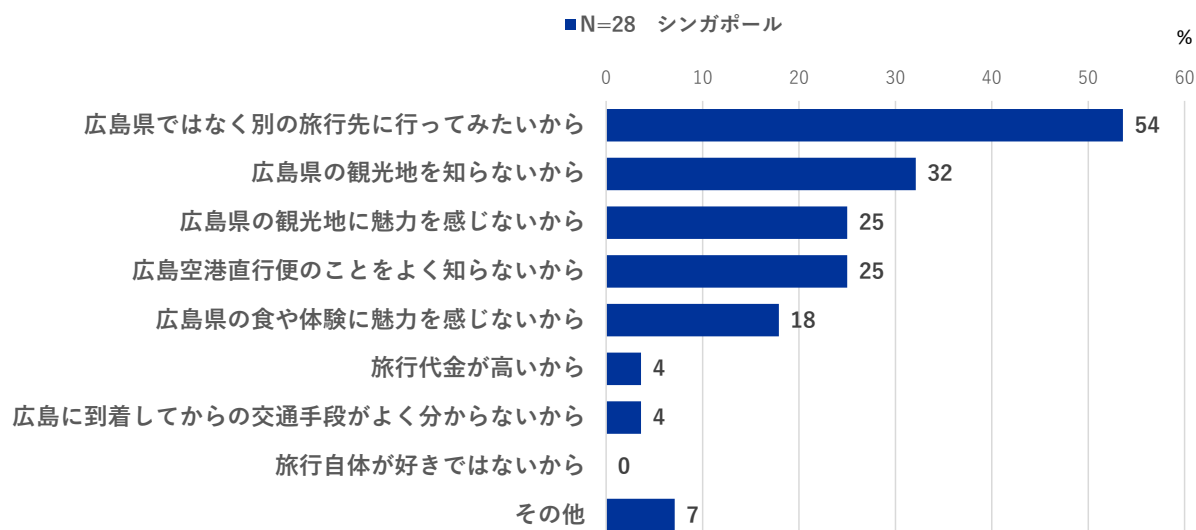
・旅行したいと思わない理由

旅行したくない理由をお教えてください。（MA）

➤ いずれの居住者も、「広島県ではなく別の旅行先に行ってみたい」、「広島県の観光地を知らない」と回答する人が多い。







・広島県以外で行ってみたい場所・体験したいもの（広島県ではなく別の旅行先に行ってみたいと答えた人のみ）

行ってみたい別の旅行先、体験したいものを選択してください。（MA）

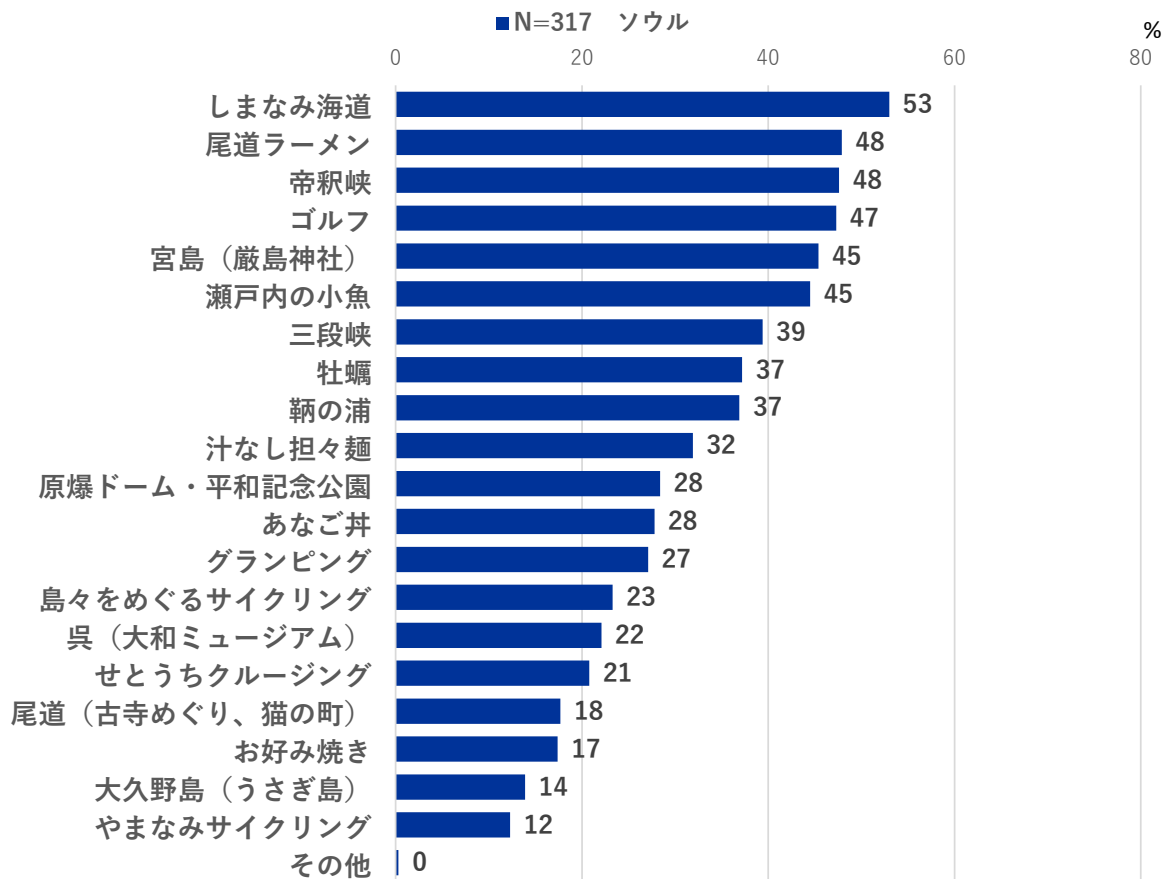
- 行ってみたい旅行先は、北海道、東京都、京都府、大阪府、沖縄県の回答が多い。
- 体験したいものは、日本食、日本文化の体験、温泉など日本らしさを求める回答が多い。

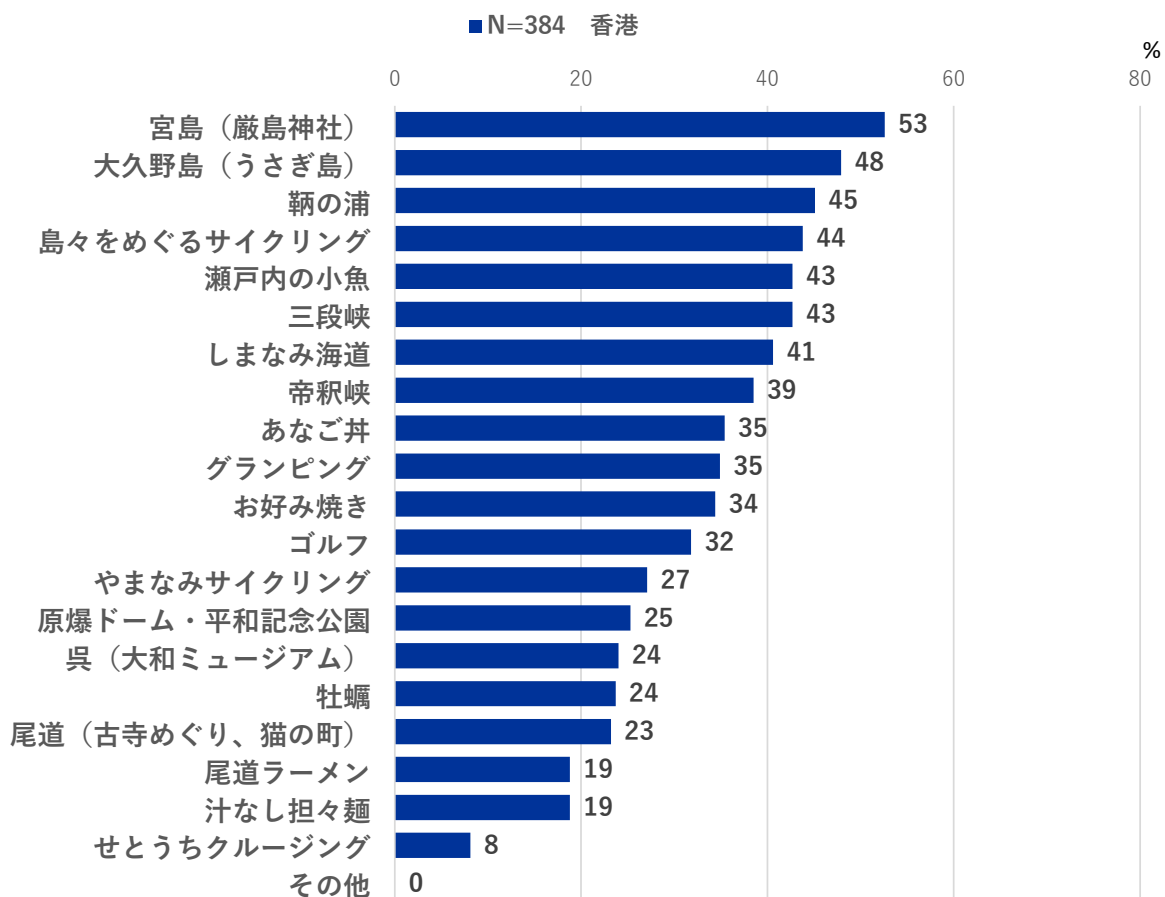
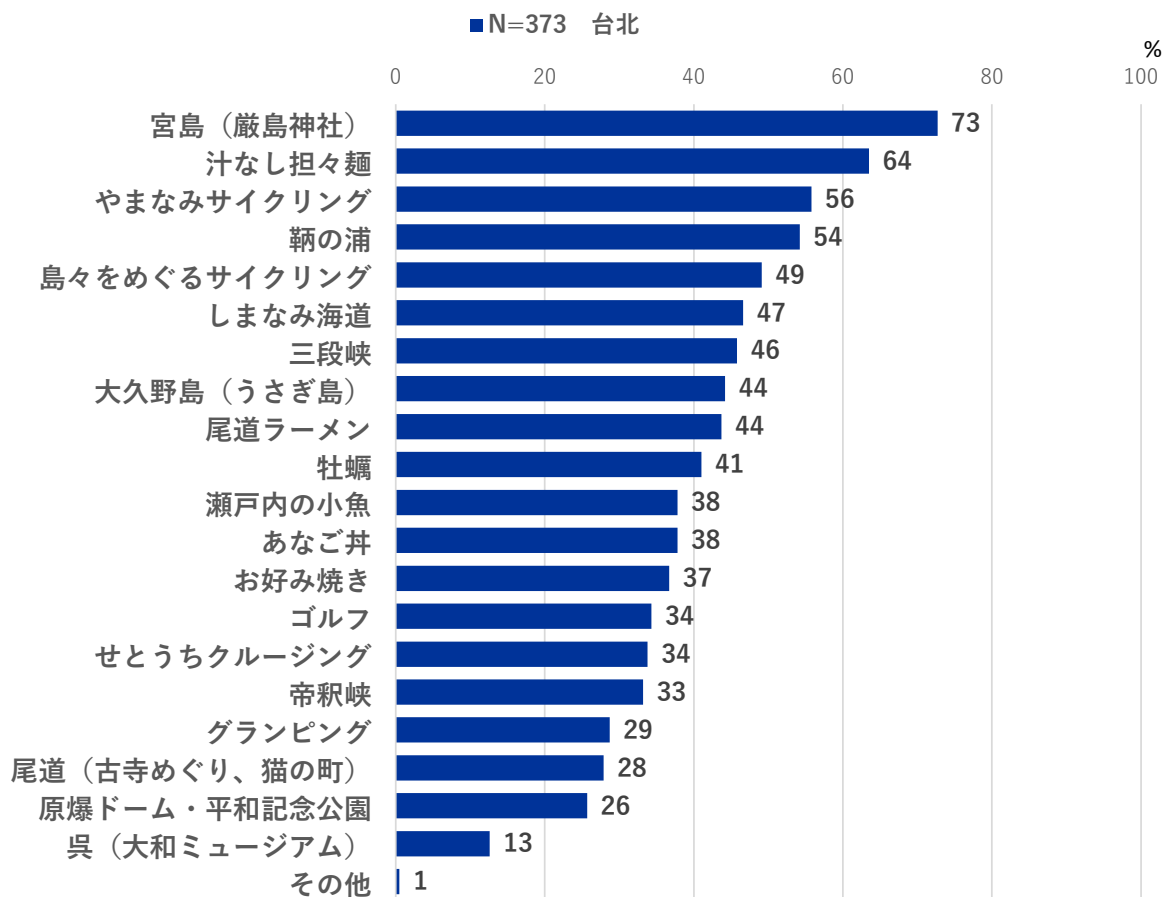
		ソウル		台北		香港		バンコク		シンガポール	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体		34	100.0	8	100.0	8	100.0	1	100.0	15	100.0
1	北海道	17	50.0	2	25.0	5	62.5			9	60.0
2	宮城県	1	2.9			1	12.5			3	20.0
3	東京都	14	41.2	1	12.5	1	12.5	1	100.0	5	33.3
4	京都府	9	26.5	3	37.5	2	25.0	1	100.0	7	46.7
5	大阪府	17	50.0	1	12.5	4	50.0			8	53.3
6	岡山県	2	5.9	1	12.5					2	13.3
7	愛媛県										
8	香川県	2	5.9	1	12.5						
9	福岡県	7	20.6			2	25.0			1	6.7
10	沖縄県	11	32.4	2	25.0	1	12.5			7	46.7
11	その他					1	12.5				
12	日本食	25	73.5	3	37.5	6	75.0	1	100.0	15	100.0
13	寺社仏閣巡り	5	14.7	2	25.0	2	25.0	1	100.0	6	40.0
14	日本文化の体験	9	26.5	4	50.0	1	12.5	1	100.0	11	73.3
15	買い物	16	47.1	2	25.0	2	25.0			9	60.0
16	温泉	20	58.8	1	12.5	6	75.0	1	100.0	9	60.0
17	日本酒、焼酎	7	20.6	4	50.0	3	37.5			6	40.0
18	桜、紅葉	15	44.1	2	25.0	3	37.5			7	46.7
19	都会の街並み	15	44.1	3	37.5	2	25.0			4	26.7
20	ハイキング	2	5.9	1	12.5					2	13.3
21	その他	1	2.9							1	6.7

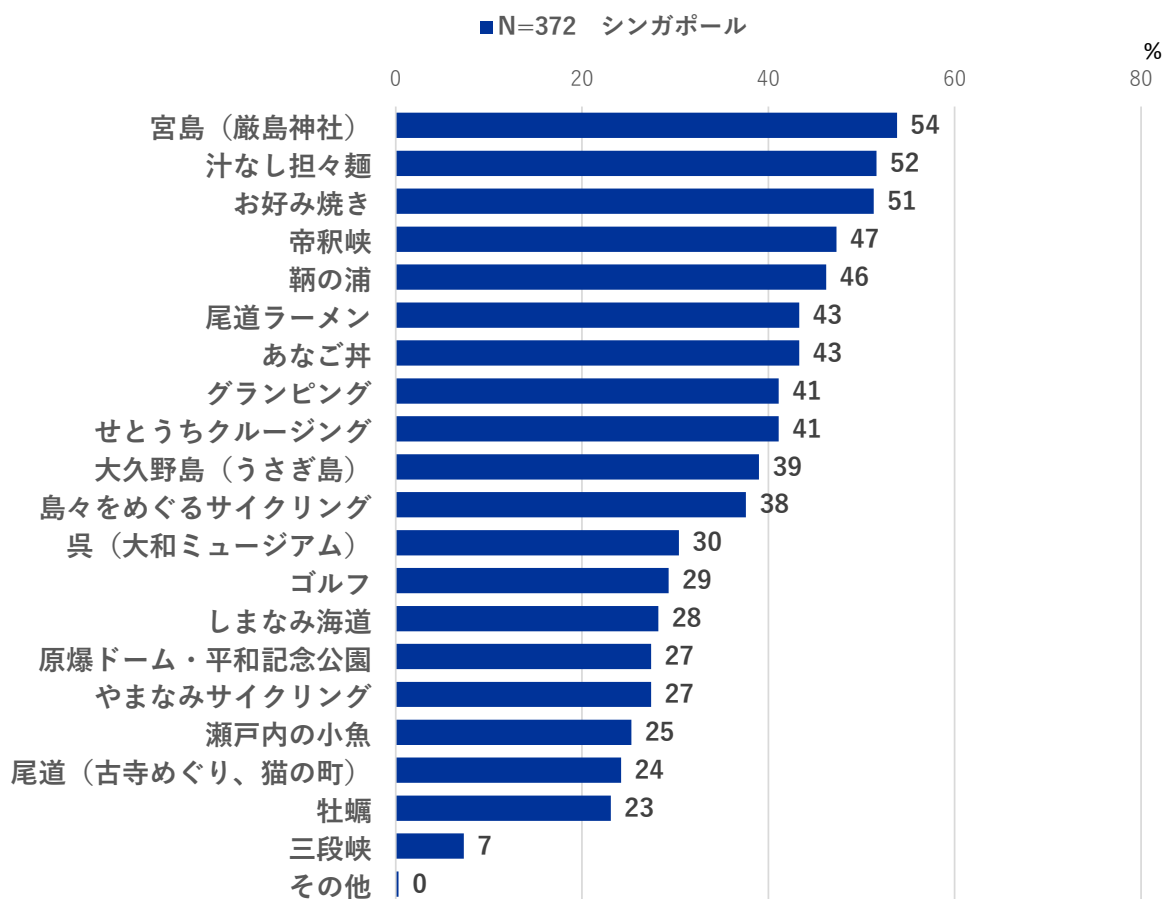
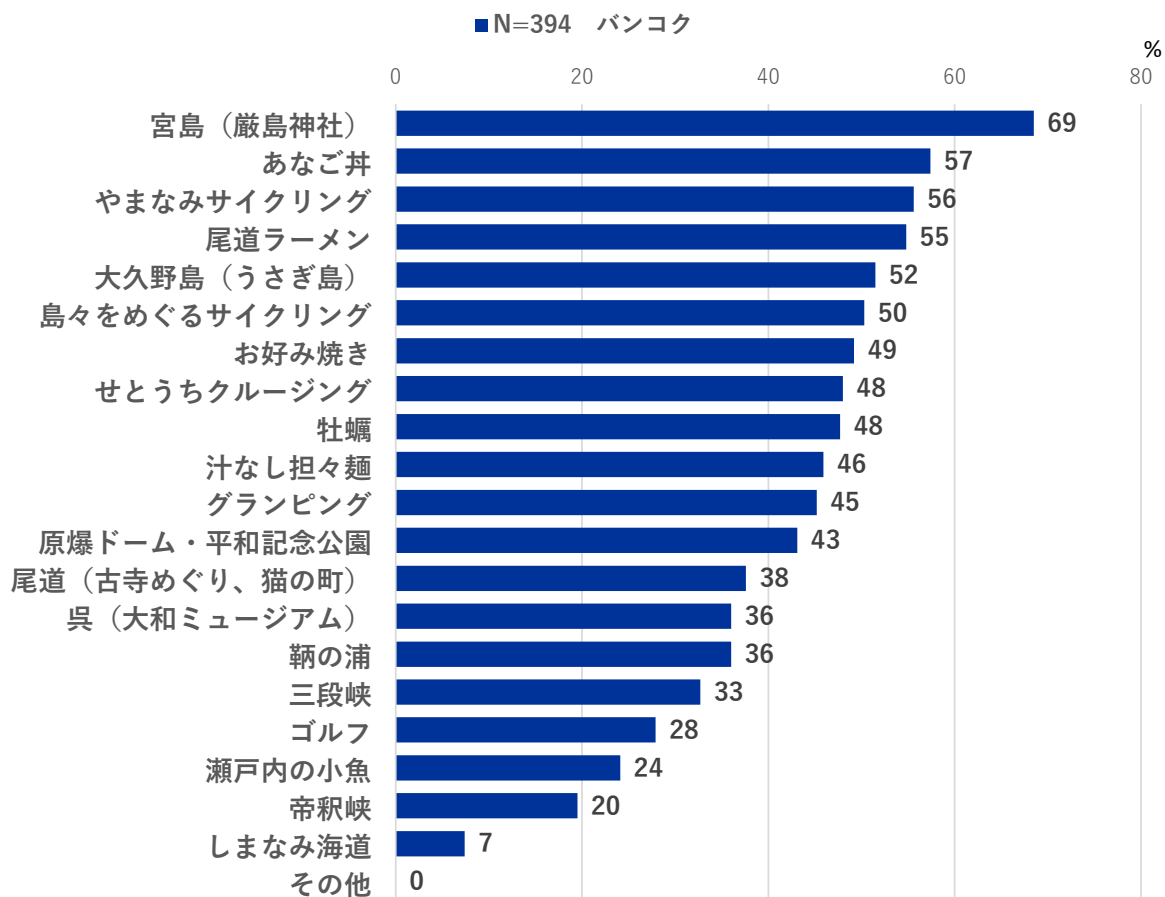
・広島県で行ってみたい場所・体験したいもの（広島県に旅行したいと答えた人のみ）

広島県で行ってみたい場所、体験したいものを選択してください。（MA）

- 台北、香港、バンコク、シンガポール居住者は、宮島が最も多く 50～70%前後を占める。
- ソウル居住者は、しまなみ海道が最も多く 53%を占める。

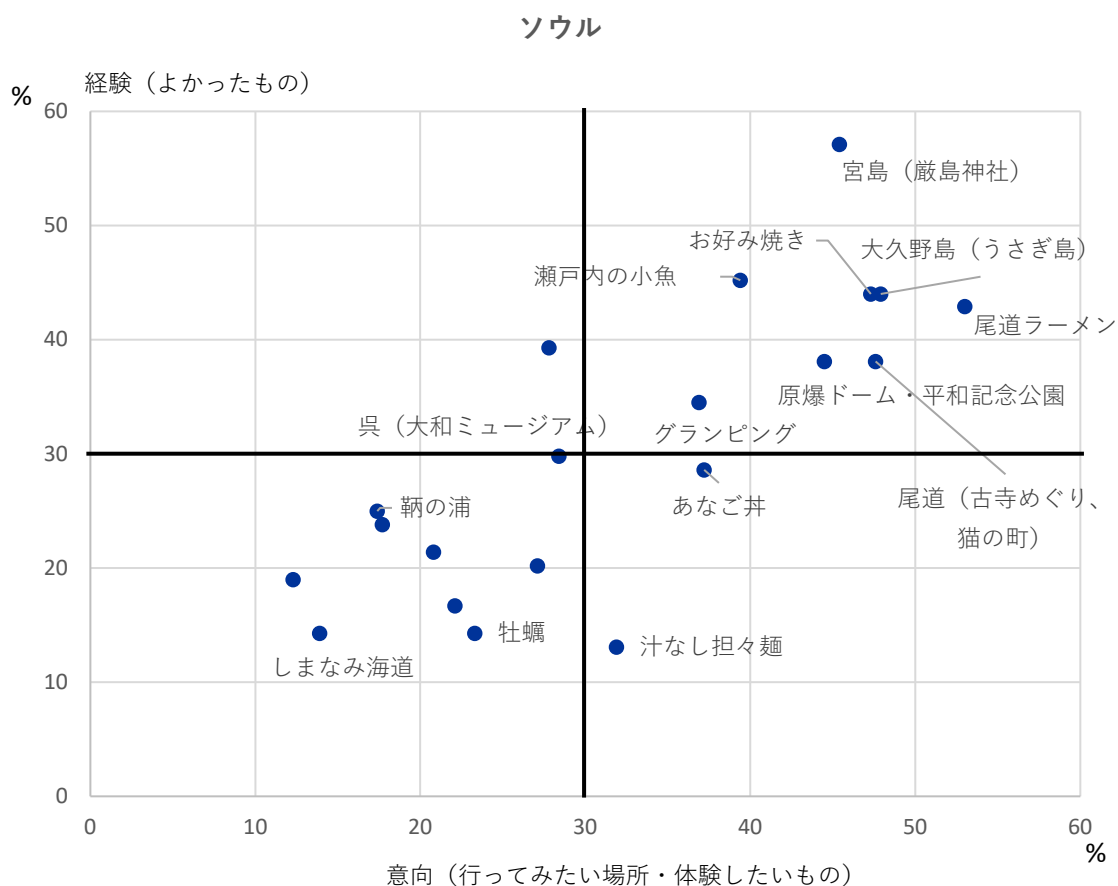




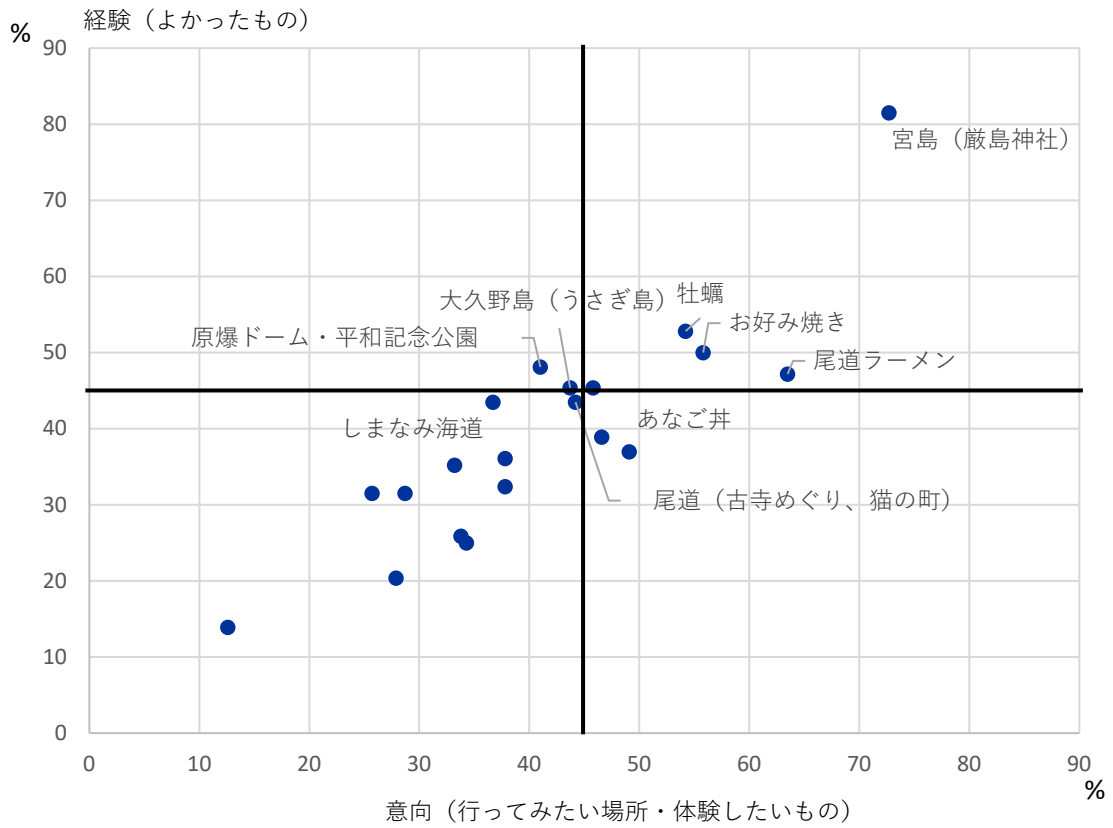


<実際によかったもの（経験）と、行ってみたい場所・体験したいもの（意向）の比較>

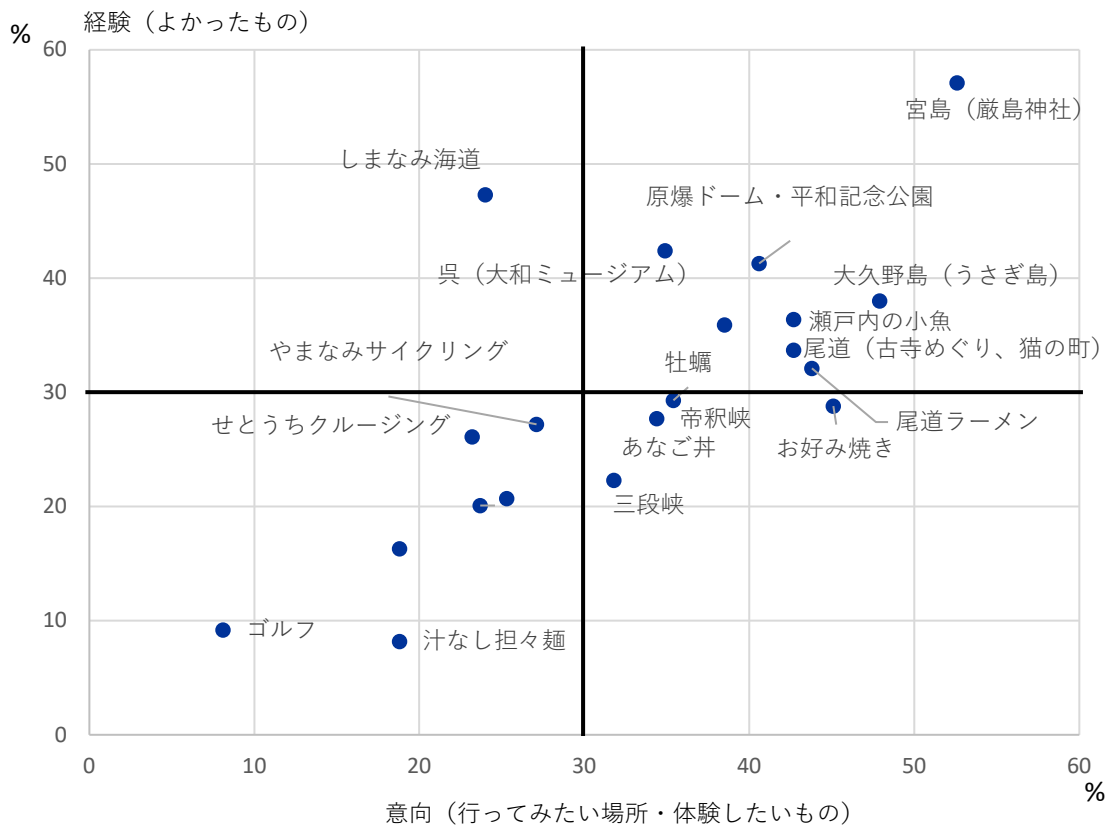
- いずれの居住者も、「宮島」は広島県への訪問経験者の体験としてよかったものとしての回答率が高く、且つ、今後の意向としての行ってみたい場所・体験したいものとしての回答率も高い。
- バンコク居住者は、尾道（古寺めぐり、猫の町）は、今後の意向としての行ってみたい場所としての回答率と、訪問経験者の体験としてよかったものとしての回答率の両方が、他の居住者よりも大きい。
- 香港居住者は、「しまなみ海道」は、今後の意向としての行ってみたい場所としての回答率に比べ、訪問経験者の体験としてよかったものとしての回答率が高く、期待以上の満足が得られる観光地として位置づけられる。



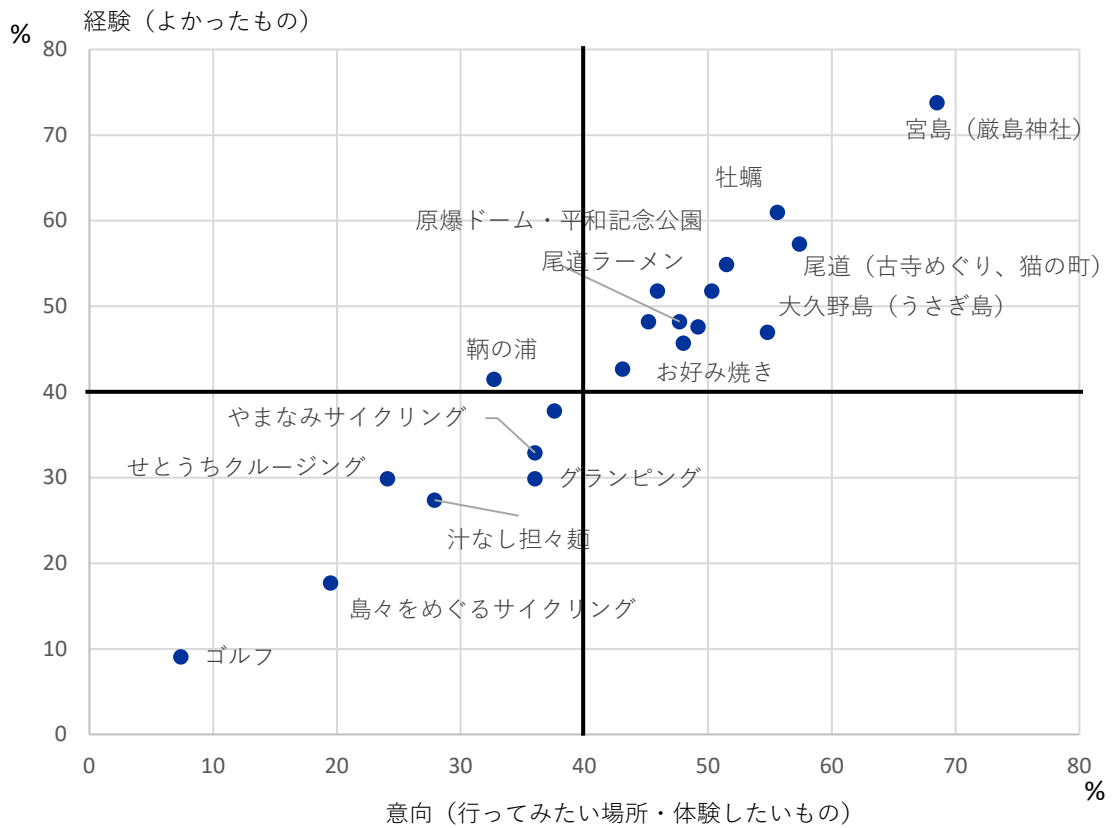
台北



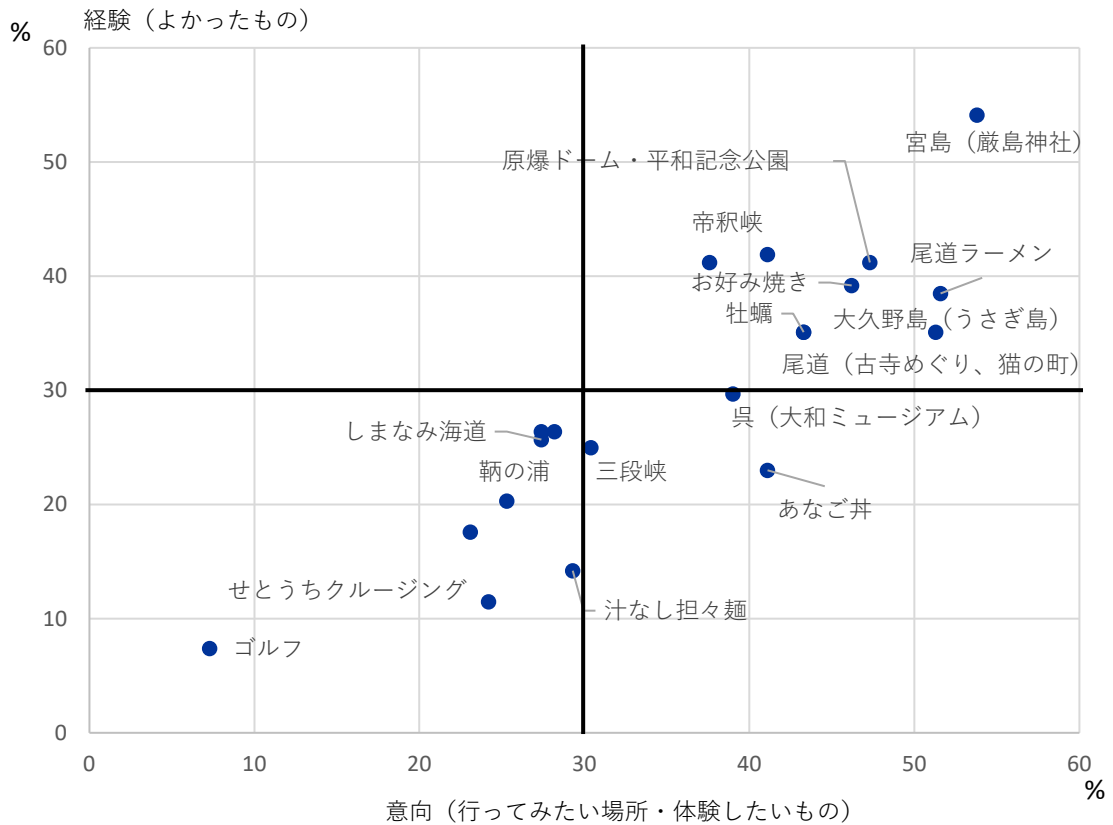
香港



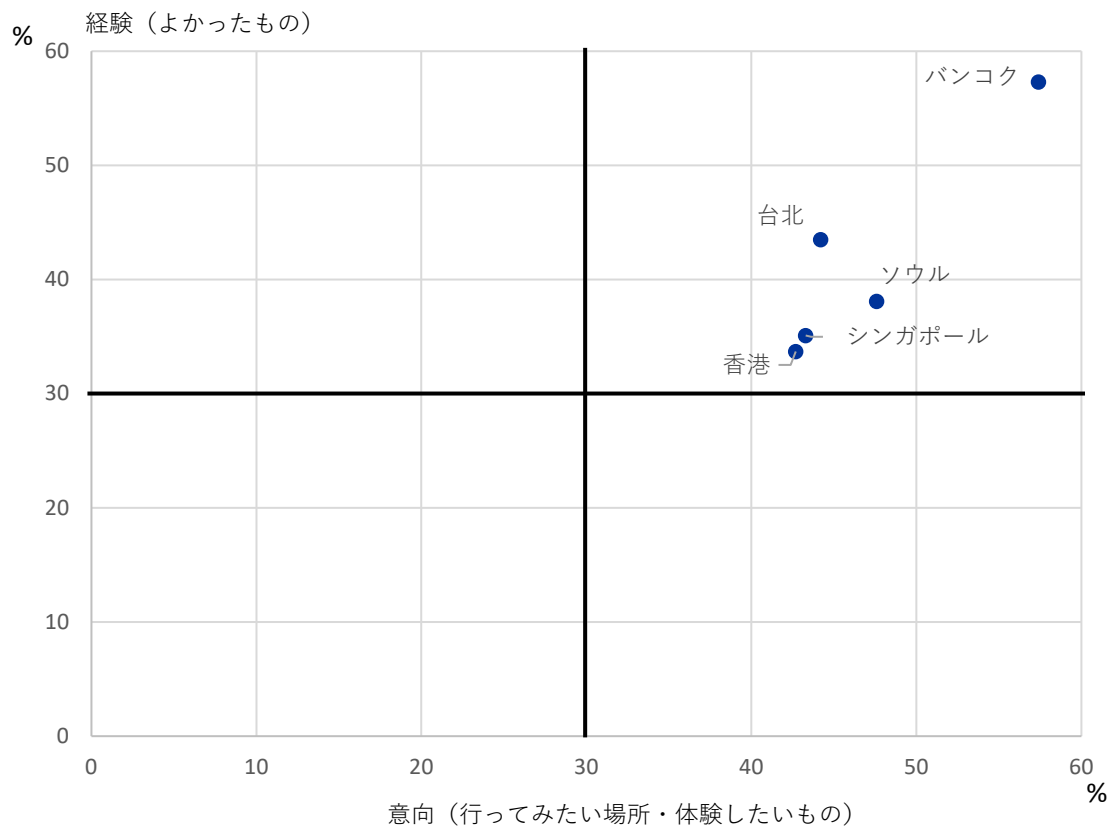
バンコク



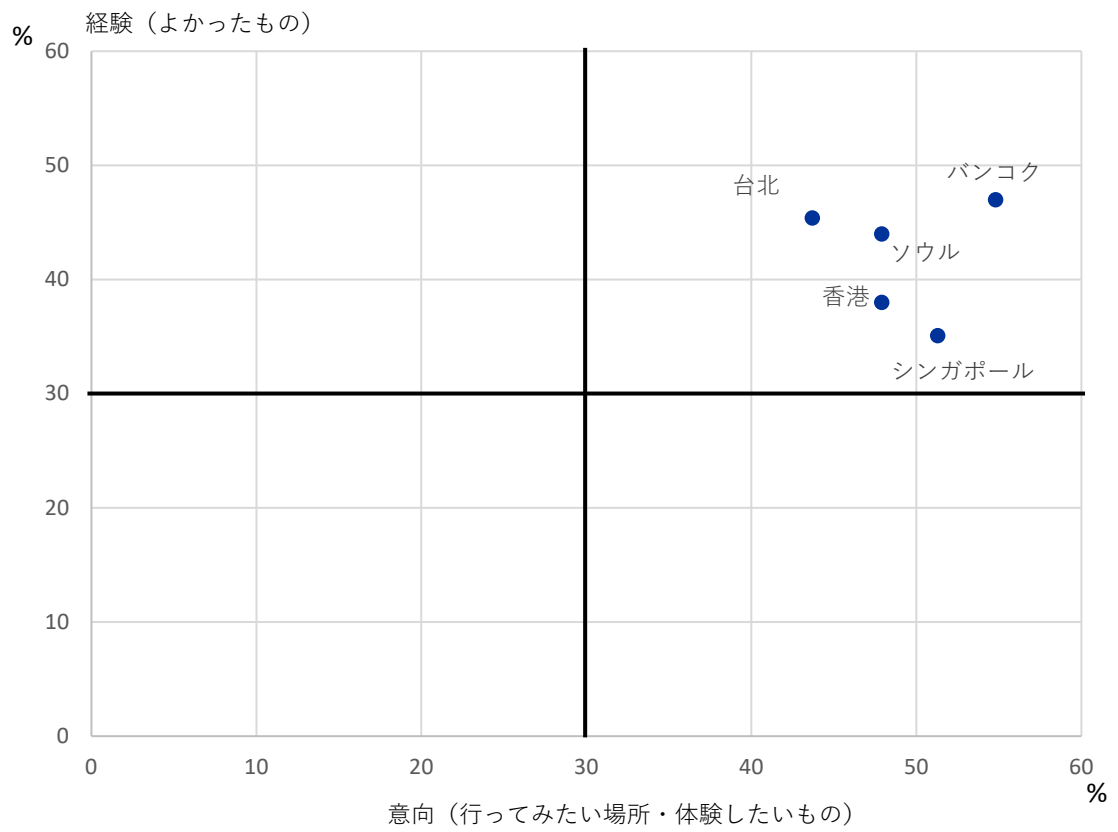
シンガポール



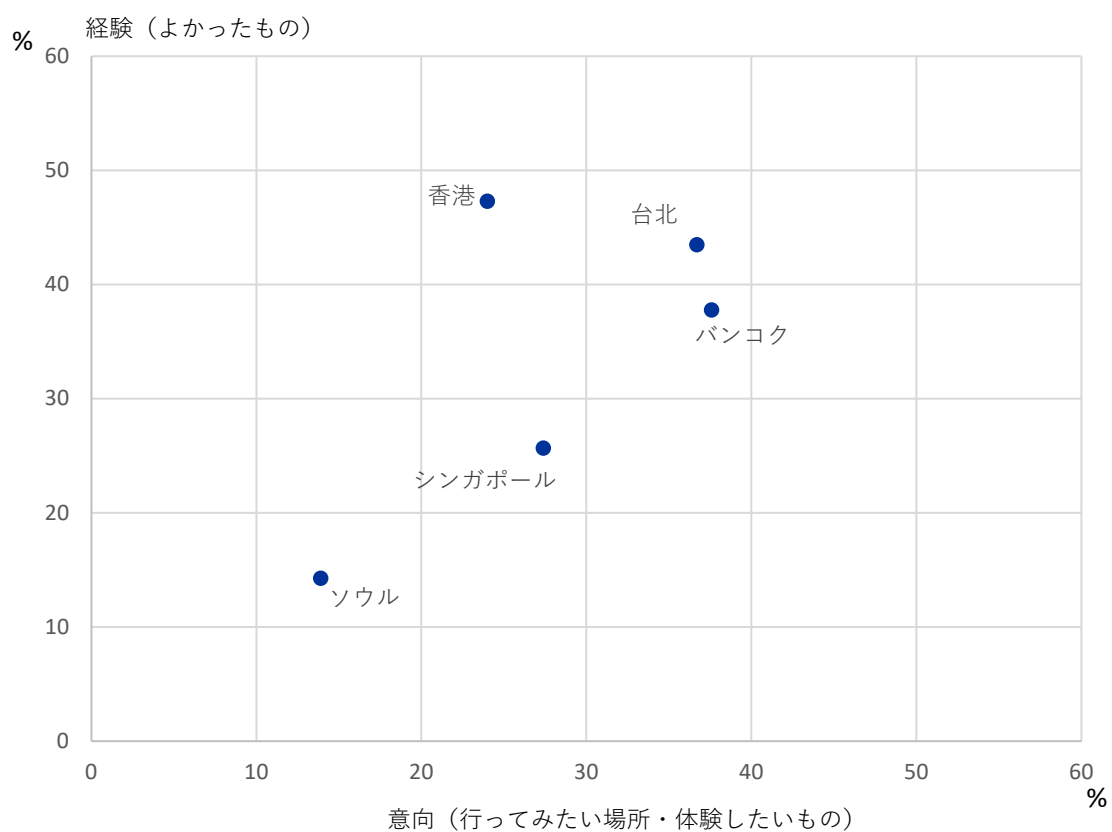
尾道（古寺めぐり、猫の町）



大久野島（うさぎ島）

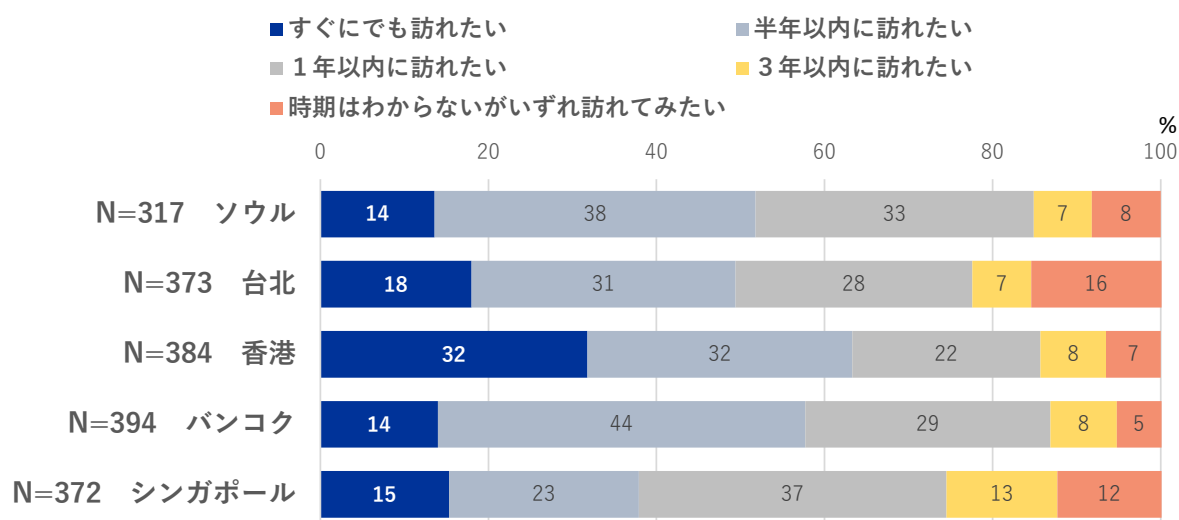


しまなみ海道



いつ広島県を旅行したいと思いますか？（SA）

- ソウル、台北、バンコク、シンガポール居住者は、約 15%前後がすぐにでも広島県を訪れたいと回答している。
- いずれの居住者も、広島県を 1 年以内に訪れたいと考えている人が約 80%前後を占める。
- すぐにでも広島県を訪れたい人は、香港を除くすべての居住地において 20・30 代の方が 40 代以上よりも多い。
- シンガポール居住者は、他の居住地と比較すると、20・30 代と 40 代以上で旅行に行きたい時期に差がみられる。20・30 代の方が、より早く旅行する意向が強い。



ソウル

		20・30代		40代以上	
		回答数	%	回答数	%
全体		208	100.0	109	100.0
1	すぐにでも訪れたい	32	15.4	11	10.1
2	半年以内に訪れたい	82	39.4	39	35.8
3	1年以内に訪れたい	62	29.8	43	39.4
4	3年以内に訪れたい	16	7.7	6	5.5
5	時期はわからないがいずれ訪れてみたい	16	7.7	10	9.2

台北

		20・30代		40代以上	
		回答数	%	回答数	%
全体		206	100.0	167	100.0
1	すぐにでも訪れたい	44	21.4	23	13.8
2	半年以内に訪れたい	69	33.5	48	28.7
3	1年以内に訪れたい	56	27.2	49	29.3
4	3年以内に訪れたい	11	5.3	15	9.0
5	時期はわからないがいずれ訪れてみたい	26	12.6	32	19.2

香港

		20・30代		40代以上	
		回答数	%	回答数	%
全体		207	100.0	177	100.0
1	すぐにでも訪れたい	63	30.4	59	33.3
2	半年以内に訪れたい	57	27.5	64	36.2
3	1年以内に訪れたい	52	25.1	34	19.2
4	3年以内に訪れたい	17	8.2	13	7.3
5	時期はわからないがいずれ訪れてみたい	18	8.7	7	4.0

バンコク

		20・30代		40代以上	
		回答数	%	回答数	%
全体		249	100.0	145	100.0
1	すぐにでも訪れたい	39	15.7	16	11.0
2	半年以内に訪れたい	112	45.0	60	41.4
3	1年以内に訪れたい	70	28.1	45	31.0
4	3年以内に訪れたい	20	8.0	11	7.6
5	時期はわからないがいずれ訪れてみたい	8	3.2	13	9.0

シンガポール

		20・30代		40代以上	
		回答数	%	回答数	%
全体		200	100.0	172	100.0
1	すぐにでも訪れたい	49	24.5	8	4.7
2	半年以内に訪れたい	52	26.0	32	18.6
3	1年以内に訪れたい	61	30.5	75	43.6
4	3年以内に訪れたい	22	11.0	27	15.7
5	時期はわからないがいずれ訪れてみたい	16	8.0	30	17.4

広島県に加え、同時に訪問したい都道府県があれば教えてください。(MA)

- いずれの居住者も、北海道、東京都、京都府、大阪府を訪問したい人が約30～60%を占める。
- 広島県の周辺県を訪問したい人は約10～30%を占める。

		ソウル		台北		香港		バンコク		シンガポール	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体		317	100.0	373	100.0	384	100.0	394	100.0	372	100.0
1	北海道	137	43.2	153	41.0	166	43.2	239	60.7	146	39.2
2	宮城県	39	12.3	61	16.4	98	25.5	85	21.6	45	12.1
3	東京都	130	41.0	149	39.9	179	46.6	211	53.6	162	43.5
4	京都府	85	26.8	160	42.9	177	46.1	165	41.9	147	39.5
5	大阪府	99	31.2	182	48.8	181	47.1	187	47.5	191	51.3
6	島根県	38	12.0	68	18.2	91	23.7	75	19.0	62	16.7
7	鳥取県	74	23.3	88	23.6	118	30.7	56	14.2	67	18.0
8	岡山県	39	12.3	101	27.1	95	24.7	105	26.6	100	26.9
9	山口県	57	18.0	71	19.0	102	26.6	106	26.9	100	26.9
10	香川県	33	10.4	74	19.8	87	22.7	96	24.4	80	21.5
11	愛媛県	25	7.9	74	19.8	57	14.8	68	17.3	52	14.0
12	福岡県	83	26.2	94	25.2	65	16.9	138	35.0	80	21.5
13	その他	3	0.9	1	0.3	4	1.0			2	0.5
14	なし（広島県のみを訪問）	7	2.2	19	5.1	5	1.3	3	0.8	8	2.2

(5) 旅行に行きたくなるきっかけ

旅行先を検討する上で、どのような媒体で情報を得ますか。(MA)

- いずれの居住者も、友人・知人・家族等からの口コミ情報、旅行情報ウェブサイト、レビューサイト、Facebook、YouTube から情報を得る人が比較的に多い。
- いずれの居住者も、年代ごとの差は特にみられない。

		ソウル		台北		香港		バンコク		シンガポール	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体		400	100.0	400	100.0	400	100.0	400	100.0	400	100.0
1	友人・知人・家族等からの口コミ情報	203	50.8	252	63.0	157	39.3	198	49.5	197	49.3
2	旅行情報ウェブサイト（Japan-guide.com等）	164	41.0	222	55.5	172	43.0	265	66.3	231	57.8
3	レビューサイト（Trip Advisor等）	124	31.0	143	35.8	159	39.8	212	53.0	179	44.8
4	旅行会社のホームページ	99	24.8	116	29.0	119	29.8	129	32.3	125	31.3
5	旅行先の国や自治体の公式ホームページ	53	13.3	131	32.8	151	37.8	115	28.8	151	37.8
6	個人のブログ	159	39.8	111	27.8	59	14.8	75	18.8	76	19.0
7	Twitter	43	10.8	66	16.5	104	26.0	107	26.8	50	12.5
8	Facebook	67	16.8	129	32.3	180	45.0	228	57.0	132	33.0
9	YouTube	193	48.3	188	47.0	169	42.3	251	62.8	180	45.0
10	Instagram	109	27.3	101	25.3	108	27.0	121	30.3	99	24.8
11	Google検索（Googleローカルガイドを含む）	112	28.0	200	50.0	131	32.8	189	47.3	154	38.5
12	旅行雑誌・ガイドブック（Lonely Planet等）	50	12.5	114	28.5	47	11.8	102	25.5	53	13.3
13	その他	2	0.5	1	0.3	2	0.5	1	0.3		

ソウル

		20・30代		40代以上	
		回答数	%	回答数	%
全体		263	100.0	137	100.0
1	友人・知人・家族等からの口コミ情報	143	54.4	60	43.8
2	旅行情報ウェブサイト（Japan-guide.com等）	91	34.6	73	53.3
3	レビューサイト（TripAdvisor等）	80	30.4	44	32.1
4	旅行会社のホームページ	66	25.1	33	24.1
5	旅行先の国や自治体の公式ホームページ	31	11.8	22	16.1
6	個人のブログ	111	42.2	48	35.0
7	Twitter	36	13.7	7	5.1
8	Facebook	53	20.2	14	10.2
9	YouTube	121	46.0	72	52.6
10	Instagram	84	31.9	25	18.2
11	Google検索（Googleローカルガイドを含む）	64	24.3	48	35.0
12	旅行雑誌・ガイドブック（Lonely Planet等）	23	8.7	27	19.7
13	その他	1	0.4	1	0.7

台北

		20・30代		40代以上	
		回答数	%	回答数	%
全体		217	100.0	183	100.0
1	友人・知人・家族等からの口コミ情報	152	70.0	100	54.6
2	旅行情報ウェブサイト（Japan-guide.com等）	116	53.5	106	57.9
3	レビューサイト（TripAdvisor等）	82	37.8	61	33.3
4	旅行会社のホームページ	60	27.6	56	30.6
5	旅行先の国や自治体の公式ホームページ	71	32.7	60	32.8
6	個人のブログ	68	31.3	43	23.5
7	Twitter	44	20.3	22	12.0
8	Facebook	69	31.8	60	32.8
9	YouTube	108	49.8	80	43.7
10	Instagram	67	30.9	34	18.6
11	Google検索（Googleローカルガイドを含む）	110	50.7	90	49.2
12	旅行雑誌・ガイドブック（Lonely Planet等）	54	24.9	60	32.8
13	その他	0	0.0	1	0.5

香港

		20・30代		40代以上	
		回答数	%	回答数	%
全体		218	100.0	182	100.0
1	友人・知人・家族等からの口コミ情報	95	43.6	62	34.1
2	旅行情報ウェブサイト（Japan-guide.com等）	105	48.2	67	36.8
3	レビューサイト（TripAdvisor等）	96	44.0	63	34.6
4	旅行会社のホームページ	69	31.7	50	27.5
5	旅行先の国や自治体の公式ホームページ	79	36.2	72	39.6
6	個人のブログ	36	16.5	23	12.6
7	Twitter	40	18.3	64	35.2
8	Facebook	93	42.7	87	47.8
9	YouTube	90	41.3	79	43.4
10	Instagram	61	28.0	47	25.8
11	Google検索（Googleローカルガイドを含む）	80	36.7	51	28.0
12	旅行雑誌・ガイドブック（Lonely Planet等）	27	12.4	20	11.0
13	その他	1	0.5	1	0.5

バンコク

		20・30代		40代以上	
		回答数	%	回答数	%
全体		252	100.0	148	100.0
1	友人・知人・家族等からの口コミ情報	129	51.2	69	46.6
2	旅行情報ウェブサイト（Japan-guide.com等）	170	67.5	95	64.2
3	レビューサイト（TripAdvisor等）	138	54.8	74	50.0
4	旅行会社のホームページ	89	35.3	40	27.0
5	旅行先の国や自治体の公式ホームページ	70	27.8	45	30.4
6	個人のブログ	48	19.0	27	18.2
7	Twitter	79	31.3	28	18.9
8	Facebook	150	59.5	78	52.7
9	YouTube	170	67.5	81	54.7
10	Instagram	90	35.7	31	20.9
11	Google検索（Googleローカルガイドを含む）	120	47.6	69	46.6
12	旅行雑誌・ガイドブック（Lonely Planet等）	65	25.8	37	25.0
13	その他	0	0.0	1	0.7

シンガポール

		20・30代		40代以上	
		回答数	%	回答数	%
全体		210	100.0	190	100.0
1	友人・知人・家族等からの口コミ情報	99	47.1	98	51.6
2	旅行情報ウェブサイト（Japan-guide.com等）	118	56.2	113	59.5
3	レビューサイト（TripAdvisor等）	89	42.4	90	47.4
4	旅行会社のホームページ	66	31.4	59	31.1
5	旅行先の国や自治体の公式ホームページ	73	34.8	78	41.1
6	個人のブログ	39	18.6	37	19.5
7	Twitter	43	20.5	7	3.7
8	Facebook	75	35.7	57	30.0
9	YouTube	98	46.7	82	43.2
10	Instagram	65	31.0	34	17.9
11	Google検索（Googleローカルガイドを含む）	73	34.8	81	42.6
12	旅行雑誌・ガイドブック（Lonely Planet等）	17	8.1	36	18.9
13	その他	0	0.0	0	0.0

(6) 広島市内を旅行する場合の利用経路の意向

広島市内（観光地例：原爆ドーム・平和記念公園など）へ旅行するとします。（現在運休中の場合は、運航したと仮定して）

どの経路を利用して広島市内を訪れると思いますか？（SA）

※調査にあたっては就航先ごとに、広島市内への経路ごとの条件（各国言語）を提示

広島市内への移動



▼広島市内への移動条件（2019.8時点）

※FSCはフルサービスキャリア、LCCはローコストキャリアの略称

	所要時間	費用	便数
ソウル～航空機（仁川空港＝広島空港）～広島	3時間 45分	13,400円	3往復/週 LCCのみ
ソウル～航空機（仁川空港＝岡山空港）＋新幹線～広島	5時間 0分	17,600円	7往復/週 両方
ソウル～航空機（仁川空港＝福岡空港）＋新幹線～広島	5時間 5分	18,600円	120往復/週 両方
ソウル～航空機（仁川空港＝関西空港）＋新幹線～広島	6時間 25分	22,700円	175往復/週 両方
ソウル～航空機（仁川空港＝羽田空港）＋新幹線～広島	9時間 20分	32,200円	21往復/週 両方
ソウル～航空機（仁川空港＝成田空港）＋新幹線～広島	9時間 50分	34,400円	160往復/週 両方

41

広島市内への移動



▼広島市内への移動条件（2023.2時点）

※FSCはフルサービスキャリア、LCCはローコストキャリアの略称

	所要時間	費用	便数
台北～航空機（台湾桃園空港＝広島空港）～広島	4時間 50分	19,400円	4往復/週 FSCのみ
台北～航空機（台湾桃園空港＝岡山空港）＋新幹線～広島	6時間 10分	17,900円	7往復/週 LCCのみ
台北～航空機（台湾桃園空港＝高松空港）＋新幹線～広島	7時間 20分	25,600円	7往復/週 FSCのみ
台北～航空機（台湾桃園空港＝福岡空港）＋新幹線～広島	6時間 0分	21,500円	44往復/週 両方
台北～航空機（台湾桃園空港＝関西空港）＋新幹線～広島	7時間 30分	27,300円	130往復/週 両方
台北～航空機（台湾桃園空港＝羽田空港）＋新幹線～広島	10時間 20分	34,000円	14往復/週 LCCのみ
台北～航空機（台湾桃園空港＝成田空港）＋新幹線～広島	10時間 50分	39,400円	129往復/週 両方

広島市内への移動



▼広島市内への移動条件（2019.8時点）

※FSCはフルサービスキャリア、LCCはローコストキャリアの略称

	所要時間	費用	便数
香港～航空機（香港空港＝広島空港）～広島	6時間 0分	14,700円	3往復/週 LCCのみ
香港～航空機（香港空港＝岡山空港）＋新幹線～広島	7時間 25分	20,100円	3往復/週 FSCのみ
香港～航空機（香港空港＝福岡空港）＋新幹線～広島	7時間 10分	25,600円	33往復/週 両方
香港～航空機（香港空港＝関西空港）＋新幹線～広島	8時間 35分	30,000円	113往復/週 両方
香港～航空機（香港空港＝羽田空港）＋新幹線～広島	11時間 20分	43,400円	56往復/週 両方
香港～航空機（香港空港＝成田空港）＋新幹線～広島	12時間 0分	42,400円	113往復/週 両方

116

広島市内への移動

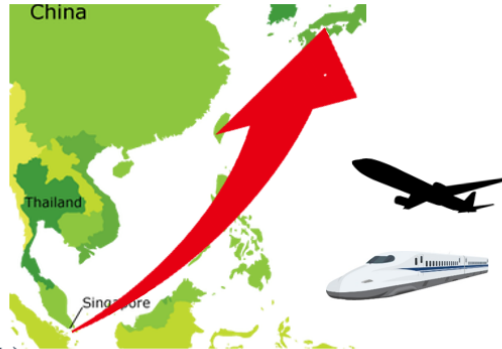


▼広島市内への移動条件（2020.2時点）

※FSCはフルサービスキャリア、LCCはローコストキャリアの略称

	所要時間	費用	便数
バンコク～航空機（スワンナプーム空港＝広島空港）～広島	8時間 5分	19,200円	3往復/週 LCCのみ
バンコク～航空機（スワンナプーム空港＝福岡空港）＋新幹線～広島	9時間 10分	38,700円	20往復/週 両方
バンコク～航空機（スワンナプーム空港＝関西空港）＋新幹線～広島	10時間 15分	37,600円	49往復/週 両方
バンコク～航空機（スワンナプーム空港＝羽田空港）＋新幹線～広島	13時間 15分	52,800円	49往復/週 FSCのみ
バンコク～航空機（スワンナプーム空港＝成田空港）＋新幹線～広島	13時間 40分	50,700円	42往復/週 FSCのみ

広島市内への移動

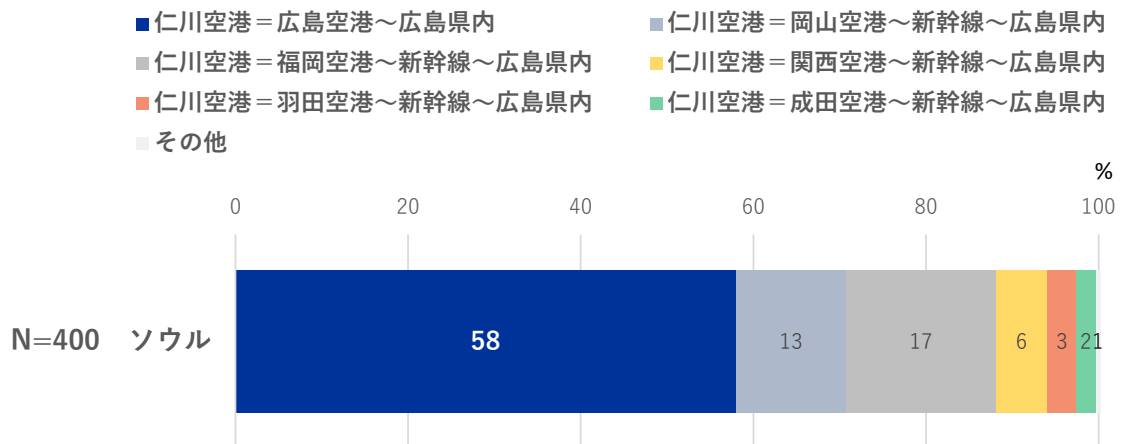


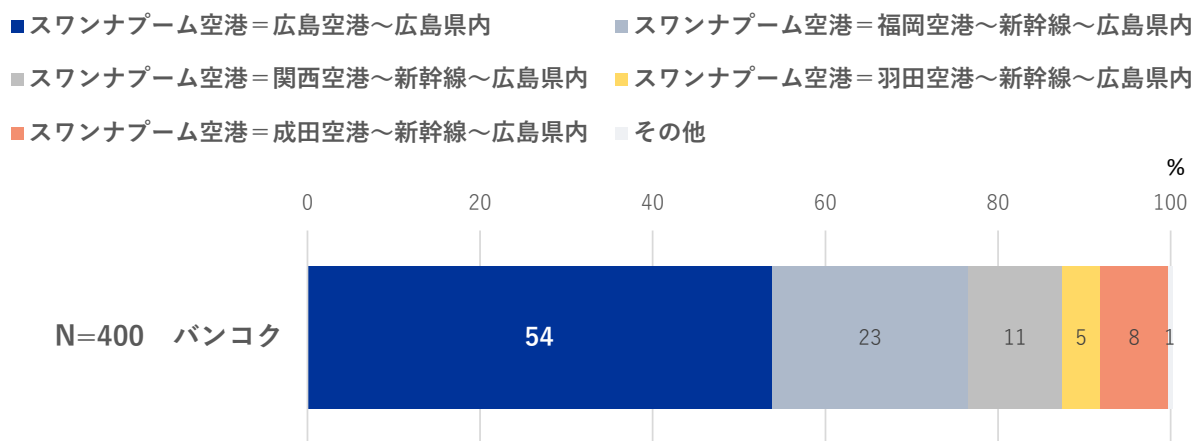
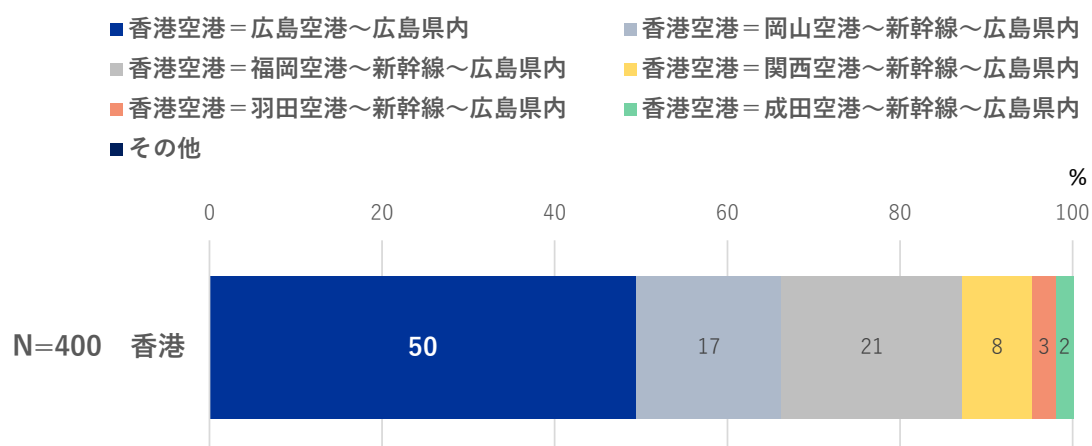
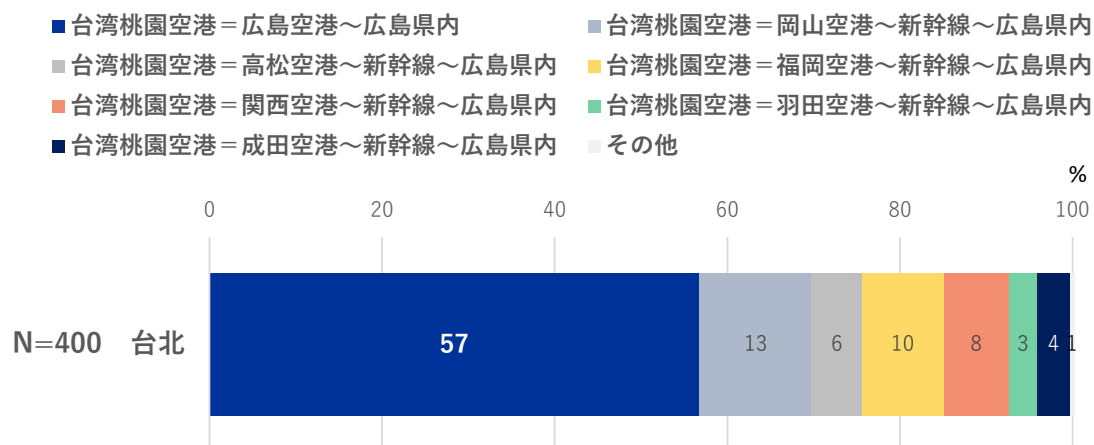
▼広島市内への移動条件（2019.8時点）

※FSCはフルサービスキャリア、LCCはローコストキャリアの略称

	所要時間	費用	便数
シンガポール～航空機（チャンギ空港＝広島空港）～広島	8時間 30分	26,600円	3往復/週 FSCのみ
シンガポール～航空機（チャンギ空港＝福岡空港） ＋新幹線～広島	9時間 50分	44,900円	14往復/週 FSCのみ
シンガポール～航空機（チャンギ空港＝関西空港） ＋新幹線～広島	11時間 5分	41,900円	49往復/週 両方
シンガポール～航空機（チャンギ空港＝羽田空港） ＋新幹線～広島	13時間 55分	59,800円	56往復/週 FSCのみ
シンガポール～航空機（チャンギ空港＝成田空港） ＋新幹線～広島	14時間 30分	56,100円	42往復/週 FSCのみ

➤ いずれの居住者も、約 50～60%が広島空港直行便の利用意向がある。

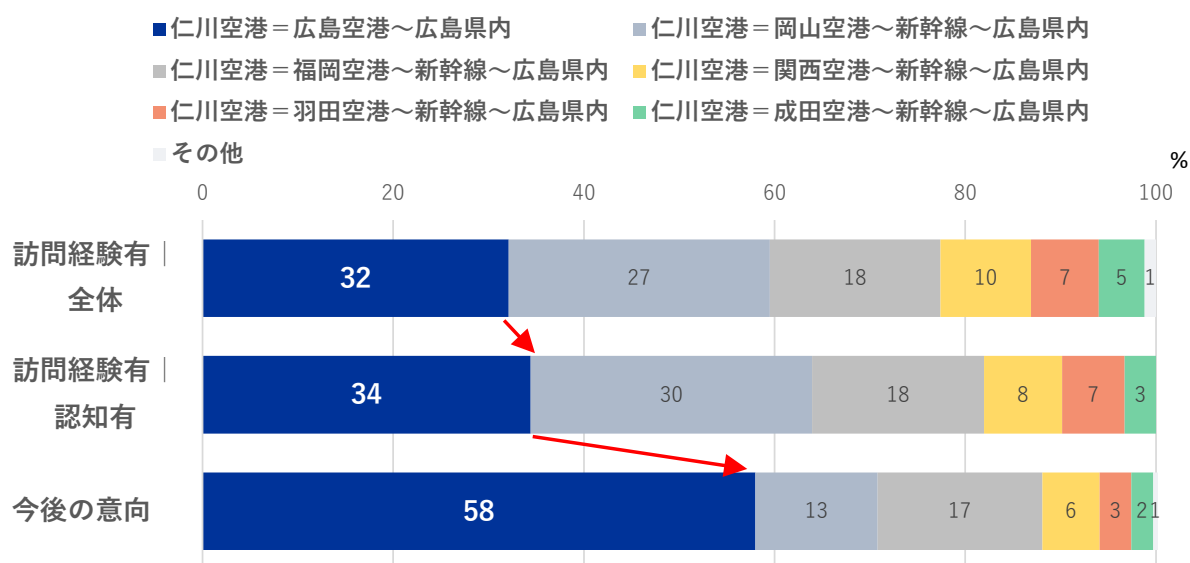




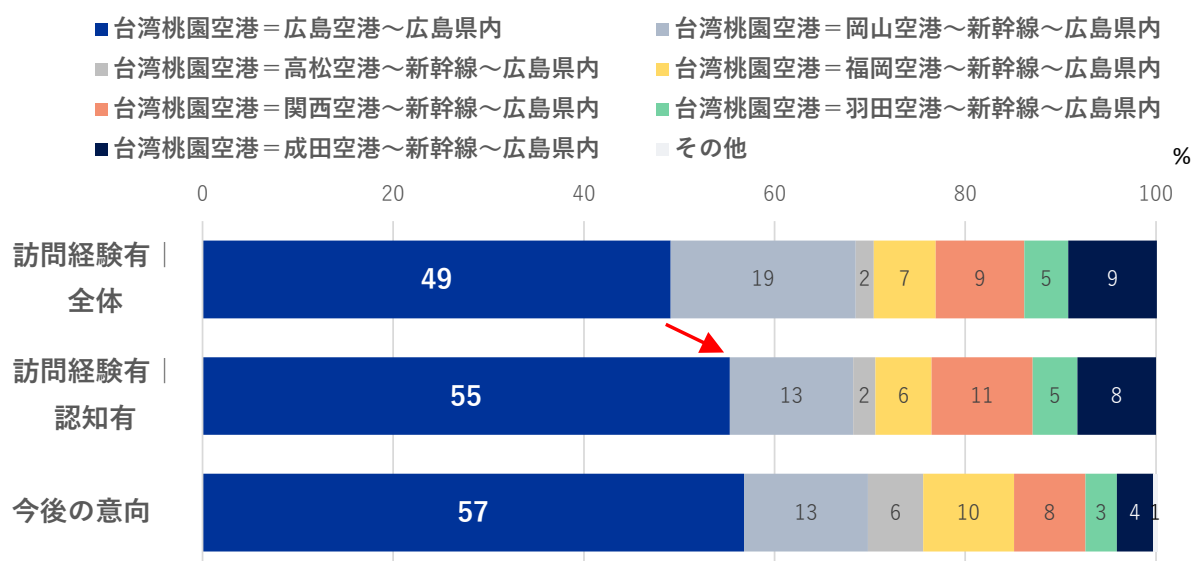
■広島県訪問経験者の利用経路の実態と、今後の利用経路の意向の比較

- ソウル、台北、バンコク、シンガポール居住者は、訪問経験者全体では直行便の利用が概ね30～50%前後であるが、直行便を知っている人に限定すると直行便の利用が2～6%増加し、更に今後の意向としては約60%前後が直行便を利用したいと回答している。今後の意向は、提示した条件に応じた回答であるため、条件次第で利用する期待値として捉えられる。
- 香港居住者は、直行便の認知の有無による利用経路の差はみられなかったが、今後の利用意向としては広島空港直行便が50%を占めており、広島県の訪問経験がない人の今後の利用に期待ができる。

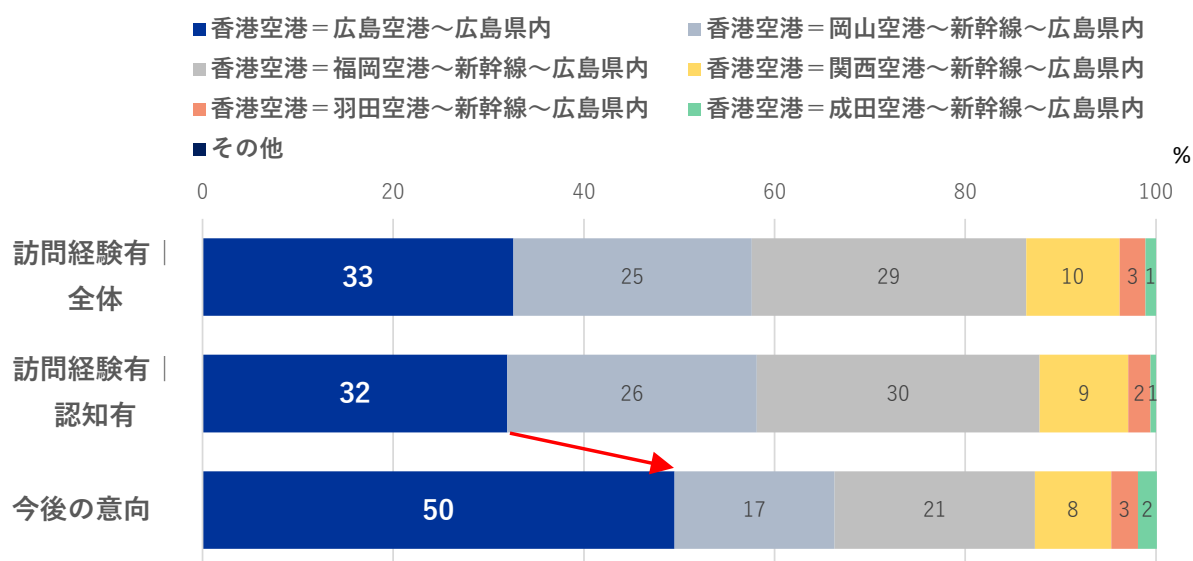
ソウル



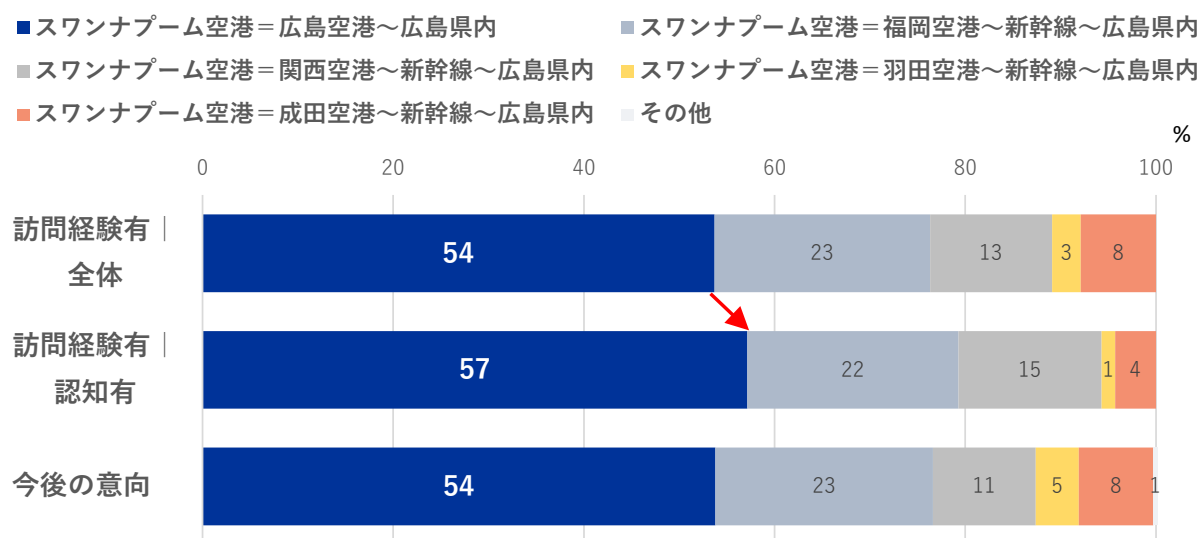
台北



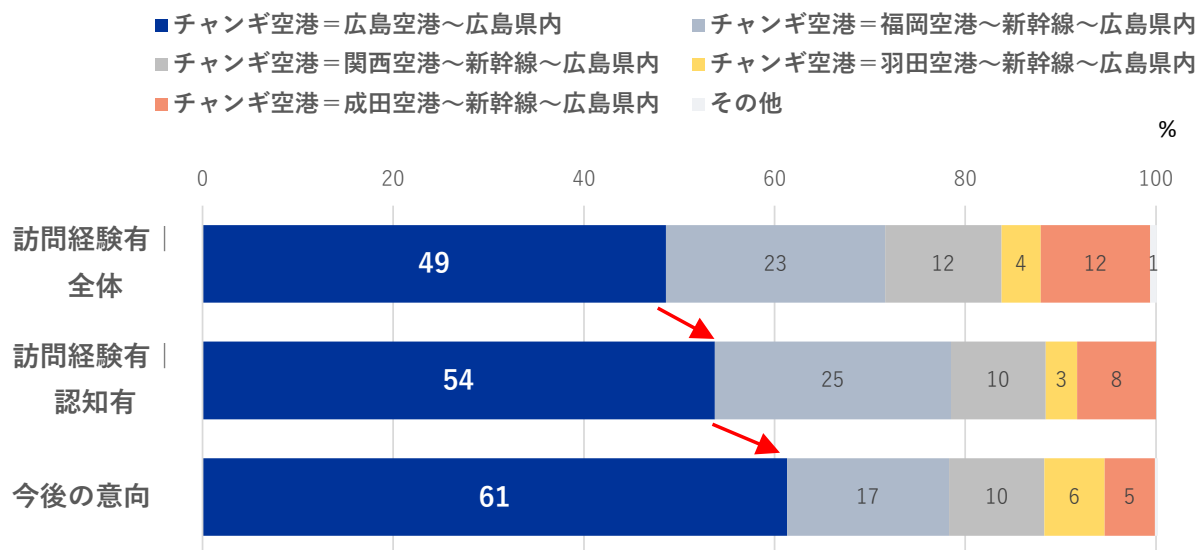
香港



バンコク



シンガポール



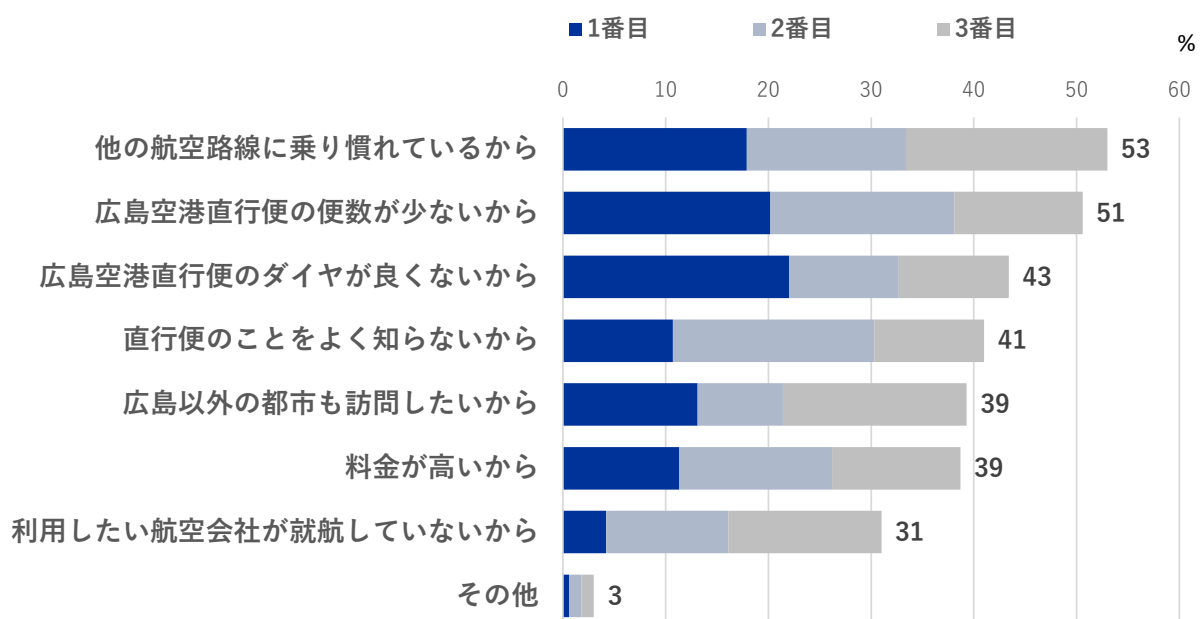
・ 広島空港の直行便を利用しない理由

広島空港への直行便を利用しない理由は何ですか？

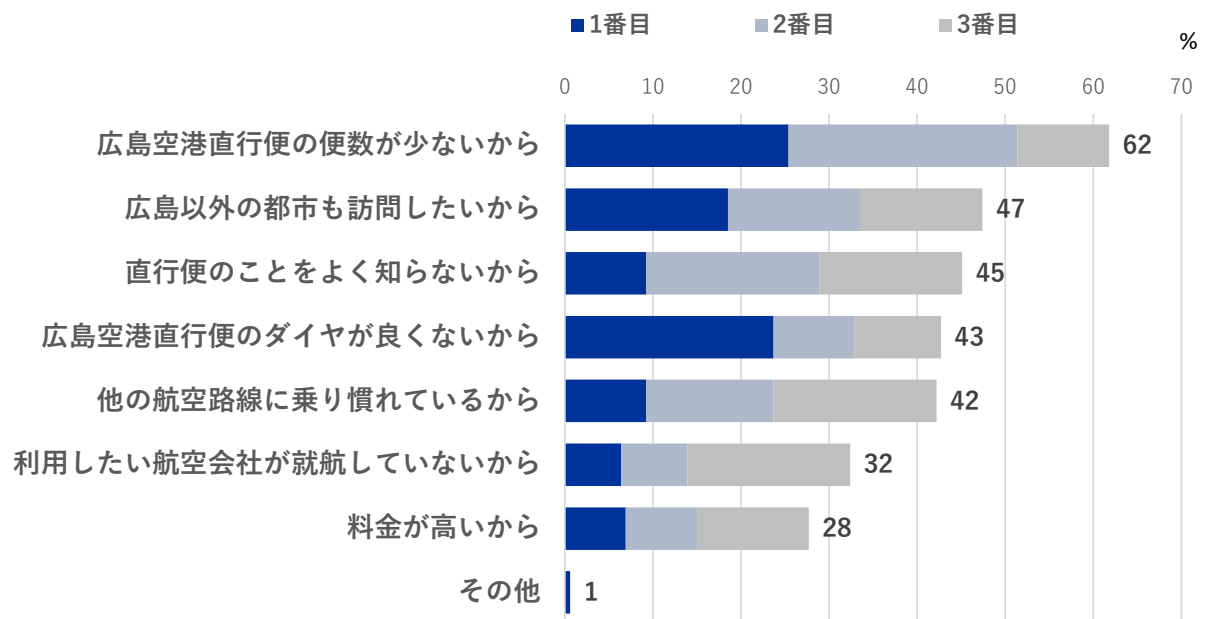
以下の選択肢から当てはまると思う順に3つまでお選びください。（SA）

➤ いずれの居住者も、50%以上が広島空港直行便の便数が少ないと感じている。

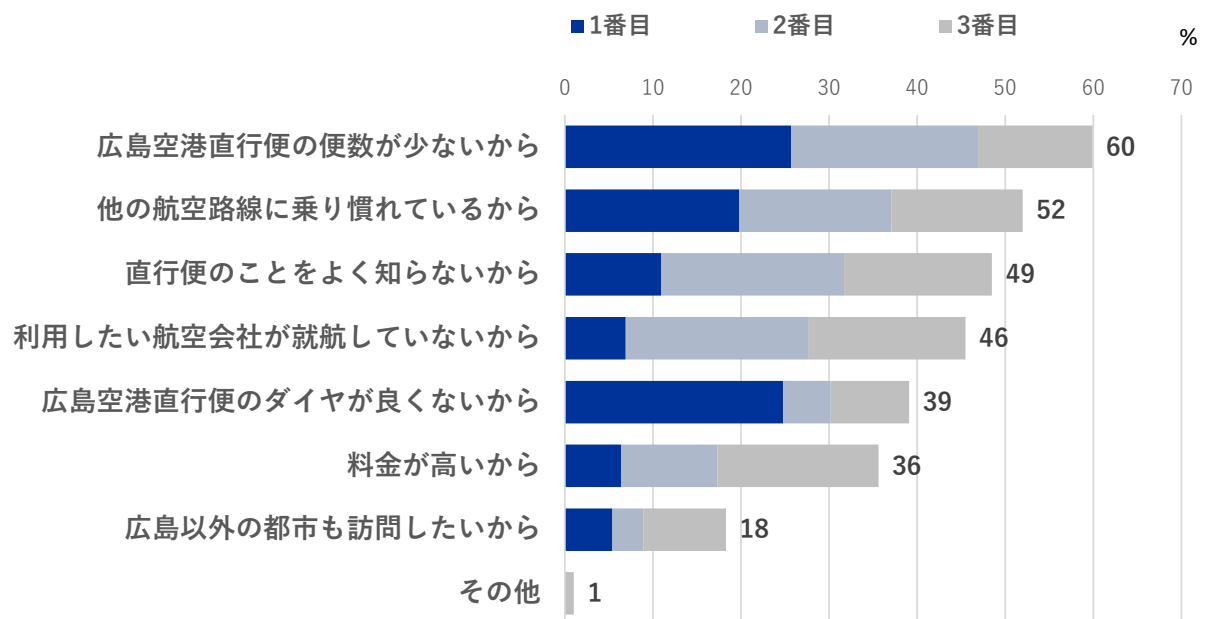
N=168 ソウル



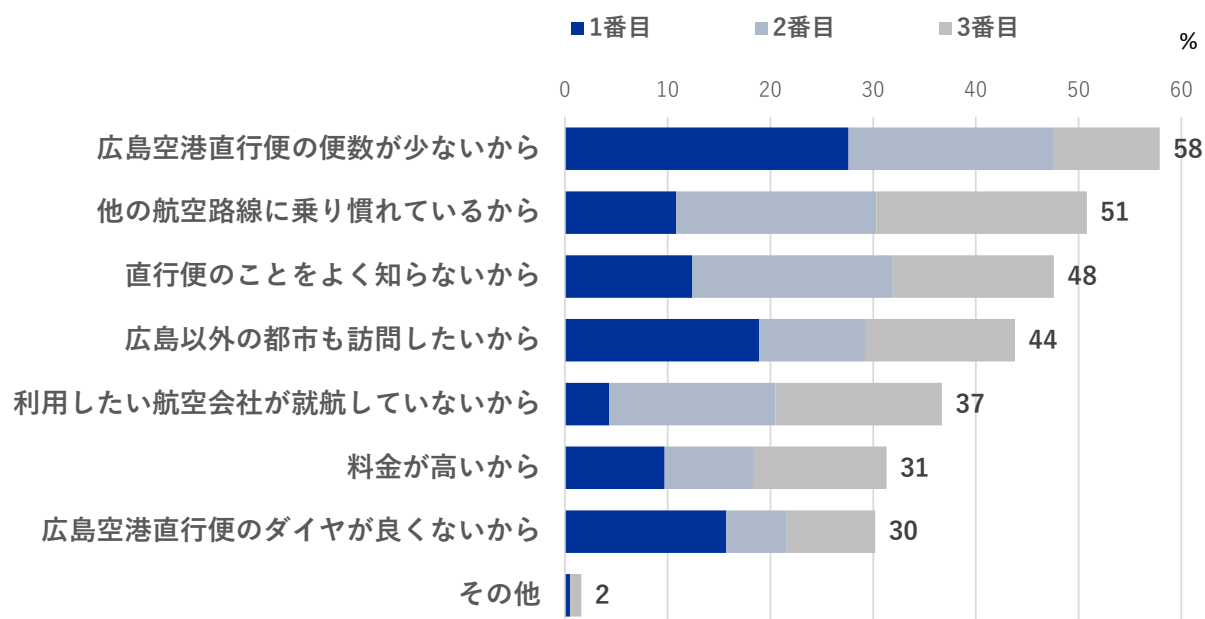
N=173 台北



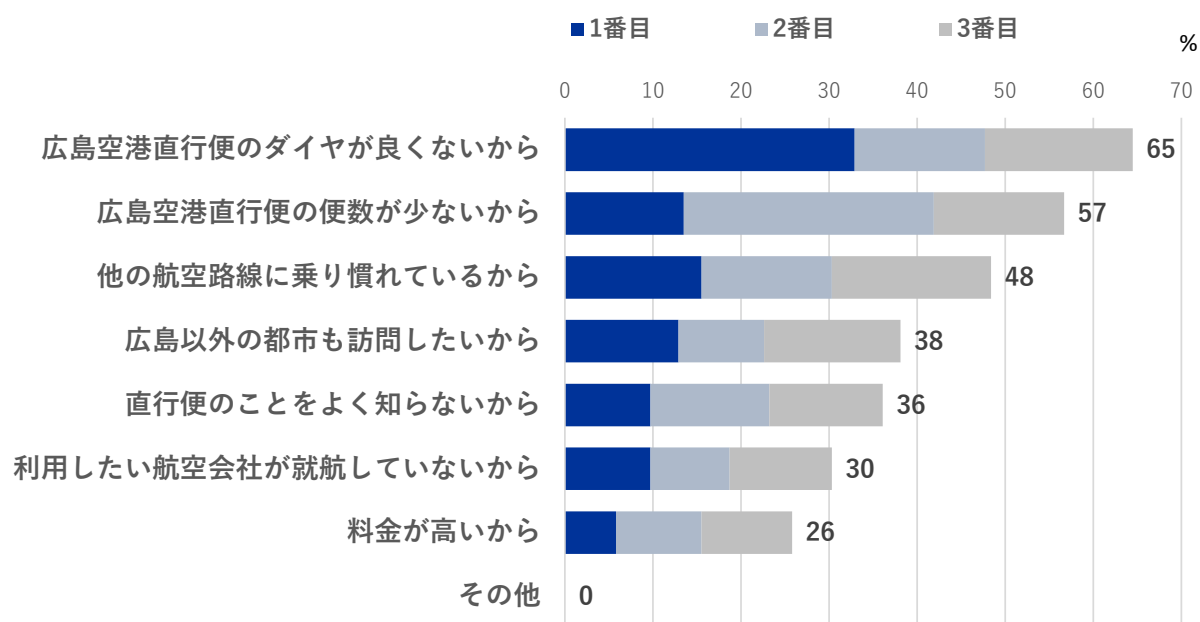
N=202 香港



N=185 バンコク



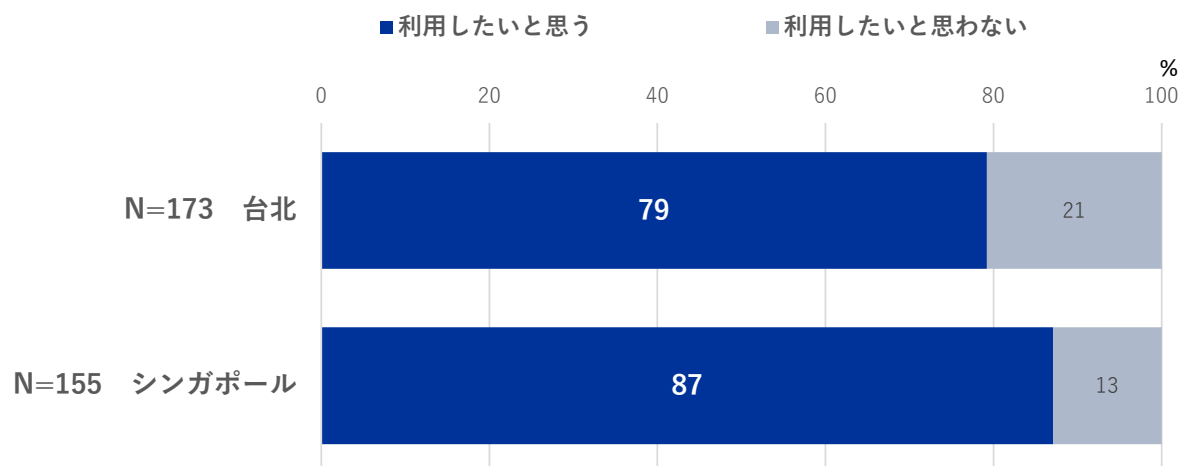
N=155 シンガポール



(7) 広島空港への直行便に **LCC** が就航した場合の利用意向（台北、シンガポールのみ）

広島空港に LCC が就航したら、広島空港を利用したいと思いますか？（SA）

- 広島空港直行便を利用しない人のうち、LCC が就航した場合、広島空港直行便を利用したい人が 80%前後を占める。



2.2.5 就航先居住者アンケートのまとめ

(1) 国内線

① 利用経路

■認知度が向上すれば、直行便の利用率が高まる可能性がある

- 就航先居住者の広島空港への直行便の認知度は 20%程度にとどまる。
- 道央居住者、宮城県居住者、沖縄県居住者は、広島県訪問経験者のうち直行便の利用率は 30～40%であるのに対して、直行便を認知していた広島県訪問経験者の直行便利用率は 50～60%であった。認知度の向上に応じて現在の旅客数の 1.5 倍程度に増加する可能性がある。
- 認知をしていますが、各経路の条件を比較したうえで、直行便を利用しない層が存在することも明らかになった。

■就航先居住者は広島県以外も訪問している

- 道央居住者、宮城県居住者、沖縄県居住者は、60～70%が広島県以外も訪問している。
- 東京都居住者は、約 40%が広島県以外も訪問している。
- 広島県以外の訪問地は、岡山県、山口県、島根県といった隣接県が多い。しまなみ海道を利用して移動できる愛媛県の訪問者は少ない。

② 広島県内の観光資源の評価

■「宮島」、「原爆ドーム・平和記念公園」は広島観光の強み

- 広島県への訪問経験者の体験としてよかったものとしての回答率が高く、且つ、今後の意向としての行ってみたい場所・体験したいものとしての回答率も高い。

■「尾道」、「しまなみ海道」、「牡蠣」、「尾道ラーメン」は潜在需要あり

- 今後の意向としての行ってみたい場所・体験したいものとしての回答率に比べ、訪問経験者の体験としてよかったものとしての回答率が低い。訪問や体験意向はあるものの、訪問・体験できていない可能性がある。

③ 旅行意向

■旅行料金が安くなれば、広島県への旅行意向が高まる

- 今後の広島県への旅行意向を質問した結果、30～40%は旅行したいとは思わないとの回答であった。
- 旅行したいとは思わない理由として、「広島県の観光地を知らない」のほか、「旅行代金が高い」が多く挙げられた。認知度の向上のほか、旅行価格の低下が課題。
- 広島空港の直行便を利用しない理由としても「料金が低い」が多く挙げられた。
- 一方で、広島空港への直行便で LCC が就航したら旅行したいかどうかについては、60～70%が「旅行したいと思う」と回答しており、LCC の就航が広島県への旅行意向を高めると想定される。

(2) 国際線

① 利用経路

■訪日経験者のうち、半数は広島空港直行便を認知している

- 就航先居住者の広島空港への直行便の認知度は約 50～80%である。
- ソウル、台北、バンコク、シンガポール居住者は、訪問経験者全体では直行便の利用が概ね 30～50%前後であるが、直行便を知っている人に限定すると直行便の利用が 2～6%増加し、更に今後の意向としては約 60%前後が直行便を利用したいと回答している。
- いずれの居住者も、広島空港直行便の利用が最も多く、次に岡山空港の利用が多い。

■就航先居住者は広島県以外も訪問している

- 台北、バンコク居住者は、約 70%が広島県以外も訪問している。
- シンガポール居住者は約 50%、ソウル、香港居住者は約 40%が広島県以外も訪問している。
- 広島県以外の訪問地は、岡山県、山口県、島根県といった隣接県よりも、北海道、東京都、京都府、大阪府といった国内でも人気の観光地が多い。

② 日本、広島県の旅行

■「宮島」は国内外問わず広島観光の強み

- 広島県への訪問経験者の体験としてよかったものとしての回答率が高く、且つ、今後の意向としての行ってみたい場所・体験したいものとしての回答率も高い。

■日本国内では、北海道、東京都、京都府、大阪府が人気

- 広島県の他に行ってみたい別の旅行先として、いずれの居住地においても回答が多い。また、体験したいものとしては、日本食や日本文化の体験など、日本らしさを求める人が多い。

③ 旅行意向

■いずれの居住者も、広島県への旅行意向は非常に高い

- 今後の広島県への旅行意向を質問した結果、約 80%以上が旅行したいとの回答であった。
- 旅行したいと思わない理由として、「広島県の観光地を知らない」のほか、「広島県ではなく別の旅行先に行ってみたい」が多く挙げられた。認知度の向上のほか、広島県の魅力の発信が課題である。
- 広島空港への直行便で LCC が就航したら旅行したいかどうかについては、「広島空港直行便を利用しない」と答えた台北居住者、シンガポール居住者の約 80～90%が「利用したいと思う」と回答しており、LCC の就航が広島空港の利用意向を高めると想定される。

2.3 広島空港利用者アンケート

2.3.1 調査概要

広島空港にて航空機を利用する航空旅客を対象とし、旅行目的や空港アクセス手段の選択状況等を把握する。

表 2.3.1 広島空港利用者アンケート 調査概要

調査対象	広島空港から出発する航空機（国内線及び台北線）に搭乗する航空旅客（日本人、外国人） ➤ 東京（羽田） ➤ 成田 ➤ 札幌（新千歳） ➤ 仙台 ➤ 沖縄（那覇） ➤ 台北																			
調査場所	広島空港国内線・国際線搭乗待合室内																			
調査方法	広島空港において、航空旅客（日本人、外国人）にアンケート票もしくは回答用 QR コードを配布・提示してアンケートに回答していただき、その場で回答を回収する。また、回答者には謝礼としてミニタオルを進呈する。国内線のアンケート票は地元客、入込客の 2 種類を用意し、台北線のアンケート票は日本人、外国人（繁体字・英語）の 3 種類を用意する。																			
調査の様子																				
調査サンプル数	国内線 400 票、台北線 100 票の回収を目標																			
回収結果	<table border="0"> <tr> <td>➤ 東京（羽田）</td><td>261 票</td><td></td></tr> <tr> <td>➤ 成田</td><td>56 票</td><td></td></tr> <tr> <td>➤ 札幌（新千歳）</td><td>29 票</td><td></td></tr> <tr> <td>➤ 仙台</td><td>31 票</td><td></td></tr> <tr> <td>➤ 沖縄（那覇）</td><td>37 票</td><td>国内線 計 414 票</td></tr> <tr> <td>➤ 台北</td><td>119 票</td><td></td></tr> </table>		➤ 東京（羽田）	261 票		➤ 成田	56 票		➤ 札幌（新千歳）	29 票		➤ 仙台	31 票		➤ 沖縄（那覇）	37 票	国内線 計 414 票	➤ 台北	119 票	
➤ 東京（羽田）	261 票																			
➤ 成田	56 票																			
➤ 札幌（新千歳）	29 票																			
➤ 仙台	31 票																			
➤ 沖縄（那覇）	37 票	国内線 計 414 票																		
➤ 台北	119 票																			

2.3.2 調査内容

表 2.3.2 広島空港利用者アンケート 調査内容（国内線）

(1) 回答者の概要
(2) 旅行内容
・ 今回の搭乗便について
・ 旅行目的
・ コロナ前と比較した際の出張の回数の変化（仕事目的の人のみ）
・ 旅行の手配方法
・ 航空券の入手先（個人で旅行を手配した人のみ）
・ 旅行のきっかけとなったもの（観光・レジャー目的の人のみ）
(3) 旅行のアクセス手段
・ 広島空港へのアクセス手段
・ 帰りの広島空港利用の意向（地元客のみ）
(4) 今回の広島県の滞在について（入込客のみ）
・ 広島到着時の交通拠点
・ 広島到着後の訪問地と、訪問地ごとの宿泊数
(5) 他機関、他空港の利用実態
・ 最近 5 年間の広島県、もしくは今回の目的地への移動回数
・ 広島空港以外の空港、交通機関の利用の有無（複数回移動した人のみ）
・ 広島空港以外で利用する主な交通機関と利用回数（複数回移動した人のみ）
・ 広島空港以外を利用した理由（複数回移動した人のみ）
・ 今後の広島空港の利用意向
(6) 広島空港定期路線の認知度（地元客のみ）
(7) 新規路線候補地への最近 5 年間の移動回数（地元客のみ）

表 2.3.3 広島空港利用者アンケート 調査内容（国際線）

(1) 回答者の概要

(2) 旅行内容

- ・ 今回の搭乗便について
- ・ 入国時の広島空港の利用
- ・ 旅行目的
- ・ コロナ前と比較した際の出張の回数の変化（日本人・仕事目的の人のみ）
- ・ 旅行の手配方法
- ・ 航空券の入手先（個人で旅行を手配した人のみ）
- ・ 旅行のきっかけとなったもの（観光・レジャー目的の人のみ）

(3) 広島空港へのアクセス手段

(4) 今回の日本滞在について（外国人のみ）

- ・ 日本に入国後の訪問地、宿泊地について
- ・ 満足度の高い訪問地

(5) 他機関、他空港の利用実態（日本人のみ）

- ・ 最近 5 年間の今回の目的地への移動回数と利用した交通機関
- ・ 広島空港以外の空港の利用の有無（複数回移動した人のみ）
- ・ 広島空港以外で利用する主な空港と利用回数（複数回移動した人のみ）
- ・ 広島空港以外を利用した理由（複数回移動した人のみ）

(6) 広島空港国際定期路線の認知度（日本人のみ）

(7) 新規路線候補地への最近 5 年間の移動回数（日本人のみ）

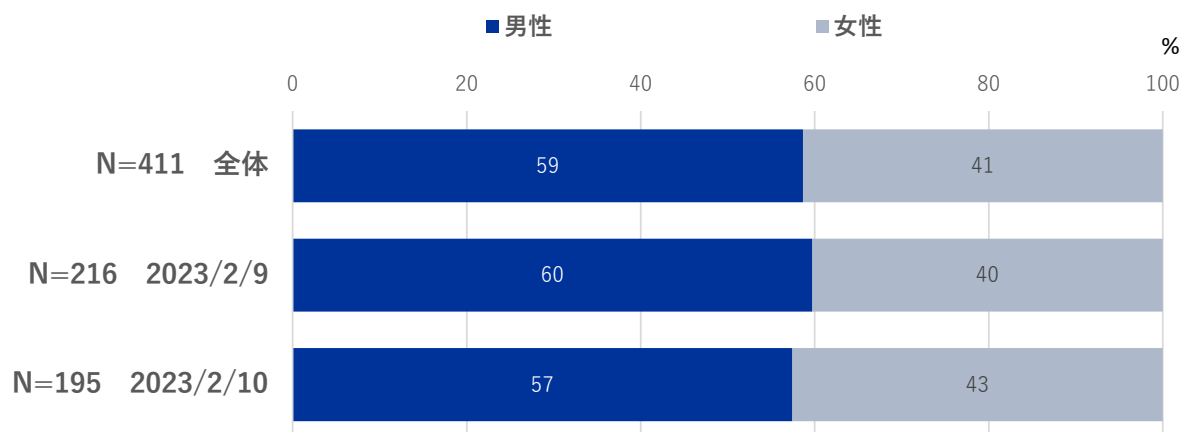
(8) 広島空港に対して不便・不満に感じたこと（外国人のみ）

2.3.3 調査結果 | 国内線

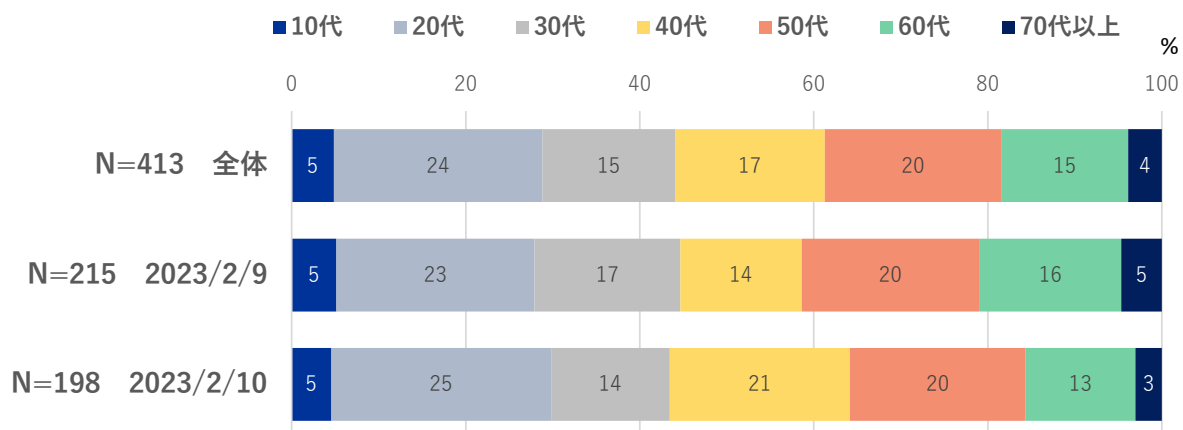
(1) 回答者の概要

ご自身についてお答えください。

➤ 両日とも、男性の方が女性よりも約 10～20%ほど回答数が多い。



➤ 両日とも、10代と70代以上は3～5%を占め、それ以外の年代はそれぞれ10～25%を占める。

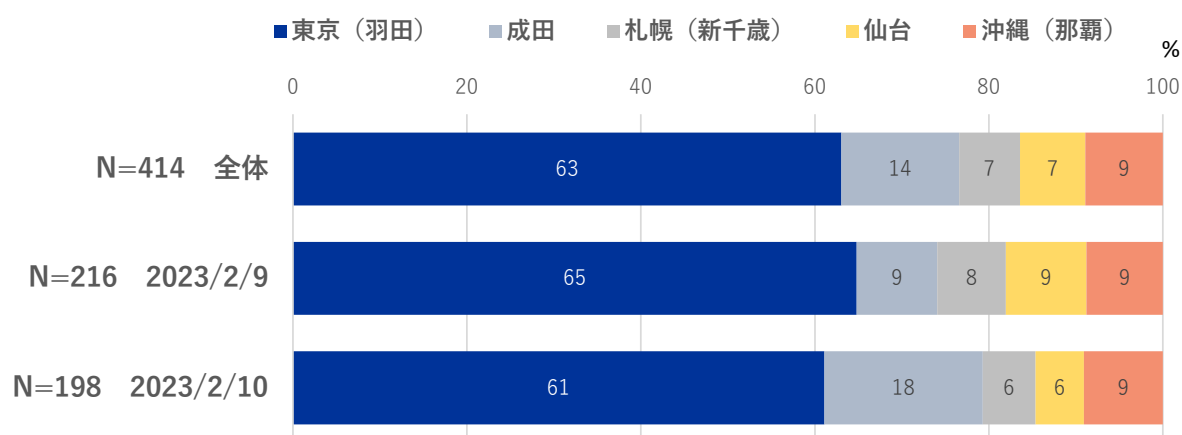


(2) 旅行内容

・搭乗便について

これから搭乗される飛行機の行先と便名をお答えください。

- 羽田便が 60%以上を占め、札幌（新千歳）便、仙台便、那覇（沖縄）便はそれぞれ 10%弱を占める。
- 成田便は 2/9（木）は 2 便/日、2/10（金）は 3 便/日であるため、回収数に差が開いている。
- 便別にみると、1 便あたり全体の回収票の 1～10%を占める。
- 2/10（金）は天候の影響により欠航・遅延便があったため、一部の便で回収できていない。



			回収数			構成比		
			2023/2/9	2023/2/10	合計	2023/2/9	2023/2/10	合計
羽田	ANA672	07:35	10	16	26	5%	8%	6%
羽田	JAL252	07:55	3		3	1%		1%
新千歳	ANA1271	08:05	10	5	15	5%	3%	4%
仙台	IBX36	09:50	11	11	22	5%	6%	5%
成田	SJO622	10:30	9	12	21	4%	6%	5%
羽田	ANA676	10:35	9		9	4%		2%
新千歳	JAL3403	10:50	8	7	15	4%	4%	4%
那覇	ANA1861	11:35	19	18	37	9%	9%	9%
羽田	JAL256	12:05	11	1	12	5%	1%	3%
羽田	ANA678	12:55	19	20	39	9%	10%	10%
羽田	JAL258	13:10	6	1	7	3%	1%	2%
成田	SJO626	15:10		19	19		10%	5%
羽田	ANA680	15:30	9	30	39	4%	16%	10%
羽田	JAL260	16:10	13	6	19	6%	3%	5%
羽田	JAL262	16:55	12	14	26	6%	7%	6%
羽田	ANA682	17:15	6	8	14	3%	4%	3%
羽田	JAL264	18:25	6	4	10	3%	2%	2%
羽田	ANA684	18:55	2	1	3	1%	1%	1%
仙台	IBX44	19:50	9		9	4%		2%
成田	SJO624	20:00	12	7	19	6%	4%	5%
羽田	JAL266	20:25	3	4	7	1%	2%	2%
羽田	ANA686	20:30	10	2	12	5%	1%	3%
羽田	ANA688	21:40	13	7	20	6%	4%	5%
			210	193	403	100%	100%	100%

本日の目的地をお答えください。

- 羽田便、成田便、仙台便は地元客と入込客が約半数である。札幌便、沖縄便は地元客が中心である。
- 羽田便の地元客のうち、70%以上の目的地は東京都であるが、入込客は47%である。
- 成田便は、東京都、千葉県が目的地の旅客がそれぞれ30～40%を占める。
- 仙台便の地元客のうち、85%の目的地は宮城県であるが、入込客は64%である。

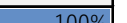
N=123 羽田便

羽田便	人数			構成比		
	地元客	入込客	全体	地元客	入込客	全体
東京都	88	63	151	 72%	 47%	 59%
神奈川県	13	22	35	 11%	 17%	 14%
埼玉県	6	16	22	 5%	 12%	 9%
千葉県	2	18	20	 2%	 14%	 8%
海外	7		7	 6%		 3%
茨城県		6	6		 5%	 2%
北海道	1	4	5	 1%	 3%	 2%
群馬県	2	1	3	 2%	 1%	 1%
山形県	2		2	 2%		 1%
栃木県	1		1	 1%		 0%
秋田県	1		1	 1%		 0%
新潟県		1	1		 1%	 0%
石川県		1	1		 1%	 0%
沖縄県		1	1		 1%	 0%
	123	133	256	100%	100%	100%

N=27 成田便

成田便	人数			構成比		
	地元客	入込客	全体	地元客	入込客	全体
東京都	11	10	21	 41%	 36%	 38%
千葉県	11	8	19	 41%	 29%	 35%
埼玉県		4	4		 14%	 7%
神奈川県	1	2	3	 4%	 7%	 5%
茨城県	1	2	3	 4%	 7%	 5%
栃木県	1	2	3	 4%	 7%	 5%
福島県	1		1	 4%		 2%
海外	1		1	 4%		 2%
	27	28	55	100%	100%	100%

N=26 札幌便

札幌便	人数			構成比		
	地元客	入込客	全体	地元客	入込客	全体
北海道	26	3	29	 100%	 100%	 100%
	26	3	29	100%	100%	100%

N=13 仙台便

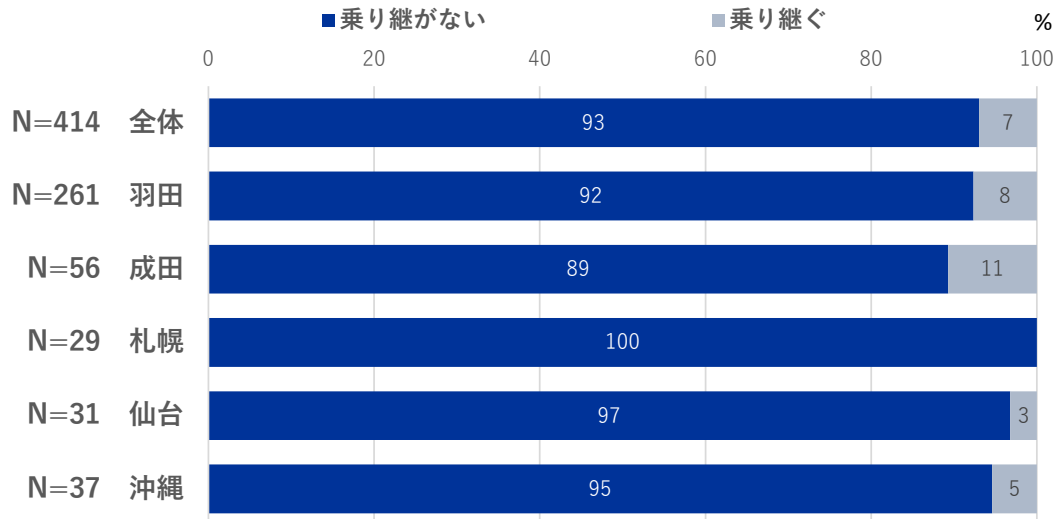
仙台便	人数			構成比		
	地元客	入込客	全体	地元客	入込客	全体
宮城県	11	9	20	85%	64%	74%
福島県	1	1	2	8%	7%	7%
山形県		2	2		14%	7%
岩手県		1	1		7%	4%
秋田県	1		1	8%		4%
青森県		1	1		7%	4%
	13	14	27	100%	100%	100%

N=35 沖縄便

沖縄便	人数			構成比		
	地元客	入込客	全体	地元客	入込客	全体
沖縄県	35		35	100%		100%
	35		35	100%		100%

この路線のあとさらに飛行機を乗り継ぎますか。乗り継ぐ場合は最終目的空港をお答えください。

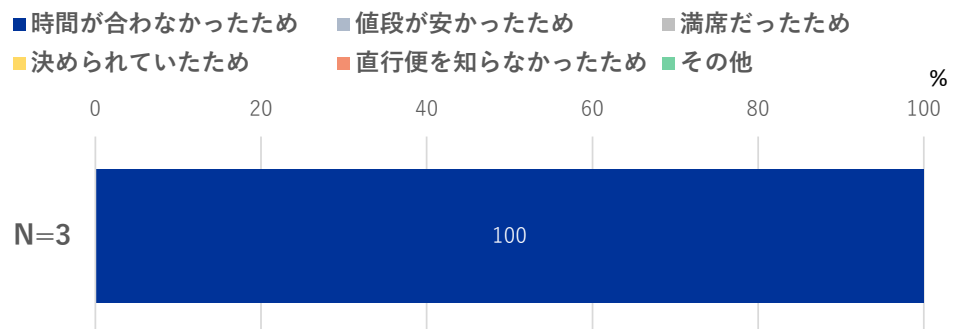
- すべての路線において、乗り継がない旅客が約 90%以上を占める。
- 乗継先の空港は海外の他、北海道内の空港がみられる。



乗継先	人				
	羽田	成田	札幌	仙台	沖縄
海外	10	5			
北海道	5			1	
山形県	2				
沖縄県	1				2
秋田県	1				
石川県	1				
東京離島		1			
合計	20	6		1	2

乗り継ぎで新千歳空港を利用する方は、乗り継ぐ理由をお答えください。

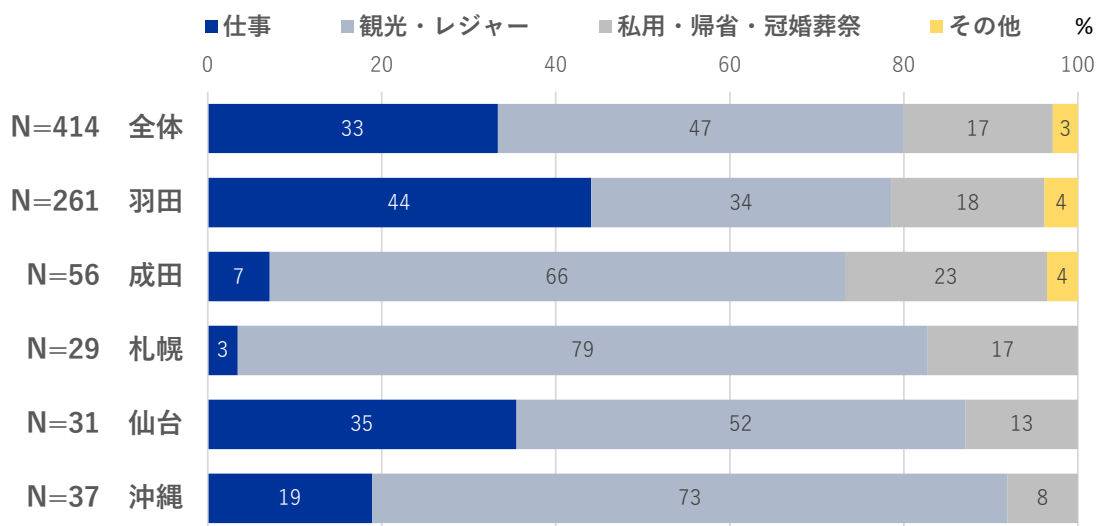
- 乗り継ぎで新千歳空港を利用する理由は、「時間が合わなかった」が 100%を占める。



・旅行目的

今回の旅行の目的は何でしたか。複数の目的がある場合には、最も重要な目的1つをお選びください。

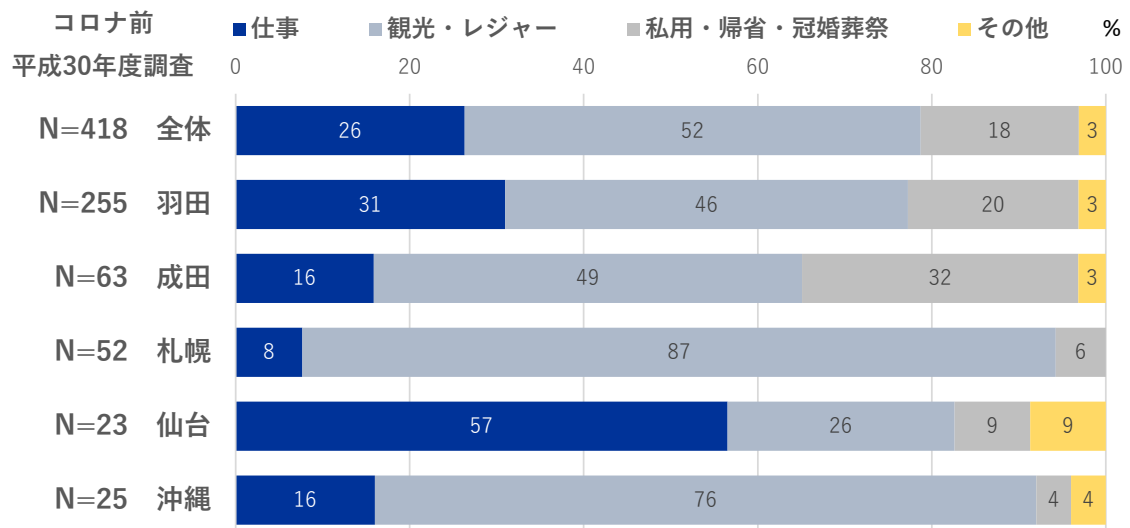
- 羽田、仙台便においては、仕事目的の人が30～45%を占める。
- 成田、札幌、沖縄便においては、観光・レジャー目的の人が65～80%を占める。
- すべての便において、私用・帰省・冠婚葬祭が目的の人は約10～20%前後を占める。



		全体 N=261	地元客 N=124	入込客 N=137
羽田	仕事	44%	30%	57%
	観光・レジャー	34%	37%	32%
	私用・帰省・冠婚葬祭	18%	26%	10%
	その他	4%	7%	1%
成田	仕事	7%	4%	11%
	観光・レジャー	66%	54%	79%
	私用・帰省・冠婚葬祭	23%	36%	11%
	その他	4%	7%	
札幌	仕事	3%	4%	
	観光・レジャー	79%	81%	67%
	私用・帰省・冠婚葬祭	17%	15%	33%
	その他			
仙台	仕事	35%	24%	50%
	観光・レジャー	52%	65%	36%
	私用・帰省・冠婚葬祭	13%	12%	14%
	その他			
沖縄	仕事	19%	19%	
	観光・レジャー	73%	73%	
	私用・帰省・冠婚葬祭	8%	8%	
	その他			

<コロナ前との比較>

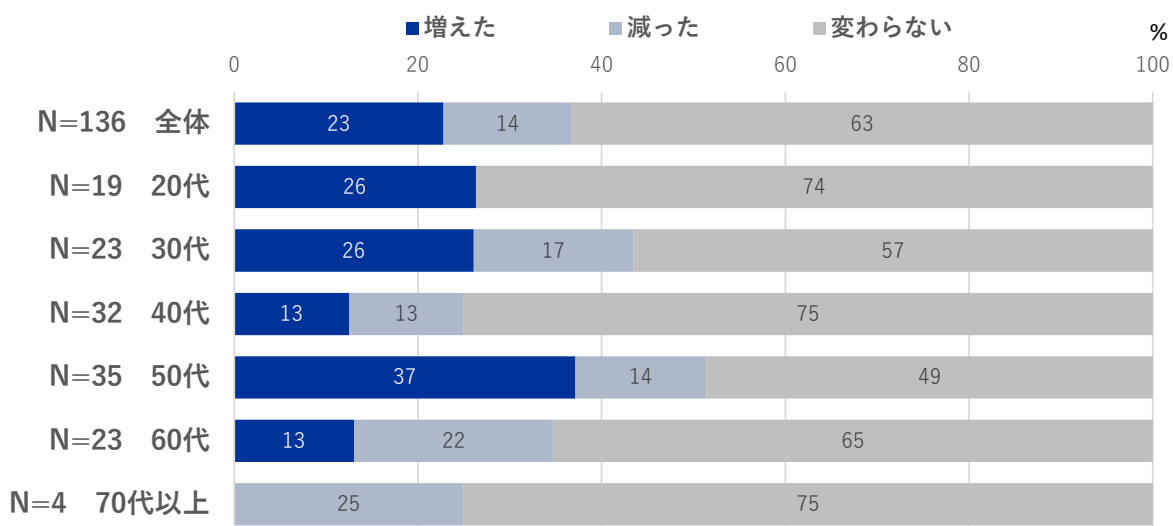
- コロナ前の調査（平成 30 年度の広島空港利用者アンケート）と比較すると、仙台便を除くすべての路線において仕事目的の割合が増加し、観光・レジャーの割合が減少している。私用・帰省・冠婚葬祭の割合は、路線ごとに増減に差がみられる。



- ・コロナ前と比較した際の出張の回数の変化（仕事目的の人のみ）

出張で広島空港を利用する回数はコロナ前と比べて変化しましたか。

- すべての年代において、出張の回数が減ったと感じた旅客は 10～25%であり、約 70%以上がコロナ前と比べて出張の回数が増えた、もしくは変わらないと感じている。

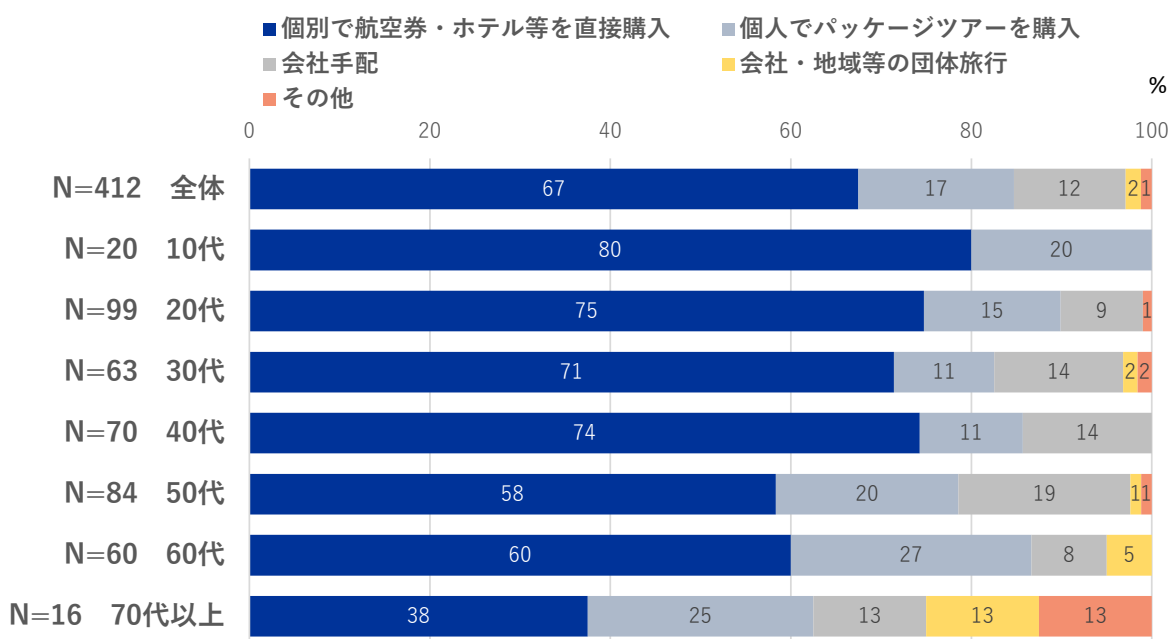


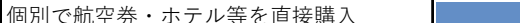
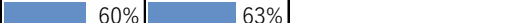
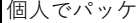
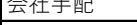
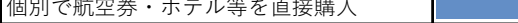
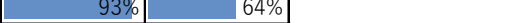
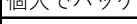
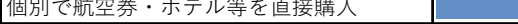
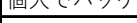
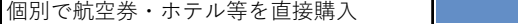
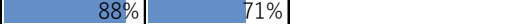
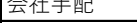
		全体 N=114	地元客 N=37	入込客 N=77
羽田	変わらない	61%	59%	62%
	増えた	25%	32%	21%
	減った	14%	8%	17%
成田	変わらない	75%	100%	67%
	増えた	25%		33%
	減った			
札幌	変わらない	100%	100%	
	増えた			
	減った			
仙台	変わらない	82%	100%	71%
	増えた	9%		14%
	減った	9%		14%
沖縄	減った	43%	43%	
	変わらない	43%	43%	
	増えた	14%	14%	

・旅行の手配方法

今回の旅行は次のうち、どれに該当しましたか。

- すべての年代において、個別で航空券・ホテル等を直接購入する割合が最も大きいですが、年齢が上がるにつれて割合が減少する傾向にある。
- 羽田便は、地元客、入込客ともに個別で航空券・ホテル等を直接購入する人が約 60%を占めており、個人でパッケージツアーを購入する人、会社手配の人がそれぞれ約 20%を占める。
- 羽田便以外の路線においては、地元客、入込客ともに個別で航空券・ホテル等を直接購入する人が 70%以上を占める。

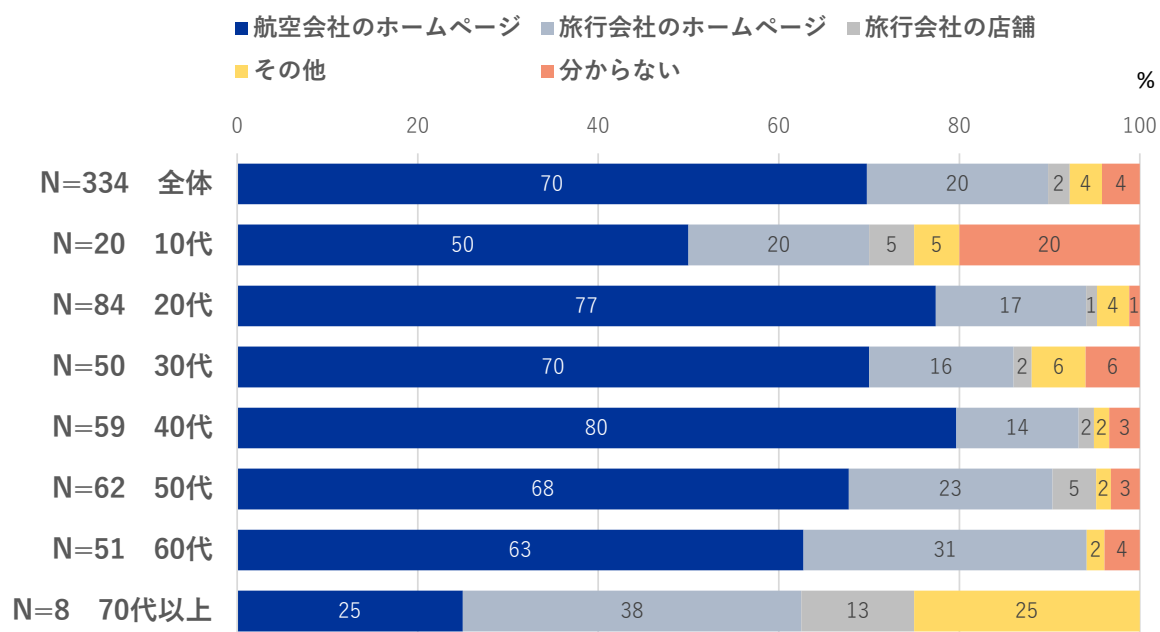


		全体 N=260	地元客 N=124	入込客 N=136
羽田	個別で航空券・ホテル等を直接購入	 62%	 60%	 63%
	個人でパッケージツアーを購入	 19%	 20%	 18%
	会社手配	 17%	 16%	 17%
	会社・地域等の団体旅行	 2%	 2%	 1%
	その他	 1%	 2%	
成田		全体 N=56	地元客 N=28	入込客 N=28
	個別で航空券・ホテル等を直接購入	 79%	 93%	 64%
	個人でパッケージツアーを購入	 16%	 4%	 29%
	会社手配	 4%	 4%	 4%
	会社・地域等の団体旅行			
札幌		全体 N=29	地元客 N=26	入込客 N=3
	個別で航空券・ホテル等を直接購入	 79%	 77%	 100%
	個人でパッケージツアーを購入	 14%	 15%	
	会社手配	 3%	 4%	
	会社・地域等の団体旅行			
仙台		全体 N=31	地元客 N=17	入込客 N=14
	個別で航空券・ホテル等を直接購入	 81%	 88%	 71%
	会社手配	 13%	 6%	 21%
	個人でパッケージツアーを購入	 6%	 6%	 7%
	会社・地域等の団体旅行			
沖縄		全体 N=37	地元客 N=37	入込客 N=0
	個別で航空券・ホテル等を直接購入	 70%	 70%	
	個人でパッケージツアーを購入	 19%	 19%	
	会社・地域等の団体旅行	 5%	 5%	
	会社手配	 3%	 3%	
沖縄	その他	 3%	 3%	

- ・ 航空券の入手先（個人で旅行を手配した人のみ）

今回の航空券は、どこで入手されましたか。

- 20～40代は航空会社のホームページで航空券を入手した人が70%以上を占める。
- 50代以上になると航空会社のホームページで入手した人の割合が減少し、旅行会社のホームページで入手した人が増加して20%以上を占める。



		全体 N=201	地元客 N=95	入込客 N=106
羽田	航空会社のホームページ	70%	62%	77%
	旅行会社のホームページ	21%	24%	19%
	旅行会社の店舗	3%	4%	2%
	分からない	3%	5%	1%
	その他	2%	4%	1%
成田		全体 N=50	地元客 N=24	入込客 N=26
	航空会社のホームページ	68%	79%	58%
	旅行会社のホームページ	22%	8%	35%
	その他	8%	8%	8%
	分からない	2%	4%	
	旅行会社の店舗			
札幌		全体 N=27	地元客 N=24	入込客 N=3
	航空会社のホームページ	63%	67%	33%
	旅行会社のホームページ	19%	21%	
	その他	7%	4%	33%
	分からない	7%	8%	
	旅行会社の店舗	4%		33%
仙台		全体 N=27	地元客 N=16	入込客 N=11
	航空会社のホームページ	74%	75%	73%
	旅行会社のホームページ	19%	19%	18%
	その他	4%		9%
	分からない	4%	6%	
	旅行会社の店舗			
沖縄		全体 N=31	地元客 N=31	入込客 N=0
	航空会社のホームページ	68%	68%	
	旅行会社のホームページ	13%	13%	
	分からない	13%	13%	
	旅行会社の店舗	3%	3%	
	その他	3%	3%	

・パッケージツアーに含まれていたもの（パッケージツアーを購入した人のみ）

パッケージツアーには航空券以外に何が含まれていましたか。（複数回答可）

➤ すべての路線において、パッケージツアーを購入した人の 85%以上がホテルと一緒に購入している。

		全体 N=50	地元客 N=25	入込客 N=25
羽田				
	ホテル	98%	100%	96%
	レンタカー	12%		24%
	体験・レジャー	2%	4%	
	その他	2%		4%
成田		全体 N=9	地元客 N=1	入込客 N=8
	ホテル	100%	100%	100%
	レンタカー			
	体験・レジャー			
	その他			
札幌		全体 N=4	地元客 N=4	入込客 N=0
	ホテル	100%	100%	
	レンタカー			
	体験・レジャー			
	その他			
仙台		全体 N=2	地元客 N=1	入込客 N=1
	ホテル	100%	100%	100%
	レンタカー			
	体験・レジャー			
	その他			
沖縄		全体 N=7	地元客 N=7	入込客 N=0
	ホテル	86%	86%	
	レンタカー	29%	29%	
	体験・レジャー	29%	29%	
	その他			

・旅行のきっかけとなったもの（観光・レジャー目的の人のみ）

旅行する前の旅先としてきっかけとなったものを全てお選びください。（複数選択可）

- どの年代においても、友人や家族との会話が旅行のきっかけとなった人が多い。
- インターネット媒体よりも、ガイドブック・旅行雑誌やテレビ番組など従来から存在する媒体の方が、旅行のきっかけとなる割合が高い。

	全体 N=193	10代 N=12	20代 N=57	30代 N=24	40代 N=25	50代 N=33	60代 N=31	70代以上 N=11
友人や家族との会話	66%	50%	91%	63%	52%	55%	61%	36%
ガイドブック・旅行雑誌	12%	8%	5%	13%	16%	27%	6%	18%
その他	10%	17%	9%	13%	8%	6%	13%	18%
テレビ番組	9%		7%	4%	8%	15%	13%	9%
旅行会社のパンフレット・チラシ	8%		2%	8%	8%	9%	16%	18%
Instagram	8%	17%	9%	4%	16%	6%	3%	
YouTube	5%		2%		16%	6%	10%	
Twitter	3%	17%	2%		4%	3%		
Facebook	1%						3%	
全体	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

		全体 N=90	地元客 N=46	入込客 N=44
羽田	友人や家族との会話	63%	67%	59%
	その他	13%	9%	18%
	ガイドブック・旅行雑誌	11%	4%	18%
	テレビ番組	10%	7%	14%
	Instagram	10%	9%	11%
	YouTube	8%	2%	14%
	旅行会社のパンフレット・チラシ	7%	9%	5%
	Twitter	1%	2%	
	Facebook			
成田		全体 N=37	地元客 N=15	入込客 N=22
	友人や家族との会話	65%	53%	73%
	旅行会社のパンフレット・チラシ	14%	13%	14%
	ガイドブック・旅行雑誌	14%		23%
	Twitter	8%	13%	5%
	その他	8%	20%	
	テレビ番組	3%		5%
	YouTube	3%		5%
	Instagram			
	Facebook			
札幌		全体 N=23	地元客 N=21	入込客 N=2
	友人や家族との会話	70%	67%	100%
	テレビ番組	17%	19%	
	旅行会社のパンフレット・チラシ	13%	14%	
	Instagram	9%	10%	
	その他	9%	10%	
	ガイドブック・旅行雑誌	4%	5%	
	Facebook	4%	5%	
	YouTube	4%	5%	
	Twitter	4%	5%	
仙台		全体 N=16	地元客 N=11	入込客 N=5
	友人や家族との会話	50%	64%	20%
	ガイドブック・旅行雑誌	31%	9%	80%
	テレビ番組	13%		40%
	その他	13%	18%	
	旅行会社のパンフレット・チラシ	6%	9%	
	YouTube	6%		20%
	Instagram			
	Facebook			
	Twitter			
沖縄		全体 N=27	地元客 N=27	入込客 N=0
	友人や家族との会話	81%	81%	
	Instagram	15%	15%	
	ガイドブック・旅行雑誌	11%	11%	
	テレビ番組	4%	4%	
	その他	4%	4%	
	旅行会社のパンフレット・チラシ			
	Facebook			
	YouTube			
	Twitter			

旅行前に参考となった旅行会社名、テレビ番組名、SNS アカウント名等をお答えください。

<特に多かった回答>

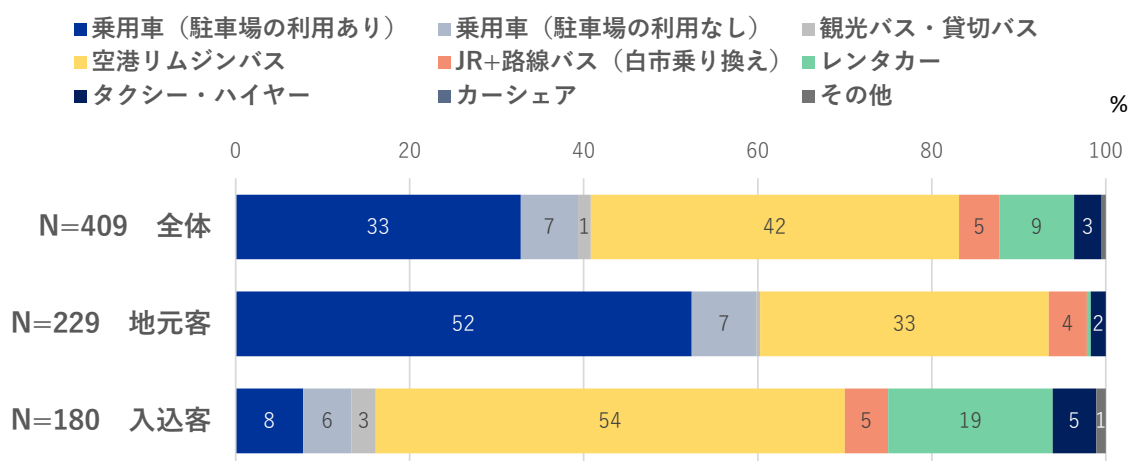
楽天トラベル(9)、HIS(9)、ANA の公式サイト(8)、阪急交通社(6)、るるぶ(5)、じゃらん(3)、旅サラダ等の旅番組(3)、有吉弘行が出演しているテレビ番組(2)

(3) 旅行のアクセス手段

・広島空港へのアクセス手段

広島空港に来るまでに利用した交通手段のうち、最後に利用した交通手段を 1 つお答えください。

- 地元客は、乗用車（駐車場の利用なし）の人が約 50%を占め、次いで空港リムジンバスの利用が約 30%を占める。
- 入込客は、空港リムジンバスの利用が 50%以上を占め、次いでレンタカーの利用が約 20%を占める。



・ 帰りの広島空港利用の意向

帰日も広島空港を利用する予定ですか。

- 地元客は、帰日も広島空港を利用する人が80%以上を占める。
- 入込客は、地元客と比較すると往復で広島空港を利用する人が少ない。

羽田		全体 N=237	地元客 N=122	入込客 N=115
	広島空港を使う	84%	97%	71%
	広島空港を使わない	16%	3%	29%
成田		全体 N=50	地元客 N=27	入込客 N=23
	広島空港を使う	88%	96%	78%
	広島空港を使わない	12%	4%	22%
札幌		全体 N=28	地元客 N=26	入込客 N=2
	広島空港を使う	89%	92%	50%
	広島空港を使わない	11%	8%	50%
仙台		全体 N=31	地元客 N=17	入込客 N=14
	広島空港を使う	84%	82%	86%
	広島空港を使わない	16%	18%	14%
沖縄		全体 N=37	地元客 N=37	入込客 N=0
	広島空港を使う	97%	97%	
	広島空港を使わない	3%	3%	

利用する交通手段をお答えください。(帰りに広島空港を利用しない人のみ)

- 羽田便の地元客を除くと、新幹線の利用が50%以上を占める。
- 羽田便の地元客のうち、航空機利用の内訳は岡山空港と岩国空港である。

		全体 N=37	地元客 N=4	入込客 N=33
羽田				
	新幹線	78%	25%	85%
	航空機	11%	50%	6%
	その他	11%	25%	9%
成田		全体 N=5	地元客 N=0	入込客 N=5
	新幹線	60%		60%
	航空機	20%		20%
	その他	20%		20%
札幌		全体 N=2	地元客 N=2	入込客 N=0
	航空機	50%	50%	
	その他	50%	50%	
	新幹線			
仙台		全体 N=3	地元客 N=3	入込客 N=0
	航空機	67%	67%	
	新幹線	33%	33%	
	その他			
沖縄		全体 N=1	地元客 N=1	入込客 N=0
	その他	100%	100%	
	航空機			
	新幹線			

(4) 今回の広島県滞在について

【入込客のみ】

今回の旅行の訪問地を順番にお答えください。また、訪問地ごとの宿泊数をお答えください。

延べ訪問地・延べ宿泊地（複数選択可）

- 入込客の 97%が広島市を訪れており、66%が広島市内に宿泊している。
- 廿日市市、尾道市を訪れた入込客は約 20～30%を占めるが、宿泊した入込客はどちらも 10%を下回っている。

延べ訪問地	入込客 N=182	延べ宿泊地	入込客 N=182
広島市	97%	広島市	66%
廿日市市	31%	福山市	8%
尾道市	19%	廿日市市	7%
呉市	14%	呉市	5%
福山市	12%	尾道市	5%
三原市	8%	三原市	4%
竹原市	6%	東広島市	3%
東広島市	5%	岡山県	2%
山口県	5%	山口県	2%
岡山県	3%	島根県	2%
島根県	3%	竹原市	1%
愛媛県	2%	福岡県	1%
安芸郡	2%	愛媛県	1%
府中市	2%	高知県	1%
福岡県	1%	豊田郡	1%
香川県	1%	神石郡	1%
高知県	1%	三次市	1%
大竹市	1%	府中市	1%
安芸高田市	1%	鳥取県	1%
豊田郡	1%	香川県	1%
神石郡	1%	大竹市	
三次市	1%	安芸高田市	
江田島市	1%	安芸郡	
山県郡	1%	江田島市	
鳥取県	1%	山県郡	

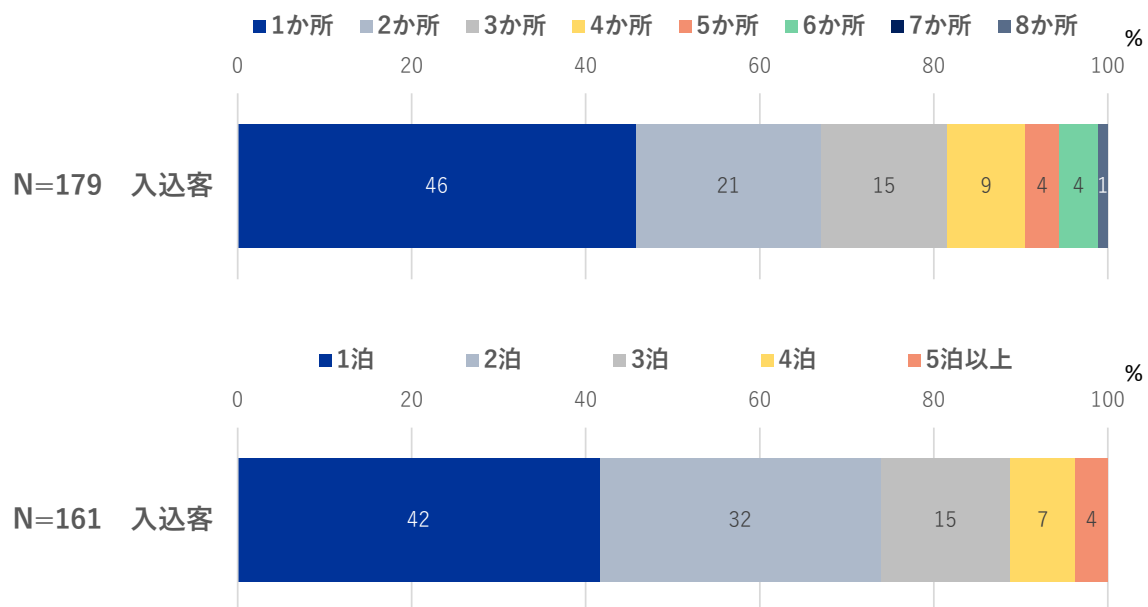
1 番最初に訪れた訪問地・1 番最後に訪れた訪問地

➤ 入込客の約 50%が広島県に到着時と、広島空港に来る直前に広島市内を訪れている。

1番最初の訪問地	入込客 N=177	1番最後の訪問地	入込客 N=178
広島市	 52%	広島市	 50%
廿日市市	 8%	呉市	 10%
福山市	 8%	廿日市市	 9%
呉市	 6%	尾道市	 9%
三原市	 5%	三原市	 4%
尾道市	 5%	福山市	 4%
東広島市	 4%	東広島市	 3%
竹原市	 3%	竹原市	 2%
山口県	 2%	愛媛県	 2%
安芸郡	 1%	府中市	 2%
府中市	 1%	岡山県	 1%
福岡県	 1%	安芸郡	 1%
島根県	 1%	豊田郡	 1%
安芸高田市	 1%	神石郡	 1%
神石郡	 1%	三次市	 1%
三次市	 1%	山県郡	 1%
岡山県	 1%	山口県	 1%
香川県	 1%	大竹市	 0%
大竹市	 0%	安芸高田市	 0%
豊田郡	 0%	江田島市	 0%
江田島市	 0%	福岡県	 0%
山県郡	 0%	島根県	 0%
鳥取県	 0%	鳥取県	 0%
愛媛県	 0%	香川県	 0%
高知県	 0%	高知県	 0%

延べ訪問地数・延べ宿泊数

- 延べ訪問地数の平均値は約 2.2 カ所、延べ宿泊数の平均値は約 1.8 泊である。
- 入込客のうち、訪問した箇所が 1 か所の人が約 50%を占めるが、そのうちの約 70%はビジネス客である。
- 入込客のうち、延べ訪問地数が 4 カ所、延べ宿泊数が 4 泊の人が約 90%を占める。



(5) 他機関、他空港の利用実態

- ・ 最近 5 年間の広島県、もしくは今回の目的地への移動回数と利用した交通機関

今回の目的地（広島県）へは、飛行機利用にかかわらず最近 5 年間に、今回も含めて何回程度移動していますか。

- 札幌、仙台、沖縄便においては、移動回数が 1～5 回の人約 80%以上を占める。
- 羽田便においては、移動回数が 10 回を超える人が 20～35%を占める。

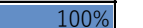
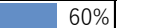
		全体 N=244	地元客 N=118	入込客 N=126
羽田	1回（今回のみ）	 27%	 19%	 34%
	2～5回	 37%	 39%	 36%
	6～9回	 7%	 7%	 7%
	10～19回	 11%	 14%	 8%
	20～99回	 16%	 19%	 13%
	100回以上	 2%	 2%	 2%
成田		全体 N=51	地元客 N=25	入込客 N=26
	1回（今回のみ）	 39%	 28%	 50%
	2～5回	 39%	 36%	 42%
	6～9回	 6%	 12%	
	10～19回	 10%	 16%	 4%
	20～99回	 4%	 4%	 4%
	100回以上	 2%	 4%	
札幌		全体 N=28	地元客 N=25	入込客 N=3
	1回（今回のみ）	 43%	 40%	 67%
	2～5回	 39%	 44%	
	6～9回	 7%	 8%	
	10～19回	 11%	 8%	 33%
	20～99回			
	100回以上			
仙台		全体 N=29	地元客 N=16	入込客 N=13
	1回（今回のみ）	 59%	 56%	 62%
	2～5回	 38%	 38%	 38%
	6～9回			
	10～19回			
	20～99回	 3%	 6%	
	100回以上			
沖縄		全体 N=34	地元客 N=34	入込客 N=0
	1回（今回のみ）	 41%	 41%	
	2～5回	 44%	 44%	
	6～9回	 6%	 6%	
	10～19回	 3%	 3%	
	20～99回	 6%	 6%	
	100回以上			

【複数回移動した人のみ】

- ・広島空港以外の空港、交通機関の利用の有無

広島空港以外の空港、あるいは交通機関を利用したことはありますか。

- 羽田、成田便においては、約 70%近くが広島空港以外の空港、あるいは交通機関を利用したことがある。

羽田		全体 N=175	地元客 N=95	入込客 N=80
	利用したことがある	 70%	 69%	 70%
	ない（広島空港だけを利用）	 30%	 31%	 30%
成田		全体 N=30	地元客 N=18	入込客 N=12
	利用したことがある	 77%	 83%	 67%
	ない（広島空港だけを利用）	 23%	 17%	 33%
札幌		全体 N=15	地元客 N=14	入込客 N=1
	利用したことがある	 73%	 71%	 100%
	ない（広島空港だけを利用）	 27%	 29%	
仙台		全体 N=12	地元客 N=7	入込客 N=5
	利用したことがある	 42%	 43%	 40%
	ない（広島空港だけを利用）	 58%	 57%	 60%
沖縄		全体 N=20	地元客 N=20	入込客 N=0
	利用したことがある	 65%	 65%	
	ない（広島空港だけを利用）	 35%	 35%	

・広島空港以外で利用する主な交通機関と利用回数

広島空港以外で利用する主な利用空港（交通機関）を1つお答えください。

➤ 羽田、成田便においては、主に新幹線を利用している人が約80%を占める。

		全体 N=126	地元客 N=67	入込客 N=59
羽田	新幹線	83%	82%	83%
	他空港	8%	9%	7%
	乗用車	5%	4%	5%
	高速バス	2%	3%	2%
	その他	2%	1%	3%
成田	新幹線	78%	87%	63%
	他空港	9%	13%	
	高速バス	9%		25%
	乗用車	4%		13%
	その他			
札幌	新幹線			
	他空港	64%	70%	
	新幹線	27%	20%	100%
	高速バス	9%	10%	
	乗用車			
	その他			
仙台	新幹線			
	他空港	40%	33%	50%
	高速バス			
	乗用車			
	その他			
沖縄	新幹線			
	他空港	46%	46%	
	乗用車	38%	38%	
	高速バス	15%	15%	
	新幹線			
	その他			

広島空港以外の空港や交通手段を利用した回数をお答えください。

➤ 広島空港以外の空港や交通手段を利用した回数は、1～10 回の人が約 90%を占める。

		全体 N=107	地元客 N=57	入込客 N=50
羽田				
	1～10回	89%	89%	88%
	11～20回	4%	2%	6%
	20回以上	7%	9%	6%
成田		全体 N=18	地元客 N=12	入込客 N=6
	1～10回	94%	92%	100%
	11～20回			
	20回以上	6%	8%	
札幌		全体 N=9	地元客 N=8	入込客 N=1
	1～10回	100%	100%	100%
	11～20回			
	20回以上			
仙台		全体 N=5	地元客 N=3	入込客 N=2
	1～10回	100%	100%	100%
	11～20回			
	20回以上			
沖縄		全体 N=10	地元客 N=10	入込客 N=0
	1～10回	80%	80%	
	11～20回	10%	10%	
	20回以上	10%	10%	

・広島空港以外を利用した理由

広島空港以外を利用した理由をお答えください。

➤ 羽田、成田便においては、出発地（目的地）が広島空港から遠かった人が 30%以上を占める。

		全体 N=122	地元客 N=66	入込客 N=56
羽田	出発地（目的地）から近かったため	 34%	 33%	 34%
	時間が合わなかったため	 23%	 23%	 23%
	その他	 15%	 9%	 21%
	値段が安かったため	 13%	 17%	 9%
	アクセスの定時性に不安があるため	 11%	 14%	 9%
	決められていたため	 7%	 8%	 5%
	満席だったため	 1%	 2%	
成田		全体 N=23	地元客 N=15	入込客 N=8
	出発地（目的地）から近かったため	 43%	 47%	 38%
	時間が合わなかったため	 17%	 13%	 25%
	値段が安かったため	 17%	 20%	 13%
	アクセスの定時性に不安があるため	 9%		 25%
	その他	 9%	 7%	 13%
	満席だったため	 4%	 7%	
	決められていたため	 4%	 7%	
札幌		全体 N=11	地元客 N=10	入込客 N=1
	出発地（目的地）から近かったため	 36%	 30%	 100%
	時間が合わなかったため	 18%	 20%	
	値段が安かったため	 18%	 20%	
	決められていたため	 9%	 10%	
	その他	 9%	 10%	
	アクセスの定時性に不安があるため			
	満席だったため			
仙台		全体 N=5	地元客 N=3	入込客 N=2
	時間が合わなかったため	 60%	 100%	
	値段が安かったため	 20%		 50%
	アクセスの定時性に不安があるため	 20%		 50%
	出発地（目的地）から近かったため			
	満席だったため			
	決められていたため			
	その他			
沖縄		全体 N=13	地元客 N=13	入込客 N=0
	その他	 31%	 31%	
	値段が安かったため	 23%	 23%	
	決められていたため	 23%	 23%	
	出発地（目的地）から近かったため	 15%	 15%	
	時間が合わなかったため	 8%	 8%	
	アクセスの定時性に不安があるため	 8%	 8%	
	満席だったため			

【全員】

・今後の広島空港の利用意向

今後1年間の広島空港の利用は、コロナ前の回数に比べて変化しそうですか。

- すべての便において、約50～70%がコロナ前と比べて広島空港の利用回数は変わらないと感じている。
- すべての便において、約30～50%がコロナ前と比べて広島空港の利用回数は増えそうだと感じている。

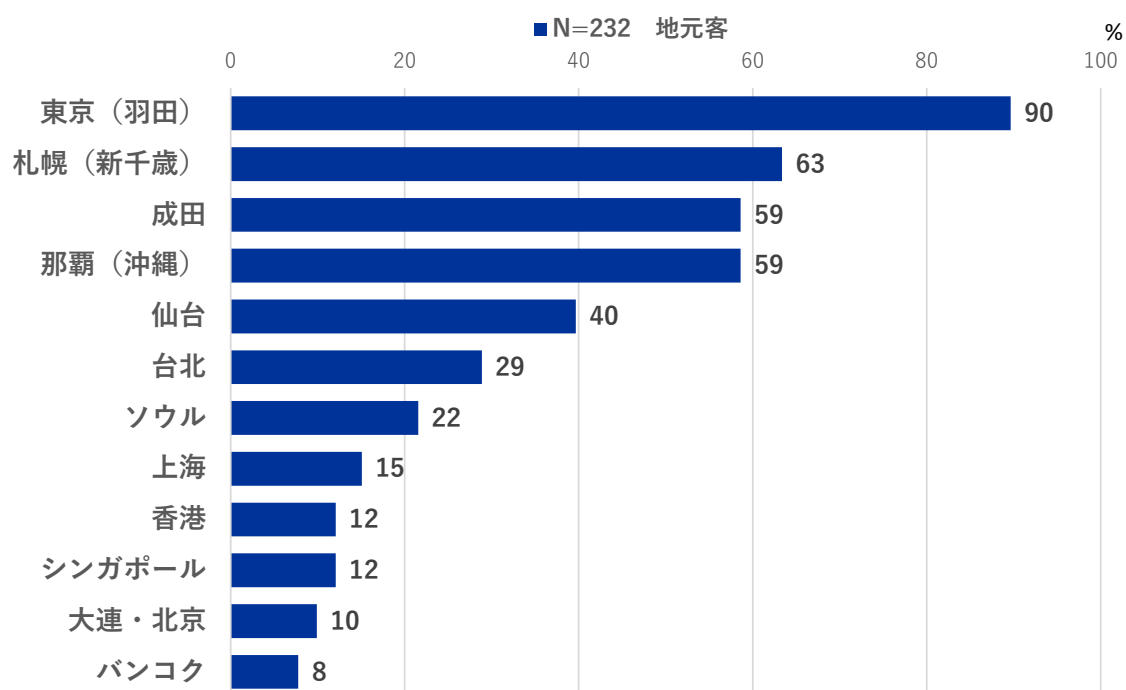
		全体 N=253	地元客 N=121	入込客 N=132
羽田	変わらない	 58%	 59%	 58%
	増えそう	 36%	 34%	 37%
	減りそう	 6%	 7%	 5%
成田		全体 N=54	地元客 N=26	入込客 N=28
	変わらない	 57%	 46%	 68%
	増えそう	 41%	 50%	 32%
	減りそう	 2%	 4%	
札幌		全体 N=29	地元客 N=26	入込客 N=3
	変わらない	 52%	 50%	 67%
	増えそう	 45%	 46%	 33%
	減りそう	 3%	 4%	
仙台		全体 N=31	地元客 N=17	入込客 N=14
	変わらない	 52%	 53%	 50%
	増えそう	 45%	 41%	 50%
	減りそう	 3%	 6%	
沖縄		全体 N=36	地元客 N=36	入込客 N=0
	変わらない	 58%	 58%	
	増えそう	 36%	 36%	
	減りそう	 6%	 6%	

(6) 広島空港定期路線の認知度

【地元客のみ】

広島空港国内定期路線、国際定期路線（コロナ前）の就航先について、ご存じの路線をすべてお選びください。

- 羽田便は地元客の 90%が認知している。
- 国際線は台北便が最も認知されているが、全ての路線において認知度は 30%を下回っている。

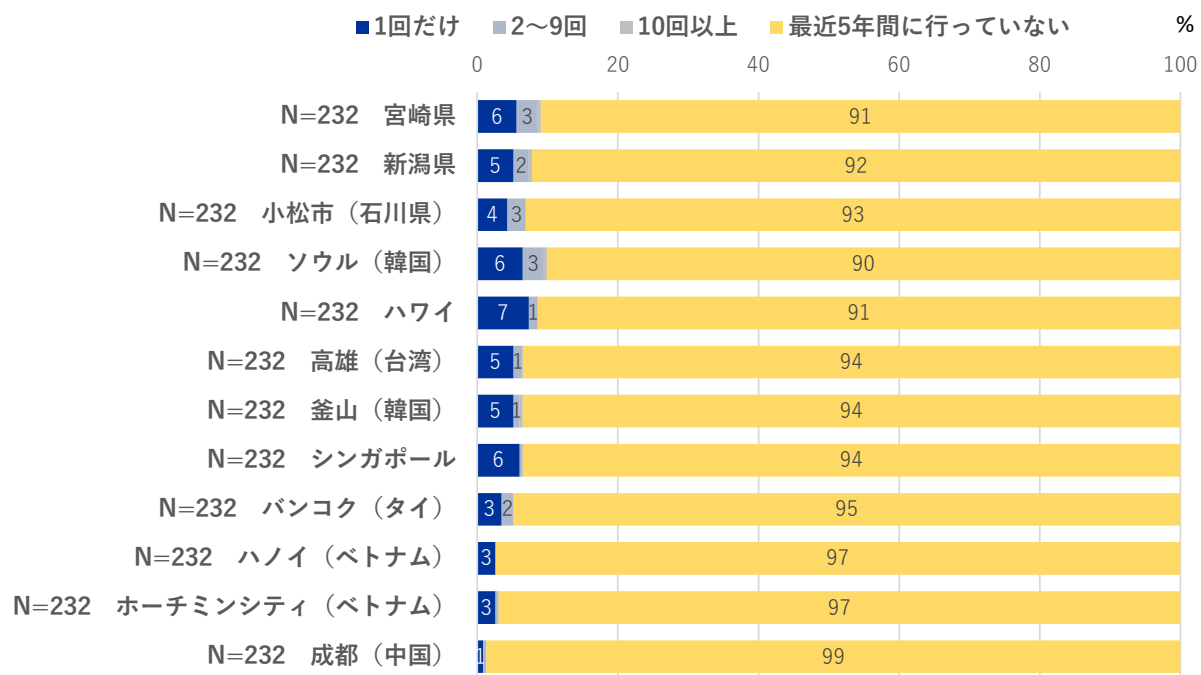


(7) 新規路線候補地への最近 5 年間の移動回数

【地元客のみ】

次の各国・県（都市）への最近 5 年間の移動回数について教えてください。

- 国内線は、宮崎県、新潟県、小松市（石川県）の順が多い。
- 国際線は、ソウル、ハワイ、高雄、釜山、シンガポールの順が多い。

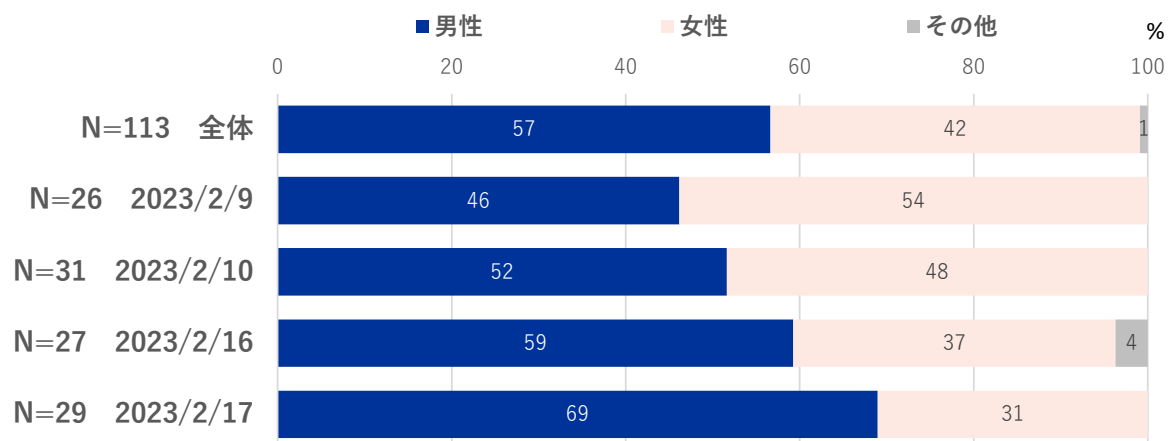


2.3.4 調査結果 | 国際線（台北便）

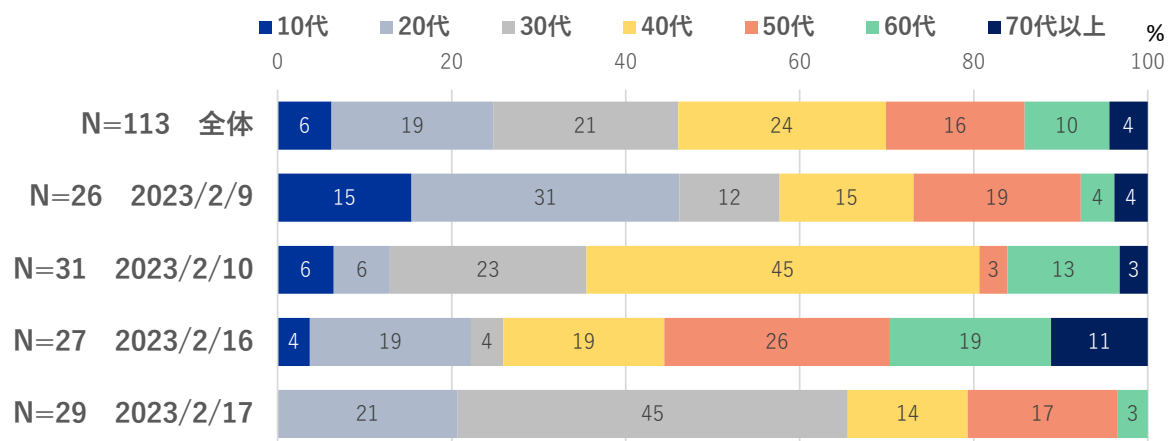
(1) 回答者の概要

ご自身についてお答えください。

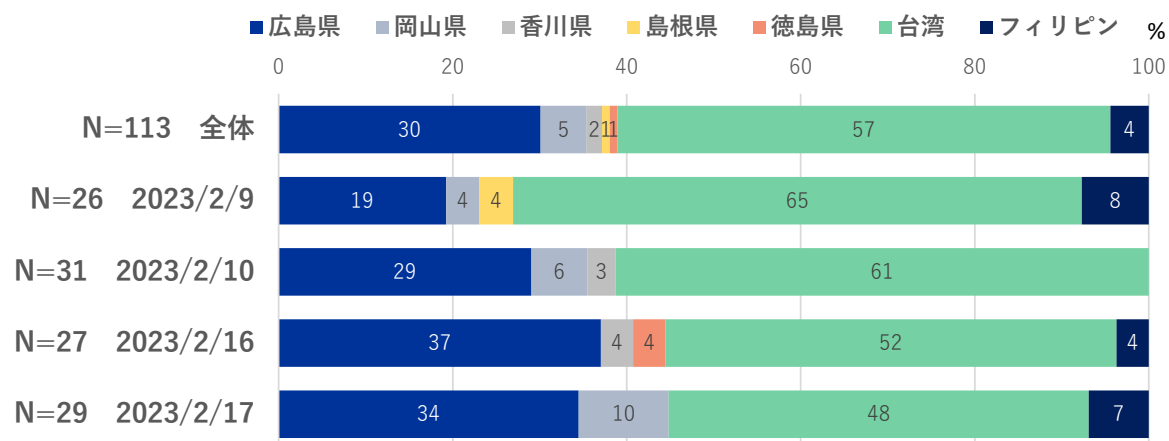
- 2/9（木）、2/10（金）の男女比は約 50%ずつである。
- 2/16（木）、2/17（金）は男性が約 60～70%であり、女性よりも多い。



- 年代は調査日によってばらつきがみられる。



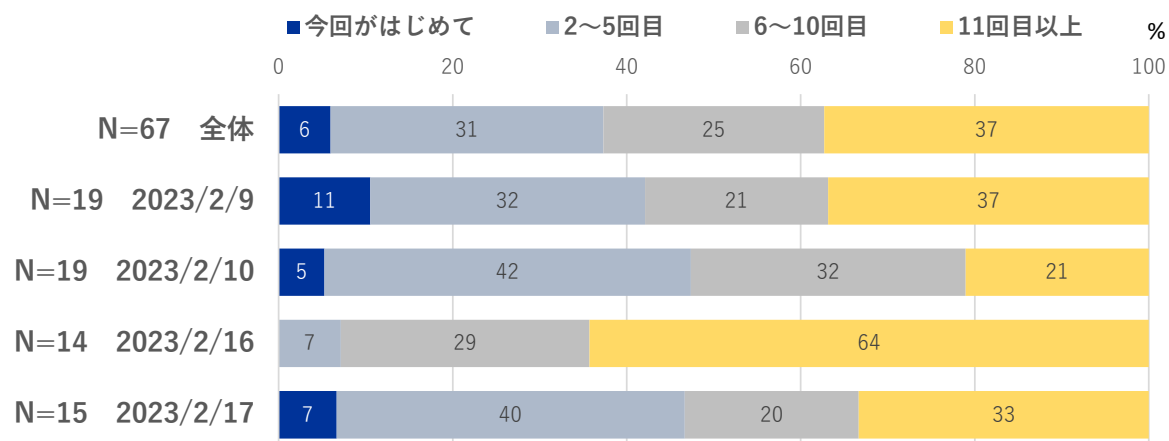
- 広島県居住者が全体の約 20～40%を占め、台湾居住者が約 50～65%を占める。
- すべての調査日において外国人の方が日本人より多く、台湾人のほかにフィリピン人も利用している。



【外国人のみ】

・ 訪日経験の回数

- 訪日経験が 1 回（今回がはじめて）の人は全体の約 10%以下であり、11 回以上の人は約 40%である。

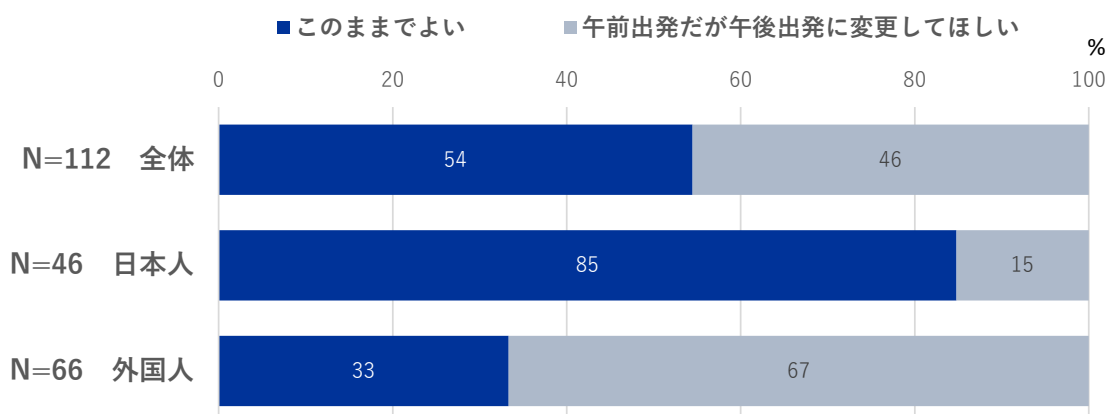


(2) 旅行内容

・搭乗便について

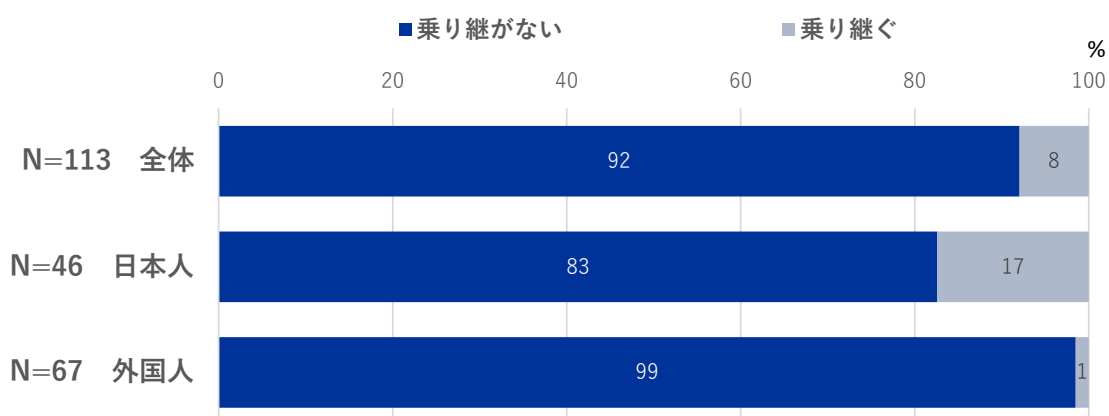
これから搭乗される路線のダイヤについて、もっとも当てはまるもの1つに○をつけてください。

- 日本人の85%は「このままでよい」と感じている。
- 外国人の67%が「午前出発だが午後出発に変更してほしい」と感じている。



この路線のあとさらに飛行機を乗り継ぎますか。乗り継ぐ場合は最終目的空港をお答えください。

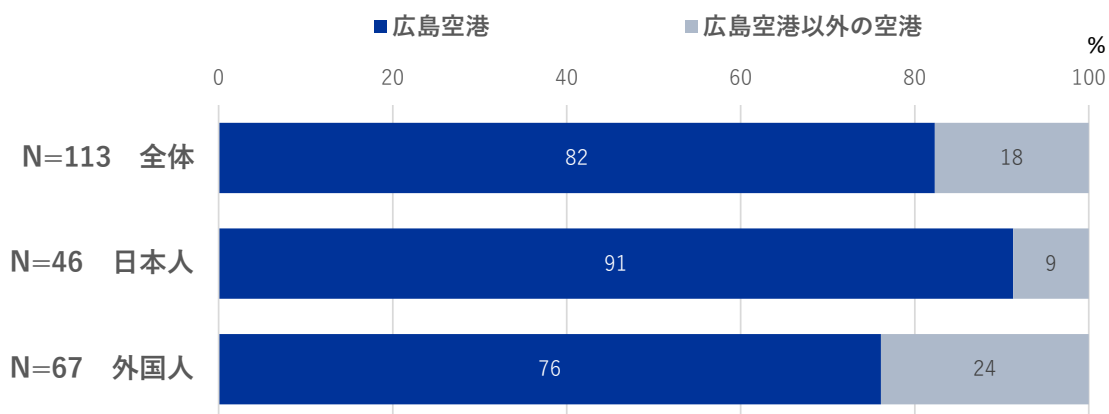
- 日本人の17%が台北で乗り継ぎをする。
- 外国人の99%は乗り継ぎをしない。
- 日本人の乗継先は、バンコク (6)、マニラ (1) である。



・ 入国時の広島空港の利用

広島空港で入国手続きをしましたか（する予定ですか）。

- 日本人の約 90%が帰国時も広島空港を利用する予定である。
- 外国人のうち、広島空港で入国手続きをした人は 76%である。



※他空港の内訳

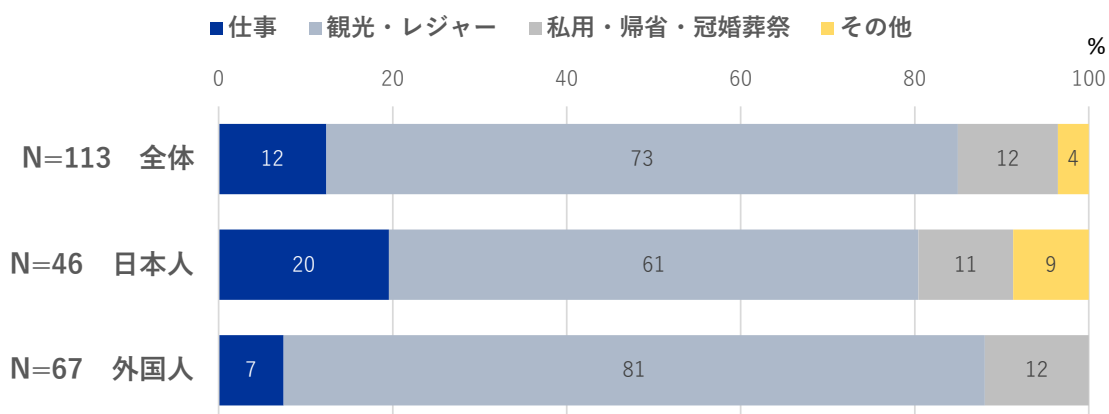
日本人：岡山空港（1）、高松空港（1）、福岡空港（1）

外国人：高松空港（8）、羽田空港（4）、関西空港（2）

・ 旅行目的

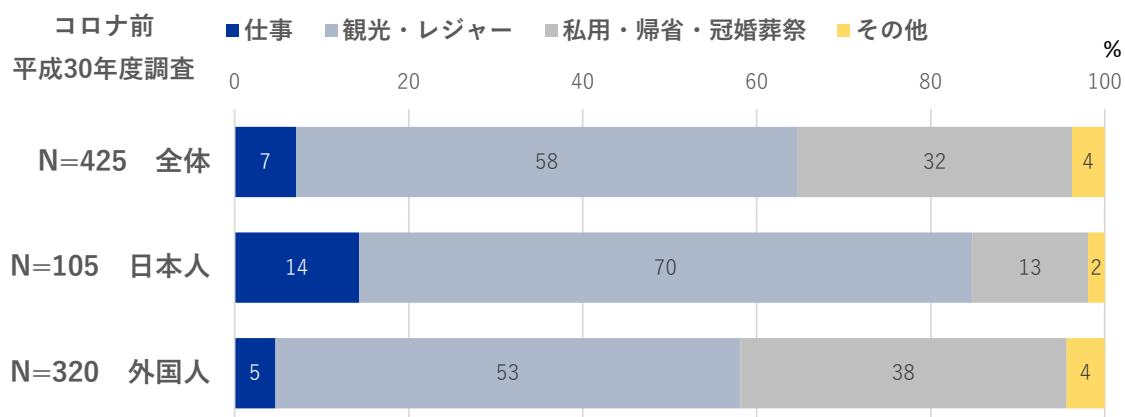
今回の旅行の目的は何ですか。複数の目的がある場合には、最も重要な目的 1 つをお選びください。

- 日本人の約 60%、外国人の約 80%が観光・レジャー目的である。



<コロナ前との比較>

- コロナ前の調査（平成 30 年度の広島空港利用者アンケート）と比較すると、日本人、外国人ともに仕事目的の割合が増加している。
- 日本人は観光・レジャー目的が減少しているのに対し、外国人は私用・帰省・冠婚葬祭が減少している。

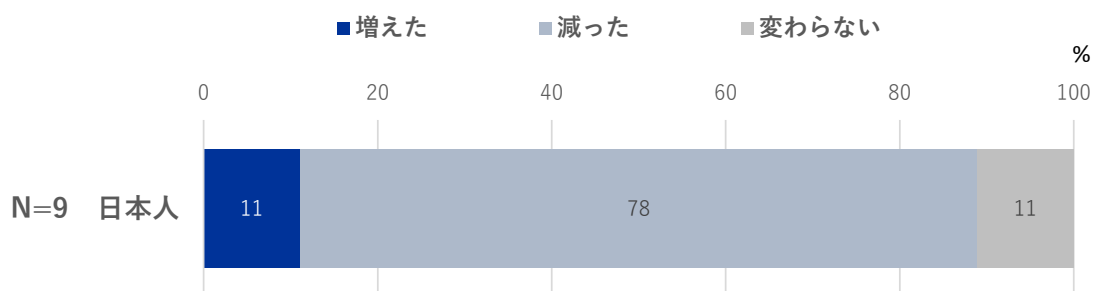


※平成 30 年度調査は、台北のほか、ソウル、大連、北京、上海、香港、シンガポールの搭乗便を含む。

- ・ コロナ前と比較した際の出張の回数の変化（日本人の仕事目的の人のみ）

出張で広島空港を利用する回数はコロナ前と比べて変化しましたか。

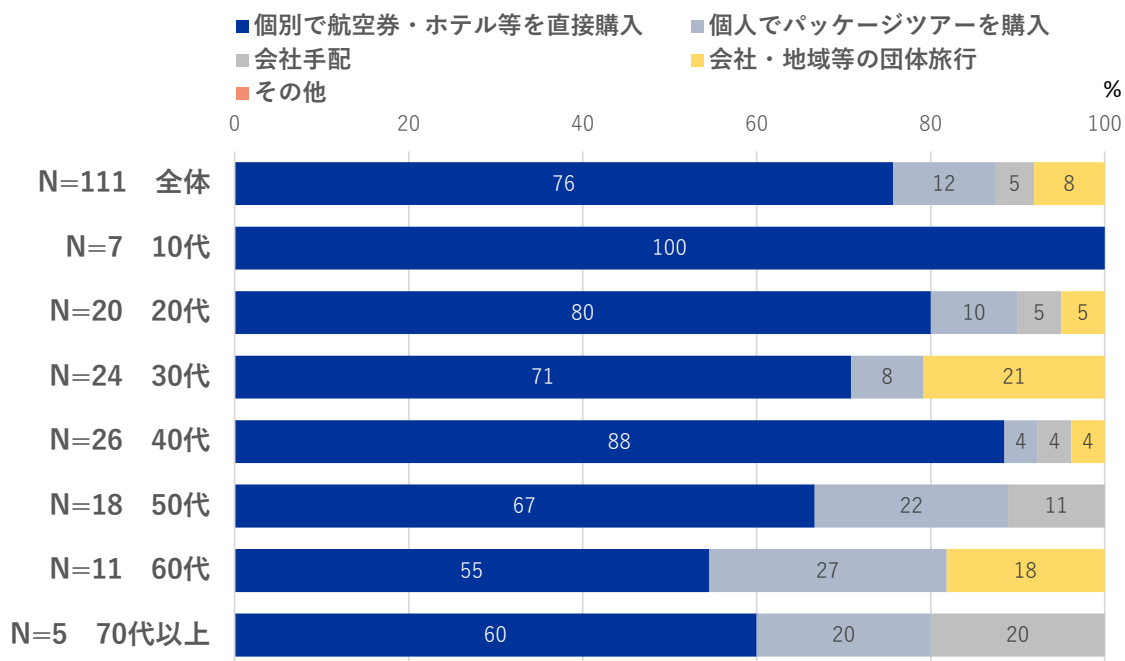
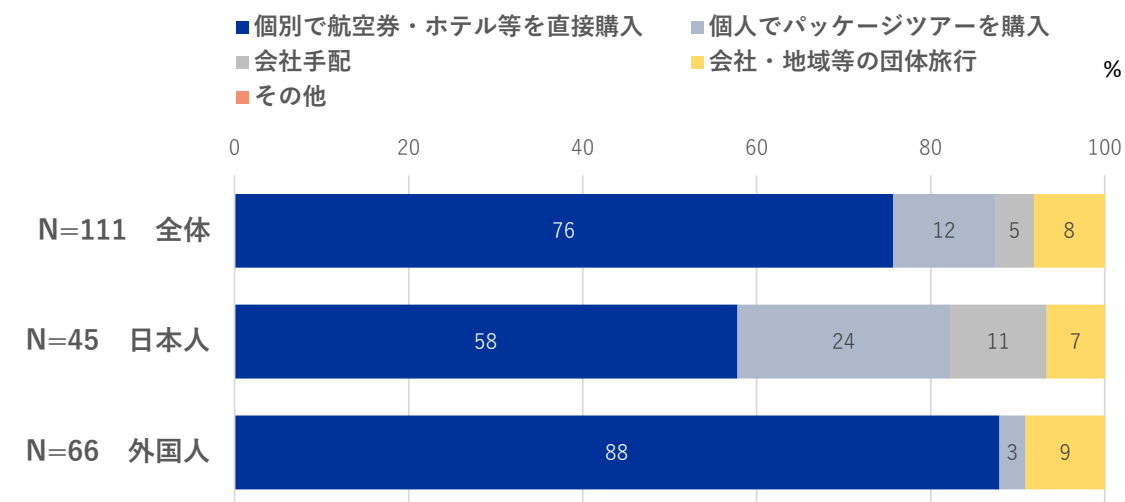
- 日本人の約 80%が出張で広島空港を利用する回数が減ったと感じている。



・旅行の手配方法

今回の旅行は次のうち、どれに該当しましたか。

- 日本人、外国人ともに 80%以上が個人で購入している。
- 年代別にみると、個人でパッケージツアーを購入している人は 50 代以上に多い。



・パッケージツアーに含まれていたもの（パッケージツアーを購入した人のみ）

パッケージツアーには航空券以外に何が含まれていますか。（複数回答可）

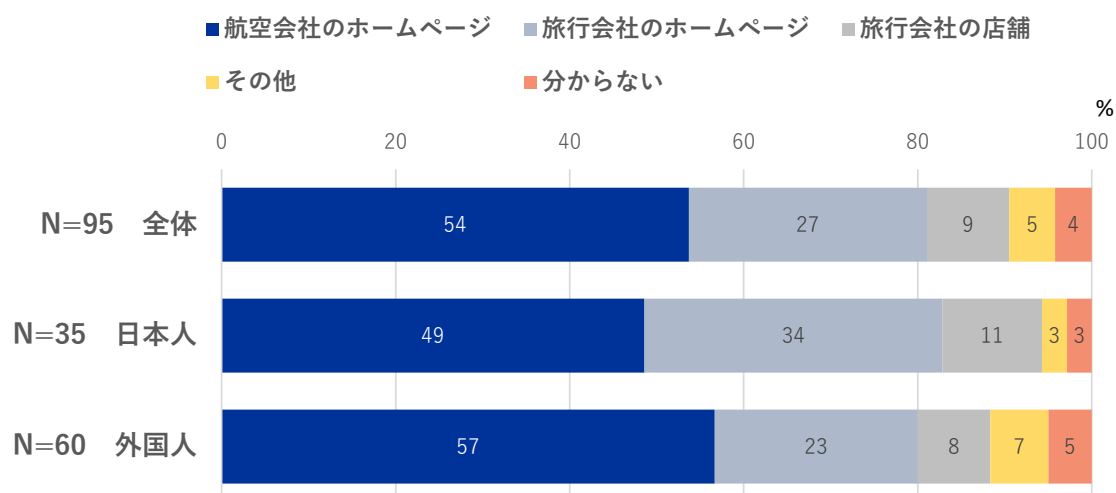
- 日本人、外国人ともに全員がホテルと一緒に購入している。

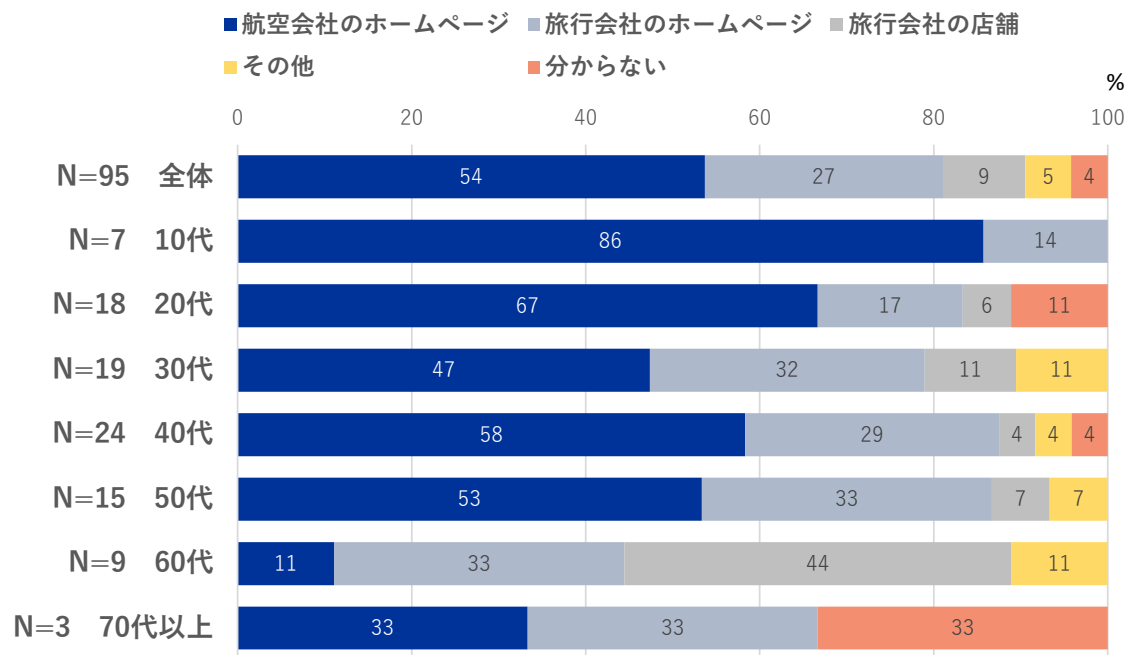
	全体 N=13	日本人 N=11	外国人 N=2
ホテル	100%	100%	100%
体験・レジャー	15%	18%	
レンタカー	8%	9%	
その他			

・航空券の入手先（個人で旅行を手配した人のみ）

今回の航空券は、どこで入手されましたか。

- 全体で約 50%近くが航空会社のホームページで航空券を入手している。
 ➤ 年代別にみると、若い世代の方が航空会社のホームページで航空券を入手する傾向にある。





・旅行のきっかけとなったもの（観光・レジャー目的の人のみ）

旅行する前の旅先としてきっかけとなったものを全てお選びください。（複数選択可）

- どの年代においても、友人や家族との会話が旅行のきっかけとなった人が多い。
- 外国人の約 30%がガイドブック・旅行雑誌を旅行のきっかけにしている。

	全体 N=82	10代 N=6	20代 N=14	30代 N=15	40代 N=20	50代 N=15	60代 N=9	70代以上 N=3
友人や家族との会話	56%	50%	71%	53%	55%	47%	67%	33%
ガイドブック・旅行雑誌	23%	33%	14%	40%	20%	33%		
YouTube	12%		21%	13%	15%	7%		33%
その他	12%		14%	7%	10%	20%	11%	33%
テレビ番組	11%		7%	27%	15%		11%	
旅行会社のパンフレット・チラシ	9%	33%	7%	13%	5%		11%	
Instagram	9%		14%	13%	15%			
Facebook	6%		7%	7%	15%			
Twitter								

	全体 N=82	日本人 N=28	外国人 N=54
友人や家族との会話	56%	54%	57%
ガイドブック・旅行雑誌	23%	7%	31%
YouTube	12%	11%	13%
その他	12%	11%	13%
テレビ番組	11%	11%	11%
旅行会社のパンフレット・チラシ	9%	11%	7%
Instagram	9%	4%	11%
Facebook	6%	7%	6%
Twitter			

旅行前に参考となった旅行会社名、テレビ番組名、SNS アカウント名等をお答えください。

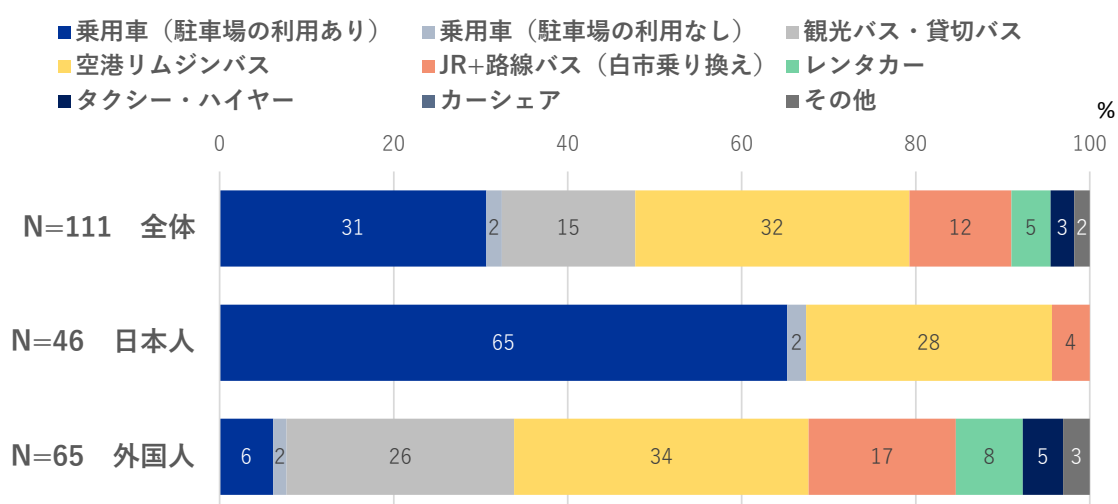
<特に多かった回答>

チャイナエアライン (4)、HIS (4)、易遊網 (2)、緯来日本台 (2)、出川哲朗が出演している番組 (2)

(3) 広島空港へのアクセス手段

広島空港に来るまでに利用した交通手段のうち、最後に利用した交通手段を 1 つお答えください。

- 日本人において、乗用車（駐車場の利用あり）が 65%を占める。
- 日本人、外国人ともに約 30%が空港リムジンバスを利用している。



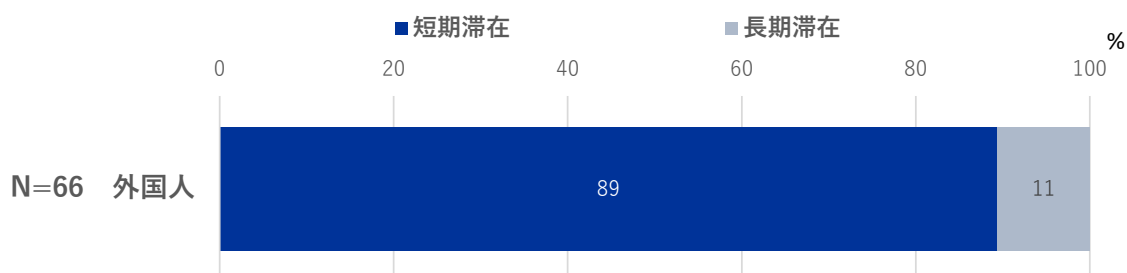
(4) 今回の日本滞在について

【外国人のみ】

・滞在期間について

日本での滞在は、留学・在勤などで 1 年以上の長期滞在でしたか。

- 外国人のうち、約 10%が留学・在勤などの 1 年以上の長期滞在である。



・訪問地、宿泊地について

今回の旅行の訪問地を入国してから順番にお答えください。また、訪問地ごとの宿泊数をお答えください。

延べ訪問地・延べ宿泊地（複数選択可）

- 外国人の全員が広島市を訪れており、93%が広島市に宿泊している。
- 廿日市市を訪れた外国人は 56%を占めるが、宿泊した人は 14%である。

延べ訪問地	外国人 N=59	延べ宿泊地	外国人 N=59
広島市	100%	広島市	93%
岡山県	56%	岡山県	41%
廿日市市	56%	島根県	19%
島根県	22%	鳥取県	15%
尾道市	19%	廿日市市	14%
大阪府	15%	山口県	12%
鳥取県	15%	京都府	10%
山口県	14%	東京都	10%
東京都	12%	大阪府	8%
京都府	10%	尾道市	8%
竹原市	10%	福山市	5%
福岡県	7%	静岡県	5%
福山市	5%	愛媛県	5%
静岡県	5%	福岡県	3%
佐賀県	5%	香川県	3%
愛媛県	5%	新潟県	3%
熊本県	5%	三原市	3%
香川県	3%	東広島市	2%
新潟県	3%	竹原市	2%
神奈川県	3%	奈良県	2%
呉市	3%	沖縄県	2%
兵庫県	3%		
三原市	3%		
奈良県	3%		
東広島市	2%		
沖縄県	2%		

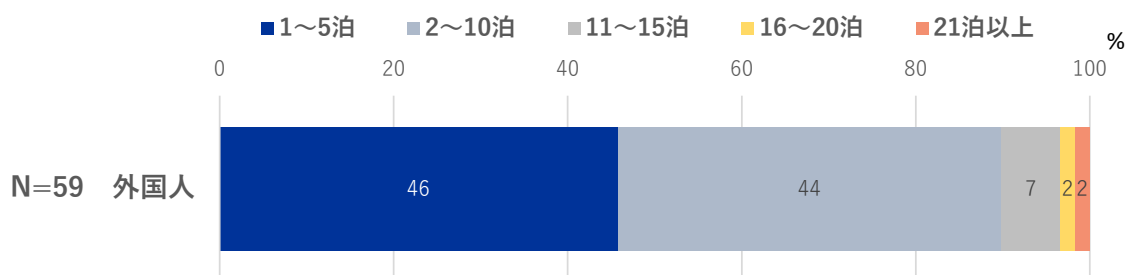
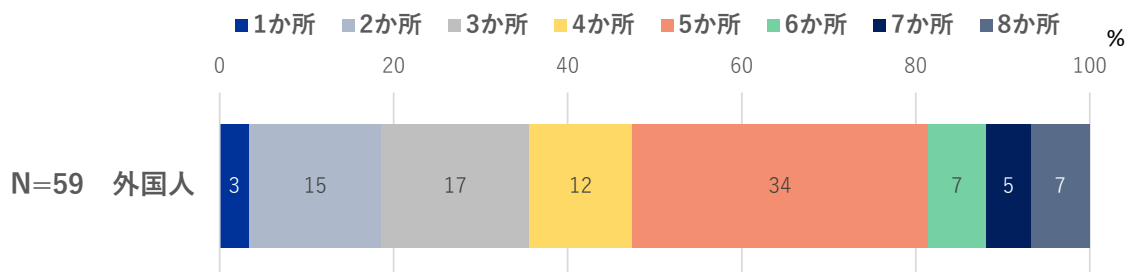
1 番最初に訪れた訪問地・1 番最後に訪れた訪問地

- 外国人の 58%が 1 番最初に広島市を訪れている。

1番最初の訪問地	外国人 N=59	1番最後の訪問地	外国人 N=59
広島市	58%	広島市	37%
岡山県	8%	廿日市市	15%
東京都	7%	岡山県	12%
廿日市市	3%	大阪府	7%
竹原市	3%	熊本県	5%
尾道市	3%	福岡県	3%
福山市	3%	山口県	3%
京都府	2%	竹原市	2%
福岡県	2%	島根県	2%
東広島市	2%	尾道市	2%
香川県	2%	三原市	2%
大阪府	2%	奈良県	2%
島根県	2%	沖縄県	2%
三原市	2%		

延べ訪問地数・延べ宿泊数

- 外国人の訪問地数は 5 カ所が最も多く、34%を占める。
- 宿泊数は 10 泊以内が 90%を占める。



・満足した訪問地について

答えた訪問地の中で、満足度の高い上位3地点をお答えください。

➤ 1番満足した訪問地において、廿日市市が32%を占める。

1番目	外国人 N=59	2番目	外国人 N=59	3番目	外国人 N=59
廿日市市	32%	広島市	25%	広島市	17%
広島市	25%	廿日市市	14%	岡山県	12%
岡山県	14%	島根県	5%	大阪府	7%
京都府	5%	岡山県	3%	島根県	7%
静岡県	3%	京都府	3%	東京都	3%
鳥取県	3%	竹原市	3%	尾道市	3%
大阪府	2%	新潟県	3%	熊本県	3%
竹原市	2%	神奈川県	3%	鳥取県	3%
島根県	2%	福岡県	2%	京都府	2%
尾道市	2%	尾道市	2%	山口県	2%
山口県	2%	福山市	2%	愛媛県	2%
呉市	2%	呉市	2%		
兵庫県	2%	鳥取県	2%		
		奈良県	2%		

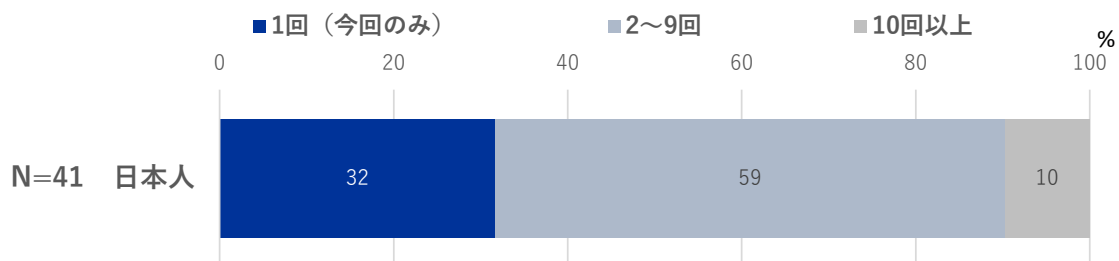
(5) 他機関、他空港の利用実態

【日本人のみ】

・最近5年間の広島県、もしくは今回の目的地への移動回数と利用した交通機関

今回の目的地へは、広島空港の利用にかかわらず最近5年間に、今回も含めて何回程度移動していますか。

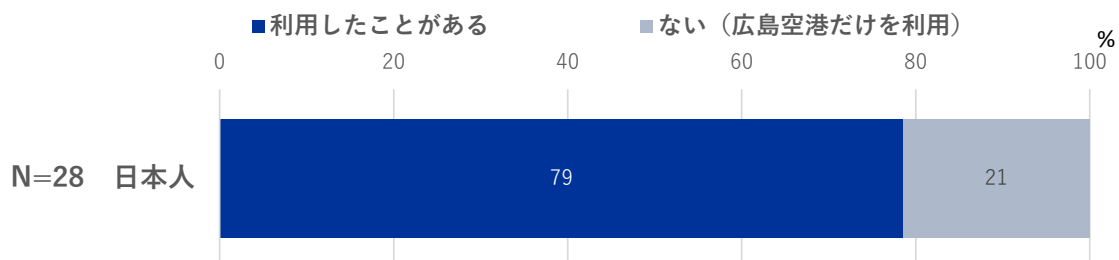
- 日本人の約70%が以前に台北への渡航経験がある。
- 日本人の10%が台北に10回以上の渡航経験がある。



- ・広島空港以外の空港の利用の有無（複数回移動した人のみ）

広島空港以外の空港を利用したことはありますか。

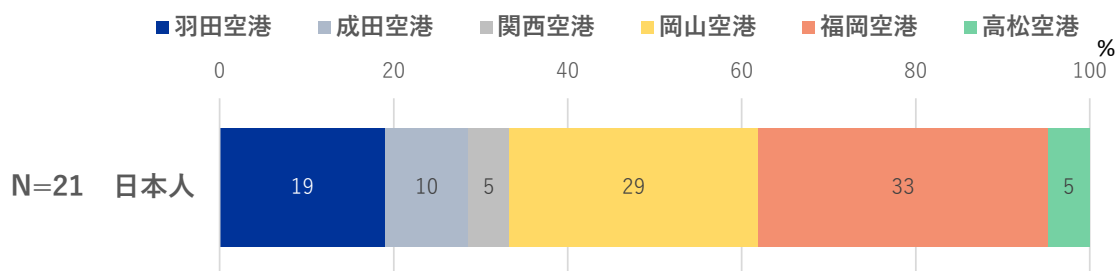
- 日本人の約 80%が、台北に旅行の際に広島空港以外の空港を利用したことがある。



- ・広島空港以外で利用する主な交通機関と利用回数

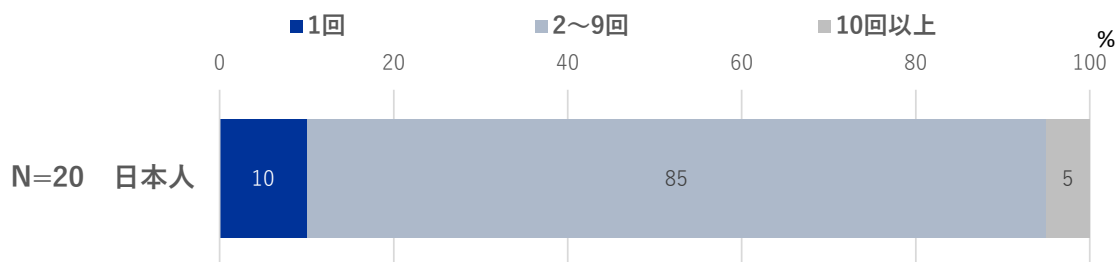
広島空港以外で利用する主な利用空港を 1 つお答えください。

- 広島空港以外の空港を利用したことがある人のうち、岡山空港と福岡空港を利用した人がそれぞれ約 30%を占める。



広島空港以外の空港を利用した回数をお答えください。

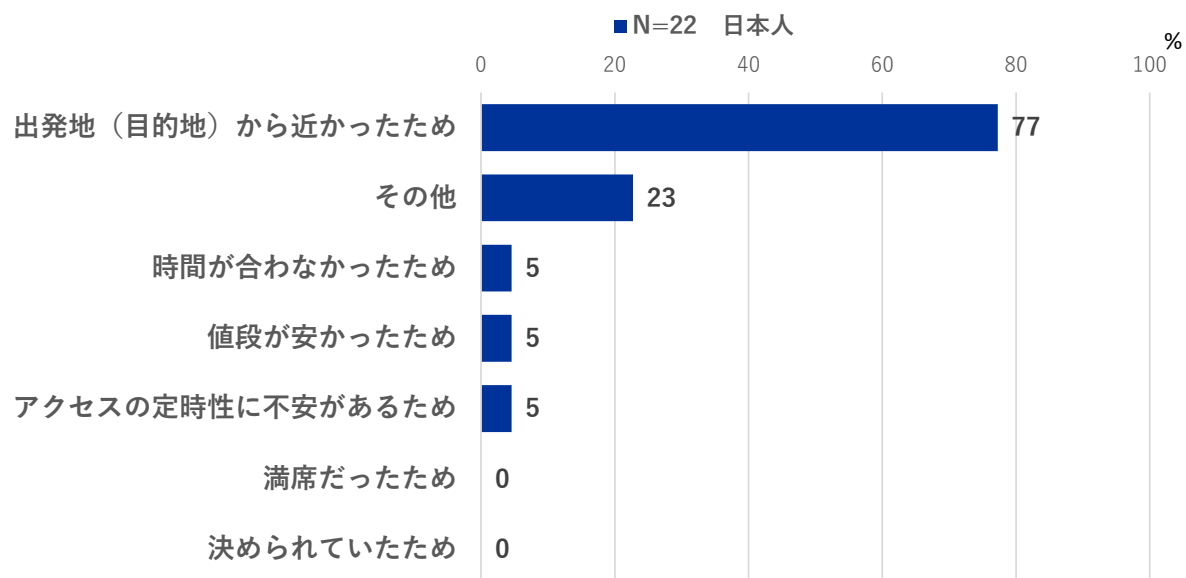
- 広島空港以外の空港を利用したことがある人のうち、2～9 回利用した人が 85%を占める。



・広島空港以外を利用した理由

広島空港以外を利用した理由をお答えください。

- その他が23%を占めており、内訳として80%が「当時、広島空港に台湾便がなかった」と回答している。

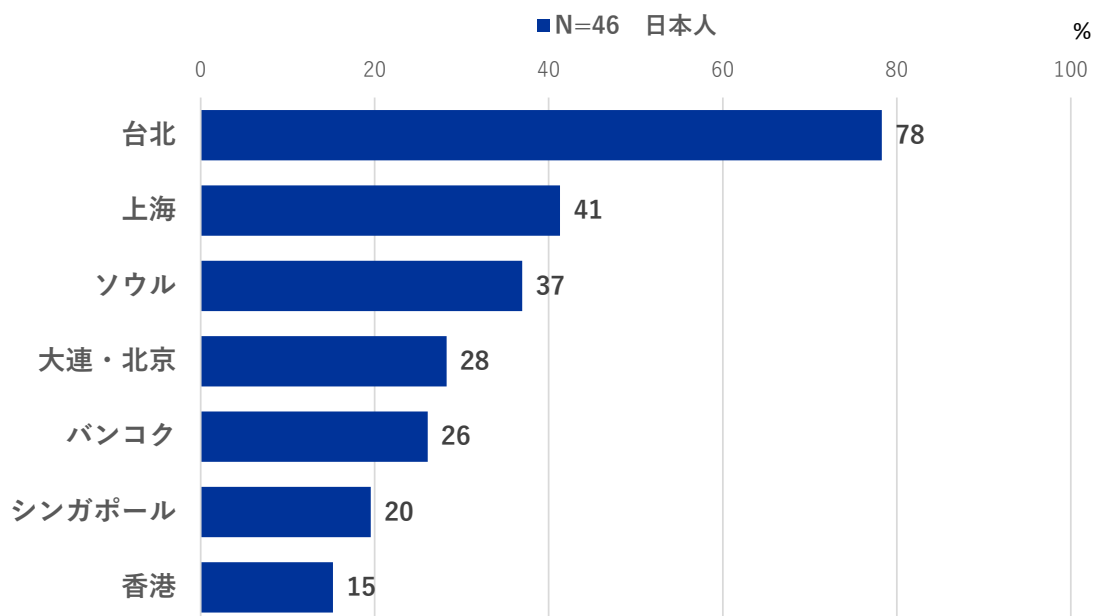


(6) 広島空港国際定期路線の認知度

【日本人のみ】

コロナ前の広島空港国際定期路線の就航先について、ご存じの路線をすべてお選びください。

- 台北路線の次に上海路線の認知度が高く、約 40%を占める。
- 最も認知度が低い路線は香港路線であり、15%しか認知されていない。

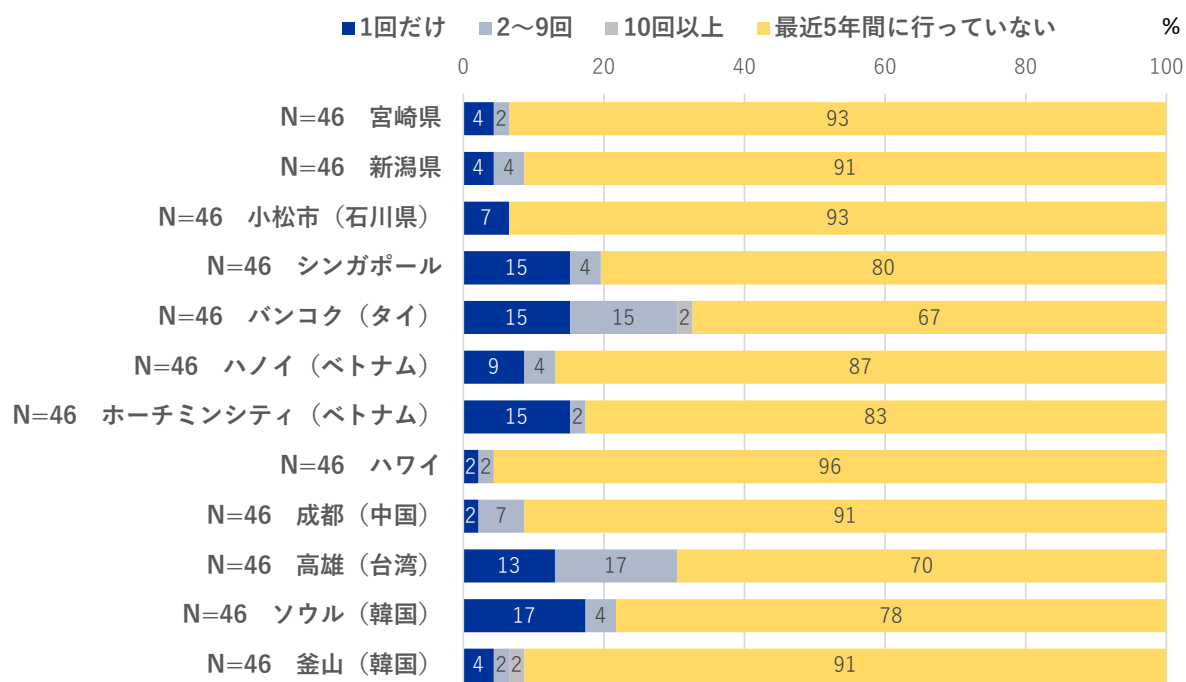


(7) 新規路線候補地への最近 5 年間の移動回数

【日本人のみ】

次の各国・県（都市）への最近 5 年間の移動回数について教えてください。

- 国内線は、新潟県、宮崎県、小松市（石川県）の順が多い。
- 国際線は、バンコク（タイ）、高雄（台湾）、釜山（韓国）、ソウル（韓国）、シンガポールの順が多い。

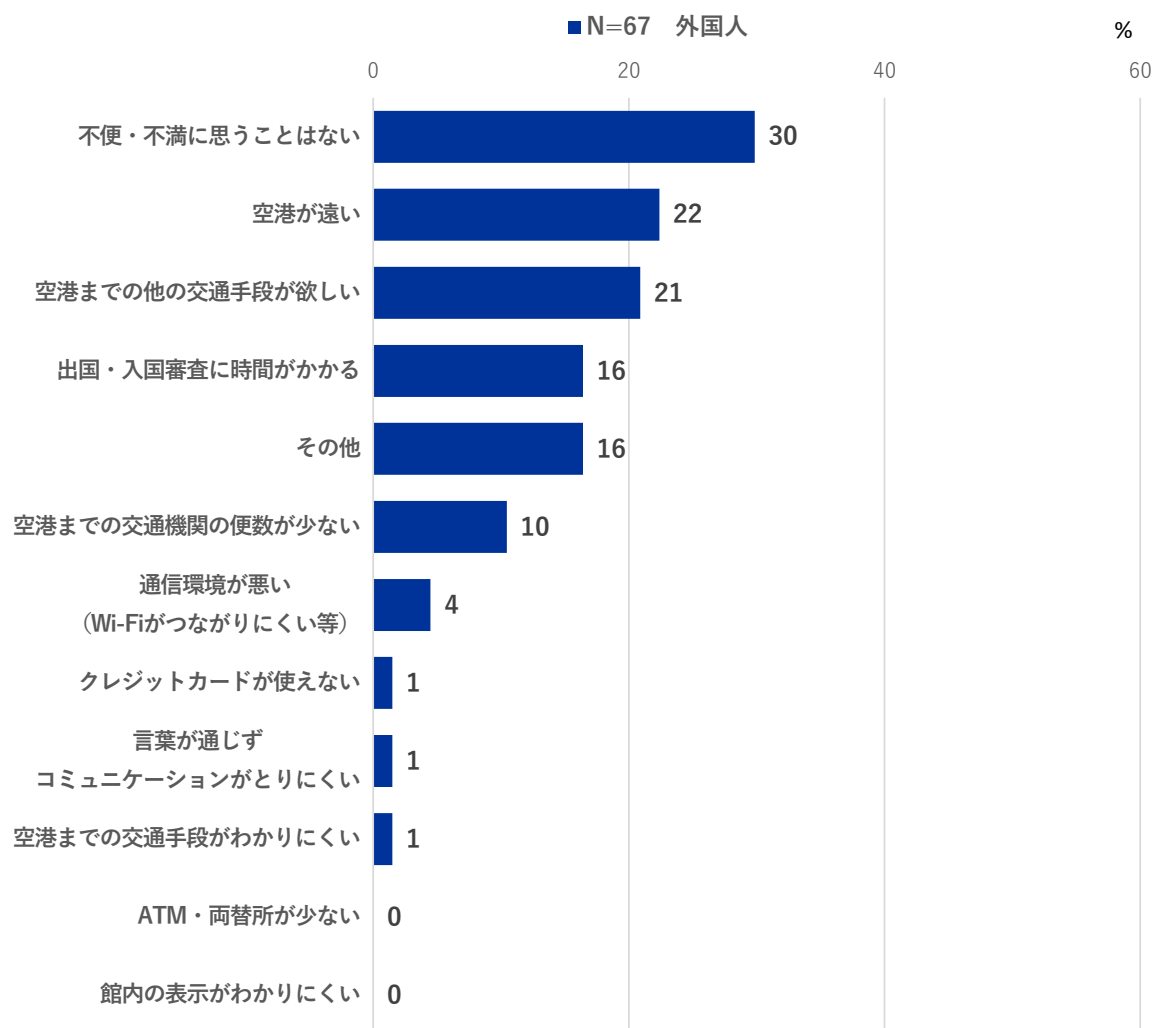


(8) 広島空港に対して不便・不満に感じたこと

【外国人のみ】

広島空港を利用してみて、不便・不満に思うことは何ですか。（複数回答可）

- 外国人の 30%が「不便・不満に思うことはない」と感じている。
- 空港までのアクセスについての意見が多く、「空港が遠い」「空港までの他の交通手段が欲しい」と感じている人が約 20%を占める。



2.3.5 広島空港アンケート調査のまとめ

(1) 国内線

① 旅行の内容

- **乗継状況**：到着空港で別の便に乗り継ぐ旅客は羽田便で8%、成田便で11%であった。乗継先は国際線が多い。羽田空港で新千歳便に乗り継ぐ旅客は、今回の調査では3人みられ、広島空港からの直行便を利用しなかった理由は、「時間が合わなかった」であった。
- **旅行目的**：路線に応じて旅行目的が異なる。羽田便、仙台便は仕事目的が比較的多い。成田便、札幌便、沖縄便は観光目的が半数以上を占める。これはコロナ前に実施した調査と同様の傾向である。仕事目的の旅客に対し、コロナ前との変化を聞いたところ、「増えた」が23%で、「減った」の14%に比べて多い。
- **旅行の手配方法**：個別に航空券・ホテル等を直接購入がすべての世代で多く、若年層ほどその割合が多い。航空券は20～40代は航空会社ホームページでの購入が70%以上を占める。50代以上になると、旅行会社での購入が高まり20～30%みられる。
- **旅行のきっかけ**：友人や家族との会話がどの年代でも多い。
- **広島県内の訪問地（入込客）**：訪問地は、広島市以外では廿日市市、尾道市、呉市の順で多い。宿泊地は、広島市以外では福山市、廿日市市、呉市の順で多い。廿日市市、尾道市の訪問は入込客の約20～30%を占めるものの、宿泊はどちらも10%を下回っている。廿日市市、呉市、尾道市は最初訪問地に比べて、最後訪問地の割合がやや高い。

② 利用交通

- **広島空港アクセス**：地元客は乗用車の利用が約60%、空港リムジンバスが約30%。入込客は空港リムジンバスが約50%、レンタカーが約20%。
- **往復での空港利用**：地元客は往復で広島空港を利用。入込客は新幹線など他の経路を利用する傾向があり、その割合は羽田便利用者で約30%。
- **過去5年間の移動経験**：羽田便は初めてが約30%、その他の便は初めてが約40～60%。複数回の移動経験者のうち約70%が他の経路も利用しており、状況に応じて経路を使い分けている状況がうかがえる。使い分けの理由として、「出発地・目的地との近接性」や、「時間が合わなかったため」が多い。

③ 広島空港の定期路線の認知度（地元客）

- 羽田便の認知度は90%。札幌便、成田便、沖縄便は約60%、仙台便が40%と最も低い。
- 国際線は、国内線に比べて総じて認知度が低い。最も高いのは台北便で約30%である。バンコク便は8%で最も低い。

④ 新規路線就航候補地への最近5年間の移動回数（地元客）

- **国内線**：宮崎県、新潟県、小松市（石川県）の順で多い。
- **国際線**：ソウル、ハワイ、高雄、釜山、シンガポールの順で多い。

(2) 国際線

① 旅行の内容

- **乗継状況**：台北で別の便に乗り継ぐ旅客は日本人で 17%、外国人で 1%であった。日本人の乗継先はバンコクが多い。
- **旅行目的**：日本人の 61%、外国人の 81%が観光・レジャー目的であり、全体の 70%以上を占める。一方でコロナ前に実施した調査と比較すると、日本人、外国人ともに仕事目的の割合が増加している。仕事目的の日本人旅客に対し、コロナ前との変化を聞いたところ、「減った」と答えた人が 78%を占める。
- **旅行の手配方法**：個別に航空券・ホテル等を直接購入がすべての世代で多く、外国人の 88%を占める。また、日本人の 49%、外国人の 57%は航空会社のホームページで航空券を購入しており、若年層ほどその割合が多い。
- **旅行のきっかけ**：友人や家族との会話がどの年代でも多い。
- **広島県内の訪問地（外国人）**：訪問地は、広島市以外では岡山県、廿日市市（同順）、島根県の順で多い。宿泊地は、広島市以外では岡山県、島根県、鳥取県の順で多い。廿日市市を訪れた外国人は 56%を占めるものの、宿泊は 14%に留まる。外国人は広島県だけでなく周遊旅行をする傾向にあり、岡山県、山陰地方、山口県を観光する人が多い。

② 利用交通

- **広島空港アクセス**：日本人は乗用車の利用が 67%、空港リムジンバスが 28%。外国人は空港リムジンバスが 34%、観光バス・貸切バスが 26%、JR+路線バスが 17%。
- **往復での空港利用**：日本人は 91%が往復で広島空港を利用。外国人は 76%が入国時に広島空港を利用しており、高松空港、羽田空港、関西空港を利用した人もいる。
- **過去 5 年間の移動経験**：初めて台北へ渡航する日本人が 32%を占める。複数回の移動経験者のうち 79%が他空港も利用しており、岡山空港と福岡空港を利用した人がそれぞれ約 30%を占める。使い分けの理由として、「出発地・目的地との近接性」や、「当時、広島空港に台湾便が無かった」が多い。

③ 広島空港の定期路線の認知度（日本人）

- 最も認知度が高い路線は台北便であり、次に高い路線が上海路線で 41%である。
- 香港路線は最も認知度が低く、15%である。

④ 新規路線就航候補地への最近 5 年間の移動回数（日本人）

- **国内線**：新潟県、宮崎県、小松市（石川県）の順で多い。
- **国際線**：バンコク、高雄（台湾）、釜山（韓国）、ソウル、シンガポールの順で多い。

⑤ 広島空港に対して不便・不満に感じたこと（外国人）

- 外国人の 30%が不便・不満に思うことはないと感じている。
- 不便・不満に思うこととして、広島空港までのアクセスについての意見が多い。

3 分析

3.1 需要シミュレーション

インターネットアンケートを通じて得られた認知度の向上による広島空港の利用意向の高まりを踏まえ、将来需要の推計を行う。

3.1.1 アンケート結果

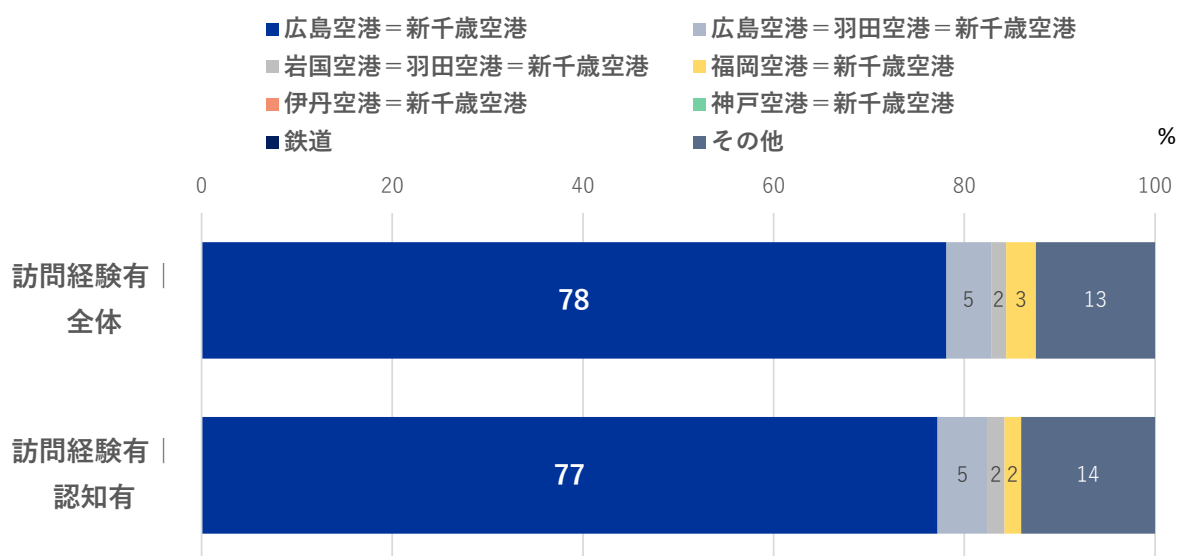
本業務で実施した広島県民アンケート、及び就航先居住アンケートでは、移動経験者を対象として、利用経路の経験と、広島空港との航空路線の認知度を調査した。移動経験者のうち、広島空港との路線を認知している回答者は、広島空港との航空路線の選択率が高い傾向にあることが分かった。

この回答結果は、認知度が向上した場合の広島空港との航空路線の選択率として捉えることができる。一方で、航空路線を認知していても、選択率が100%となるわけではなく、競合経路との利用条件の差に応じて、競合経路の利用者も一定程度存在することも分かった。また、航空路線を認知していても選択率が高まらない路線もあり、路線ごとに特徴がみられた。

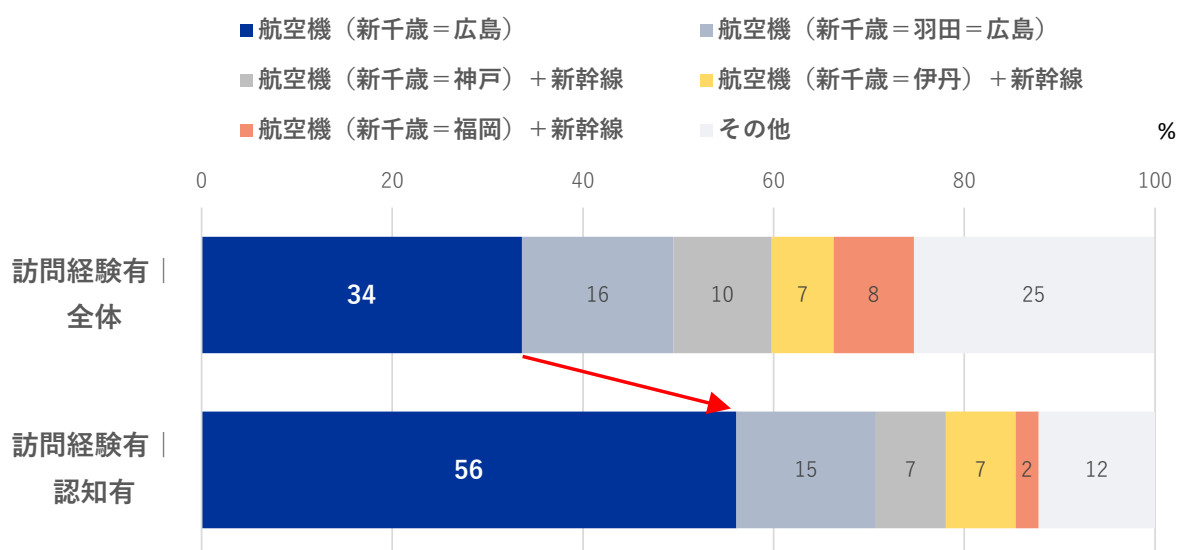
以下にアンケート調査で得られた広島空港との航空路線の認知に応じた利用経路の変化について、路線ごとに再掲する。

(1) 札幌

① 広島県居住者

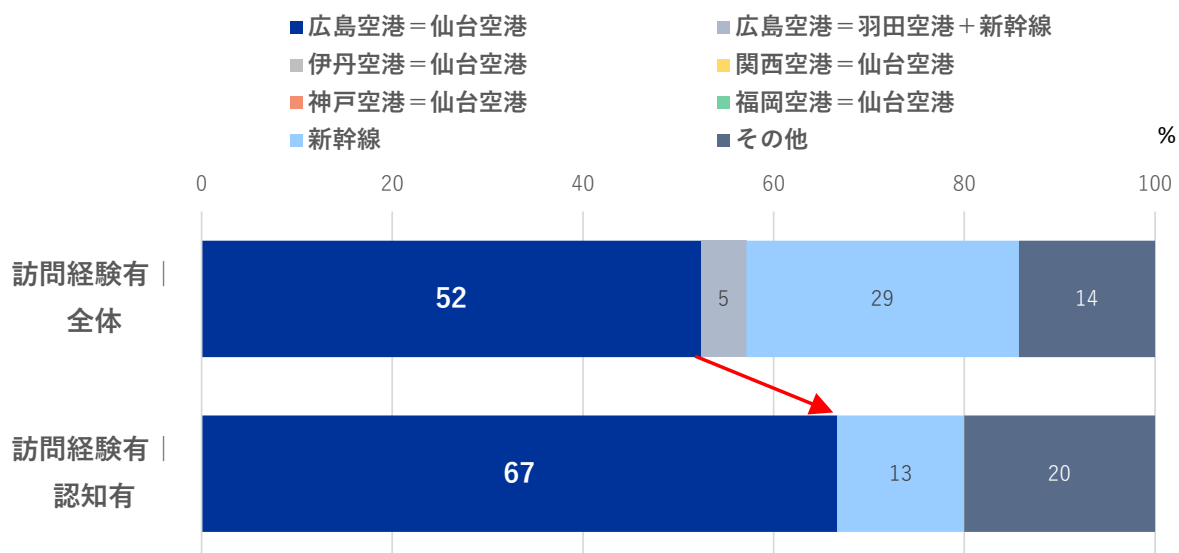


② 就航先居住者

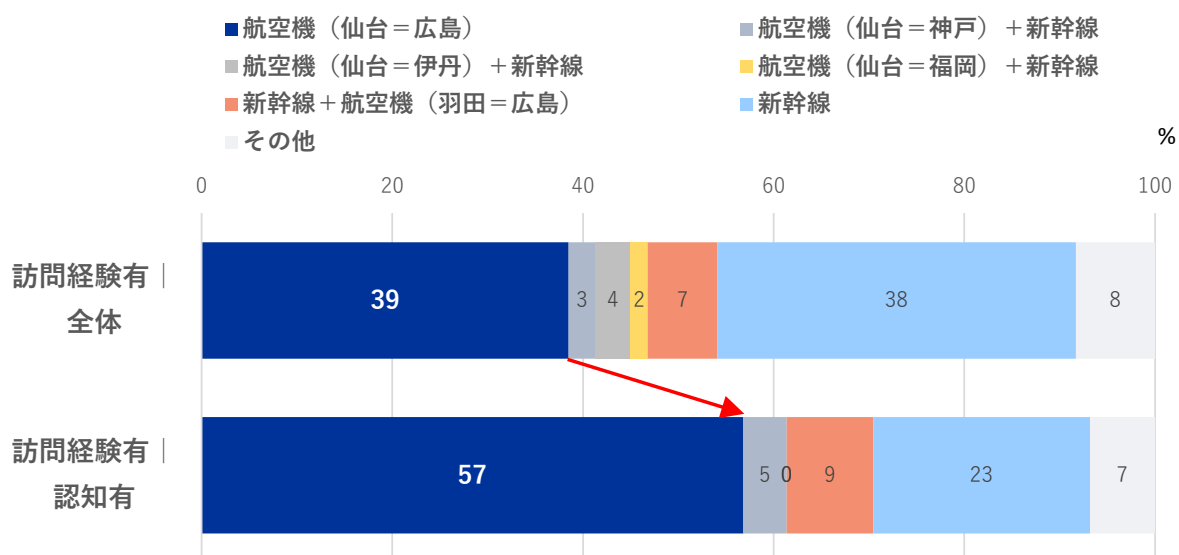


(2) 仙台

① 広島県居住者

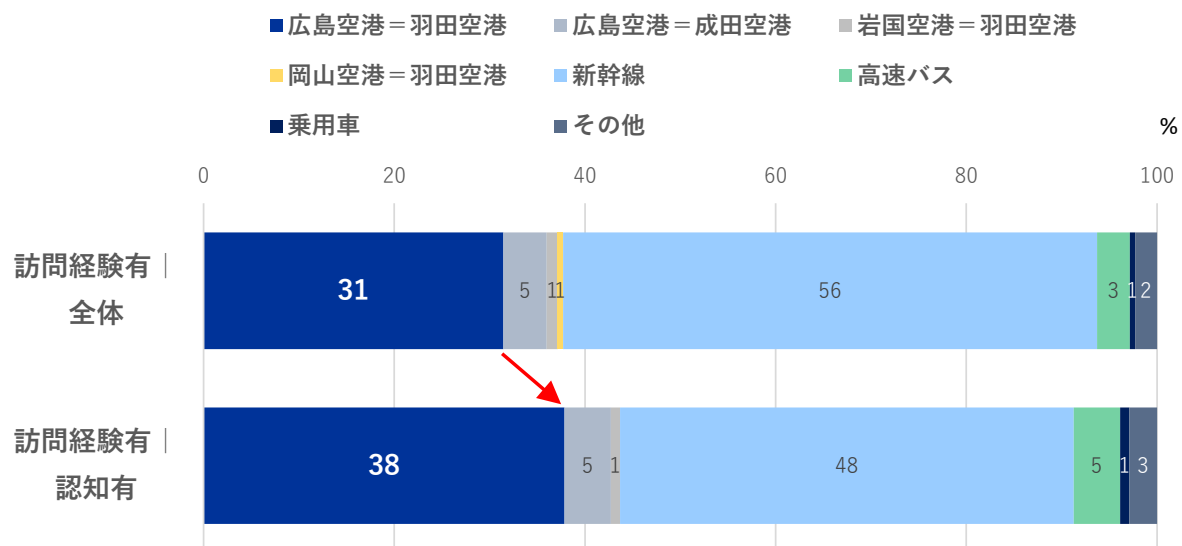


② 就航先居住者

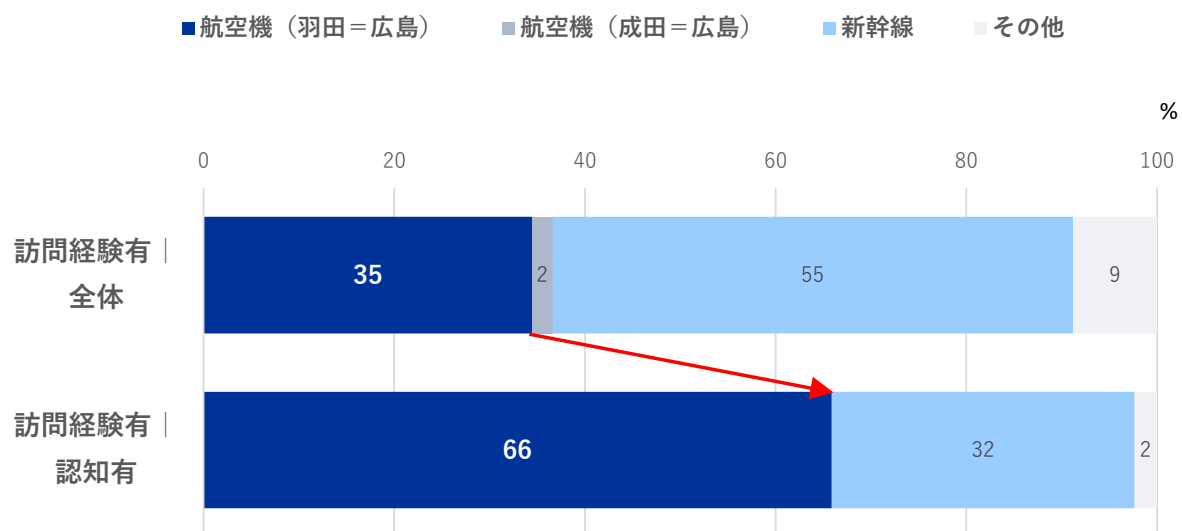


(3) 羽田

① 広島県居住者

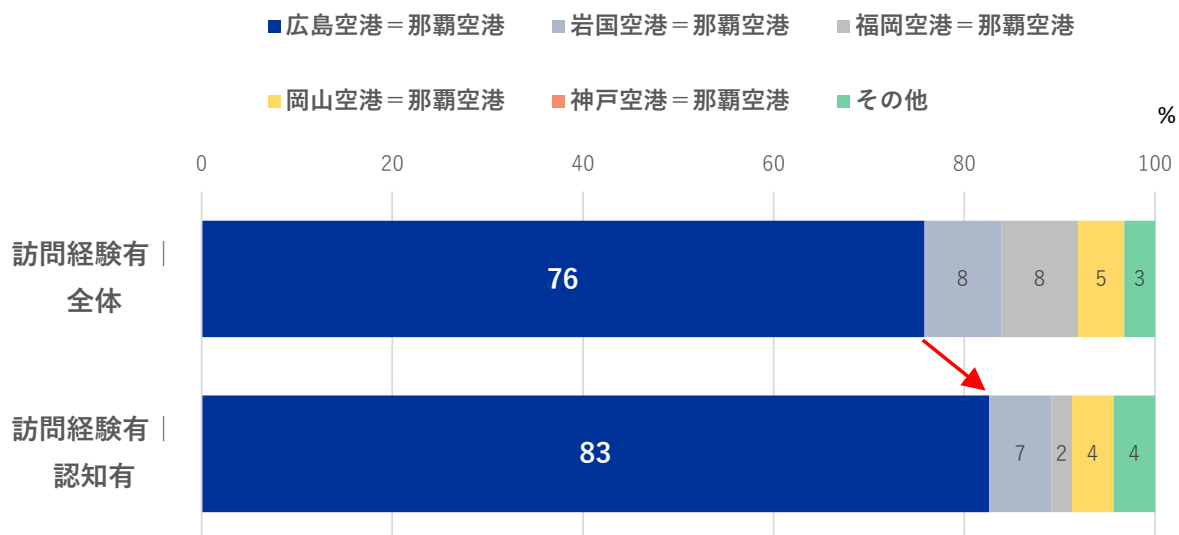


② 就航先居住者

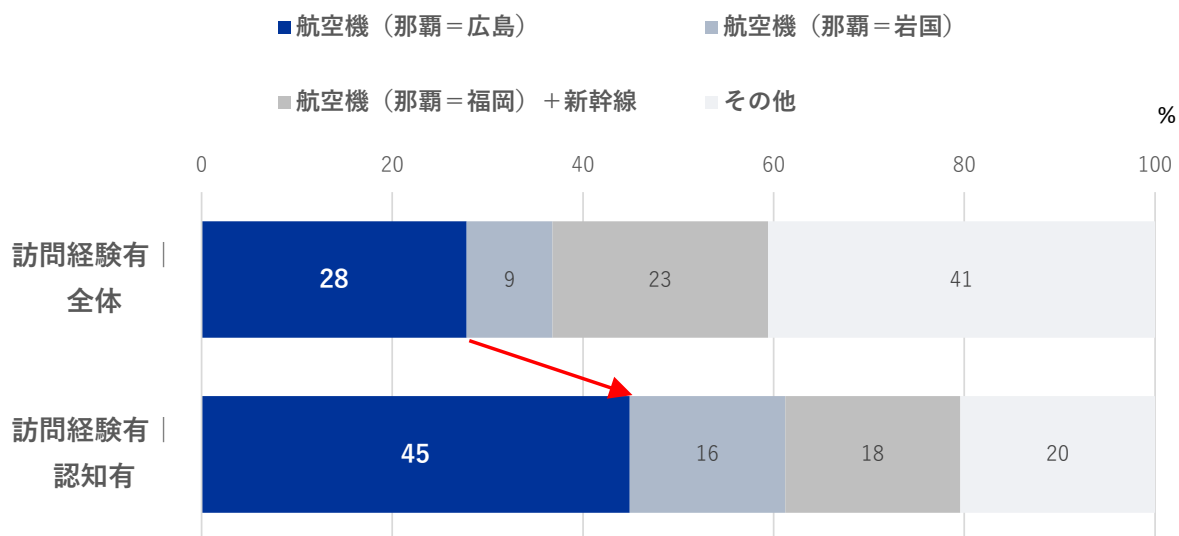


(4) 那覇

① 広島県居住者

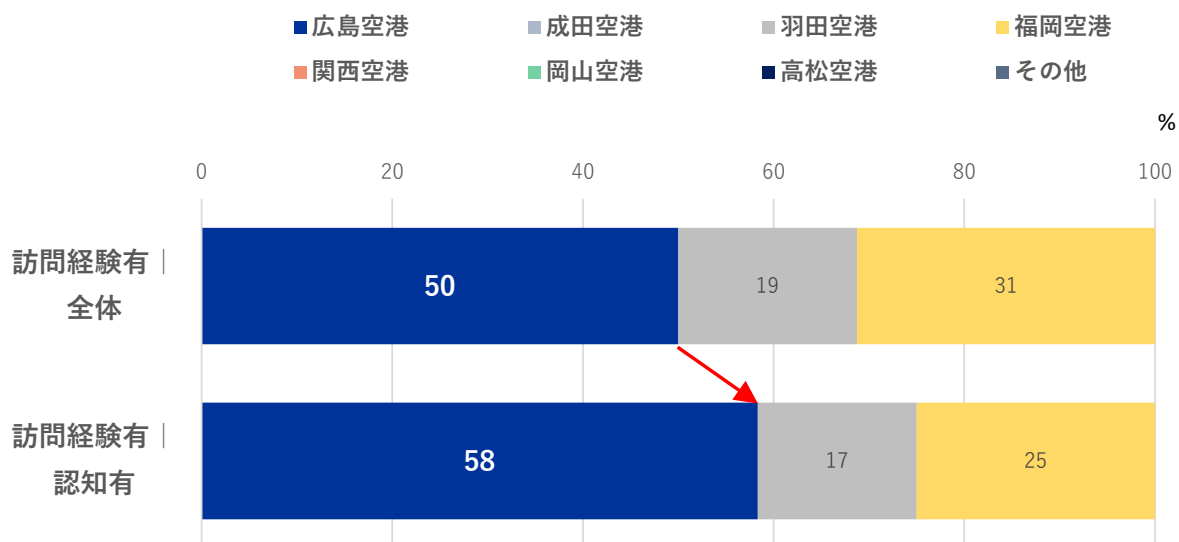


② 就航先居住者

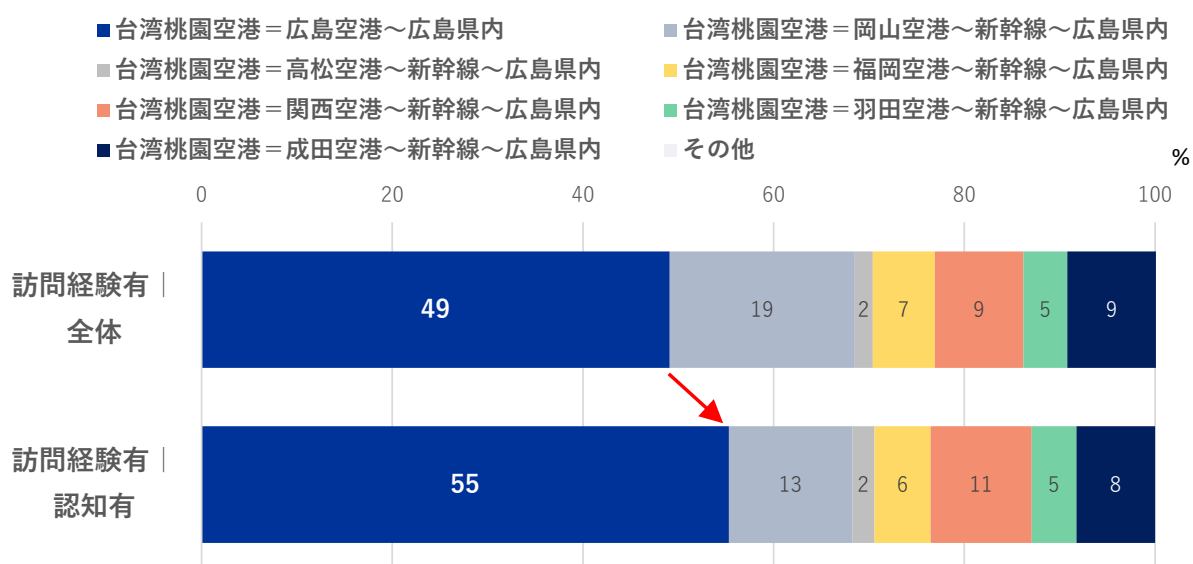


(5) 台北

① 広島県居住者

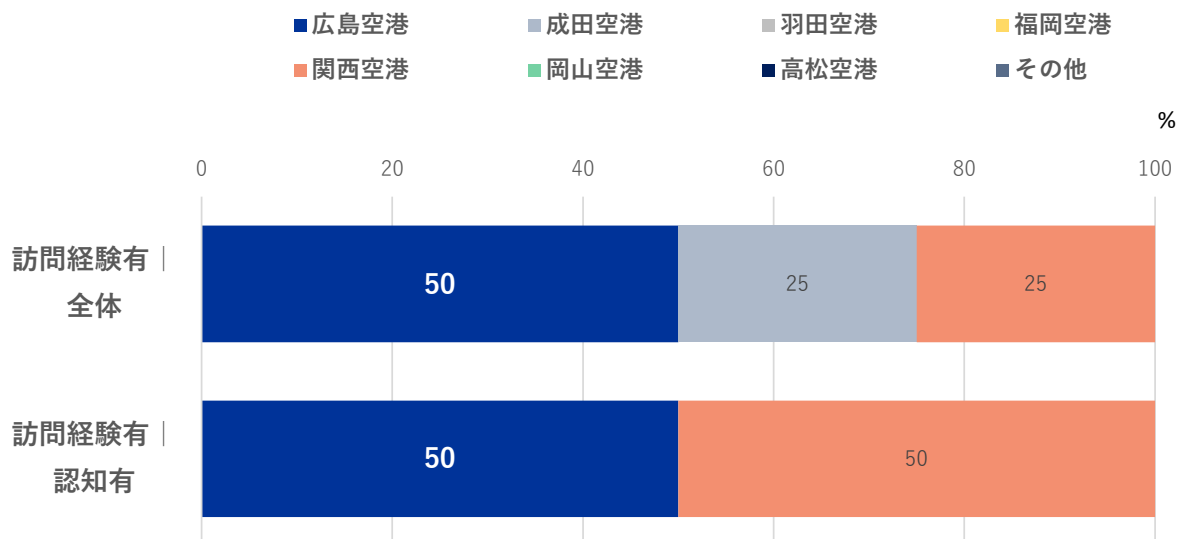


② 就航先居住者

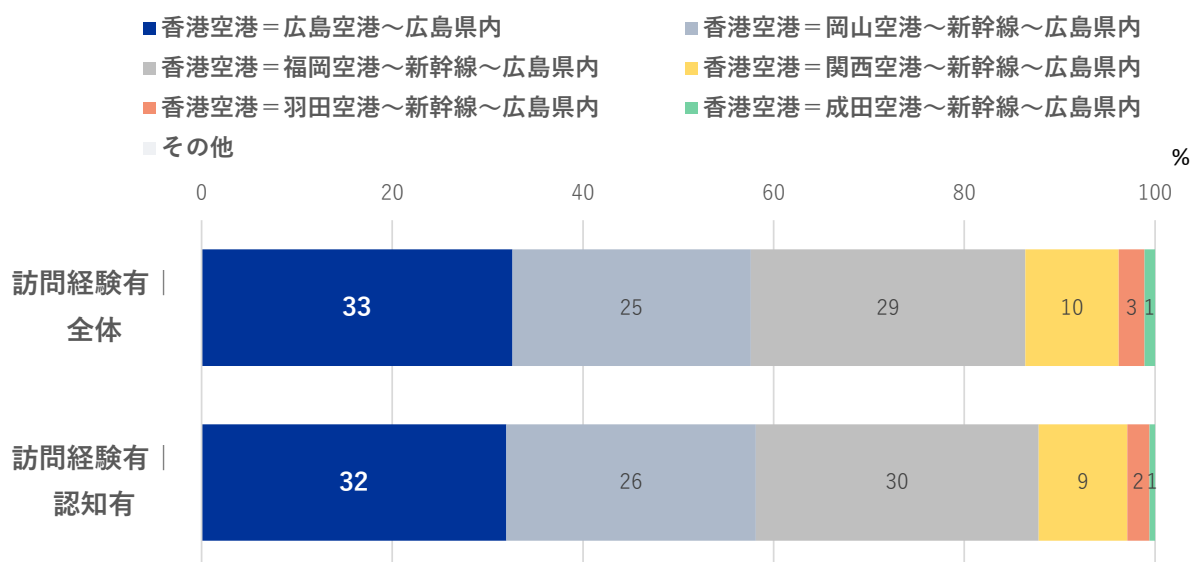


(6) 香港

① 広島県居住者

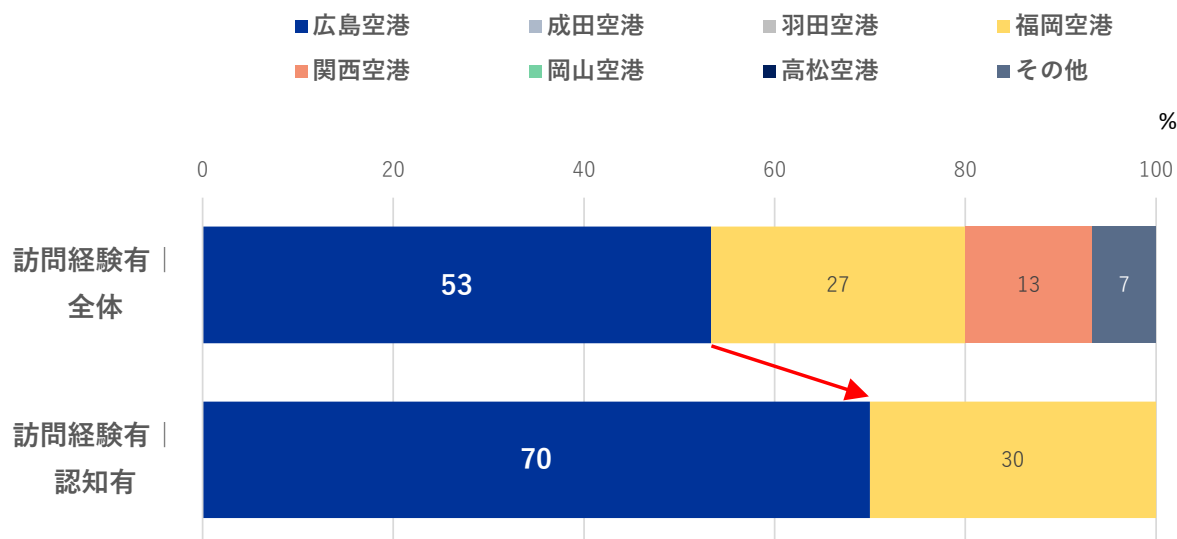


② 就航先居住者

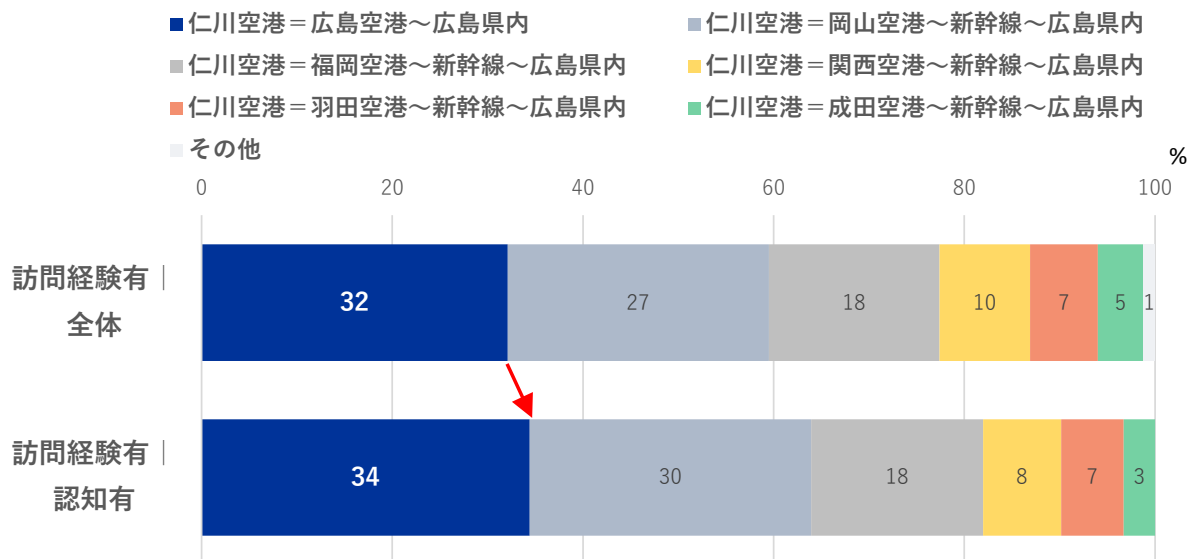


(7) ソウル

① 広島県居住者

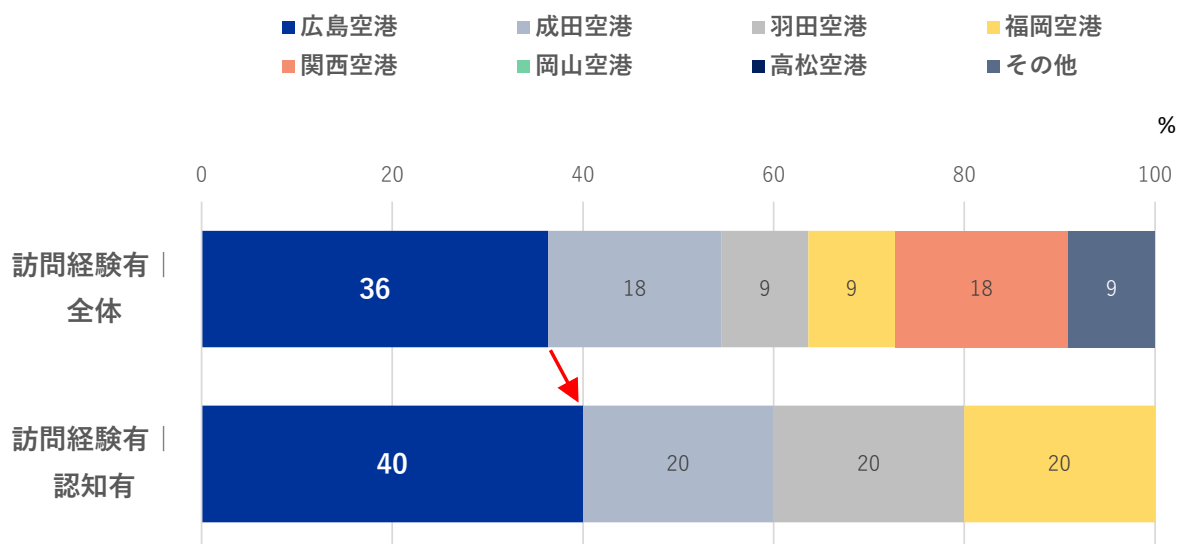


② 就航先居住者

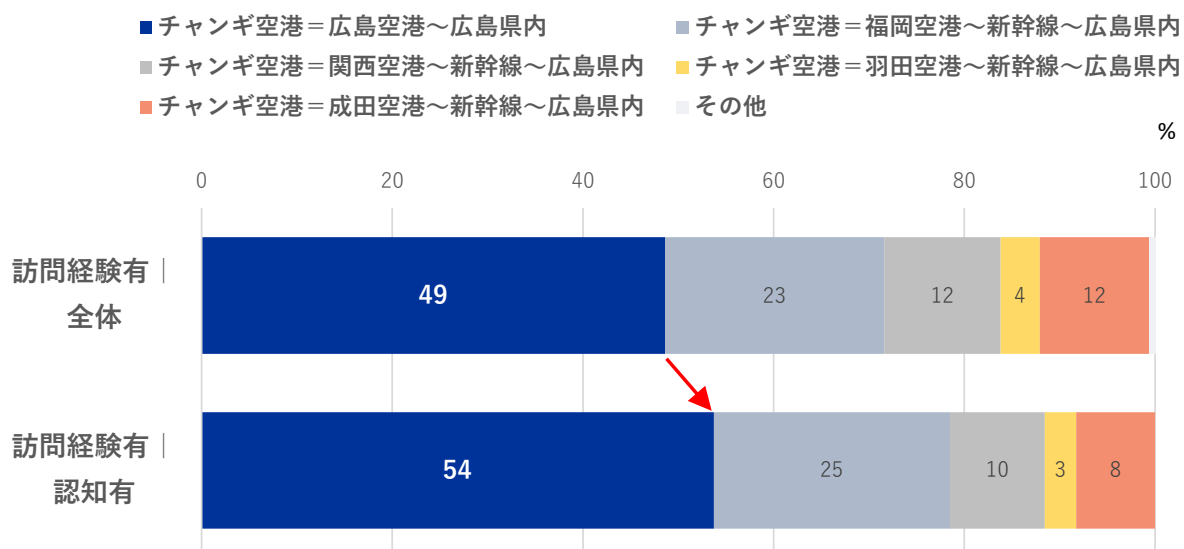


(8) シンガポール

① 広島県居住者

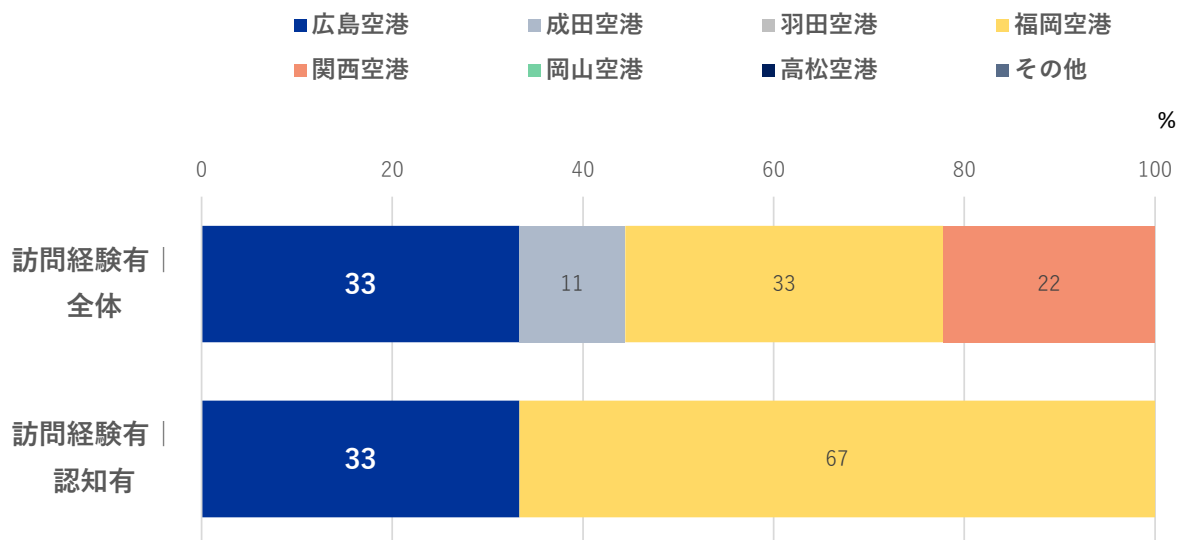


② 就航先居住者

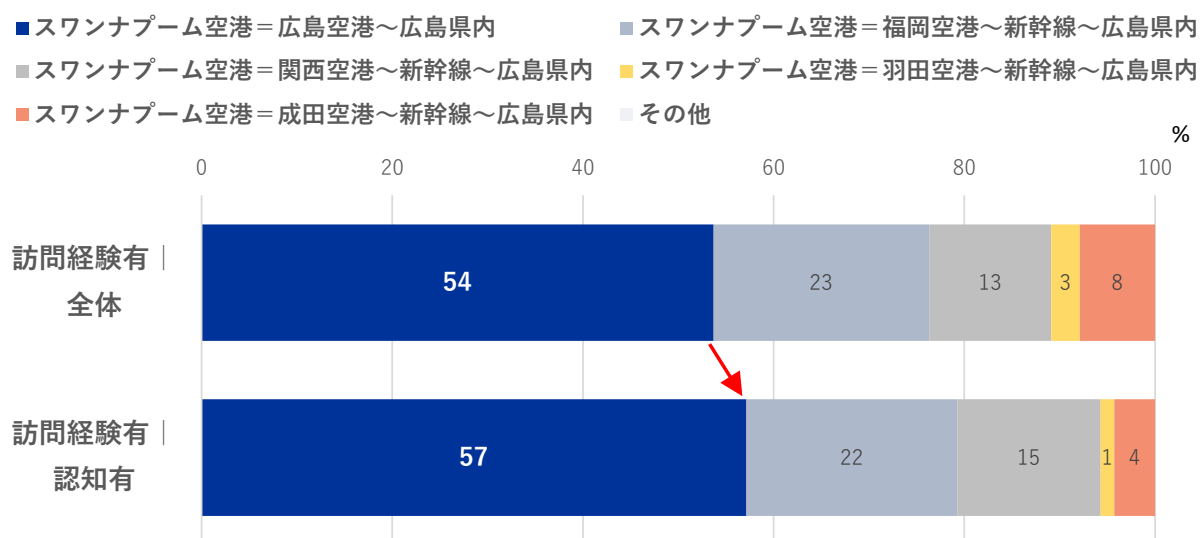


(9) バンコク

① 広島県居住者



② 就航先居住者



3.1.2 認知度が向上した場合の旅客数の推計

(1) 路線別比較

広島空港との航空路線の認知状況に応じた直行便の利用率は以下のとおりとなる。「全体」と「認知あり」を比較した場合の直行便利用率の増加比が大きい路線・属性を赤で着色した。

直行便利用率の増加比が大きいのは、札幌居住者、仙台居住者、東京居住者、沖縄居住者、ソウル路線の広島居住者であり、国内就航先での認知度が向上すれば、広島空港の利用が高まる可能性がある。

一方、ソウル以外の国際線については、認知状況に関わらず広島空港の利用率が一定であるため、旅客数の増加には直行便路線の認知度とは別のアプローチが有効となる可能性がある。

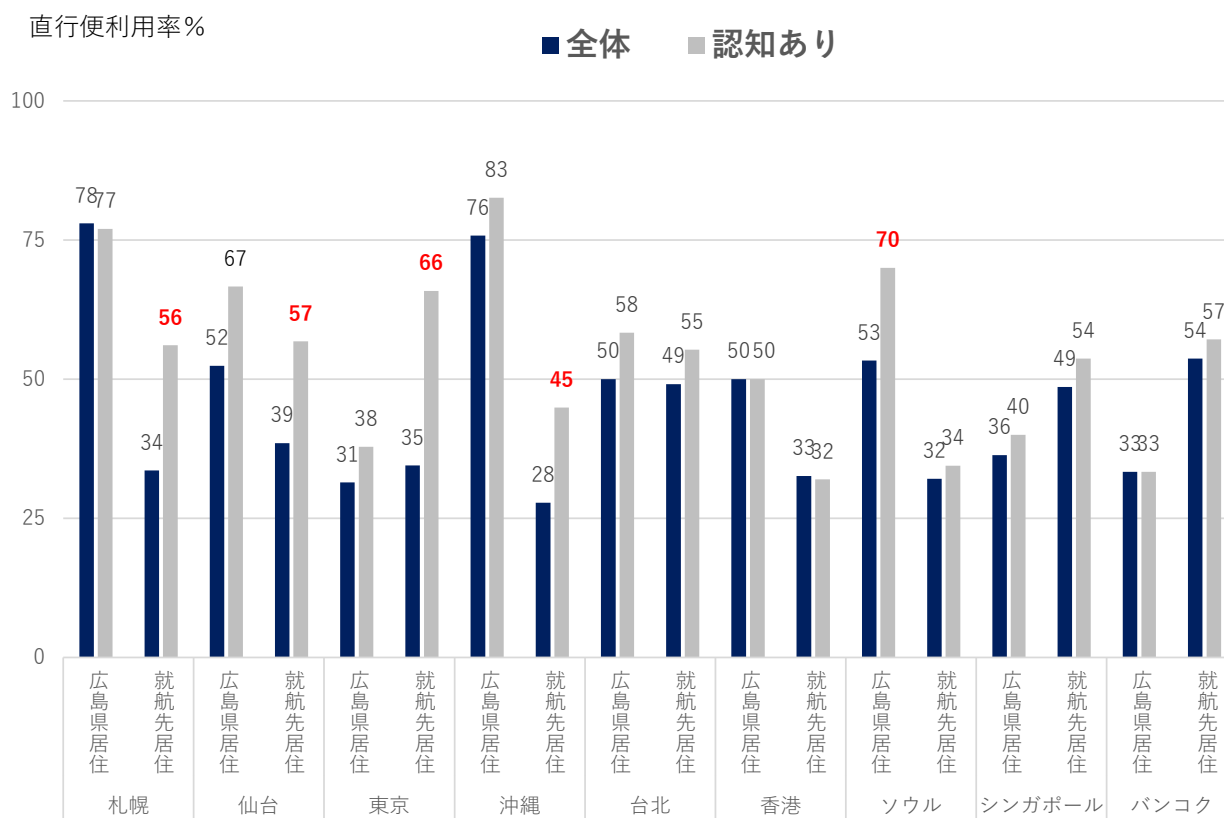


図 3.1.1 路線別認知状況に応じた広島空港の直行便利用率

(2) 旅客数の推計

2019 年度の路線別年間旅客数（バンコク便は、想定される年間座席数に搭乗率を 80%として推計）を、居住地ごとに分解したうえで、アンケート調査で得られた直行便の利用率の増加比を乗じることで、認知度が向上した場合の旅客数を推計する。

居住地別旅客数に、アンケート調査で得られた増加比を乗じたところ、広島空港の年間旅客数は認知度の向上に伴って最大約 405 万人まで増加すると推計される。路線ごとの内訳をみると、東京路線の就航先が突出して多いことが分かる。東京路線については、新幹線と競合する区間であり、認知度だけではなく、利用する運賃等の条件によっても変動することがアンケート調査からも考察されるため、下表のような単純計算では過大である可能性もある。

東京路線を除いた場合、年間旅客数の増分は年間約 11 万人と推計され、これは広島空港の旅客数の 4%に相当する旅客である。

表 3.1.1 認知度が向上した場合の路線別旅客数の推計

		直行便利用率 (%)		増加比	年間旅客数 2019	居住割合	居住地別 旅客数	認知度 向上後	増分
		全体	認知あり						
札幌	広島県居住	78	77	0.99	167,840	73%	121,862	121,862	+0
	就航先居住	34	56	1.67		27%	45,978	76,763	+30,785
仙台	広島県居住	52	67	1.27	76,585	31%	24,020	30,571	+6,551
	就航先居住	39	57	1.48		69%	52,565	77,575	+25,010
東京	広島県居住	31	38	1.20	2,035,207	40%	807,666	973,048	+165,383
	就航先居住	35	66	1.91		60%	1,227,541	2,344,154	+1,116,613
沖縄	広島県居住	76	83	1.09	135,896	87%	118,908	129,578	+10,670
	就航先居住	28	45	1.62		13%	16,988	27,436	+10,448
台北	広島県居住	50	58	1.17	84,778	69%	58,607	68,375	+9,768
	就航先居住	49	55	1.13		31%	26,171	29,472	+3,302
香港	広島県居住	50	50	1.00	42,264	7%	3,124	3,124	+0
	就航先居住	33	32	0.98		93%	39,140	39,140	+0
ソウル	広島県居住	53	70	1.31	36,563	62%	22,519	29,557	+7,037
	就航先居住	32	34	1.07		38%	14,044	15,061	+1,018
シンガポール	広島県居住	36	40	1.10	34,378	60%	20,766	22,843	+2,077
	就航先居住	49	54	1.11		40%	13,612	15,046	+1,434
バンコク	広島県居住	33	33	1.00	47,174	60%	28,496	28,496	+0
	就航先居住	54	57	1.06		40%	18,679	19,876	+1,198
合計							2,660,685	4,051,977	+1,391,292
								152%	
						東京便除く		2,769,982	+109,297
								104%	

資料：居住割合 国内旅客 2019 年航空旅客動態調査、国際旅客 2019 年度国際航空旅客動態調査

3.2 路線ごとの特徴分析

3.2.1 国内線

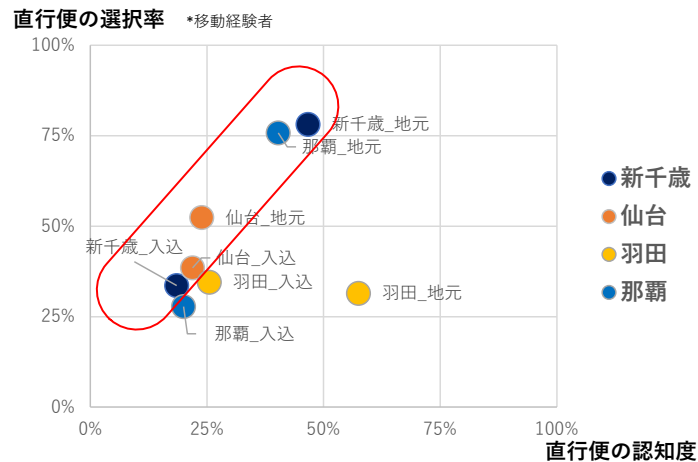
国内線のうち新千歳、仙台、那覇路線は広島空港の直行便の認知度を向上に応じて旅客数が増加する可能性がある。特に、新千歳路線、那覇路線は、入込客（就航先居住者）の認知度が低い。これらの地方空港との路線は、周辺圏を訪問する傾向にあることから、他都市との連携も有効であると考えられる。

一方、羽田路線は、新幹線との競合がポイントとなる。航空運賃は予約の時期によっては安価であることをPRしたり、入込客は往復で広島空港を利用しない傾向が強いため、往復利用を促進したりすることで利用者が増加する余地があると考えられる。

また、全般的に入込客は周遊旅行において、岡山県や山口県といった東西方向の旅行をしている傾向にある。この傾向は強みとして生かしていくとともに、現状では利用が少ない南北方向（愛媛県、島根県）との周遊促進も施策として検討の余地がある。広島空港を起点とした南北方向の移動については、新幹線ではアクセスしにくい地点であるため、広島空港の利用する優位性があると考えられる。

表 3.2.1 国内線の調査結果のまとめ

移動経験者の特徴



路線	認知度と選択率	直行便を利用しない主な理由	入込観光客の周遊状況
羽田	関係なし	- 新幹線との競合 - 航空運賃が高い	約40%が岡山、山口等を訪問
新千歳 仙台 那覇	比例関係	- 認知度が低い - 空港アクセス、ダイヤ、便数 - 他の都市にも寄りたい	約60%が岡山、山口等を訪問

路線利用者の特徴

路線	居住地	旅行目的	往復の利用	延べ訪問地
羽田 仙台	地元・入込が半数ずつ	仕事、観光	羽田路線で16%、羽田以外の路線で10%が往復で広島空港を利用していない。 入込客は往復で利用しない傾向が強い。	広島市 97% 廿日市市 31% 尾道市 19%
新千歳 那覇	地元客が中心	観光客が多い		呉市 14% 福山市 12%

施策の方向性

施策対象	施策【重点路線】
地元	- 需要喚起【新千歳、那覇】 - 航空運賃が時期によっては安価であることのPR【羽田】 - 空港アクセス、ダイヤ、便数等の改善【新千歳、仙台、那覇】
入込	- 認知度向上【新千歳、仙台、那覇】 - 往復利用の促進【羽田】 - 近隣県との連携促進（強み 東西方向 [岡山、山口]）【全般】 - 近隣県との連携促進（弱み 南北方向 [愛媛、島根]）【全般】 - 瀬戸内（尾道、しまなみ等）のPR、アクセス強化【全般】 ※新幹線（のぞみ）ではアクセスしにくい地点であり広島空港の優位性がある地点。

3.2.2 国際線

国際線は広島空港を利用しない理由が路線によって特徴がある。国内線とは異なり、認知度が低いことが主な理由ではない。

外国人に着目すると、台北は広島空港のダイヤが悪いことや他の都市も訪問したいことが主な理由となっている。香港は便数や料金、シンガポールはダイヤが利用していない理由として回答が多かった。ソウル・バンコクは他路線に乗り慣れている回答が多かった。

日本人については、広島空港を利用していない理由として、利用した空港（福岡空港や関西空港）が近いという回答が最多であった。実際の利用条件を比較すると、広島空港の方が近い状況にはあるものの、福岡空港等についても近いと感じている実情があるため、広島空港のアクセスについての認知度の向上が求められる。

国際線は、路線によって日本人、外国人の比率や、周遊旅行の傾向が異なる点も着目すべきである。台北は周遊旅行を好む傾向にある一方で、香港やソウルについては比較的滞在型の旅行を好む傾向にある。

広島空港から既に路線が再開した台北路線については、現状ではダイヤが日本人向けとなっていることから、周辺県を含めて日本人需要の取り込みの強化が挙げられる。一方で、外国人向けには午後出発にダイヤ変更を希望する意見も多く得られた。

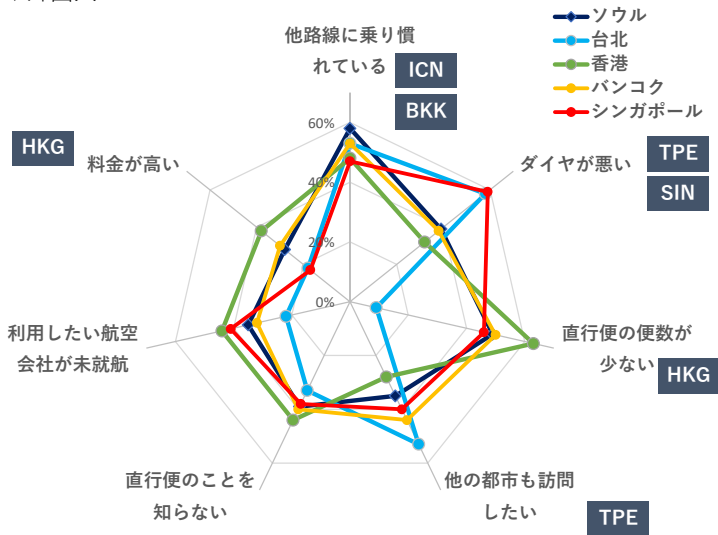
香港については、外国人の利用が多くまた滞在型の傾向があるため、広島県内のPR強化が施策の方向性として考えられる。

ソウルについては、外国人の広島県への旅行意向が最も低かった。香港と同様に比較的滞在型の旅行を好む傾向があるため、広島県内のPR強化が考えられる。

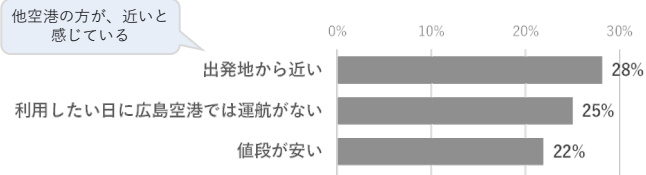
表 3.2.2 国際線の調査結果のまとめ

直行便を利用しない理由

▼外国人



▼日本人



路線利用者の特徴・今後の意向

路線	国籍	日本人の居住地	外国人 広島への旅行意向	外国人 周遊旅行
台北	半数ずつ	広島県 約80%	二番目に高い (18%)	約70%
香港	外国人中心	広島県 約100%	最も高い (32%)	約40%
ソウル	半数ずつ	広島県 約90%	最も低い (14%)	約40%

施策の方向性

施策対象	施策
台北	日本人の利用が約半数 →日本人旅客へのアプローチ（周辺県需要の取り込み）、認知度の向上、アクセス利便のPR 外国人の約70%が「午前出発を午後出発に変更してほしい」と回答 →ダイヤ・便数の改善、国内の他の観光地との連携強化（比較的周遊意向が高い）
香港	約9割が外国人の利用 →外国人旅客へのアプローチ、ダイヤ・便数の改善 香港居住者は周遊旅行の割合が比較的低い →広島県のPR強化（尾道、しまなみ海道等）
ソウル	日本人の利用が約半数 →日本人旅客へのアプローチ、認知度の向上 ソウル居住者は周遊旅行の割合が比較的低く、広島県の旅行意向も低い →広島県の魅力の発信と併せた広島空港の利用促進

3.3 路線ごとの特徴の詳細

3.3.1 新千歳

(1) 広島空港直行便の認知度と利用状況

地元客の認知度は 47%であり、入込客の認知度は 19%である。

地元客、入込客の広島空港直行便利用は、それぞれ 78%、34%である。入込客の広島空港直行便の利用率が低く、羽田空港経由便を利用する傾向にある。

地元客は直行便の認知による利用率の変化はみられないものの、入込客は認知の有無によって直行便の利用が 34%から 56%に増加する。

(2) 直行便を利用しなかった理由

地元客の広島空港直行便を利用しなかった理由は「直行便のダイヤや便数が少ない」「出発地から広島空港が遠い」が多く挙げられた。

入込客の広島空港直行便を利用しなかった理由は、「広島以外の都市も寄りたい」「ダイヤが良くない」「直行便のことを知らなかった」が多い。羽田経由の理由は「便数が少ないから」「ダイヤが良くない」「直行便のことを知らなかった」が多い。

(3) 広島県の旅行形態（入込客向け）

観光目的で広島県を訪問した人のうち、67%が広島県に加え、周辺県も訪問している。周遊旅行者の 63%が岡山県、45%が山口県を訪問している。

今後、広島県を旅行したいと考えている人が全体で 64%を占める。旅行したくない人の理由として、「広島県の観光地を知らない」「旅行代金が高い」が多く挙げられた。

(4) 今後の広島空港の利用意向

地元客の 50%がコロナ前と比べて広島空港の利用回数は変わらないと感じており、46%は増えそうだと感じている。

入込客で広島県への訪問経験がない人のうち 75%が今後、直行便の利用意向がある。利用したくない人の理由としては、「料金が低い」「便数が少ない」が多く挙げられる。LCC が広島空港に就航した場合、直行便を利用したい人が入込客全体で 65%を占める。

(5) 優先順位

新千歳路線は約 7 割が地元客の利用であり、路線の利用促進には地元客へのアプローチの重点化が考えられる。地元客の直行便利用の向上には、便数の改善と広島空港アクセス手段の改善が求められる。

入込客は認知度の向上により直行便の利用が増加すると期待できる。地元客と比較すると羽田空港経由便の利用も多く、認知度向上とともに広島空港到着便のダイヤ・便数の改善が求められる。また、国内の他の就航先居住者と比較すると、周遊旅行者の割合が高く、周辺県との連携の強化が効果的と考えられる。

3.3.2 仙台

(1) 広島空港直行便の認知度と利用状況

地元客の認知度は 24%であり、入込客の認知度は 22%である。

地元客、入込客の広島空港直行便利用は、それぞれ 52%、39%である。新幹線とは競合関係にあり、新幹線の利用はそれぞれ 29%、38%であった。

地元客は直行便の認知の有無によって、直行便の利用が 52%から 67%に増加する。入込客も、認知の有無によって直行便の利用が 39%から 57%に増加する。

(2) 直行便を利用しなかった理由

地元客が広島空港直行便を利用しなかった理由は「直行便のダイヤや便数が少ない」「出発地から広島空港が遠い」「他の都市も訪問したい」が多く挙げられた。

入込客が広島空港直行便を利用しなかった理由は、「広島以外の都市も寄りたい」「直行便のことを知らなかった」が多い。

(3) 広島県の旅行形態（入込客向け）

観光目的で広島県を訪問した人のうち、56%が広島県に加え、周辺県も訪問している。周遊旅行先は島根県、鳥取県、岡山県、山口県、福岡県であり広く分布している。

今後、広島県を旅行したいと考えている人が全体の 62%を占める。旅行したくない人の理由として、「旅行代金が高い」「広島県の観光地を知らない」が多く挙げられる。

(4) 今後の広島空港の利用意向

地元客の 53%がコロナ前と比べて広島空港の利用回数は変わらないと感じており、41%は増えそうだと感じている。

入込客で広島県への訪問経験がない人のうち 71%が今後、直行便の利用意向がある。利用したくない人の理由としては、「航空機の乗り換えが面倒」「料金が高い」が多く挙げられた。そのほか、宮城県居住者の回答の特徴として「飛行機が怖い」といった苦手意識のある回答が多くみられた。また、LCC が広島空港に就航した場合、直行便を利用したい人が入込客全体で 62%を占める。

(5) 優先順位

仙台路線は地元客のほか、入込客の利用もみられる。ただし、入込客の直行便の認知度は 22%、地元客の直行便の認知度も 24%と低いため、認知度の向上が路線の利用促進につながると考えられる。

3.3.3 東京（羽田）

(1) 広島空港直行便の認知度と利用状況

地元客の認知度は 58%であり、入込客の認知度は 50%である。

地元客、入込客の広島空港直行便利用はそれぞれ 31%、35%であり、新幹線とは競合関係にある。東京＝広島間を移動する旅客の半数以上は新幹線を利用している現状にある。

入込客のうち 29%は広島空港の利用が片道利用である。

(2) 直行便を利用しなかった理由

地元客の広島空港直行便を利用しなかった理由は「新幹線の方が、便数が多く便利である」「新幹線に乗り慣れている」「出発地から広島空港が遠い」が多く挙げられた。

入込客の広島空港直行便を利用しなかった理由としても、同様の意見のほか「航空機の料金が高い」が多く挙げられた。

一方、航空機を利用した人の理由としては「拘束時間が短い」「目的地が羽田空港から近い」「予約時期によっては安い」が多く挙げられた。

(3) 広島県の旅行形態（入込客向け）

観光目的で広島県を訪問した人のうち、39%が広島県に加え、周辺県も訪問している。周遊旅行者の 40%が岡山県、39%が山口県を訪問している。他の就航先と比較すると、広島県のみを訪問する傾向が高い。

今後、広島県を旅行したいと考えている人が全体で 62%を占める。旅行したくない人の理由として、「広島県の観光地を知らない」「旅行代金が高い」「広島県内の交通手段がよく分からない」が多く挙げられた。

(4) 今後の広島空港の利用意向

地元客の 59%がコロナ前と比べて広島空港の利用回数は変わらないと感じており、34%は増えそうだと感じている。

また、入込客で広島県への訪問経験がない人のうち 33%が今後、直行便の利用意向がある。利用したくない人の理由としては、「新幹線の方が、便数が多く便利である」「新幹線に乗り慣れている」が多く挙げられた。

(5) 優先順位

東京路線は新幹線と競合関係にある。認知度の向上により一部の人は新幹線から直行便へ転換するが、依然として新幹線を利用する人が多い。広島空港を利用する入込客の 29%は片道利用であるため、往復の利用を促進することで旅客数が増加する余地がある。

一方で、航空機を利用する理由として拘束時間が短いことや、予約時期によっては航空券が安いことも挙げられている。航空券を安く入手できる時期もあることを周知することが必要である。また、現状では広島空港からの南北方向（愛媛、島根）との移動需要が少ないため、これらを強化することも一案である。

3.3.4 沖縄

(1) 広島空港直行便の認知度と利用状況

地元客の認知度は 40%であり、入込客の認知度は 33%である。

地元客、入込客の広島空港直行便利用は、それぞれ 76%、28%である。地元客は岩国空港、福岡空港、岡山空港の利用がそれぞれ 5～8%ずつを占め、入込客は福岡空港が 23%、岩国空港が 9%を占める。

地元客は直行便の認知の有無によって、直行便の利用が 76%から 83%に増加する。入込客も、認知の有無によって直行便の利用が 28%から 45%に増加する。

(2) 直行便を利用しなかった理由

地元客の広島空港直行便を利用しなかった理由は「広島空港直行便のダイヤが良くない」「出発地から広島空港が遠い」が多く挙げられた。広島空港以外を利用した理由として、「値段が安かった」「決められていた」が多く挙げられた。

入込客の広島空港直行便を利用しなかった理由は、「広島以外の都市も寄りたい」「直行便のことを知らなかった」「広島空港直行便のダイヤが良くない」が多く挙げられた。

(3) 広島県の旅行形態（入込客向け）

観光目的で広島県を訪問した人のうち、60%が広島県に加え、周辺県も訪問している。周遊旅行者の 46%が山口県、44%が岡山県、42%が福岡県を訪問している。

今後、広島県を旅行したいと考えている人が全体で 68%を占め、就航先の中で最も高い。旅行したくない人の理由としては、「広島県の観光地を知らない」「広島県内の交通手段がよく分からない」が多く挙げられる。

(4) 今後の広島空港の利用意向

地元客の 58%がコロナ前と比べて広島空港の利用回数は変わらないと感じており、36%は増えそうだと感じている。

入込客で広島県への訪問経験がない人のうち 62%が今後、直行便の利用意向がある。利用したくない人の理由としては、「航空機の料金が高い」「広島空港直行便の便数が少ない」「広島以外の都市も寄りたい」が多く挙げられた。また、LCC が広島空港に就航した場合、直行便を利用したい人が入込客全体で 66%を占める。

(5) 優先順位

沖縄路線は約 9 割が地元客の利用であり、路線の利用促進には地元客へのアプローチを重点化することが考えられる。地元客の直行便の認知度は 40%であり、仙台に次いで低い。

入込客も地元客と同様に、認知度の向上により直行便の利用が増加すると期待できる。今後、広島空港を旅行したいと考えている人が全体で 68%であり、国内就航先の中で最も高い。一方で、「広島県の観光地を知らない」人も多く、広島県の PR 強化が求められる。

3.3.5 台北



(1) 広島空港直行便の認知度と利用状況

広島県居住者の認知度は19%であり、台北居住者（訪日経験あり）の認知度は69%である。

広島県居住者、台北居住者の広島空港直行便利用は、それぞれ50%、49%である。広島県居住者は福岡空港、羽田空港の利用がそれぞれ31%、19%を占め、台北居住者は岡山空港が19%、福岡空港、関西空港、羽田空港、成田空港がそれぞれ5～9%を占める。

広島県居住者は、直行便の認知の有無によって、直行便の利用が50%から58%に増加する。台北居住者も、認知の有無によって直行便の利用が49%から55%に増加する。

広島空港直行便利用者の日本人の85%は今のダイヤで良いと回答しているが、外国人の67%が午前出発を午後出発に変更してほしいと回答している。

(2) 直行便を利用しなかった理由

広島県居住者の広島空港直行便を利用しなかった理由は「値段が安かった」「出発地から近かった」「利用したい日に広島空港では運航がなかった」が挙げられた。

広島空港直行便利用者の日本人のうち、79%が台北へ行く際に広島空港以外の空港を利用したことがある。そのうち福岡空港が33%、岡山空港が29%、羽田空港が19%、成田空港が10%、関西空港が5%を占める。広島空港以外を利用した理由として、「出発地（目的地）から近かった」が多く挙げられた。

台北居住者の広島空港直行便を利用しなかった理由は、「広島空港直行便のダイヤが良くない、便数が少ない」「他の航空路線に乗り慣れている」「広島以外の都市も寄りたい」が多く挙げられた。

(3) 広島県の旅行形態（入込客向け）

広島県を訪問した人のうち、68%が広島県に加え、周辺県も訪問している。周遊旅行者の70～80%が北海道、東京都、京都府、大阪府を訪問している。広島県の周辺県へは18～33%が訪問している。他の就航先と比較すると、周遊旅行の割合が高い。

今後、広島県を旅行したいと考えている人が全体で93%を占める。旅行したくない人の理由としては、「広島県の観光地を知らない」「広島県ではなく別の旅行先に行ってみたい」が多く挙げられる。

(4) 今後の広島空港の利用意向

広島空港直行便利用者の日本人（仕事目的のみ）の78%がコロナ前と比べて広島空港の利用回数が減ったと感じている。広島県居住者の84%が、今後、広島空港直行便の利用意向がある。

また、台北居住者のうち57%が今後、直行便の利用意向がある。利用したくない人の理由としては、「広島空港直行便の便数が少ない」「広島以外の都市も訪問したい」が多く挙げられた。また、広島空港を利用しないと答えた台北居住者のうちLCCが広島空港に就航した場合、直行便を利用したい人が79%を占める。

(5) 優先順位

台北路線は約7割が日本人の利用であり、路線の利用促進には、日本人旅客へのアプローチ（周辺県需要の取り込みを含む）が考えられる。地元客の直行便の認知度は19%であり、路線の認知によって直行便の利用が増加することから、認知度の向上が求められる。

台北居住者も地元客と同様に、認知度の向上により広島空港の利用が増加すると期待できる一方で、空港利用者アンケート回答者の67%が「午前出発を午後出発に変更してほしい」と回答している。広島へ移動する際に直行便を利用しなかった理由としても、ダイヤ・便数が多く、これらの改善が求められる。

他の就航先居住者と比較すると、台北居住者は周遊旅行者の割合が高く、国内の他の観光地と連携強化が求められる。

3.3.6 香港



(1) 広島空港直行便の認知度と利用状況

広島県居住者の認知度は11%である。香港居住者（訪日経験あり）の認知度は78%であり、就航先の中で最も認知度が高い。

香港居住者のうち、広島空港直行便の利用は33%であり、福岡空港が29%、岡山空港が25%、関西空港が10%を占める。

香港居住者は、認知の有無による直行便の利用に変化は特にはない。

(2) 直行便を利用しなかった理由

広島県居住者の香港訪問経験者が、広島空港直行便を利用しなかった理由として「利用したい日に広島空港では運航がなかった」「時間がちょうどよかった」が挙げられた。

香港居住者の広島空港直行便を利用しなかった理由は、「広島空港直行便の便数が少ない」「他の航空路線に乗り慣れている」「直行便のことを知らなかった」「利用したい航空会社が就航していない」が多く挙げられた。

(3) 広島県の旅行形態（入込客向け）

広島県訪問者のうち39%が広島県に加え、周辺県も訪問している。周遊旅行者の70%が東京都を訪問しており、47～58%が北海道、京都府、大阪府を訪問している。広島県の周辺県へは11～34%が訪問している。他の就航先と比較すると、周遊旅行の割合は低い。

今後、広島県を旅行したいと考えている人が全体で96%を占める。また、香港居住者は他の就航先居住者と比較すると、「しまなみ海道」は、今後の意向としての行ってみたい場所としての回答率に比べ、訪問経験者の体験としてよかったものとしての回答率が高い。

(4) 今後の広島空港の利用意向

広島県居住者の84%が、今後、香港路線が再開した場合に広島空港の利用意向がある。

また、香港居住者のうち50%が今後、直行便の利用意向がある。利用したくない人の理由としては、「広島空港直行便の便数が少ない」「他の航空路線に乗り慣れている」が多く挙げられた。

(5) 優先順位

香港路線は約 9 割が外国人の利用であった。コロナ前と同様のサービスで復便した場合には、外国人客へのアプローチを重点化することが考えられる。香港居住者（訪日経験あり）の直行便の認知度は 78%であり、海外就航先の中で最も高い。広島空港を利用しなかった理由は、「便数が少ない」が多く挙げられており、便数・ダイヤの改善が求められる。

香港居住者は、他の就航先居住者と比較すると周遊旅行の割合が低く、「しまなみ海道」の満足度が高い。したがって、広島県の PR 強化が求められる。

3.3.7 ソウル



(1) 広島空港直行便の認知度と利用状況

広島県居住者の認知度は23%であり、国際線の中で最も高い。一方、ソウル居住者（訪日経験あり）の認知度は46%であり、就航先の中で最も低い。

広島県居住者、ソウル居住者の広島空港直行便利用は、それぞれ53%、32%である。広島県居住者は福岡空港が27%、関西空港が13%を占め、ソウル居住者は岡山空港が27%、福岡空港が18%、関西空港、羽田空港、成田空港がそれぞれ5~10%を占める。

広島県居住者は、直行便の認知の有無によって、直行便の利用が53%から70%に増加する。ソウル居住者も、認知の有無によって直行便の利用が32%から34%にわずかに増加する。

(2) 直行便を利用しなかった理由

広島県居住者の広島空港直行便を利用しなかった理由は「値段が安かった」「出発地から近かった」が多く挙げられた。

ソウル居住者の広島空港直行便を利用しなかった理由は「他の航空路線に乗り慣れている」「広島空港直行便の便数が少ない」が多く挙げられた。

(3) 広島県の旅行形態（入込客向け）

広島県を訪問した人のうち、41%が広島県に加え、周辺県も訪問している。周遊旅行者の50~68%が北海道、東京都、大阪府を訪問しており、30%前後が京都府、福岡県を訪問している。広島県の周辺県へは9~21%が訪問している。他の就航先と比較すると、周遊旅行の割合は低く、広島県の周辺県を訪問する割合も低い。

今後、広島県を旅行したいと考えている人が全体で79%を占め、他の就航先と比較すると10%以上低い。旅行したくない人の理由は、「広島県ではなく別の旅行先に行ってみたい」「広島県の観光地に魅力を感じない」「広島県の観光地を知らない」が多く挙げられた。

(4) 今後の広島空港の利用意向

広島県居住者の84%が、今後、ソウル路線が再開した場合に広島空港の利用意向がある。

また、ソウル居住者のうち58%が今後、直行便の利用意向がある。利用したくない人の理由は、「他の航空路線に乗り慣れている」「広島空港直行便の便数が少ない」が多く挙げられた。

(5) 優先順位

ソウル路線は約6割が日本人の利用であった。コロナ前と同様のサービスで復便した場合には、日本人旅客へのアプローチを重点化することが考えられる。日本人客の直行便の認知度は23%であり、路線の認知によって直行便の利用が増加することから、認知度の向上が求められる。

ソウル居住者（訪日経験あり）の直行便の認知度は46%であり、就航先の中で最も低い。認知の有無によって直行便の利用は増加するものの、顕著な差はみられず、他の航空路線に旅客が流れていると考えられる。

他の就航先居住者と比較すると、ソウル居住者は周遊旅行者の割合が低く、また広島県を旅行したいと考えている人の割合も10%以上低い。要因として「別の旅行先に行ってみたい」「広島県の観光地を知らない」等が多く、ソウル居住者に広島県の魅力を発信し、広島県を旅行先に選んでもらう中で、広島空港の利用を促す必要がある。

3.3.8 シンガポール



(1) 広島空港直行便の認知度と利用状況

広島県居住者の認知度は 10%であり、シンガポール居住者（訪日経験あり）の認知度は 60%である。

広島県居住者、シンガポール居住者の広島空港直行便利用は、それぞれ 36%、49%である。広島県居住者は成田空港、関西空港、シンガポール居住者は福岡空港の利用が多い。

広島県居住者は、直行便の認知の有無によって、直行便の利用が 36%から 40%に増加する。シンガポール居住者も、認知の有無によって直行便の利用が 49%から 54%に増加する。

(2) 直行便を利用しなかった理由

広島県居住者の広島空港直行便を利用しなかった理由は「時間がちょうどよかった」「出発地から近かった」が多く挙げられた。

シンガポール居住者の広島空港直行便を利用しなかった理由は、「広島空港直行便のダイヤが良くない」「他の航空路線に乗り慣れている」「広島空港直行便の便数が少ない」が多く挙げられた。

(3) 広島県の旅行形態（入込客向け）

広島県を訪問した人のうち、51%が広島県に加え、周辺県も訪問している。周遊旅行者の 79%が東京都を訪問し、58%が大阪府を訪問している。広島県の周辺県へは 6～28%が訪問している。他の就航先と比較すると、周遊旅行先の偏りが大きい。

今後、広島県を旅行したいと考えている人が全体で 93%を占める。

(4) 今後の広島空港の利用意向

広島県居住者の 84%が、今後、シンガポール路線が再開した場合に広島空港の利用意向がある。

シンガポール居住者のうち 61%が今後、直行便の利用意向がある。利用したくない人の理由としては、「広島空港直行便のダイヤが良くない、便数が少ない」が多く挙げられた。

(5) 優先順位

シンガポール路線は約 6 割が日本人の利用であり、コロナ前と同様のサービスで復便した場合には、日本人旅客へのアプローチを重点化することが考えられる。広島空港を利用しなかった理由としては、他空港の方が、時間がちょうどよかったことや、出発地から近かったことが多く挙げられた。まずは路線の認知度を向上させることが重要と考える。

シンガポール居住者の直行便の認知度は 60%であるものの、認知の差による直行便の利用に顕著な増加はみられない。広島空港を利用しなかった理由として、ダイヤ・便数や他の航空路線を挙げている人が多く、ダイヤや便数を改善し、広島空港を利用する機会を増やすことが求められる。

3.3.9 バンコク



(1) 広島空港直行便の認知度と利用状況

広島県居住者の認知度は 10%であり、バンコク居住者の認知度は 71%である。

広島県居住者、バンコク居住者の広島空港直行便利用は、それぞれ 33%、54%である。広島県居住者、バンコク居住者ともに福岡空港や関西空港の利用が多い。

(2) 直行便を利用しなかった理由

広島県居住者の広島空港直行便を利用しなかった理由は「利用したい日に広島空港では運航がなかった」「時間がちょうどよかった」「出発地から近かった」「値段が安かった」が挙げられる。

バンコク居住者の広島空港直行便を利用しなかった理由は、「他の航空路線に乗り慣れている」「広島空港直行便の便数が少ない」「広島以外の都市も訪問したい」が多く挙げられた。

(3) 広島県の旅行形態（入込客向け）

広島県を訪問した人のうち、68%が広島県に加え、周辺県も訪問している。周遊旅行者の 68～77%が北海道、東京都を訪問し、57%が京都府、大阪府を訪問している。広島県の周辺県へは 11～22%が訪問している。他の就航先と比較すると、周遊旅行の割合は高い。

今後、広島県を旅行したいと考えている人が全体で 99%を占め、他の就航先と比較すると最も旅行意欲が高い。

(4) 今後の広島空港の利用意向

広島県居住者の 83%が、今後、バンコク路線が再開した場合に広島空港の利用意向がある。

バンコク居住者のうち 54%が今後、直行便の利用意向がある。利用したくない人の理由は、「広島空港直行便の便数が少ない」「他の航空路線に乗り慣れている」「直行便のことをよく知らない」が多く挙げられた。

(5) 優先順位

地元客の直行便の認知度は10%であり、認知の有無による直行便の利用に変化は特にみられない。バンコク居住者も認知の有無によって直行便の利用が増加するものの、顕著な差はみられない。

他の就航先居住者と比較すると、バンコク居住者は周遊旅行者の割合が高く、国内の他の観光地と連携を強化することが効果的と考えられる。また、今後、広島県を旅行したいと考えている人が全体で99%を占め、就航先の中で最も高いため、今後の需要の増加が期待ができる。便数やダイヤを見直し、バンコク居住者にとってより利便性を高めることが求められる。

3.3.10 上海



(1) 広島空港直行便の認知度と利用状況

広島県居住者の認知度は 14%である。

直行便を利用しなかった理由は、「出発地から近かった」「利用したい日に広島空港では運航がなかった」と回答している。

(2) 今後の広島空港の利用意向

広島県居住者の 84%が、今後、上海路線が再開した場合に広島空港の利用意向がある。

(3) 優先順位

上海路線は約 6 割が日本人の利用であり、コロナ前と同様のサービスで復便した場合には、日本人旅客へのアプローチを重点化することが考えられる。

広島空港を利用しなかった理由として、他空港の方が出発地から近かったことや、利用したい日に広島空港では運航がなかったことが多く挙げられた。まずは路線の認知度を向上させることが重要である。

3.3.11 大連・北京

(1) 広島空港直行便の認知度と利用状況

広島県居住者の認知度は 10%であり、国際線の中で最も低い。

(2) 今後の広島空港の利用意向

広島県居住者の 85%が、今後、大連路線が再開した場合に広島空港の利用意向がある。

(3) 優先順位

大連・北京路線は、日本人と外国人の割合がちょうど 5 割ずつであった。地元客の認知度は 10%であり、国際線の中で最も低いため、まずは路線の周知に取り組む必要がある。

広島空港の利用実態等に関する調査・分析業務

概要版

令和6年3月 株式会社日本空港コンサルタンツ

目次

1. 調査概要	4
2. 経年変化	5
3. 国内線利用者の特性	11
4. 国際線利用者の特性	24
5. 路線ごとの特徴分析	39

1. 調査概要

広島空港の利用者特性や利用実態を分析するため空港利用者にアンケート調査を実施

	内容
調査方法	広島空港の搭乗待合室内にて、調査票を配布・回収 回答者には粗品を進呈
調査日	国内線:2024年2月27日(火)、28日(水) 国際線:2024年2月27日(火)、28日(水)、3月5日(火)、6日(水) ※いずれも平日に調査を実施
回数票数	国内線 451 票、国際線 417 票
調査内容	旅行の内容、アクセス手段、他空港・他交通機関の利用状況、属性



2. 経年変化

過去の調査データも活用し、コロナ前後の変化を分析

▼調査時期

	2018年度	2019年度	2022年度	2023年度
調査時期	2019年2月	2020年2月	2023年3月	2024年2月
備考		コロナ禍直前		今回調査

- 例年2月～3月に実施。
- 大学生(20代)の観光旅行も多い。
- コロナ期間中は調査を休止。

▼国際線便数

	出発便/週			
	2019年2月	2020年2月	2023年3月	2024年2月
ソウル	2			14
台北	7	7	4	4
上海	7	4		3
北京/大連	4	2		2
香港	3	3		
シンガポール	2	3		
バンコク		3		
合計	25	21	4	23

- 国際線の便数は、概ねコロナ前水準まで回復。
- ソウル便が大幅に増便した一方で、その他の路線の便数はコロナ前水準まで回復していない。



国内旅客

▼現住所地

	2018	2019	2022	2023
全体	402	397	413	451
広島県	227	196	216	225
中国・四国地方	15	11	15	9
それ以外	160	190	182	217

2018	2019	2022	2023
100%	100%	100%	100%
56%	49%	52%	50%
4%	3%	4%	2%
40%	48%	44%	48%

- 広島県居住者とそれ以外（就航先居住者）が概ね半数ずつ。
- 2018年度と2023年度を比較すると、広島県居住者が減少し、就航先居住者が増加（40%➡48%）。

▼旅行目的

	2018	2019	2022	2023
全体	418	402	414	451
観光・レジャー	219	238	193	258
仕事	110	111	138	125
私用・帰省・冠婚葬祭	76	44	71	60
その他	13	9	12	8

2018	2019	2022	2023
100%	100%	100%	100%
52%	59%	47%	57%
26%	28%	33%	28%
18%	11%	17%	13%
3%	2%	3%	2%

- 観光・レジャーが多い。
- 2018年度と2023年度を比較すると、観光・レジャーが増加（52%➡57%）。

2.経年変化

国内旅客

▼アクセス交通手段

	2018	2019	2022	2023
全体	416	402	409	448
空港リムジンバス	225	188	173	229
乗用車 駐車場あり	114	103	134	102
乗用車 駐車場なし	31	35	27	30
観光バス・貸切バス	4	22	6	13
JR+路線バス 白市乗換	8	21	19	25
レンタカー	27	26	35	38
タクシー・ハイヤー	4	1	13	7
カーシェア		1		
その他	3	5	2	4

乗用車

	2018	2019	2022	2023
全体	100%	100%	100%	100%
空港リムジンバス	54%	47%	42%	51%
乗用車 駐車場あり	27%	26%	33%	23%
乗用車 駐車場なし	7%	9%	7%	7%
観光バス・貸切バス	1%	5%	1%	3%
JR+路線バス 白市乗換	2%	5%	5%	6%
レンタカー	6%	6%	9%	8%
タクシー・ハイヤー	1%	0%	3%	2%
カーシェア		0%		
その他	1%	1%	0%	1%

- 空港リムジンバスの利用が最も多い。
- 乗用車の利用は2022年度では39%であり、コロナ前の調査に比べ増加していた。2023年度では乗用車の利用は減少。
- 全体に占める割合としては多くないが、白市乗換やレンタカーの利用が微増。

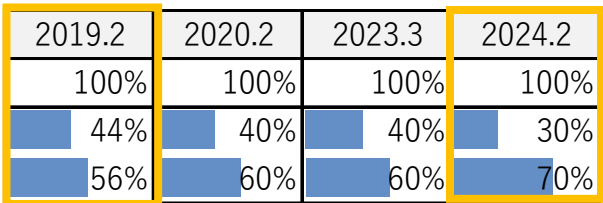


国際旅客

▼日本人・外国人

	2019.2	2020.2	2023.3	2024.2
全体	12,148	6,917	1,662	13,931
日本人	5,325	2,794	662	4,244
外国人	6,823	4,123	1,000	9,687

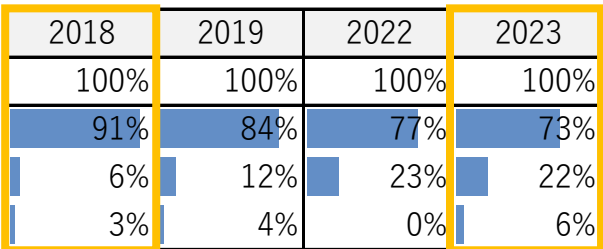
資料：出入国管理統計



- 外国人旅行者が増加(56%➡70%)。
- 歴史的な円安傾向も影響。

▼日本人の現住所

	2018	2019	2022	2023
全体	101	166	44	234
広島県	92	140	34	170
中国・四国地方	6	20	10	51
その他	3	6	0	13



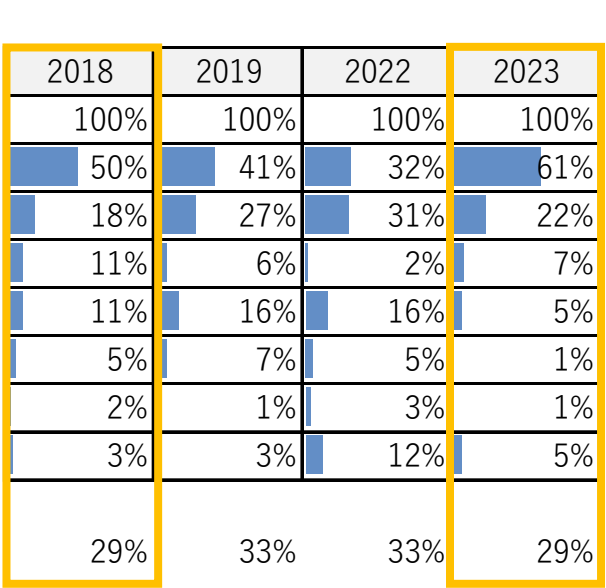
- 広島県のほか、周辺県からの利用が増加。(6%➡22%)
- 2023年度は岡山県からの利用が32人で多い。特にソウル便(午前便、午後便ともに)。



国際旅客

▼アクセス交通手段

	2018	2019	2022	2023
全体	412	393	109	393
空港リムジンバス	204	160	35	239
乗用車 駐車場あり	75	106	34	85
乗用車 駐車場なし	45	24	2	28
観光バス・貸切バス	44	63	17	18
レンタカー	22	26	5	2
タクシー・ハイヤー	10	2	3	3
JR+路線バス 白市乗換	12	12	13	18
乗用車	120	130	36	113



- 空港リムジンバスの利用が増加(50% ➡61%)。個人手配による旅行が増えていることが伺える。
 - 観光バス・貸切バスの利用が減少。
- ソウル便の増便、台北便の減便の影響

3.国内線利用者の特性

(2023年度結果の詳細)

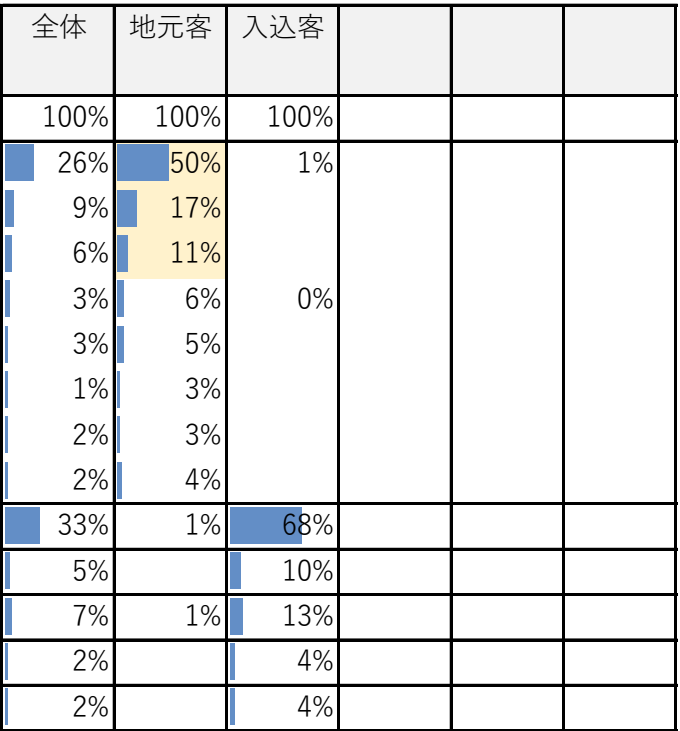
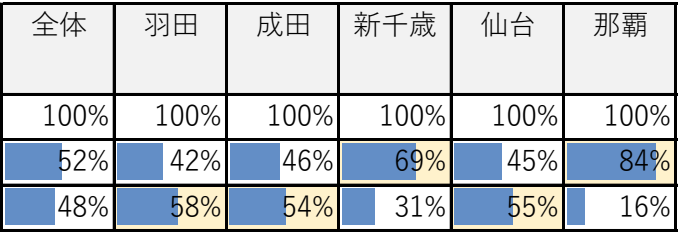
3.国内線利用者の特性



国内旅客 | 居住地

路線	人					
	全体	羽田	成田	新千歳	仙台	那覇
全体	451	220	56	59	58	58
地元客	235	93	26	41	26	49
入込客	216	127	30	18	32	9

地名	人					
	全体	地元客	入込客			
全体	451	235	216			
広島	119	117	2			
東広島	41	41				
福山	26	26				
尾三	14	13	1			
呉	12	12				
宮島	6	6				
他広島県	7	7				
周辺県	9	9				
関東甲信越	148	2	146			
北海道	22		22			
東北	30	2	28			
沖縄	8		8			
その他	9		9			



- 羽田、成田、仙台は入込客が多い。
- 新千歳、那覇は地元客が多い。
- ※地元客：中四国居住者
- 地元客の約50%は広島市周辺。広島、東広島、福山の順で多く、これらで約80%を占める。
- 周辺県は少ない。



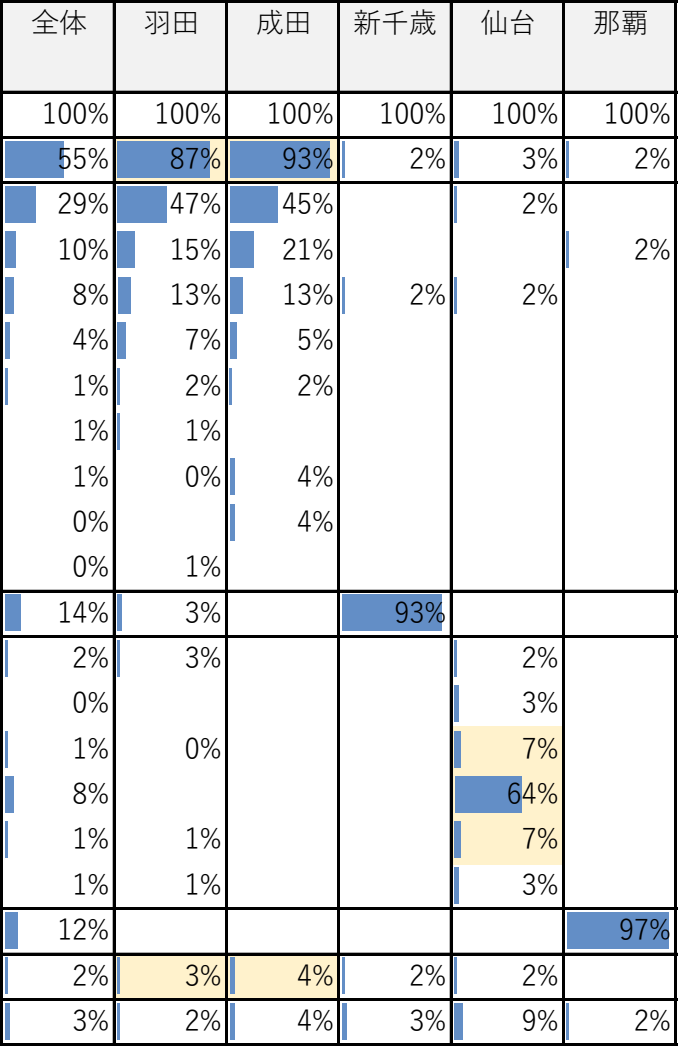
3.国内線利用者の特性



国内旅客 | 就航先

就航先の発着地 人

	全体	羽田	成田	新千歳	仙台	那覇
全体	451	220	56	59	58	58
関東甲信越	248	192	52	1	2	1
東京都	129	103	25		1	
千葉県	47	34	12			1
神奈川県	37	28	7	1	1	
埼玉県	19	16	3			
群馬県	6	5	1			
栃木県	3	3				
茨城県	3	1	2			
山梨県	2		2			
長野県	2	2				
北海道	62	7		55		
青森県	7	6			1	
秋田県	2				2	
岩手県	5	1			4	
宮城県	37				37	
山形県	6	2			4	
福島県	4	2			2	
沖縄県	56					56
海外	10	6	2	1	1	
不明	14	4	2	2	5	1



- 羽田便は、関東甲信越のほか、北海道、東北との移動にも利用されている。
- 成田便は、関東甲信越に限定。
- 羽田便、成田便は海外への乗り継ぎもみられる。
- 仙台便は、宮城県のほか東北各県への移動にも利用されている。

3.国内線利用者の特性



国内旅客 | 乗継状況 ※外部データによる集計

乗継ぎ状況 千人

	全体	羽田	成田	新千歳	仙台	那覇
全体	2,608	2,126	205	177	データ無	100
乗継がない	2,238	1,798	192	161		86
乗継ぐ	370	328	12	16		13

全体	羽田	成田	新千歳	仙台	那覇
100%	100%	100%	100%	データ無	100%
86%	85%	94%	91%		86%
14%	15%	6%	9%		14%

乗継先の内訳（上位10空港） 千人

	全体	羽田	成田	新千歳	仙台	那覇
全体	370	328	12	16		13
新千歳	44	42	2			
那覇	38	38				
秋田	22	20		3		
小松	22	22				
青森	17	15	0	3		
函館	12	12		0		
台北	12	7		0		5
香港	12	11				1
ホノルル	9	9	0	0		0
釧路	8	7	0	1		
その他	173	146	10	9		7

新千歳との利用経路 千人

	合計	直行	経由
新千歳発着旅客	205	161	44
利用経路の割合	100%	78%	22%

- 広島空港の国内線利用者のうち、14%は就航先で別の便に乗り継いでいる。
- 乗継先の旅客数が多いのは、新千歳、那覇、秋田、小松、青森。
- 広島-新千歳で直行便を利用する割合は78%。
- 新千歳便は道内空港(釧路、女満別)、那覇便は離島空港(石垣、宮古)との乗継旅客もみられる。

Ciriumによる航空券の予約データ(2023年1月~12月)に基づく推計値

3.国内線利用者の特性



国内旅客 | 乗継状況 ※空港アンケートの集計

乗り継ぎ状況	人					
	全体	羽田	成田	新千歳	仙台	那覇
全体	451	220	56	59	58	58
乗り継がない	415	197	54	56	58	50
乗り継ぐ	36	23	2	3		8

乗継先の内訳	人					
	全体	羽田	成田	新千歳	仙台	那覇
全体	36	23	2	3		8
新千歳	5	5				
女満別	1	1				
中標津	2			2		
釧路	2	1		1		
青森	8	8				
宮古	6					6
石垣	1					1
与那国	1					1
アジア	1	1				
北米	2		2			
欧州	6	6				
不明	1	1				

全体	羽田	成田	新千歳	仙台	那覇
100%	100%	100%	100%	100%	100%
92%	90%	96%	95%	100%	86%
8%	10%	4%	5%		14%

新千歳との利用経路	人		
	合計	直行	経由
新千歳発着旅客	61	56	5
利用経路の割合	100%	92%	8%

- 乗継旅客の割合は8%。前頁の航空券の予約データに比べると少なく、十分に回収できていない。
- 乗継旅客は羽田便で多い点は予約データと類似。

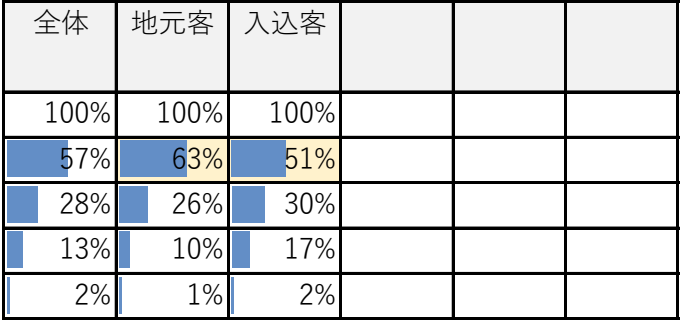
3.国内線利用者の特性



国内旅客 | 旅行目的

居住地 人

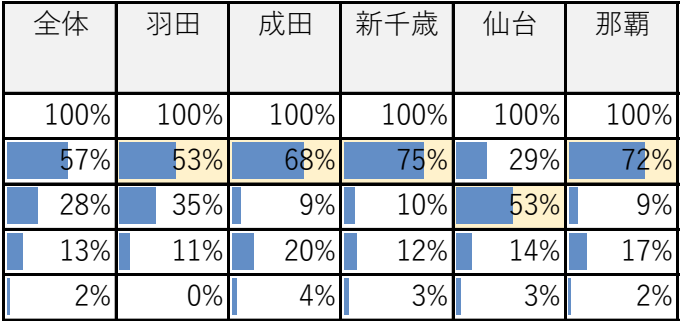
	全体	地元客	入込客			
全体	451	235	216			
観光・レジャー	258	147	111			
仕事	125	61	64			
私用・帰省・冠婚葬祭	60	24	36			
その他	8	3	5			



➤ 地元客のほうがやや観光・レジャーが多い。

路線 人

	全体	羽田	成田	新千歳	仙台	那覇
全体	451	220	56	59	58	58
観光・レジャー	258	117	38	44	17	42
仕事	125	78	5	6	31	5
私用・帰省・冠婚葬祭	60	24	11	7	8	10
その他	8	1	2	2	2	1

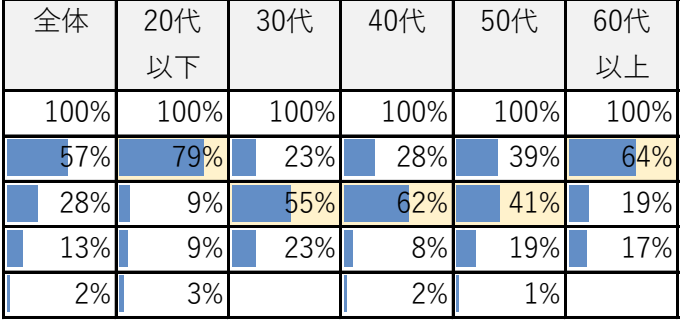


➤ 羽田、成田、新千歳、那覇は観光が多い。
➤ 仙台は仕事が多い。

→ 20代の回収が多かった影響もある。

年代 人

	全体	20代以下	30代	40代	50代	60代以上
全体	451	185	44	60	74	88
観光・レジャー	258	146	10	17	29	56
仕事	125	17	24	37	30	17
私用・帰省・冠婚葬祭	60	16	10	5	14	15
その他	8	6		1	1	



➤ 20代、60代は観光が中心。

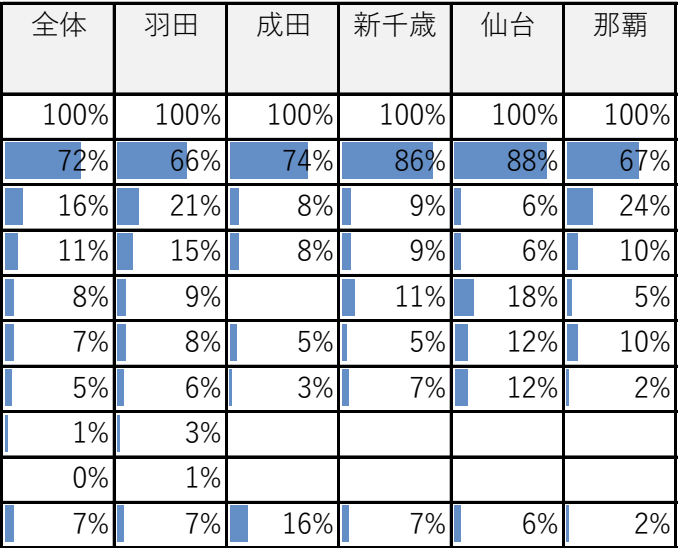
3.国内線利用者の特性



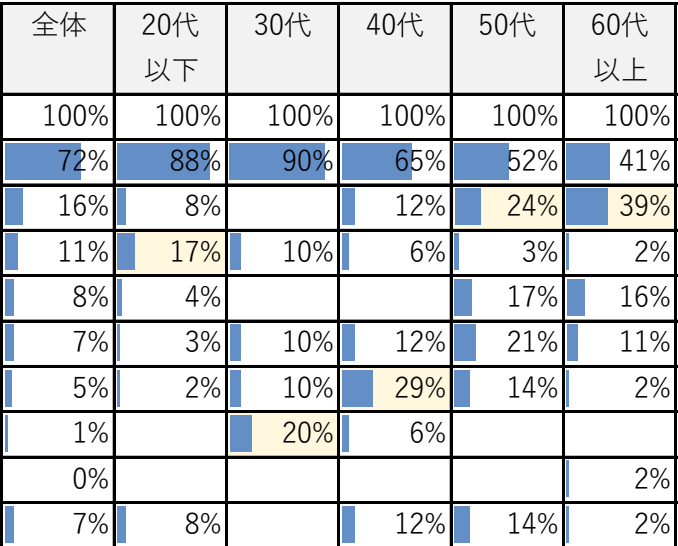
国内旅客 | 旅行のきっかけとなったもの

路線	人					
	全体	羽田	成田	新千歳	仙台	那覇
全体	258	117	38	44	17	42
友人や家族との会話	186	77	28	38	15	28
旅行会社のチラシ等	42	24	3	4	1	10
Instagram	29	17	3	4	1	4
かゝイトブック・旅行雑誌	20	10		5	3	2
テレビ番組	19	9	2	2	2	4
Youtube	14	7	1	3	2	1
X	3	3				
Facebook	1	1				
その他	19	8	6	3	1	1

年代	人					
	全体	20代以下	30代	40代	50代	60代以上
全体	258	146	10	17	29	56
友人や家族との会話	186	128	9	11	15	23
旅行会社のチラシ等	42	11		2	7	22
Instagram	29	25	1	1	1	1
かゝイトブック・旅行雑誌	20	6			5	9
テレビ番組	19	4	1	2	6	6
Youtube	14	3	1	5	4	1
X	3		2	1		
Facebook	1					1
その他	19	12		2	4	1



➤ 羽田便はソーシャルメディアの割合が高い(24%)。



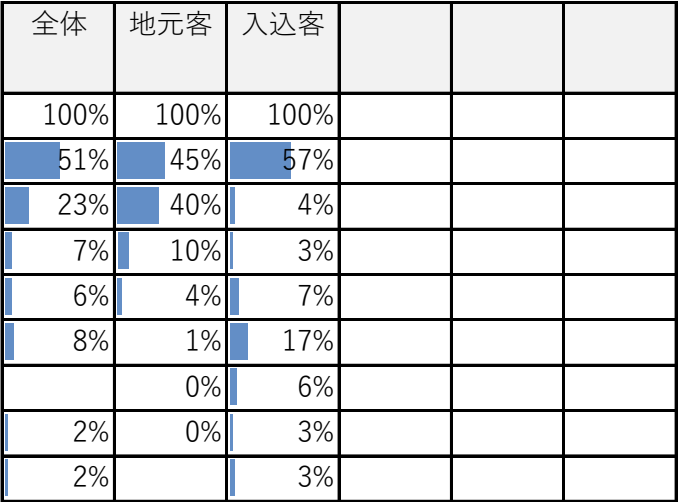
- 世代によって情報収集に利用するメディアが移行している。
- 20代以下はInstagram
- 30代はX
- 40代はYouTube
- 50代は旅行会社・テレビ番組
- 60代以上は旅行会社



国内旅客 | 空港アクセス手段

居住地 人

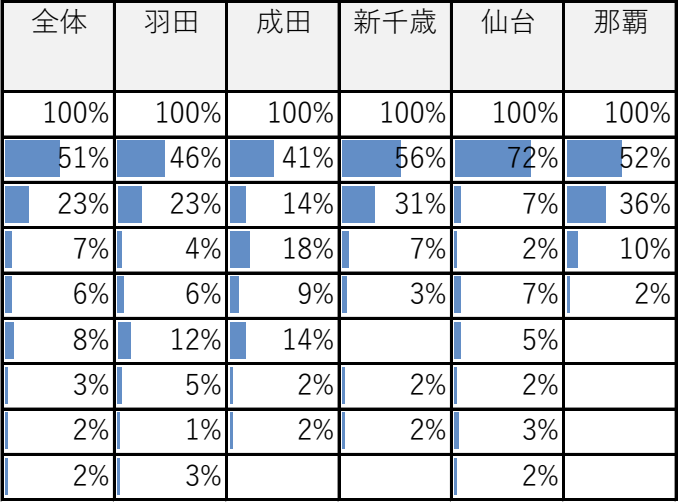
	全体	地元客	入込客			
全体	451	235	216			
空港リムジンバス	229	105	124			
乗用車 駐車場あり	102	93	9			
乗用車 駐車場なし	30	24	6			
JR + バス 白市乗換	25	9	16			
レンタカー	38	2	36			
観光バス・貸切バス		1	12			
タクシー・ハイヤー	7	1	6			
その他	7		7			



- 約50%が空港リムジンバスを利用。
- 地元客は乗用車50%、空港リムジン45%。
- 入込客は空港リムジン57%、レンタカー17%。

路線 人

	全体	羽田	成田	新千歳	仙台	那覇
全体	451	220	56	59	58	58
空港リムジンバス	229	101	23	33	42	30
乗用車 駐車場あり	102	51	8	18	4	21
乗用車 駐車場なし	30	9	10	4	1	6
JR + バス 白市乗換	25	13	5	2	4	1
レンタカー	38	27	8		3	
観光バス・貸切バス	13	10	1	1	1	
タクシー・ハイヤー	7	3	1	1	2	
その他	7	6			1	



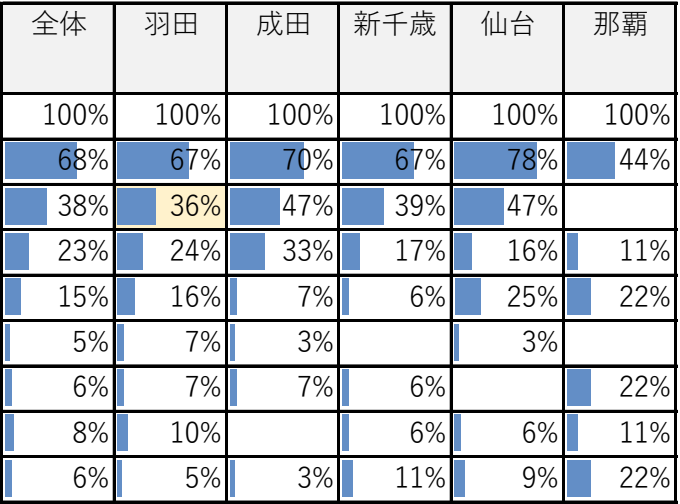
3.国内線利用者の特性



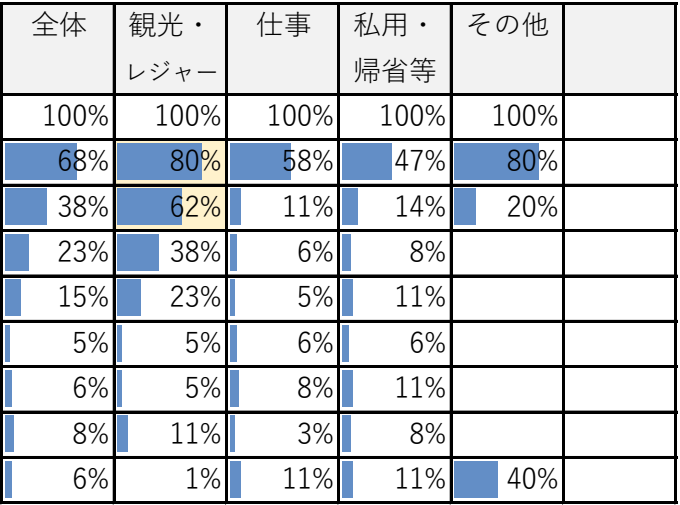
国内旅客 | 広島県内の訪問地(入込客)

路線	人					
	全体	羽田	成田	新千歳	仙台	那覇
全体	216	127	30	18	32	9
広島市	147	85	21	12	25	4
廿日市市	82	46	14	7	15	
尾道市	49	30	10	3	5	1
呉市	33	20	2	1	8	2
福山市	11	9	1		1	
三原市	14	9	2	1		2
竹原市	17	13		1	2	1
東広島市	14	6	1	2	3	2

旅行目的	人					
	全体	観光・ レジャー	仕事	私用・ 帰省等	その他	
全体	216	111	64	36	5	
広島市	147	89	37	17	4	
廿日市市	82	69	7	5	1	
尾道市	49	42	4	3		
呉市	33	26	3	4		
福山市	11	5	4	2		
三原市	14	5	5	4		
竹原市	17	12	2	3		
東広島市	14	1	7	4	2	



- 広島市、廿日市市、尾道市、呉市の順が多い。
- 羽田便の入込客のうち宮島のある廿日市市の訪問率は36%。



- 観光客の80%が広島市、62%が廿日市市を訪問。
- 仕事や私用では廿日市市の訪問率は低い。

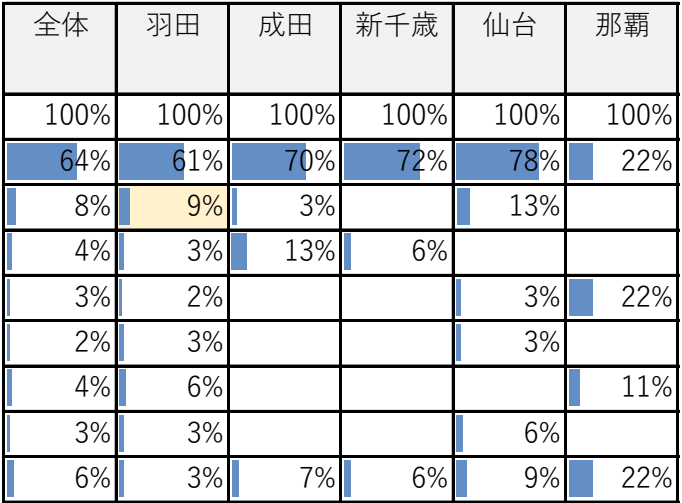
3.国内線利用者の特性



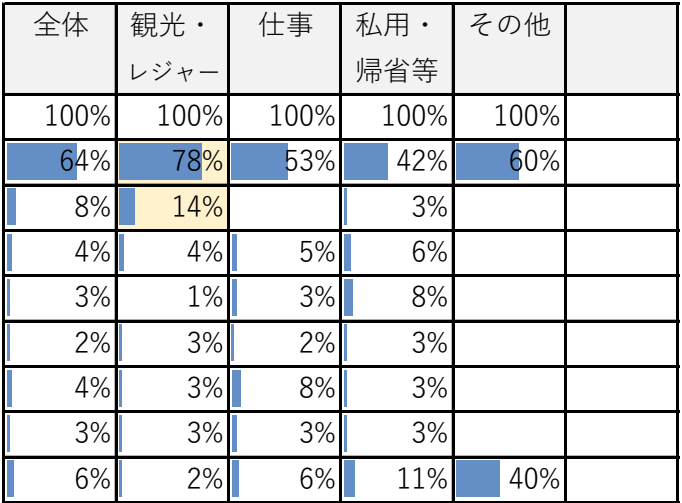
国内旅客 | 広島県内の宿泊地(入込客)

路線	人					
	全体	羽田	成田	新千歳	仙台	那覇
全体	216	127	30	18	32	9
広島市	139	78	21	13	25	2
廿日市市	17	12	1		4	
尾道市	9	4	4	1		
呉市	6	3			1	2
福山市	5	4			1	
三原市	9	8				1
竹原市	6	4			2	
東広島市	12	4	2	1	3	2

旅行目的	人					
	全体	観光・ レジャー	仕事	私用・ 帰省等	その他	
全体	216	111	64	36	5	
広島市	139	87	34	15	3	
廿日市市	17	16		1		
尾道市	9	4	3	2		
呉市	6	1	2	3		
福山市	5	3	1	1		
三原市	9	3	5	1		
竹原市	6	3	2	1		
東広島市	12	2	4	4	2	



- 広島市、廿日市市、尾道市、呉市の順で多い。
- 羽田便の入込客のうち宮島のある廿日市市の宿泊率は9%であり、訪問率の36%に比べ少ない。
→訪問者の約25%が宿泊。



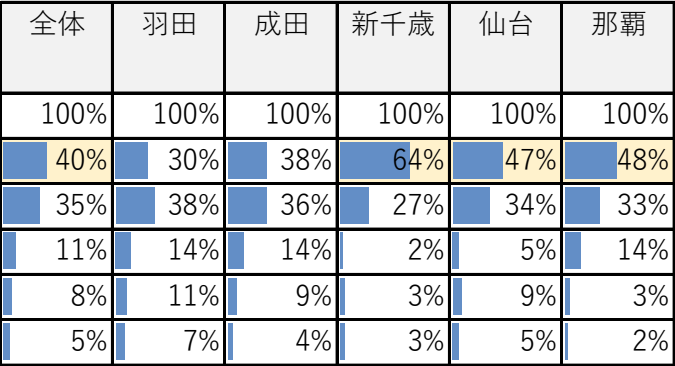
- 宿泊地は広島市に集中。
- 観光客の78%が広島市、14%が廿日市市に宿泊。
- 観光客の廿日市市の宿泊率は14%であり、訪問率62%に比べ少ない。
→訪問者の約25%が宿泊。



国内旅客 | 過去5年間の移動経験

路線人

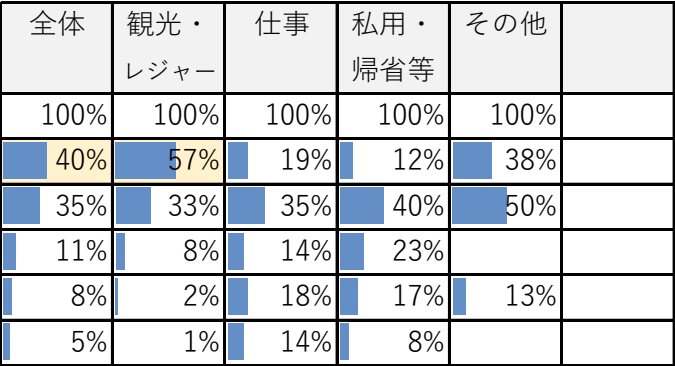
	全体	羽田	成田	新千歳	仙台	那覇
全体	451	220	56	59	58	58
1回（初めての移動）	180	66	21	38	27	28
2～5回	158	83	20	16	20	19
6～10回	51	31	8	1	3	8
11～20回	38	24	5	2	5	2
21回以上	24	16	2	2	3	1



- 約60%が5年間で複数回利用。
- 羽田、成田はリピーターが多い。羽田は約70%が5年間で複数回利用。
- 新千歳、仙台、那覇は初めての利用が多い。

旅行目的人

	全体	観光・レジャー	仕事	私用・帰省等	その他
全体	451	258	125	60	8
1回（初めての移動）	180	146	24	7	3
2～5回	158	86	44	24	4
6～10回	51	20	17	14	
11～20回	38	4	23	10	1
21回以上	24	2	17	5	



- 仕事、私用はリピーターが多い。
- 観光は初めての利用が多い。

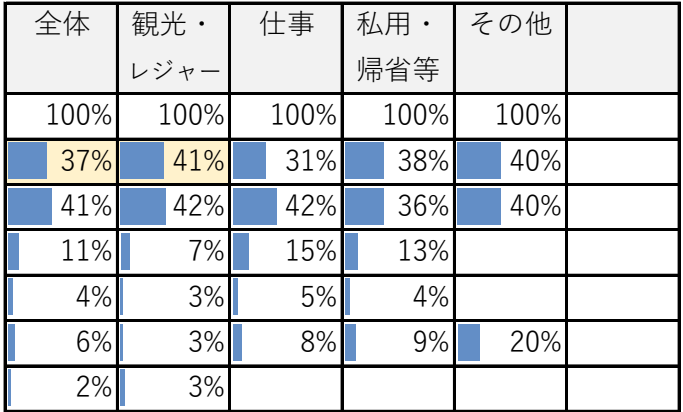
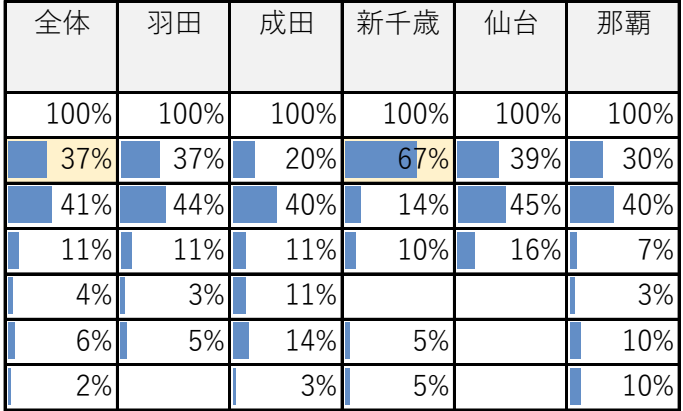
3.国内線利用者の特性



国内旅客 | 他経路の利用状況 ※複数回の移動経験者への設問

路線	全体	羽田	成田	新千歳	仙台	那覇
全体	271	154	35	21	31	30
広島空港だけを利用	99	57	7	14	12	9
1～3回	110	67	14	3	14	12
4～6回	30	17	4	2	5	2
7～10回	10	5	4			1
11回以上	17	8	5	1		3
不明	5		1	1		3

旅行目的	全体	観光・レジャー	仕事	私用・帰省等	その他
全体	271	112	101	53	5
広島空港だけを利用	99	46	31	20	2
1～3回	110	47	42	19	2
4～6回	30	8	15	7	
7～10回	10	3	5	2	
11回以上	17	3	8	5	1
不明	5	5			



- 広島空港だけを利用しているのは約40%であり、残りの約60%は他の経路も利用。
- ➔ 固定客の割合は約24%（複数回利用60%×継続利用40%）。
- ➔ 約36%（複数回利用60%×使い分け利用60%）の旅客が状況に応じて他の経路も利用している。
- 新千歳は広島空港だけを利用する割合が高い。
- 観光は広島空港だけを利用する割合が比較的高い一方、仕事は低い。

3.国内線利用者の特性

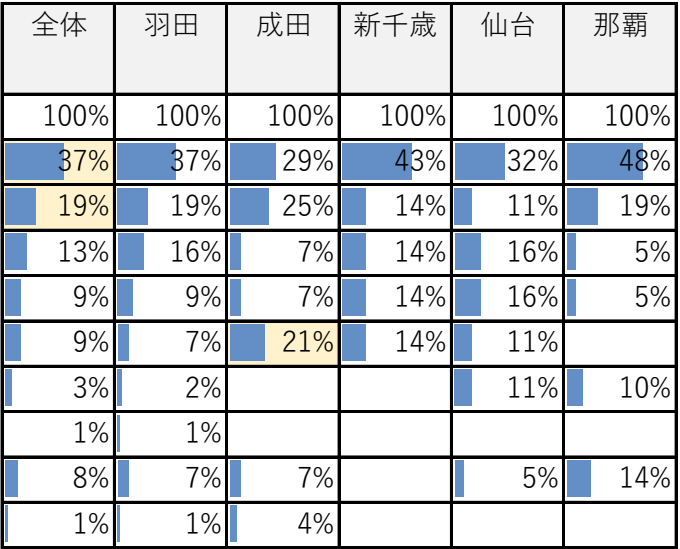


国内旅客 | 他経路の利用理由

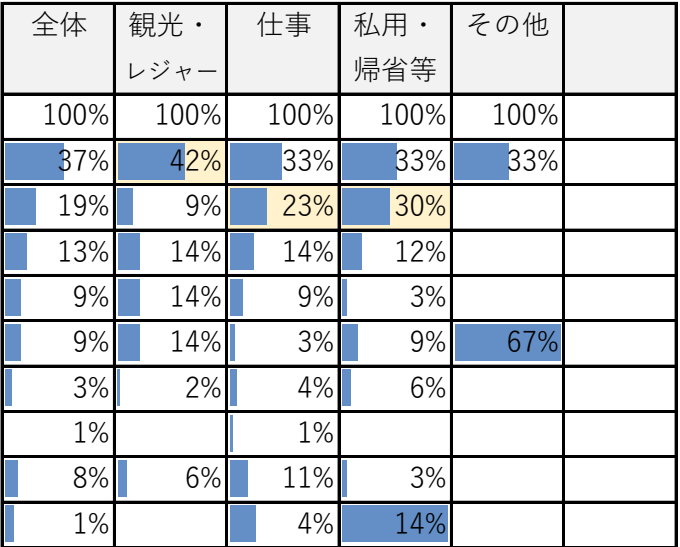
※複数回の移動経験者への設問

路線	人					
	全体	羽田	成田	新千歳	仙台	那覇
全体	172	97	28	7	19	21
発着地から近かった	63	36	8	3	6	10
時間が合わなかった	32	18	7	1	2	4
定時性に不安がある	23	16	2	1	3	1
決められていた	16	9	2	1	3	1
値段が安かった	16	7	6	1	2	
満席だった	6	2			2	2
欠航になった	1	1				
その他	13	7	2		1	3
不明	2	1	1			

旅行目的	人				
	全体	観光・レジャー	仕事	私用・帰省等	その他
全体	172	66	70	33	3
発着地から近かった	63	28	23	11	1
時間が合わなかった	32	6	16	10	
定時性に不安がある	23	9	10	4	
決められていた	16	9	6	1	
値段が安かった	16	9	2	3	2
満席だった	6	1	3	2	
欠航になった	1		1		
その他	13	4	8	1	
不明	2		1	1	



- 「発着地から近かった」が最多。特に観光目的が多い。
→広島空港に近い観光地への誘客や、広島空港とのアクセスの近さをPRすることが利用者の増加につながる。
- 仕事目的、私用目的は、「時間が合わなかったから」も多い。
→時間への意識が高い。また、便数の感度が高いと思われる。



- 成田は「値段が安かった」も多い。
→料金への関心が高い。割引が効果的な施策となる。

4. 国際線利用者の特性

(2023年度結果の詳細)

4.国際線利用者の特性



国際旅客 | 国籍・居住地

国籍 人

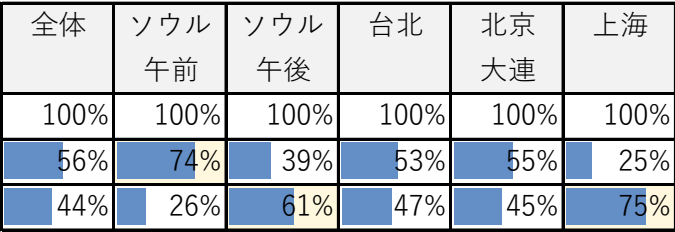
	全体	ソウル 午前	ソウル 午後	台北	北京 大連	上海
全体	417	178	126	58	31	24
日本人	234	131	49	31	17	6
外国人	183	47	77	27	14	18

日本人 | 現住所地 人

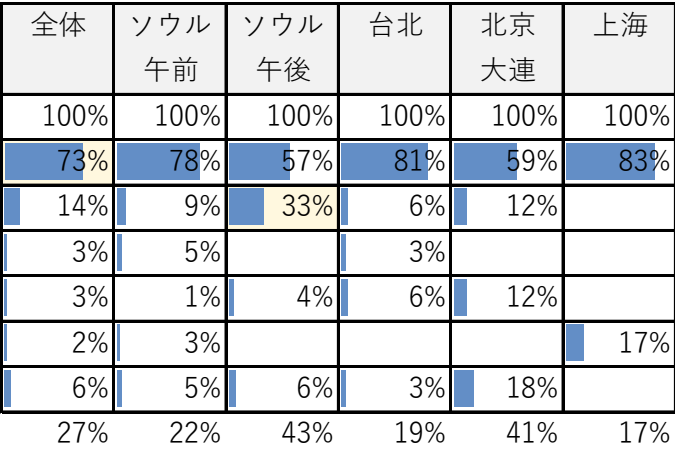
	全体	ソウル 午前	ソウル 午後	台北	北京 大連	上海
全体	234	131	49	31	17	6
広島県	170	102	28	25	10	5
岡山県	32	12	16	2	2	
島根県	7	6		1		
山口県	7	1	2	2	2	
愛媛県	5	4				1
その他	13	6	3	1	3	
広島県外	64	29	21	6	7	1

外国人 | 国籍 人

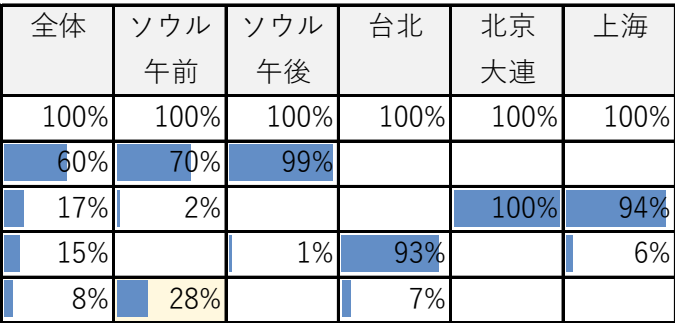
	全体	ソウル 午前	ソウル 午後	台北	北京 大連	上海
全体	183	47	77	27	14	18
韓国	109	33	76			
中国	32	1			14	17
台湾	27		1	25		1
欧米豪等	15	13		2		



- ソウルの午前便は日本人、午後便は外国人が多い。
- 上海便は外国人の利用が多い。



- 日本人の現住所は、広島県の割合は73%であり、27%は県外客である。
- 岡山県からのソウル便の利用がある。



- 外国人の国籍は、就航先国・地域が多いものの、ソウルの午前便は欧米豪などの利用もある。

国際旅客 | フライト時間の希望

10:45 16:30 9:30 14:20 13:30

日本人

全体	ソウル 午前	ソウル 午後	台北	北京 大連	上海
100%	100%	100%	100%	100%	100%
20%	18%	31%	6%	12%	50%
79%	82%	65%	87%	88%	50%
2%		4%	6%		

➤ 日本人の約80%、外国人の約70%は現在の出発時刻が良いと回答。

外国人 人

全体	ソウル 午前	ソウル 午後	台北	北京 大連	上海
100%	100%	100%	100%	100%	100%
9%	6%	9%	4%	29%	6%
68%	74%	66%	56%	57%	89%
23%	19%	25%	41%	14%	6%

➤ 日本人は比較的早い時間の出発を希望する傾向にある一方、外国人は遅い時間を希望している。

➤ 特に台北便は広島空港出発が9:30であるため、遅い時間を希望する外国人が41%となっている。

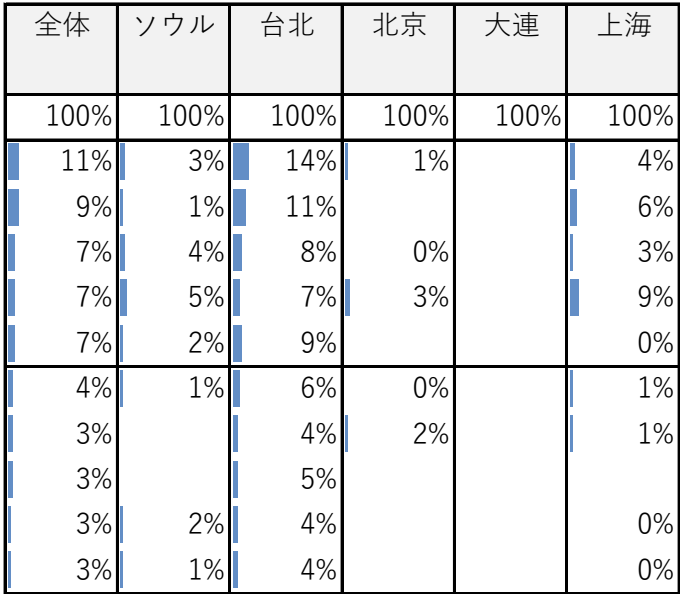
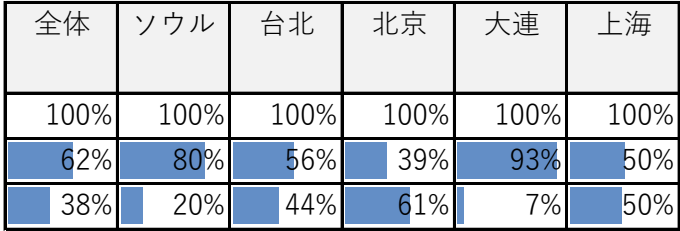
4.国際線利用者の特性



国際旅客 | 乗継状況 ※外部データによる集計

	全体	ソウル	台北	北京	大連	上海
全体	84,197	15,830	54,165	1,745	4,557	7,900
乗り継がない	52,166	12,690	30,563	689	4,239	3,986
乗り継ぐ	32,031	3,140	23,602	1,056	318	3,914

乗継先	全体	ソウル	台北	北京	大連	上海
全体	32,031	3,140	23,602	1,056	318	3,914
バンコク	3,480	105	3,202	15		158
ハノイ	2,974	35	2,707			231
ホーチミン	2,233	114	1,996	4		119
シンガポール	2,208	171	1,648	34		354
マニラ	2,204	51	2,145			9
香港	1,390	35	1,301	1		54
フランクフルト	1,071		1,000	17		54
オンタリオ	1,069		1,069			
サンフランシスコ	969	72	895			2
バンクーバー	939	40	895			4
その他	13,495	2,516	6,746	986	318	2,929



- 広島空港の国際線利用者のうち、38%は就航先で別の便に乗り継いでいる。
- 乗継先の旅客数が多いのは、バンコク、ハノイ、ホーチミン、シンガポールなど東南アジアの都市である。
- 乗継旅客は台北路線が多い。
- 2023年1～12月のデータであるため、2023年10月以降のソウル便のデイリー化の旅客数は限定的である。また、2024年1月からのダブルデイリー化の影響も含まれていない。

Ciriumによる航空券の予約データ(2023年1月～12月)に基づく推計値



国際旅客 | 乗継状況 ※空港アンケートの集計

日本人 人

	全体	ソウル 午前	ソウル 午後	台北	北京 大連	上海
全体	234	131	49	31	17	6
乗継がない	224	131	48	27	13	5
乗継ぐ	10		1	4	4	1

全体	ソウル 午前	ソウル 午後	台北	北京 大連	上海
100%	100%	100%	100%	100%	100%
96%	100%	98%	87%	76%	83%
4%		2%	13%	24%	17%

➤乗継旅客の割合は4%。前頁の航空券の予約データに比べると少なく、十分に回収できていない。

外国人 人

	全体	ソウル 午前	ソウル 午後	台北	北京 大連	上海
全体	183	47	77	27	14	18
乗継がない	167	45	75	26	10	11
乗継ぐ	16	2	2	1	4	7

全体	ソウル 午前	ソウル 午後	台北	北京 大連	上海
100%	100%	100%	100%	100%	100%
91%	96%	97%	96%	71%	61%
9%	4%	3%	4%	29%	39%

日本人+外国人 | 乗継先 人

	全体	ソウル 午前	ソウル 午後	台北	北京 大連	上海
全体	26	2	3	5	8	8
ベトナム	4			4		
スペイン	3	1			2	
フィリピン	2		1	1		
北京	2				1	1
広州	1					1
その他	14	1	2		5	6

全体	ソウル 午前	ソウル 午後	台北	北京 大連	上海
100%	100%	100%	100%	100%	100%
15%			80%		
12%	50%			25%	
8%		33%	20%		
8%				13%	13%
4%					13%
54%	50%	67%		63%	75%

4.国際線利用者の特性



国際旅客 | 入国空港

入国空港 | 日本人 人

	全体	ソウル 午前	ソウル 午後	台北	北京 大連	上海
全体	233	131	49	31	16	6
広島空港	217	123	44	31	16	3
福岡空港	8	4	2			2
関西空港	4	2	2			
米子空港	2	2				
羽田空港	1		1			
未定	1					1

全体	ソウル 午前	ソウル 午後	台北	北京 大連	上海
100%	100%	100%	100%	100%	100%
93%	94%	90%	100%	100%	50%
3%	3%	4%			33%
2%	2%	4%			
1%	2%				
0%		2%			
0%					17%

➤ 入国時も広島空港を利用する割合は日本人で93%、外国人で82%。

→概ね往復ともに広島空港を利用。

➤ 別の空港で入国する場合、日本人は福岡空港、外国人は成田空港が多い。

入国空港 | 外国人 人

	全体	ソウル 午前	ソウル 午後	台北	北京 大連	上海
全体	183	47	77	27	14	18
広島空港	150	36	71	23	11	9
成田空港	15	9			2	4
関西空港	7	1	2	1		3
中部空港	2		2			
高松空港	2			2		
羽田空港	2	1				1
福岡空港	1				1	
新千歳空港	1			1		
出雲空港	1					1
松山空港	1		1			
不明	1		1			

全体	ソウル 午前	ソウル 午後	台北	北京 大連	上海
100%	100%	100%	100%	100%	100%
82%	77%	92%	85%	79%	50%
8%	19%			14%	22%
4%	2%	3%	4%		17%
1%		3%			
1%			7%		
1%	2%				6%
1%				7%	
1%			4%		
1%					6%
1%		1%			
1%		1%			

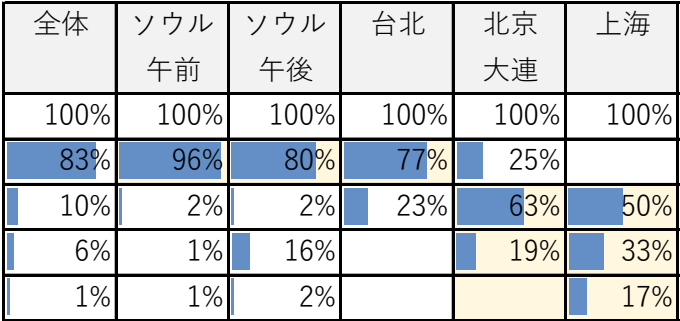
4.国際線利用者の特性



国際旅客 | 旅行目的

旅行目的 | 日本人

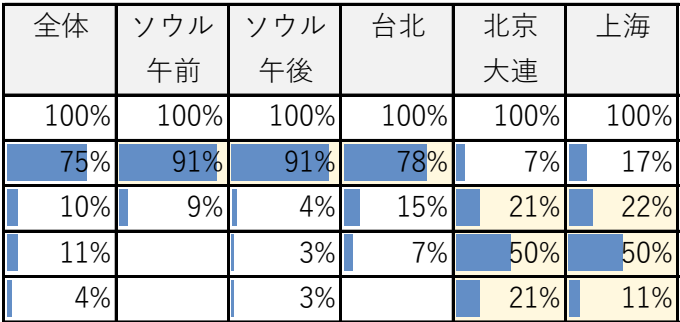
	全体	ソウル 午前	ソウル 午後	台北	北京 大連	上海
全体	234	131	49	31	17	6
観光・レジャー	193	126	39	24	4	
仕事	24	3	1	7	10	3
私用・帰省・冠婚葬祭	14	1	8		3	2
その他	3	1	1			1



- ソウル便、台北便は観光が多い。
- 中国便は仕事、私用が多い。

旅行目的 | 外国人

	全体	ソウル 午前	ソウル 午後	台北	北京 大連	上海
全体	183	47	77	27	14	18
観光・レジャー	138	43	70	21	1	3
仕事	18	4	3	4	3	4
私用・帰省・冠婚葬祭	20		2	2	7	9
その他	7		2		3	2



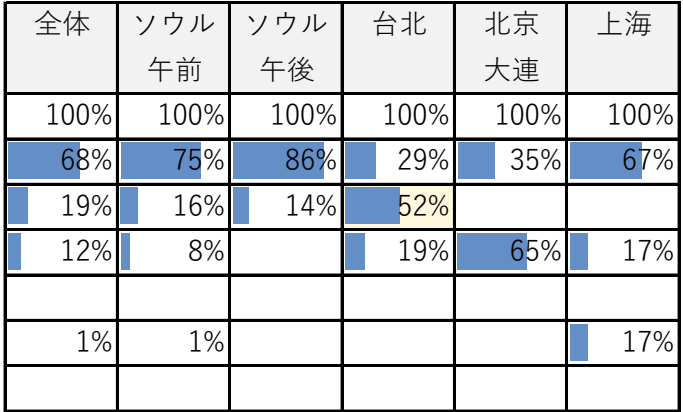
4.国際線利用者の特性



国際旅客 | 旅行の手配

日本人 人

	全体	ソウル 午前	ソウル 午後	台北	北京 大連	上海
全体	234	131	49	31	17	6
個別で航空券等を購入	159	98	42	9	6	4
個人でパッケージを購入	44	21	7	16		
会社手配	29	11		6	11	1
会社等の団体旅行						
その他	2	1				1
不明						



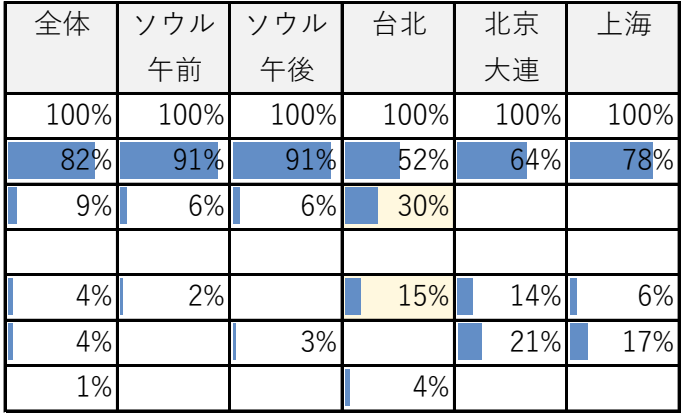
➤ソウル便は個別に航空券等を購入が多い。

➤台北便は日本人、外国人ともに、パッケージ旅行の購入が多い。

→ソウル便はチェジュ航空(LCC)による運航であるのに対して、台北便はチャイナエアライン(FSC)の運航であることも一因と考えられる。

外国人 人

	全体	ソウル 午前	ソウル 午後	台北	北京 大連	上海
全体	183	47	77	27	14	18
個別で航空券等を購入	150	43	70	14	9	14
個人でパッケージを購入	16	3	5	8		
会社手配						
会社等の団体旅行	8	1		4	2	1
その他	8		2		3	3
不明	1			1		



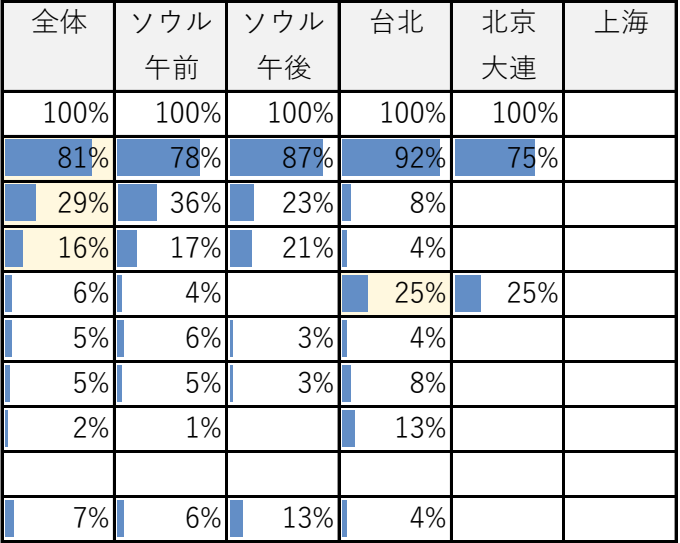
4.国際線利用者の特性



国際旅客 | 旅行のきっかけとなったもの | 路線別

旅行のきっかけ | 日本人 人

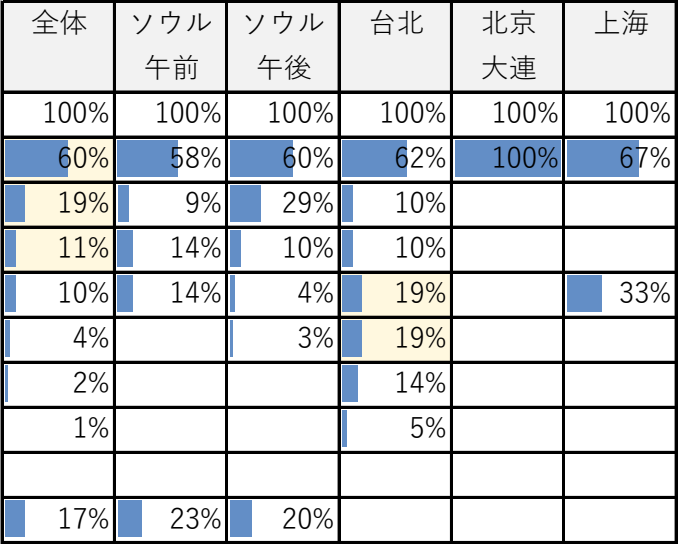
	全体	ソウル 午前	ソウル 午後	台北	北京 大連	上海
全体	193	126	39	24	4	
友人や家族との会話	157	98	34	22	3	
Instagram	56	45	9	2		
Youtube	31	22	8	1		
旅行会社のチラシ等	12	5		6	1	
X	10	8	1	1		
テレビ番組	9	6	1	2		
ガイドブック・旅行雑誌	4	1		3		
Facebook						
その他	14	8	5	1		



- 友人や家族との会話が旅行のきっかけとなった人が多い。次いで多いのはInstagramやYouTubeといったソーシャルメディアである。
- ソウル便は特にその傾向が強い。
- 台北便はソーシャルメディアよりも旅行会社のチラシやガイドブックといった紙媒体の回答が多い。

旅行のきっかけ | 外国人 人

	全体	ソウル 午前	ソウル 午後	台北	北京 大連	上海
全体	138	43	70	21	1	3
友人や家族との会話	83	25	42	13	1	2
Youtube	26	4	20	2		
Instagram	15	6	7	2		
ガイドブック・旅行雑誌	14	6	3	4		1
旅行会社のチラシ等	6		2	4		
テレビ番組	3			3		
Facebook	1			1		
X						
その他	24	10	14			



4.国際線利用者の特性

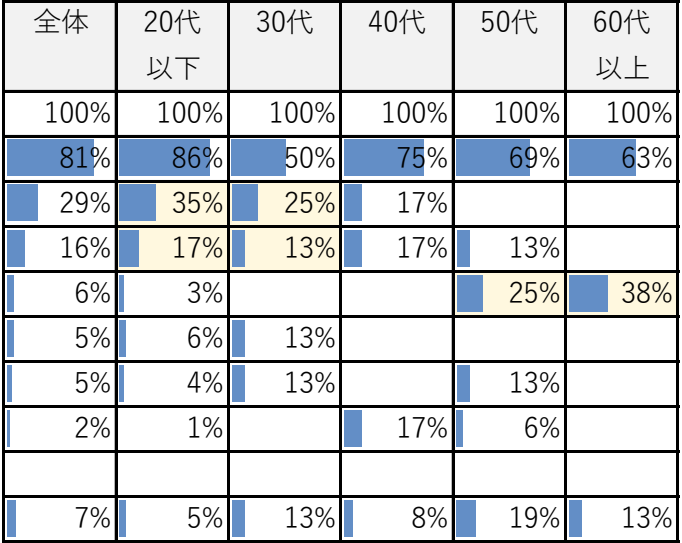


国際旅客 | 旅行のきっかけとなったもの | 年齢別

旅行のきっかけ | 日本人

人

	全体	20代 以下	30代	40代	50代	60代 以上
全体	193	149	8	12	16	8
友人や家族との会話	157	128	4	9	11	5
Instagram	56	52	2	2		
Youtube	31	26	1	2	2	
旅行会社のチラシ等	12	5			4	3
X	10	9	1			
テレビ番組	9	6	1		2	
ガイドブック・旅行雑誌	4	1		2	1	
Facebook						
その他	14	8	1	1	3	1

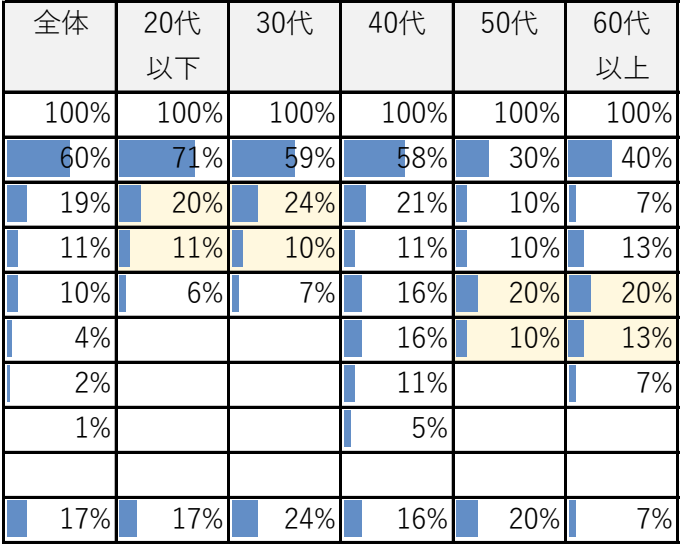


- 20代以下、30代はソーシャルメディアからの情報がきっかけとなっている。
- 50代以上については、日本人、外国人ともに旅行会社のチラシやガイドブックといった紙媒体の回答が多い。

旅行のきっかけ | 外国人

人

	全体	20代 以下	30代	40代	50代	60代 以上
全体	138	65	29	19	10	15
友人や家族との会話	83	46	17	11	3	6
Youtube	26	13	7	4	1	1
Instagram	15	7	3	2	1	2
ガイドブック・旅行雑誌	14	4	2	3	2	3
旅行会社のチラシ等	6			3	1	2
テレビ番組	3			2		1
Facebook	1			1		
X						
その他	24	11	7	3	2	1



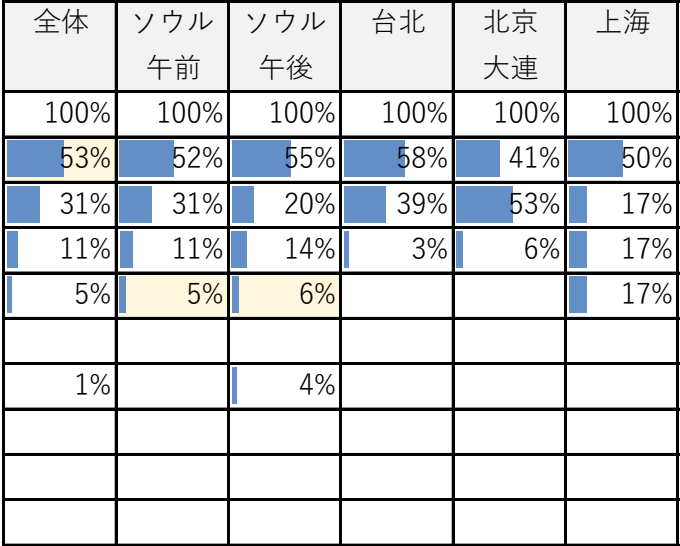
4.国際線利用者の特性



国際旅客 | 空港アクセス手段

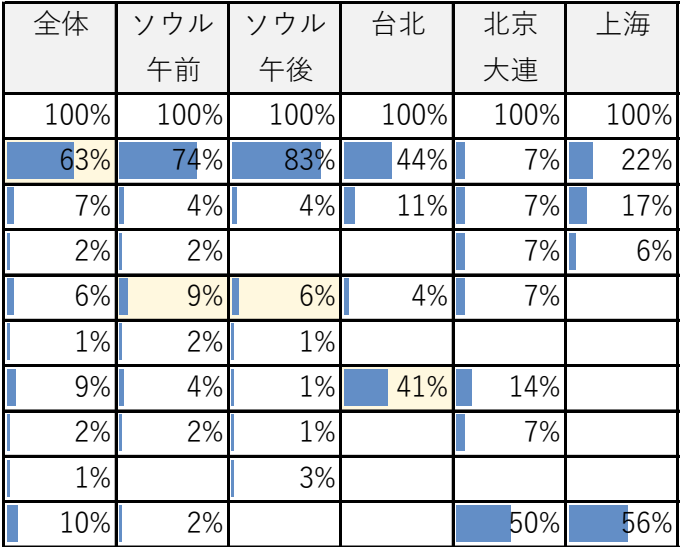
日本人 人

	全体	ソウル 午前	ソウル 午後	台北	北京 大連	上海
全体	234	131	49	31	17	6
空港リムジンバス	123	68	27	18	7	3
乗用車 駐車場あり	73	41	10	12	9	1
乗用車 駐車場なし	25	15	7	1	1	1
JR + バス 白市乗換	11	7	3			1
レンタカー						
観光バス・貸切バス	2		2			
タクシー・ハイヤー						
その他						
不明						



外国人 人

	全体	ソウル 午前	ソウル 午後	台北	北京 大連	上海
全体	183	47	77	27	14	18
空港リムジンバス	116	35	64	12	1	4
乗用車 駐車場あり	12	2	3	3	1	3
乗用車 駐車場なし	3	1			1	1
JR + バス 白市乗換	11	4	5	1	1	
レンタカー	2	1	1			
観光バス・貸切バス	16	2	1	11	2	
タクシー・ハイヤー	3	1	1		1	
その他	2		2			
不明	18	1			7	10



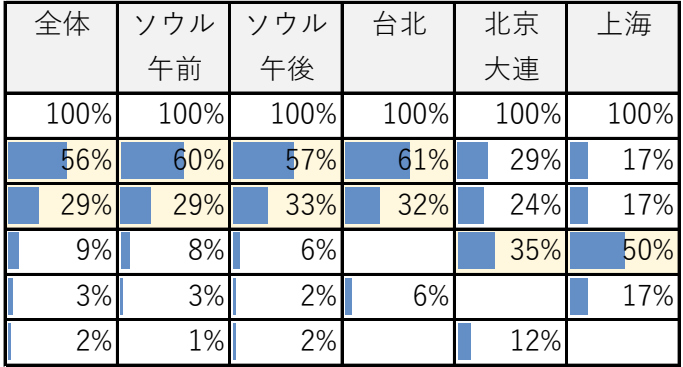
- 日本人、外国人ともに空港リムジンバスが主に利用されている。
- 外国人の方が、空港リムジンの選択率が高い。
- ソウル路線の利用者は白市乗換の利用もみられる。
- 台北路線を利用する外国人は観光バスの利用が多い。



国際旅客 | 過去5年間の移動経験・他空港の利用状況(日本人)

日本人 人

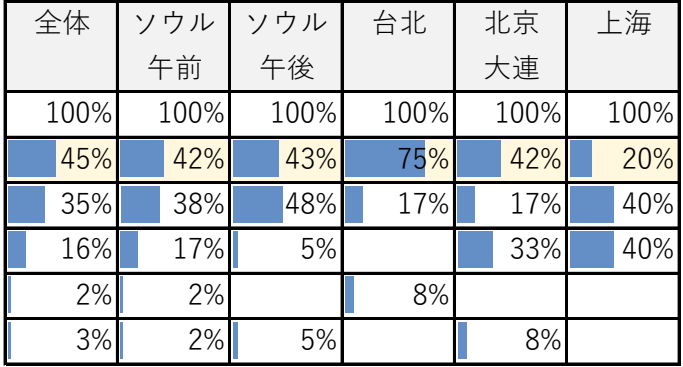
	全体	ソウル 午前	ソウル 午後	台北	北京 大連	上海
全体	234	131	49	31	17	6
1回(初めての移動)	131	78	28	19	5	1
2～5回	69	38	16	10	4	1
6～10回	22	10	3		6	3
11～20回	8	4	1	2		1
21回以上	4	1	1		2	



- 約45%が5年間で複数回利用。
- 観光目的が多いソウル便、台北便は初めてが多い。
- 仕事目的が多い中国便はリピーターが多い。

日本人 人

	全体	ソウル 午前	ソウル 午後	台北	北京 大連	上海
全体	103	53	21	12	12	5
広島空港だけを利用	46	22	9	9	5	1
1～2回	36	20	10	2	2	2
3～5回	16	9	1		4	2
6～9回	2	1		1		
10回以上	3	1	1		1	



- 広島空港だけを利用しているのは約45%だけであり、残りの約55%は他空港も利用。
- 固定客の割合は約20%(複数回利用45%×継続利用45%)。
- 約25%(複数回利用45%×使い分け利用55%)の旅客が状況に応じて他の経路も利用している。

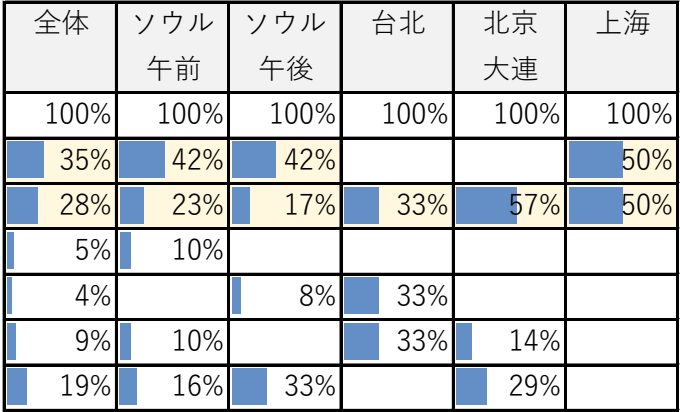
4.国際線利用者の特性



国際旅客 | 他空港の利用状況・利用理由(日本人)

日本人 人

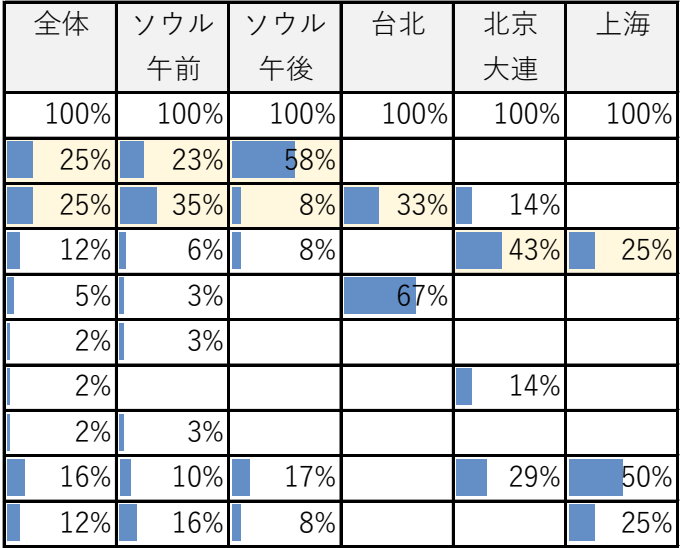
	全体	ソウル 午前	ソウル 午後	台北	北京 大連	上海
全体	57	31	12	3	7	4
福岡空港	20	13	5			2
関西国際空港	16	7	2	1	4	2
高松空港	3	3				
羽田空港	2		1	1		
その他空港	5	3		1	1	
不明	11	5	4		2	



➤ 利用している他空港は、福岡空港、関西国際空港が多い。

日本人 人

	全体	ソウル 午前	ソウル 午後	台北	北京 大連	上海
全体	57	31	12	3	7	4
発着地から近かった	14	7	7			
時間が合わなかった	14	11	1	1	1	
値段が安かった	7	2	1		3	1
決められていた	3	1		2		
定時性に不安がある	1	1				
便がない	1				1	
満席だった	1	1				
その他	9	3	2		2	2
不明	7	5	1			1



➤ 利用している理由は、「発着地から近かった」が最多であり、コロナ禍で広島空港の便が運休していたことも一因と考えられる。

➤ 「時間が合わなかった」が2番目に多い。

→便数も空港選択に影響している。

➤ 中国便は値段についても関心が高い。

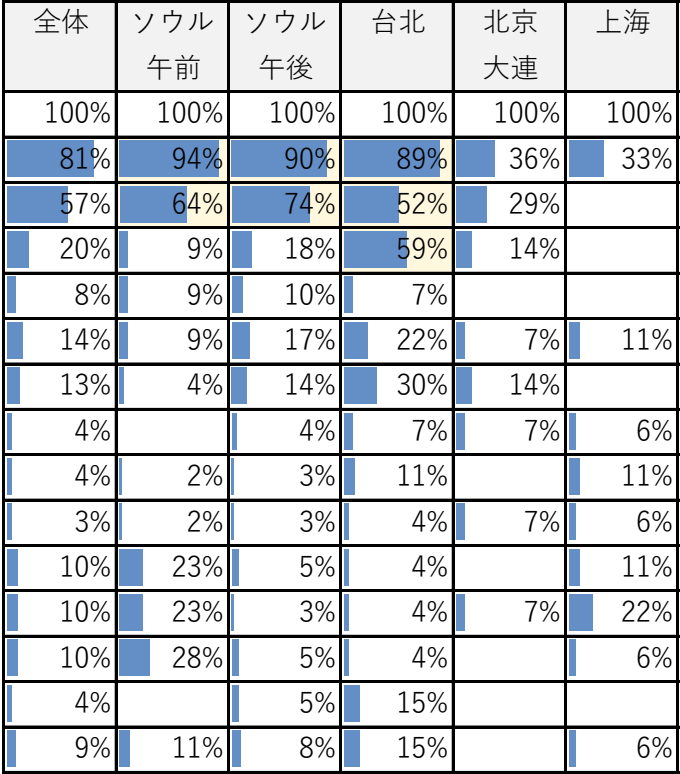
4.国際線利用者の特性



国際旅客 | 訪問地(外国人)

外国人 人

	全体	ソウル 午前	ソウル 午後	台北	北京 大連	上海
全体	183	47	77	27	14	18
広島市	148	44	69	24	5	6
廿日市市	105	30	57	14	4	
尾道市	36	4	14	16	2	
竹原市	14	4	8	2		
その他広島県内	26	4	13	6	1	2
岡山県	23	2	11	8	2	
山口県	7		3	2	1	1
島根県	8	1	2	3		2
鳥取県	6	1	2	1	1	1
大阪府	18	11	4	1		2
東京都	19	11	2	1	1	4
京都府	19	13	4	1		1
福岡県	8		4	4		
その他都道府県	16	5	6	4		1



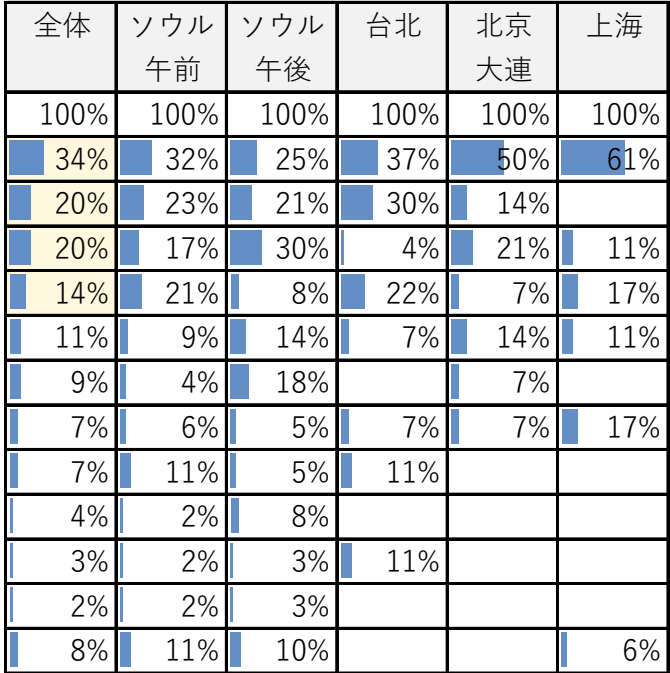
- 観光客が中心であるソウル便、台北便
は広島市及び宮島のある廿日市市を
訪問している。
- 台北便は尾道の訪問率も比較的高い。
- 仕事や私用が多い中国便は訪問地が
分散している。



国際旅客 | 広島空港を利用して不便・不満に思うこと(外国人)

外国人 人

	全体	ソウル 午前	ソウル 午後	台北	北京 大連	上海
合計	183	47	77	27	14	18
不満に思うことはない	62	15	19	10	7	11
出入国審査が長い	37	11	16	8	2	
空港が遠い	37	8	23	1	3	2
他アクセス交通が欲しい	26	10	6	6	1	3
アクセスの便数が少ない	21	4	11	2	2	2
ATM・両替所が少ない	17	2	14		1	
WiFiがつながりにくい	13	3	4	2	1	3
言葉が通じにくい	12	5	4	3		
クレジットカードが使えない	7	1	6			
アクセスがわかりにくい	6	1	2	3		
案内がわかりにくい	3	1	2			
その他	14	5	8			1



- 「不便・不満に思うことはない」の回答は34%。
→66%は何かしらの不便・不満がある。
- 不満が多いのは「出入国審査が長い」、「空港が遠い」、「他のアクセス交通が欲しい」である。

5. 路線ごとの特徴分析

HND 羽田便

旅客数・航空会社	➤ 2023年度の旅客数は186万人。2018年度比で92%まで回復。ANA、JALが運航。広島空港の基幹路線。
居住地	➤ 約半数が地元客(中四国居住者)。やや入込客(就航先居住者)の方が多い。広島県以外の中国・四国地方を居住地とする旅客の利用はほとんどない。
乗継旅客	➤ 外部データによると旅客数の約15%が乗継客であると推定される。北海道、東北、沖縄、海外への乗り継ぎで利用されている。
目的	➤ アンケート調査時の旅行目的は観光・レジャーが約半数を占める。
他経路との競合	➤ 過去5年間の今回の目的地との移動経験者は約70%であった。地元客は81%、入込客は62%であり、地元客の方が移動経験を有している(入込客の方が、初めての利用が多い)。 ➤ 移動経験者のうち広島空港だけを利用しているのは約40%である。 ➤ 他の経路を利用する理由は、「発着地から近かった」が37%で最多。次いで「時間が合わなかったから」が19%で多い。旅行目的別に見ると、「発着地から近かったから」は観光目的で特に多い。「時間が合わなかったから」は仕事や私用で多い。
需要特性のまとめ	➤ 広島空港にとって旅客数が最も多い路線であるため、各種施策に対する効果が大きい路線となる。 ➤ 新幹線と競合関係にあり、目的地や時間の都合に応じて使い分けをしている旅客が多い。 ➤ 羽田便は、周辺空港からも開設されているため、広島県内を発着する旅客に絞った施策が想定される。 ➤ 就航先については、関東甲信越地方のほか、北海道、東北、海外への乗継需要もみられる。これらの方面は広島空港からの直行便が開設されている方面もあるものの、直行便が運航されていない時間帯への利用促進など、地方都市との移動について直行便を補完する役割が期待される。

NRT 成田便

旅客数・航空会社	➤ 2023年度の旅客数は21万人。2018年度比で99%まで回復。 ➤ 2018年度はアイベックスエアラインズとスプリングジャパンの2社で1日当たり3往復運航していた。コロナ禍でアイベックスエアラインズが運休し、2023年度ではスプリングジャパンが1日2往復運航。
居住地	➤ 約半数が地元客(中四国居住者)。入込客(就航先居住者)の利用が増加傾向にある。
乗継旅客	➤ 外部データによると旅客数の約6%が乗継客であると推定される。乗継先は新千歳がメインである。
目的	➤ アンケート調査時の旅行目的は観光・レジャーが約半数を占める。 ➤ LCCによる運航路線であり仕事目的は少ない。
他経路との競合	➤ 過去5年間の今回の目的地との移動経験者は約62%であった。地元客は69%、入込客は57 %であり、地元客の方が移動経験を有している(入込客の方が、初めての利用が多い)。 ➤ 移動経験者のうち広島空港だけを利用しているのは約20%である。 ➤ 他の経路を利用する理由は、「発着地から近かった」が29%で最多。成田路線は「値段が安かった」が21%で比較的多く、価格に敏感な客層であると言える。
需要特性のまとめ	➤ LCCであるスプリングジャパンによる運航であり、価格感度が高い旅客が利用している。 ➤ コロナ前はアイベックスエアラインズも運航していたため、広島県民による成田空港での国際線との乗継利用も多かったと思われるが、直近では入込客の割合が増加傾向にあり、旅客数はほぼコロナ前水準まで回復した。スプリングジャパンの増便により新たな需要が掘り起こされた可能性もある。 ➤ 乗継旅客もみられるものの、羽田便ほどではない。主に広島県と関東との観光や私用で利用されている。 ➤ 価格が安いことが強みであるため、LCCが就航していない山陰方面からの集客促進も想定される。

CTS 新千歳便

旅客数・航空会社	➤ 2023年度の旅客数は19万人。2018年度比は127%で、旅客数は増加傾向にある。 ➤ ANA、JALが小型ジェット機で1日2往復の運航をしており、この運航は2018年度以降継続している。
居住地	➤ 地元客(中四国居住者)の利用が中心であり、この傾向は継続している。
乗継旅客	➤ 外部データによると旅客数の約9%が乗継客であると推定される。乗継先は東北(青森、秋田)、釧路、女満別となっている。
目的	➤ 観光・レジャーでの利用が中心であり、この傾向は継続している。
他経路との競合	➤ 過去5年間の今回の目的地との移動経験者は約36%であった。地元客は37%、入込客は33 %であり、移動経験者は他路線に比べ少ない。 ➤ 移動経験者のうち広島空港だけを利用しているのは約67%である。広島空港のみを利用する傾向があり、他の経路との競合は少ない。 ➤ 直行便と羽田経由便が使い分けられている。航空券の予約データによれば、直行便の選択率は約80%となっている。
需要特性のまとめ	➤ 旅客数が増加傾向にあり、2023年度の旅客数は既にコロナ前を上回っている。 ➤ 現状では午前中に広島空港を出発する便となっているため、地元客の利用が中心となっている。 ➤ 旅客数の増加に応じて搭乗率が上昇していることから、旅客需要が高まる時期等における機材の大型化等の対応が望まれる。(2023年度の搭乗率79.9%)

SDJ 仙台便

旅客数・航空会社	➤ 2023年度の旅客数は12万人。2018年度比は146%で、旅客数は増加傾向にある。 ➤ アイベックスエアラインズによる運航であり、2023年夏ダイヤから1日2往復から3往復に増便された。
居住地	➤ 地元客(中四国居住者)の利用が中心であったが、2022年度以降は就航先居住者の利用もみられるようになった。ダイヤ変更や増便の影響が想定される。
乗継旅客	➤ 乗継旅客はほとんど見られないが、仙台便の利用者の背後圏は宮城県のほか岩手県、山形県、福島県など周辺県にも及んでいる。
目的	➤ 以前は仕事目的の利用が中心であったが、2022年度以降は、観光・レジャーでの利用がみられる。
他経路との競合	➤ 過去5年間の今回の目的地との移動経験者は約53%であった。地元客は65%、入込客は44%であり、地元客の方が移動経験を有している(入込客の方が、初めての利用が多い)。 ➤ 移動経験者のうち広島空港だけを利用しているのは約39%である。
需要特性のまとめ	➤ 増便に応じてコロナ前に比べて旅客数が増加している。2023年度の搭乗率は75.6%。 ➤ 認知度が低いことから、認知度の向上に応じて更なる利用者の増加が見込まれる。

OKA 那覇便

旅客数・航空会社	➤ 2023年度の旅客数は12万人。2018年度比で87%まで回復。 ➤ ANAが小型ジェット機で1日1往復の運航をしている。便数、就航機材ともに継続している。
居住地	➤ 地元客(中四国居住者)の利用が中心であり、この傾向は継続している。 ➤ 広島県以外からも利用がみられる。
乗継旅客	➤ 外部データによると旅客数の約15%が乗継客であると推定される。乗継先は石垣、宮古などの離島。
目的	➤ 観光・レジャーでの利用が中心であり、この傾向は継続している。
他経路との競合	➤ 過去5年間の今回の目的地との移動経験者は約52%であった。地元客は47%、入込客は78%であり、入込客は移動経験が多い。 ➤ 移動経験者のうち広島空港だけを利用しているのは約30%である。代替空港について、アンケート調査では具体的な回答は少なかった。
需要特性のまとめ	➤ 旅客数が回復傾向にある。 ➤ 現状では午前中に広島空港を出発する便となっているため、地元客の利用が中心となっている。 ➤ コロナ前はB767が就航していたが、現在はA321に小型化されており、平均搭乗率は85%となっている。繁忙期には予約が取りにくい状況が発生していると思われるため、旅客需要が高まる時期等における機材の大型化等の対応が望まれる。

ICN ソウル便

旅客数・航空会社	➤ 2023年度の旅客数は9万人。2018年度比は50%であり、コロナ前よりも増加している。 ➤ コロナ前はエアソウルによる週2便の運航だった。2023年7月にチェジュ航空により1日1往復で路線が再開し、2024年1月からは1日2往復に増便された。
日本人・外国人比率	➤ 2023年は日本人が約60%で多い。午前便は日本人、午後便は外国人の割合が多い。 ➤ 日本人は広島県のほか、岡山県からの利用が午前便、午後便ともにみられる。
乗継旅客	➤ 外部データによると旅客数の約20%が乗継客(2023年1～12月)。乗継先はグアムやサイパンなどが多い。
目的	➤ 観光・レジャーが約90%を占める。観光が多い特徴はコロナ前から継続している。 ➤ 旅行の手配方法として、個別で航空券を購入する割合が高い(約80%)。 ➤ 旅行のきっかけとして、日本人、外国人ともにソーシャルメディアの割合が高い。
他経路との競合	➤ 過去5年間の今回の目的地との移動経験者は約40%であった。 ➤ 利用した空港としては福岡空港が最多(約40%)で、それに関西空港が約20%で続く。
需要特性のまとめ	➤ コロナ前に比べ大幅に増便しており、旅客数が増加している。 ➤ 岡山県など周辺県からの利用もみられる。岡山空港にもソウル便が開設されているが、広島空港の方が、便数が多いことと、LCCであることから価格面でメリットがあることが背景として考えられる。こうした強みを周知することで更なる増加が見込まれる。 ➤ 個人による観光利用が中心であるため、SNSを活用した広島やソウルのPRが想定される。

TPE 台北便

旅客数・航空会社	➤ 2023年度の旅客数は6万人。2018年度比で60%まで回復した。 ➤ チャイナエアラインによる運航が継続している。コロナ前は週7便の運航だった。2023年1月に週4往復で路線が再開した。コロナ前から広島空港でナイトステイをしており、20時台に広島空港に到着し、翌9時に広島空港を出発するダイヤで運航している。
日本人・外国人比率	➤ 2023年は日本人が約53%でやや多い。経年的にみると外国人の割合が減少している。
乗継旅客	➤ 外部データによると旅客数の約44%が乗継客であると推定される(2023年1~12月)。乗継先はバンコク、ハノイ、ホーチミン、マニラ、シンガポールなど東南アジアが多い。
目的	➤ 観光・レジャーが約80%を占める。観光が多い特徴はコロナ前から継続している。 ➤ 旅行の手配方法として、個人でパッケージを購入する割合が高い(約50%)。 ➤ 旅行のきっかけとして、日本人、外国人ともにガイドブックや旅行会社のチラシの割合が高い。
他経路との競合	➤ 過去5年間の今回の目的地との移動経験者は約40%であった。 ➤ 移動経験者のうち広島空港だけを利用しているのは約75%であり、ソウル便に比べ高い。台北便の出発時間帯が9時台であり、日本人にとって利便性が高いことが背景として考えられる。
需要特性のまとめ	➤ コロナ前まで便数が戻っておらず、それに応じて旅客数の回復が遅れている。 ➤ 日本人、外国人の双方が利用しており、主に観光で利用されている。 ➤ 台北だけではなく、東南アジアへの乗継としても利用されている。 ➤ 午前9時に広島空港を出発するダイヤであり、日本人にとっては台北での滞在時間を長く確保できることが強みであるため、広島県だけではなく周辺県からの集客を強化することが想定される。

DLC・PEK 大連・北京便

旅客数・航空会社	➤ 2023年度の旅客数は約8000人。2018年度比は20％であり、回復が遅れている。 ➤ 中国国際航空による運航が継続している。コロナ前は週4便の運航だった。2023年8月に週2往復で再開。
日本人・外国人比率	➤ 2023年は日本人が約55％でやや多い。コロナ前に比べ日本人の割合が増加している。
乗継旅客	➤ 外部データによると北京での乗継旅客が約60％(2023年1～12月)。大連で乗り継ぐ旅客は少ない。 ➤ 北京での乗継先はハルビン、長春、西安など中国の国内都市となっている。
目的	➤ 観光・レジャーでの利用は少ない。調査年度によって仕事が多い年度と、私用が多い年度がある。 ➤ 旅行の手配方法として、日本人は会社手配、外国人は個別で航空券等を購入が多い。観光・レジャーが少ないため、パッケージを購入する回答はなかった。
他経路との競合	➤ 過去5年間の今回の目的地との移動経験者は約70％であった。移動経験者はソウル便、台北便に比べ多い。 ➤ 移動経験者のうち広島空港だけを利用しているのは約40％であった。 ➤ 利用した空港としては関西空港であった。
需要特性のまとめ	➤ コロナ前まで便数が戻っておらず、それに応じて旅客数の回復が遅れている。 ➤ コロナ前から観光客は限定的であり、仕事や私用での利用が中心であった。 ➤ 認知度が低いことが課題である。 ➤ 観光需要、特にインバウンドについては今後増加する可能性が高いため、査証緩和などのタイミングに応じた集客促進が望まれる。

PVG 上海便

旅客数・航空会社	➤ 2023年度の旅客数は約13000人。2018年度比は20%であり、回復が遅れている。 ➤ 中国東方航空による運航が継続している。コロナ前は週7便の運航だった。2023年9月に週3往復で再開。
日本人・外国人比率	➤ 2023年は日本人が約25%で、外国人の方が多い。外国人の方が多い傾向はコロナ前から継続している。
乗継旅客	➤ 外部データによると旅客数の約55%が乗継客であると推定される(2023年1~12月)。 ➤ 乗継先はバンコク、シンガポールなど東南アジアの他、ハルビン、長春、成都など中国の国内都市。
目的	➤ 観光・レジャーでの利用は少ない。調査年度によって仕事が多い年度と、私用が多い年度がある。 ➤ 旅行の手配方法は個別で航空券等を購入が多い。観光・レジャーが少ないため、パッケージを購入する回答はなかった。
他経路との競合	➤ 過去5年間の今回の目的地(上海等)との移動経験者は約80%であった。 ➤ 移動経験者のうち広島空港だけを利用しているのは約20%であった。 ➤ 利用した空港としては関西空港、福岡空港であった。
需要特性のまとめ	➤ コロナ前まで便数が戻っておらず、それに応じて旅客数の回復が遅れている。 ➤ コロナ前から観光客は限定的であり、仕事や私用での利用が中心であった。 ➤ 認知度が低いことが課題である。 ➤ 観光需要、特にインバウンドについては今後増加する可能性が高いため、査証緩和などのタイミングに応じた集客促進が望まれる。